

令和3年度

定時総会

令和3年6月19日(土)

富山県看護研修センター

日本看護協会歌

光 求めて

補作詩・作曲 山本敏子
小椋 佳

大空のもと 光求めて
看護の心 胸深く
両手にかざす 愛のほむらは
静かに燃える 優しく燃える
今 この時 そして明日に

さざなみに揺れ 光求めて
看護の願い 胸熱く
つなぐその手に 通う血潮は
さやかにとける 優しくとける
ただ ひとすじ またひたむきに

そよ風に乗る 光求めて
看護の祈り 胸清く
枕べにたつ 花の香りは
ほのかに匂う 優しく匂う
今 この時 そして明日に

今 この時 そして明日に

1. おさぞぞら のも とれ ひか
2. ささよなか らのゆの り ひか
3. そよよ なか らのゆの り ひか

りり もとめ てて ー か んご の
りり もとめ てて ー か んご の

こねい かが り り むむ ねね ふか つく ー ー
の の の り り むむ ねね ふか つく ー ー

りよ うな てに かの ざす ー あか い
つま なく ら そべ のに た つ ー は な

のう ほむら はは ー しず ー かか に もえ
のち しお はは ー さや ー かか に とけ
の か おり はは ー ほの ー かか に お

る ー やさ ー し く もえ る ー いた
る う ー やさ ー し し く とけ る ー たい
う ー やさ ー し し く とけ る ー たい

まだま こ の と き ー そま し て あ し た
こ ひ の と き ー そま し て あ し た

1.2.C 3.C C
に ー に ー い ま こ の と

F G7 (F/G) C
き ー そ し て あ し た に ー

目 次

看護職の倫理綱領	3
富山県看護協会の基本理念	4
令和3年度定時総会開催にあたって	5
令和3年度定時総会プログラム	6
令和3年度職能集会プログラム	7

議 事

理事会報告	11
職能委員会報告	17
委員会報告	23
支部活動報告	31

新型コロナウイルス感染症関連報告

新型コロナウイルス感染症の対応を振り返って	41
新型コロナウイルス感染症の動向と富山県看護協会の対応	42
軽症者宿泊療養施設に係る協力について	45
新型コロナウイルス感染症対策に係るご支援並びに寄付金	46
全国学会・研修における新型コロナウイルス感染症の影響	47

提出議題

第1号議案 令和2年度事業報告（案）	51
第2号議案 令和2年度収支決算報告（案）及び監査報告	63
第3号議案 令和3年度富山県看護協会役員（案）の選任について	81
第4号議案 令和4年度日本看護協会通常総会代議員等（案）の選出について	82
第5号議案 令和3年度選挙管理委員・推薦委員候補者（案）の承認について	83

報告事項

報告事項1 令和3年度重点事業並びに事業計画	87
報告事項2 令和3年度収支予算	93

資 料

令和3年度優良看護職員表彰者名簿	105
公益社団法人富山県看護協会設立40周年記念感謝状贈呈者名簿	106
公益社団法人富山県看護協会設立40周年の経過	107

[第1号議案 令和2年度事業報告(案)資料]

第51回(2020年度)日本看護学会—看護教育—学術集会	112
令和2年度研修会等実施状況報告	113
令和2年度富山県ナースセンター事業報告	129
令和2年度訪問看護ネットワークセンター事業報告	143
令和2年度訪問看護ステーションひよどり事業報告	150
令和2年度訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	153
令和2年度ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	158
令和2年度神明・五福地域包括支援センター事業報告	161
令和2年度その他の委託事業報告	164
令和3年度富山県行政への要望事項	170
令和2年度行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況	172
令和2年度他団体等への推薦	174
令和2年度後援・協力等依頼報告	175

[各種名簿]

令和2年度富山県看護協会施設別・職種別会員数	176
令和2年度受賞者名簿	178
令和2年度富山県看護協会役員及び委員名簿	179
令和2年度支部役員名簿	182
令和3年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員名簿	183

[委員会等報告資料]

新型コロナウイルス感染症対策研修会	保健師職能委員会	184
人材育成研修会報告	保健師職能委員会	185
保健指導ミーティング～支援困難事例へのアプローチ～研修会報告	保健師職能委員会	186
発達障害児への支援を学ぶ研修会報告【保健師・助産師合同】	助産師職能委員会	187
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	188
看護師のクリニカルラダー交流研修会報告	看護師職能Ⅰ委員会	189
新型コロナウイルス感染症情報交流会報告	看護師職能Ⅰ委員会	190
福祉施設に望まれるハラスメント防止研修会報告	看護師職能Ⅱ委員会	192
施設等における災害への日頃の備えと初動体制研修会報告	看護師職能Ⅱ委員会	193
在宅ケア事例検討会報告	看護師職能Ⅱ委員会	194
3職能4委員会連携事業報告	保・助・看Ⅱ職能委員会	197
令和2年度支部長会報告	地区支部	199

[参考資料]

会員数と入会率	200
都道府県看護協会一覧表	202
都道府県ナースセンター一覧表	203
公益社団法人富山県看護協会定款	204
公益社団法人富山県看護協会組織図	216
公益社団法人富山県看護協会職員名簿	217

看護職の倫理綱領

2021年 日本看護協会

前文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

日本看護協会の『看護職の倫理綱領』は、あらゆる場で実践を行う看護職を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

本文（抜粋）

1. 看護職は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。
2. 看護職は、対象となる人々に平等に看護を提供する。
3. 看護職は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 看護職は、人々の権利を尊重し、人々が自らの意向や価値観にそった選択ができるよう支援する。
5. 看護職は、対象となる人々の秘密を保持し、取得した個人情報とは適正に取り扱う。
6. 看護職は、対象となる人々に不利益や危害が生じているときは、人々を保護し安全を確保する。
7. 看護職は、自己の責任と能力を的確に把握し、実施した看護について個人としての責任をもつ。
8. 看護職は、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める。
9. 看護職は、多職種で協働し、よりよい保健・医療・福祉を実現する。
10. 看護職は、より質の高い看護を行うために、自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動する。
11. 看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
12. 看護職は、より質の高い看護を行うため、看護職自身のウェルビーイングの向上に努める。
13. 看護職は、常に品位を保持し、看護職に対する社会の人々の信頼を高めるよう努める。
14. 看護職は、人々の生命と健康をまもるため、さまざまな問題について、社会正義の考え方をもって社会と責任を共有する。
15. 看護職は、専門職組織に所属し、看護の質を高めるための活動に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。
16. 看護職は、様々な災害支援の担い手と協働し、災害によって影響を受けたすべての人々の生命、健康、生活をまもることに最善を尽くす。

富山県看護協会の基本理念

I 使命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。

そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 一 看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向けて結集する
- 一 自律的に行動し協働する
- 一 専門性を探求し新たな価値を創造する

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の三つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の六つの実現手法を用いて、人々の健康で豊かな生活の実現を図るものである。

(平成22年3月富山県看護協会3月通常総会にて決定)

令和3年度 定時総会開催にあたって

公益社団法人富山県看護協会
会長 松原直美

紫陽花の紫が映える季節を迎え、公益社団法人富山県看護協会令和3年度通常総会・設立40周年記念が関係各位のご支援により開催の運びとなりました。しかしながら、未だコロナ禍にあり、感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催となり、会員の皆様をはじめ受彰されます皆様には、大変申し訳なく思います。富山県看護協会が40周年を迎えますことは、会員の皆様はもちろん関係各位のご支援ご協力により看護協会の発展につながったことであり、改めて感謝申し上げます。

ご存知の通り、新型コロナウイルス感染症は、その拡大に伴い、私たち看護職員の労働環境の悪化、防護服等物資の不足、看護職員への差別や偏見の発生など、いままでに私たちが経験したことのない苦難や多くの我慢を強いられました。細心の注意を払いながら、身を挺して対応に力を尽くしておられます皆様には、心より感謝と敬意を表します。

富山県看護協会では、厚生センターのコロナ関係の相談員や介護施設の感染防止のためのDVD作成への協力、軽症者等の宿泊療養に係る看護職員の派遣に協力し、指定感染症医療機関の医療提供体制の負担軽減に努めてきました。現在も、各市のワクチン接種への協力や次々と発生する事象に対して柔軟に、迅速に対応しています。今後も、看護職の専門性を発揮し、心をひとつにして、県民の皆様が安心して豊かな生活を送れるように、寄与していきます。

本日の総会では、令和2年度事業報告、収支決算報告、令和3年度富山県看護協会役員改選、令和4年度日本看護協会代議員等の選出等を議案提案しております。

さて、少子高齢化が進む中、地域共生社会の実現に向けて、「あらゆる場、あらゆる人々に対する良質な看護の提供」が求められております。令和2年度は地域包括ケアにおける医療提供体制の構築を進めるために、支部活動を昨年度までの体制整備から、具体的な看護活動へと変化していきたいと考え、支部長会にて議論し、柔軟な対応を検討してきました。しかしコロナ禍で、十分な活動はできず、是非今年度はトライしていただきたいと思っております。

さらに、訪問看護ステーションの機能強化を図るために、訪問看護ステーションへの病院看護師出向モデル事業、訪問看護ステーションサポート事業などが成果を上げています。そして2020年度には、日本看護協会の訪問看護総合支援センター試行事業に取り組み、訪問看護に係る様々な課題を一体的、一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化や推進支援を図る拠点とすることを目指しています。今年度も引き続き取り組んでいきます。

県内では、令和3年3月をもって富山赤十字看護専門学校が閉校となり、富山県立総合衛生学院の看護学科が閉科となりました。また、県立大学看護学部教育課程では、看護基礎教育4年制の3年目となり、保健師、助産師の専攻科の設置、看護系大学院の設置に向けた準備が進められることとなりました。今年度は、看護基礎教育4年制化に向けた議論を進めるために、情報収集や課題の検討を進めていきます。

未だコロナ禍にあり、収束が見通せない中ではありますが、新しい生活様式を取り入れながら、今年度も、研修事業やナースセンター事業、訪問看護事業等、多くの事業に取り組んでまいります。

より良い協会運営について、会員の皆様の忌憚のないご意見をいただき実り多き総会になることを期待しております

令和3年度 定時総会プログラム

(公益社団法人富山県看護協会設立40周年記念)

日 時 令和3年6月19日(土) 15:05～16:05

場 所 富山県看護協会 看護研修センター 3階第1研修室

- 15:00 開場
- 15:00 オリエンテーション
- 15:05 開会
物故会員への黙とう
会長あいさつ
祝電披露
富山県部門功労(知事)表彰者紹介
富山県看護協会長表彰者紹介
公益社団法人富山県看護協会設立40周年記念感謝状贈呈者紹介
- 15:10 議長団及び議事録署名人の承認
- 15:15 議 事
1 理事会報告(書面)
2 職能委員会報告(書面)
3 委員会報告(書面)
4 支部活動報告(書面)
- 15:20 提出議題
第1号議案 令和2年度 事業報告(案)
第2号議案 令和2年度 収支決算報告(案)及び監査報告
第3号議案 令和3年度 富山県看護協会役員(案)の選任について
第4号議案 令和4年度 日本看護協会代議員等(案)の選出について
第5号議案 令和3年度 選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について
- 報告事項
報告事項1 令和3年度 重点事業並びに事業計画(書面)
報告事項2 令和3年度 収支予算(書面)
- 15:50 議長団解任
会歌(合唱なし 静聴)
- 16:05 閉会

令和3年度 職能集会プログラム

(公益社団法人富山県看護協会設立40周年記念)

日 時 令和3年6月19日(土) 13:00～15:00

場 所 富山県看護協会 看護研修センター 2階第2研修室

職能集会

12:30～	開場
13:00～13:05	オリエンテーション
13:05～13:10	開会挨拶
13:10～15:00	講演「医療政策の展望 ―コロナの影響も踏まえ―」 講師 国際医療福祉大学大学院 教授 島崎 謙治 氏
15:00	閉会

～講師紹介～

島崎謙治

国際医療福祉大学大学院 教授、政策研究大学院大学 名誉教授・客員教授

1978年東京大学教養学部卒業、厚生省（当時）入省。

厚生労働省保険局保険課長、国立社会保障・人口問題研究所副所長、東京大学大学院法学政治学研究科客員教授、政策研究大学院大学教授を経て、2020年4月から現職。

博士（商学）早稲田大学。長野県立病院機構理事、社会保障審議会医療部会委員、医師の働き方改革の推進に関する検討会委員。

主な著作として、『日本の医療－制度と政策【増補改訂版】』（東京大学出版会、2020年）、『医療政策を問いなおす－国民皆保険の将来』（ちくま新書、2015年）などがある。

*なお、職能集会は各支部にてWeb配信を予定しております。

No.	支部名	会場・(会場住所)	定員
1	黒部・魚津	黒部市民病院（黒部市三日市1108-1）	40名
2	富山（メイン）	富山県看護協会（富山市鶴島字川原1907-1）	50名
3	上市	厚生連滑川病院（滑川市常盤町119）	50名
4	高岡・射水・氷見	厚生連高岡病院（高岡市永楽町5-10）	50名
5	砺波・小矢部	市立砺波総合病院（砺波市新富町1-61）	40名

議 事

理事会報告	11
職能委員会報告	17
委員会報告	23
支部活動報告	31

理 事 会 報 告

1 理事会開催状況

回	日 時	場 所
1	令和2年4月	書面会議
2	令和2年5月25日(月) 15:30~16:30	富山県看護研修センター
3	令和2年6月28日(土) 14:30~15:40	富山県看護研修センター
4	令和2年8月7日(金) 15:30~17:00	富山県看護研修センター
5	令和2年10月12日(月) 15:30~17:00	富山県看護研修センター
6	令和2年12月14日(月) 16:00~17:30	富山県看護研修センター
7	令和3年1月18日(金) 15:30~16:25	富山県看護研修センター
8	令和3年3月15日(月) 15:30~16:50	富山県看護研修センター

2 協議事項等

回	協 議 事 項 等
1	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和2年度各委員の推薦等について</p> <p>2) 令和2年度新規会員の承認について 令和2年4月13日現在 8,622名</p> <p>3) 令和2年度定時総会について</p> <p>(1) 令和2年度富山県看護協会定時総会提出議題(案)について</p> <p><議決事項></p> <p>第1号議案 令和元年度事業報告(案)</p> <p>第3号議案 令和2年度富山県看護協会役員を選任(案)について</p> <p>第4号議案 令和3年度日本看護協会代議員等の選出(案)について</p> <p>第5号議案 令和2年度選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について</p> <p><報告事項></p> <p>報告事項1 令和2年度重点事業並びに事業計画</p> <p>報告事項2 令和2年度収支予算</p> <p>4) 令和2年度富山県看護協会長表彰候補者について</p> <p>5) 令和2年度事業について</p> <p>(1) 研修について</p> <p>(2) 合同委員会について</p> <p>6) 公益社団法人富山県看護協会理事の報酬の改定について</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 令和元年度事業報告</p> <p>(1) 各委員会の年間活動報告</p> <p>(2) 各支部活動報告</p> <p>(3) その他の会議報告</p> <p>2) 令和2年度事業について</p> <p>(1) 「高校生の1日看護見学」について</p> <p>(2) 令和2年度「看護の日」表彰式</p> <p>(3) 「看護の日」新聞企画</p> <p>3 その他</p>

回	協 議 事 項 等
2	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和2年度新規会員の承認について</p> <p>2) 令和2年度富山県看護協会定時総会の運営(案)について</p> <p>3) 令和元年度決算報告(案)及び監査報告について</p> <p>4) 令和2年度事業について</p> <p>(1) 7月の教育研修の開催について</p> <p>(2) e-ラーニング訪問看護師養成講習会の開催について</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症に係る企業等からの受け入れについて</p> <p>5) 令和3年度事業について</p> <p>(1) 第31回「看護の日」フェスティバル日程</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 日本看護協会会議報告</p> <p>(1) 第1回理事会(Web会議)報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告</p> <p>(1) 会員数報告 令和2年5月10日現在 8,402名</p> <p>(2) 認定看護管理者教育課程について</p> <p>(3) 日本看護学会学術集会について</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症対策、感染症指定医療機関の情報交換会</p> <p>(5) ナースセンター事業実績報告</p> <p>(6) その他の会議等報告</p> <p>3 その他</p>
3	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 役員の選定について</p> <p>2) 委員会及び支部担当理事(案)について</p> <p>3) 令和2年度新規会員の承認について</p> <p>4) その他</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 日本看護協会会議報告</p> <p>(1) 第2回理事会(書面理事会)報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告 令和2年6月21日現在 8,476名</p> <p>(1) 会員数報告</p> <p>(2) 第51回学術集会(看護教育)について</p> <p>(3) 7月以降の研修会について</p> <p>(4) 委員会及び支部役員会の開催について</p> <p>(5) 富山市民病院における新型コロナウイルスの感染について</p> <p>3 その他</p> <p>令和2年度県要望事項について</p>
4	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和3年度県要望事項(案)について</p> <p>2) 令和2年度新規会員の承認について</p> <p>3) 令和2年度事業について</p> <p>(1) 令和3年度研修受講料事前納付制への導入について(案)</p> <p>(2) 「オンライン研修」検討会について(案)</p> <p>(3) 2020年度訪問看護総合支援センター試行事業について(案)</p>

回	協 議 事 項 等
4	<p>(4) 県新型コロナウイルス関係事業への協力について (案) (5) 富山県看護協会設立40周年以降の記念行事について (案)</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 日本看護協会会議報告 (1) 第2回理事会 (Web会議) 報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告 令和2年7月26日現在 8,722名 (1) 会員数報告 (2) 教育研修実施状況報告 (3) ナースセンター事業実績報告 (4) 認定看護管理者教育課程について (5) 2020年度開催日本看護学会学術集会について (6) その他の会議等報告 (7) 各委員会活動状況報告 (8) 各支部活動状況報告 (9) 後援・協力等依頼報告</p> <p>3 その他 新型コロナウイルス感染症に係る日本看護協会からの配布物品について</p>
5	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和2年度新規会員の承認について 2) 令和2年度事業について (1) 災害支援ナース派遣調整合同訓練 (案) について (2) 民間病院就職ガイダンスの開催 (案) について (3) 県内病院就職ガイダンスの開催 (案) について (4) 軽症者療養施設への看護師派遣 (案) について (5) 3職能4委員会合同研修 (案) について (6) 看護職員定着支援事業講演会の開催 (案) について (7) ワーク・ライフ・バランス推進事業報告会の開催 (案) について</p> <p>3) 令和3年度事業について (1) 総会・職能集会について</p> <p>4) その他</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 日本看護協会会議報告 (1) 第3回理事会 (Web会議) 報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告 令和2年9月27日現在 8,846名 (1) 会員数報告 (2) ナースシップ令和3年度継続手続きについて (3) 令和3年度県要望事項について (4) オンライン研修検討会について (5) 支部長会について (6) 日本看護学会学術集会について (7) 教育研修実施状況報告 (8) ナースセンター事業実績報告 (9) 訪問看護ステーションひよどり事業報告</p>

回	協 議 事 項 等
5	<p>(10) 訪問看護ステーションひよどり富山・居宅介護支援事業所ひよどり富山事業報告</p> <p>(11) 神明・五福地域包括支援センター事業報告</p> <p>(12) 訪問看護ネットワークセンター事業報告</p> <p>(13) その他の事業報告</p> <p>(14) 各委員会活動状況報告</p> <p>(15) 各支部活動状況報告</p> <p>(16) 後援・協力等依頼報告</p> <p>(17) その他の会議等報告</p> <p>(18) その他</p> <p>3 その他</p>
6	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和2年度新規会員の承認について</p> <p>2) 令和2年度事業について</p> <p>(1) 医療安全管理者に関する実態調査(医療安全委員会)(案)について</p> <p>3) 令和3年度事業について</p> <p>(1) 看護体験談募集(案)について</p> <p>(2) 第31回「看護の日」看護フェスティバル実施計画について(案)</p> <p>(3) 令和3年度「看護の日・看護週間」に関する取り組みについて(案)</p> <p>(4) 令和3年度執行部会・理事会日程(案)</p> <p>4) 令和3年度日本看護協会名誉会員・協会長表彰候補者(案)の推薦について</p> <p>5) 令和3年度通常総会における40周年感謝状贈呈者(案)</p> <p>6) その他</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 日本看護協会会議報告</p> <p>(1) 第4回理事会(Web会議)報告</p> <p>(2) 東海・北陸地区法人会員会報告</p> <p>(3) 地区別職能委員長会(Web会議)報告</p> <p>(4) 災害担当者会議(Web会議)報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告</p> <p>(1) 会員数報告 令和2年12月6日現在 8,882名</p> <p>(2) 令和2年度上半期決算報告</p> <p>(3) 新たな認定看護師のあり方検討会について</p> <p>(4) 認定看護管理者教育課程について</p> <p>(5) 日本看護学会-看護教育-学術集会報告</p> <p>(6) 教育研修実施状況報告</p> <p>(7) ナースセンター事業実績報告</p> <p>(8) 各委員会活動状況報告</p> <p>(9) 各支部活動状況報告</p> <p>(10) その他の会議報告</p> <p>3 その他</p>
7	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和2年度新規会員の承認について</p> <p>2) 令和2年度事業(案)について</p>

回	協 議 事 項 等
7	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度訪問看護に関する事業報告会及び集団指導（案）について (2) 令和2年度県内病院就職ガイダンス（案）について 3) 令和3年度事業（案）について <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育計画（案）について (2) 富山県看護研究学会（参加費の変更含む）（案）について (3) 職能集会の運営（案）について (4) 委員会の任務と諮問事項（案）について 4) その他 2 報告了承事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 日本看護協会会議報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 全国准看護師理事会議（Web会議）報告 2) 富山県看護協会事業報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員数報告 令和3年1月18日現在 8,809名 (2) 一般研修における申し込み方法及び受講料納付方法の変更について (3) 富山県看護協会駐車場の新規借り上げについて (4) オンライン研修検討会 (5) 災害支援ナース派遣調整事業報告 (6) 訪問看護総合支援センター試行事業中間報告 (7) 支部長会報告 (8) 研修会実施状況報告 (9) ナースセンター事業実績報告 (10) 各委員会活動状況報告 (11) 各支部活動状況報告 (12) その他の会議報告 3 その他
8	<ul style="list-style-type: none"> 1 協議承認事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 平成2年度新規会員の承認について 2) 令和3年度事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度重点事業・事業計画（案）について (2) 令和3年度収支予算（案）について 3) 令和3年度富山県看護協会定時総会（案）および職能集会（案）について 4) 令和4年度日本看護協会代議員、予備代議員の選出（案）について 5) その他 2 報告了承事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 日本看護協会会議報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第5回理事会（Web会議）報告 (2) 都道府県看護協会看護労働担当国会議（Web会議）報告 (3) 都道府県看護協会広報担当国会議（Web会議）報告 (4) B課程認定看護師教育機関の教育担当国会議（Web会議）報告 (5) 全国基礎教育担当役員会議（Web会議）報告 (6) 都道府県看護協会政策責任国会議（Web会議）報告 (7) 母と子のための地域包括ケアシステム推進会議（Web会議）報告 (8) 都道府県看護協会医療安全担当役員会議（Web会議）報告

回	協 議 事 項 等
8	2) 富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 令和3年3月15日現在 8,795名 (2) 研修会実施状況報告 (3) ナースセンター事業実績報告 (4) 各委員会・支部活動状況報告 (5) 後援・協力等依頼報告 (6) その他の会議等報告 3) その他 3 その他

令和2年度 職能委員会報告

◎保健師職能委員会活動報告

委員長 越坂裕子

1 開催回数 7回（研修会4回含まず）

2 活動目標

保健師の専門性を発揮するための資質の向上とネットワークの推進を図る。

テーマ：学ぶ、つながる、創造する

3 活動内容

1) 研修会

(1) 保健師・助産師職能委員会合同研修会（資料P187参照）

テーマ 「発達障害児への支援を学ぶ」

日時 令和2年8月22日（土）9：00～12：00

場所 富山県看護研修センター

内容 講義「発達障害の早期発見早期支援～発達障害児への支援を学ぶ～」

講師 富山県発達障害者支援センターほっぷ

相談支援専門員 永田 香奈子 氏

参加者 58名

(2) 特別企画 新型コロナウイルス感染症対策研修会（資料P184参照）

テーマ 「新型コロナウイルス感染症対策の基礎と保健師の役割を学ぶ」

日時 令和2年8月22日（土）13：30～16：20

場所 富山県看護研修センター

内容 講義Ⅰ「新型コロナウイルス感染症の基礎と保健所（厚生センター）と市町村との連携」

講義Ⅱ「保健事業における感染対策を見直し改善へ」

講師 講義Ⅰ 富山県高岡厚生センター 所長 守田 万寿夫 氏

講義Ⅱ 高岡市健康増進課 感染管理認定看護師 廣上 ひとみ 氏

参加者 26名

(3) 人材育成研修会（資料P185参照）

テーマ 「対象者のやる気や潜在能力を引き出すコーチングの考え方やスキルを学ぶ」

日時 令和2年10月31日（土）9：00～12：10

場所 富山県看護研修センター

内容 講義及び演習

「“問う”チカラLet's Tryコーチング

～相手の意欲と行動を引き出すために～」

講師 国際コーチ連盟（ICF）アソシエイト認定コーチ

ギャラップ認定ストレングスコーチ 遊道 直美 氏

参加者 24名

- (4) 保健指導ミーティング（資料P186参照）
 テーマ 「支援困難事例へのアプローチ」
 日 時 令和2年11月7日(土) 9:00～12:00
 場 所 富山県看護研修センター
 内 容 講義・グループワーク
 「現場で遭遇する処遇困難事例へのアプローチを学ぶ」
 講 師 富山県立大学看護学部地域看護学
 教授・博士（保健学） 越田 美穂子 氏
 参加者 42名

2) 日本看護協会保健師職能委員会活動

- (1) 東海北陸地区保健師職能委員会（令和2年10月2日）Web開催
 (2) 全国保健師職能委員会（令和3年3月11日）Web開催

◎助産師職能委員会活動報告

委員長 岡本里美

- 1 開催回数 7回（研修会4回含まず）
 2 活動目標

- 1) 妊娠期から子育て期までの切れ目のない看護・助産機能を強化する。
 2) 女性の生涯にわたる健康支援に向けた体制の現状を把握し、課題を発見する。
 3) 生命の大切さを子どもたちに伝える「いのちの教室」を活性化する。

3 活動内容

1) 「いのちの教室」活性化事業

目 的 助産師が県内の小・中学校へ出向いて命の大切さや生きる価値を子どもたちに伝える出前講座「いのちの教室」の活用を推進する。

- 方 法 (1) 「いのちの教室」申し込みについてのリーフレットを作成
 (2) 教育委員会（小中学校課）・保健所・厚生センターへ依頼文、利用相談申込書及びリーフレットを送付
 (3) 「看護とやま」を通じて協会員に向けて活用を依頼

2) 研修会開催

場 所 富山県看護研修センター

(1) J-CIMELSに沿った母体救急

日 時 令和2年7月4日(土) 13:00～16:00

講 師 富山県立中央病院 産婦人科医長 吉越 信一 氏

内 容 分娩前後に起こりうる急変に対する初期対応について講義

参加者 35名

(2) フリースタイル分娩の介助 産婦主体の助産ケアの提供

日 時 令和2年11月14日(土) 9:00～12:00

講 師 石川県助産師会 ひまわり助産院 石田 美幸 氏

恵愛みらいクリニック 彦野 亜希子 氏

内 容 フリースタイル分娩における直接介助と間接介助について講義及び演習

参加者 21名

(3) グリーフケア 赤ちゃんを失った母へのケアについて学ぶ
日 時 令和2年11月14日(土) 13:00～16:00
講 師 金沢医科大学看護学部 准教授 北濱 まさみ 氏
内 容 赤ちゃんを失った母親の心理とグリーフケアでの看護職の役割について講義
赤ちゃんのエンゼルメイクについて講義及び演習
参加者 39名

3) 保健師・助産師職能委員会合同研修(資料P187参照)
テーマ 発達障害児への支援を学ぶ
日 時 令和2年8月22日(土) 9:00～12:00
講 師 富山県発達障害者支援センターほっぷ
相談支援専門員 永田 香奈子 氏
内 容 発達障害児の特性と支援方法について講義
参加者 58名(保健師32名、助産師15名、看護師11名)

4) 「いのちの教室」実践報告(資料P188参照)
継続事業として実施しているが、新型コロナウイルス感染症流行のため前半に依頼がなく、後半に4施設の助産師により8件実践された。

5) 日本看護協会助産師職能委員会活動

- (1) 全国助産師職能委員長会(Web開催) 1回
- (2) 都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議(Web開催) 1回

◎看護師職能I委員会活動報告

委員長 千田昌代

1 開催回数 10回(研修会4回含まず)

2 活動目標

- 1) 病院における看護師クリニカルラダー運用の実際
- 2) コロナ禍における困難な状況での感染対策及び看護管理を情報共有する
- 3) 准看護師の進学支援
- 4) 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築に向けた3職能連携活動

3 活動内容

1) 看護師クリニカルラダー交流研修会(資料P189参照)

テーマ 他施設のクリニカルラダー進捗状況を共有し、自施設ラダーに活かす

日 時 令和2年11月6日(金) 13:30～16:00

場 所 富山県看護研修センター

内 容 (1) 講義「厚生連高岡病院のクリニカルラダーの紹介」

講師 厚生連高岡病院 副看護部長 堅田 知子 氏

「富山県済生会富山病院のクリニカルラダー紹介」

講師 富山県済生会富山病院 看護師長 浜松 めぐみ 氏

(2) グループワークおよびシンポジウム

支援者 富山県立中央病院 上席看護師長 中林 明子 氏

参加者 病院において教育に携わっている者、看護管理者、主任以上 41名

2) 新型コロナウイルス感染症情報交流会（資料P190参照）

テーマ 第2波に備えて今からできること

日時 令和2年9月28日(月) 13:30～16:00

場所 富山県看護研修センター

内容

(1) 講義

「COVID-19指定病院における感染対策について」

講師 黒部市民病院 感染管理認定看護師 能登 明子 氏

「COVID-19協力病院における感染対策について」

講師 厚生連滑川病院 感染管理認定看護師 宮坂 純香 氏

「COVID-19に対応した看護師の心のケアについて」

講師 富山赤十字病院 看護副部長 原 浩美 氏

(2) シンポジウム

上記講師3名

富山県立中央病院 看護部長 岡本 里美 氏

富山大学附属病院 副病院長・看護部長 三日市 麻紀子 氏

参加者 公的病院看護管理者およびCOVID-19感染者や疑似者に関わった
看護職 44名

3) 准看護師ステップアップ研修

テーマ 准看護師に対する情報共有と進学支援

日時 令和2年10月3日(土) 13:00～16:45

場所 富山県看護研修センター

内容

(1) 講義「感染対策について」

講師 富山県済生会高岡病院 感染管理認定看護師 松木 悠平 氏

(2) 講義「准看護師2年課程通信教育の取組みと支援」

講師 神戸常盤大学短期大学部 看護学科通信制課程

特任教授 高宮 洋子 氏

(3) 放送大学からのお知らせ

放送大学富山学習センター 広報・学生募集担当

(4) 「2年課程通教育卒業生の立場から」

富山城南温泉病院 教育主任

認知症看護認定看護師 盛田 大樹 氏

4) 看護職員資質向上実務研修の企画・運営

①肺炎予防について

令和2年7月2日(木)

講師：高岡市民病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 菅原 暁子 氏

富山市立富山市民病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 田中 順子 氏

②感染対策の基本、疾患と感染対策、施設の感染管理体制

令和2年7月9日(木)

講師：富山大学附属病院 感染管理認定看護師

青木 雅子 氏

③糖尿病患者の生活上の注意点と家族指導

令和2年7月30日(木)

講師：富山赤十字病院 糖尿病看護認定看護師 沢田 悦子 氏
④フィジカルアセスメントの基礎知識 令和2年8月27日(木)

講師：富山県済生会富山病院 集中ケア認定看護師 稲田 浩子 氏
富山大学附属病院 集中ケア認定看護師 佐藤 慎哉 氏
富山県立中央病院 集中ケア認定看護師 前坪 瑠美子 氏
富山市立富山市民病院 集中ケア認定看護師 島 佳子 氏

- 5) 日本看護協会看護師職能委員会活動
(1) 全国職能委員長会 (Web開催) 1回

◎看護師職能Ⅱ委員会活動報告

委員長 中島房代

1 開催回数 9回 (研修会3回含まず)

2 活動目標

- 1) 訪問看護・介護領域における資質向上とマネジメントスキル強化を図る
- 2) 訪問看護支援強化事業の支援活動
- 3) 病院・施設・在宅における看護職の連携強化
- 4) 3職能4委員会による地域包括ケアにおける看護提供体制の構築

3 活動内容

1) 研修会・交流会開催

(1) 看護職員資質向上実務研修の企画・運営

ロコモティブシンドロームの概念および現状・演習、転倒予防のリハビリテーション

日時 令和2年7月22日(水) 13:30～16:30

場所 富山県看護研修センター

講師 富山県立中央病院

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 松村 江美子 氏

参加者 21名 (14施設、会員6名、非会員15名)

(2) 福祉施設に望まれるハラスメント防止 (資料P192参照)

テーマ 患者、利用者、職員、家族からのハラスメントへの対応・事例をもとに学び、初期対応能力・苦情対応スキルをより高める

日時 令和2年9月5日(土) 13:30～16:00

場所 富山県看護研修センター

内容 講義 「ハラスメントのない職場づくり」

講師 ふくの若葉病院 看護部長 鍛冶本 秀子 氏

参加者 15名 (10施設14名、個人1名、うち非会員5名)

(3) 施設等における災害への日頃の備えと初動体制 (資料P193参照)

日時 令和2年11月28日(土) 13:30～16:00

場所 富山県看護研修センター

内容 ①講義「富山県の災害について」

講師 富山県総合政策局防災危機管理課 主幹 長嶋 賢治 氏

②講義「災害時の看護師の役割」

講師 厚生連高岡病院 医療安全管理部長 赤江 郁子 氏

参加者 29名（17施設28名、個人1名、うち非会員12名）

- (4) 新型コロナウイルス感染症対策情報交流会
令和3年1月23日(土)開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。事前アンケートについて講師より書面にて回答後、参加予定者36名に郵送した。

2) 在宅ケア事例検討会（資料P194参照）

4地区8ヶ所で開催、県内の訪問看護ステーションから事例提供し、医師・認定看護師がアドバイザーとして、的確な助言のもと、在宅医療を支える上で必要な知識・情報を交換し、多職種連携強化に繋げた。

3) 日本看護協会看護師職能委員会活動

- (1) 全国職能委員長会（Web開催）1回

◎3職能4委員会連携事業（資料P197参照）

- 1) 目的 日本看護協会の重点政策である「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」に基づき、複雑多重問題を抱えた支援事例をもとに看護職間連携による解決の方策について検討する。

2) 内容

日時 令和3年1月16日(土) 13:30～16:00

参加者 職能委員、地区支部委員 33名

場所 富山県看護研修センター

講師 富山県済生会富山病院 医療福祉相談室 室長補佐 中川 妙子 氏

方法 講義および事例紹介後、4～5名のグループで事例検討の視点に沿って検討

※職能集会および「看護の日」看護フェスティバル運営協力は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

令和2年度 委員会報告

◎総務委員会

委員長 橋場香

1 開催回数 7回

2 活動内容

1) 看護協会の組織強化に向けた取り組みとして、新規会員の加入促進

(1) 施設訪問：

未加入施設を中心に選出した。看護協会事務職員と協働し、訪問看護施設、療養型病院、中小病院、健康管理施設の計8施設を訪問した。

研修の要望や協会への意見などを収集し、看護協会事業についての理解と促進を図るとともに意見交換を行った。

(2) 出前講座：

昨年度に引き続き、組織強化に向けて実施した。今年度はコロナ禍で出向くことが困難であったため、新しい研修の取り組みとしてリモートでの出前講座を行った。急遽、研修方法の変更となったため1か所のみ行った。

講座内容は施設より要望のあった「新型コロナウイルスを含むすべての感染症に対し～環境清拭について～」のテーマで認定看護師と看護協会、研修施設をZ o o m中継した。また、出前講座と併せて看護協会のP Rと運営補助を行った。

講座終了後のアンケートによると、講座内容・時間など好評であった。看護協会を身近に感じていただく機会となった。

(3) 看護協会の教育研修会における入会促進：

研修会の前に看護協会の組織や活動内容の動画を流し、未加入者への入会促進を実施した。

2) 富山県看護協会定款及び諸規定の変更は無かった。

3) 「看護の日」新聞企画についての検討と取り組み

「看護の日」の新聞掲載テーマと内容、掲載写真について検討し、選定理由や事例とともに提案した。

(1) 新しい生活様式における認知症の人とその家族を支える

(2) 切れ目ない子育て支援

◎教育委員会

委員長 酒井和子

1 開催回数 6回（次年度教育計画企画委員会1回を含む）

2 活動内容

年間教育計画・実施・評価に関する審議・検討を行い、会員の資質向上を目的とし、以下の活動を行った。

1) 令和2年度研修会実施 28回33日間（コロナ禍により4回4日間中止となる）

(1) ラダーと連動した継続教育

①ニーズをとらえる力 心と命を守るゲートキーパー

- ②ケアする力 感染対策Ⅰ・Ⅱ、がん看護Ⅰ、糖尿病看護、褥瘡ケア、摂食嚥下、高齢者に多い疾患のケア、脳卒中看護、認知症ケア、せん妄、精神科訪問看護師育成研修
 - ③協働する力 新人看護職員研修Ⅰ（中止）、新人看護職員研修Ⅱ、コミュニケーション（中止）、地域包括ケアⅡ
 - ④意思決定を支える力 がん看護Ⅱ・Ⅲ、地域包括ケアⅠ
- (2) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
- リーダーシップ、コーチング
- (3) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育
- 新人看護職員研修責任者・教育担当者研修、新人看護職員実地指導者研修
- 2) DVD・オンデマンド活用研修 4回5日間（1回1日間中止）
- (1) DVD研修
- 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修改訂版2020
 - 認知症高齢者の看護実践に必要な知識
- (2) オンデマンド活用研修
- 終焉を迎える患者家族および看護職のケア
 - 都道府県看護協会における教育担当者向け研修（中止）
- 3) 令和2年度糖尿病重症化予防（フットケア）研修 1回3日間
- 4) 令和2年度看護職員認知症対応力向上研修会 1回3日間
- 5) 希望図書選定
- 戸村ひかり（著） よくわかる退院支援
 - 萱間真美（著） ストレングスモデル実践活用術
- 6) 令和3年度教育計画の新企画の検討
- (1) 子どもの虐待とネグレクトを予防する
 - (2) がん看護シリーズⅣ AYA世代特有の苦悩の理解と乳がん患者・家族への支援
- 7) 教育委員会マニュアルの見直し 研修担当者行動チェックリストを追記
- 8) オンライン研修への移行を検討

◎広報委員会

委員長 下村由美

- 1 開催回数 11回
- 2 活動内容

富山県看護協会機関誌「看護とやま」の発行、ホームページの更新

- 1) 「看護とやま」掲載記事の編集を行い4回発行
No.135（4月号）、No.136（7月号）、No.137（10月号）、No.138（1月号）
- 2) 今年度テーマは「互いを思い助け合う」とし、表紙は各施設の写真や活動内容を紹介
No.135池田リハビリテーション病院、No.136特定医療法人財団博仁会横田記念病院、No.137医療法人社団寿恵会つざわ津田病院、No.138高岡市福祉保健部健康増進課

3) 主な掲載記事

No.135・富山県看護協会定款第4章第15条4に基づき令和2年度富山県看護協会定時総会についてプログラム・議事等を掲載

・第51回日本看護学会・看護教育・学術集会の講演内容・プログラム掲載

No.136・令和2年度富山県看護協会定時総会報告

・特別企画「新型コロナウイルス感染症」に関する記事として富山県看護協会の活動内容を記載

No.137・令和3年度富山県予算に対する要望事項

・新企画「元気で活躍するプラチナナースの紹介」

・特別企画「感染管理認定看護師に聞く新型コロナ最前線」感染症指定医療機関及び協力医療機関の現場での取り組みを記載

No.138・令和2年度看護職員定着支援事業講演会報告

・助産師職能委員会「いのちの教室」活用のお願ひ

・災害看護委員会活動報告

・特別企画第2弾「新型コロナ最前線」新型コロナウイルス感染症情報交流会報告及び協力医療機関の現場での取り組み（かみいち総合病院、富山県済生会富山病院、富山赤十字病院）を記載

4) 新企画として「プラチナナース」の紹介と特別企画として「新型コロナウイルス」に関する記事を掲載

目的：働き方改革や高齢化に向けて、定年後も活躍している看護師を知ること
で今後の看護職の働き方について考える機会となる

新型コロナウイルス感染症対策の情報を提供することで、内容を共有し
自施設に活かすことができる

5) ホームページに関しては随時更新

◎社会経済福祉委員会

委員長 岩崎純一

1 開催回数 7回

2 活動内容

1) 医療勤務環境改善支援センター事業における看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業運営

(1) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業研修会（WEB講演）

日時 令和2年8月18日(火) 14:15～16:00 参加者38名

場所 富山県看護研修センター

講演 「勤務間インターバルについて」

藤田医科大学病院 看護部長 眞野 恵子 氏

内容 受付、会場、記録係、司会進行を担当

研修後のアンケートの作成

委員として研修参加

(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会（WEB講演）

日時 令和2年12月9日(水) 13:00～16:00 参加者47名

場所 富山県看護研修センター

講演 「働き方改革-みんながWinWinな組織を目指して-」

加藤看護師社労士事務所 社会保険労務士 加藤 明子 氏

内 容 受付、会場、記録係、司会進行を担当
研修後のアンケートの作成
委員として研修参加
ワーク・ライフ・バランス推進事業報告会報告書の作成

2) 看護職員定着支援事業講演会

日 時 令和2年11月21日(土) 13:00～16:00 参加者49名

場 所 富山県看護研修センター

講 演 「対応困難なスタッフとの関わり方」

富山大学 人間発達科学部 准教授 水内 豊和 氏

「事例を通して学ぶ対応困難なスタッフに対する職場支援の在り方」

富山県発達障害者支援センター 副センター長 北川 忠 氏

内 容 受付、会場、記録係、司会進行を担当

研修後のアンケートの作成

委員として研修参加

看護職員定着支援事業講演会の報告書の作成

3) ワーク・ライフ・バランス推進のための広報活動

広報誌「看護とやま」(No.138)に11月開催の「看護職員定着支援事業講演会」活動内容を掲載した。

◎看護倫理委員会

委員長 荻野博美

1 開催回数 7回(研修会3回を含まず)

2 活動内容

県内看護師の倫理的感性を高めることを目的に倫理研修の企画・運営・支援をしている。

1) 看護倫理Ⅰ・Ⅱの研修企画・運営・支援

(1) 看護倫理Ⅰ 令和2年9月18日(金) 参加者40名

ねらい：看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる

日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる

(2) 看護倫理Ⅱ 令和2年10月16日(金) 参加者56名

ねらい：看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎知識を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び自施設の活動に活かす

看護倫理Ⅰは、受講者の身近な事例から倫理原則について学ぶことができた。

看護倫理Ⅱは、倫理カンファレンスの効果的な進め方を学ぶことができた。

2) 看護管理者看護倫理交流会企画・運営・支援

日 時：令和2年11月27日(金) 10:00～16:00 参加者27名

ねらい：看護の現場で起きている倫理課題に対応でき解決する能力を養う

臨床倫理の基礎知識と症例を通して倫理コンサルテーションの実施方法を学ぶことができた。

※今回は新型コロナウイルス禍のため、受講人数を制限し感染予防対策に努めた研修会とした。

- 3) 令和3年度看護倫理Ⅰ・Ⅱの研修企画(案)
- 4) 令和3年度看護管理者看護倫理交流会企画(案)

◎医療安全委員会

委員長 富崎真由美

1 開催回数 6回(研修会6回を含まず)

2 活動内容

1) 医療安全研修会の企画及び運営 6回8日間

(1) 医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策 半日×2回

令和2年8月24日(月) AM 参加者46名

令和2年8月24日(月) PM 参加者34名

(2) 医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法 2回開催

令和2年9月16日(水) 参加者43名

令和2年10月5日(月) 参加者44名

(3) 医療安全対策Ⅲ ImSAFER分析Basic2日コース

令和2年12月14日(月)・15日(火) 参加者34名

(4) 医療安全の観点からのリスクマネジメント 3日間シリーズ(1日受講も可能)

令和2年8月13日(木) 参加者37名

令和2年8月20日(木) 参加者40名

令和2年9月14日(月) 参加者39名

2) 令和3年度医療安全研修会の企画の検討

医療安全対策Ⅲの研修内容について見直し、講師とテーマを変更する

3) 医療安全活動の推進に向けて

平成30年より取り組んできたカリウム製剤のワンショット静注禁止活動として「カリウム製剤の正しい取り扱い」の教材DVDを作成した。新人看護職員をはじめ、県内の看護職員を対象に視聴できるよう環境を整えホームページに掲載した。

4) 医療安全管理者・推進者のための交流会について検討

各施設に配属している医療安全管理者(医療安全推進者を含む)同士で、情報共有をするためのネットワークづくりを検討し、公的病院を対象に実態調査を実施した(配布施設25施設、回収数24名)。その結果、ネットワークづくりの要望が高かったことから医療安全の質向上のための交流会を実施予定。

◎災害看護委員会

委員長 樋口正樹

1 開催回数 4回(研修会2回を含まず)

2 活動内容

1) 災害訓練参加(今回コロナ感染症にて県防災訓練は机上とし、委員の参加なし)

(1) 富山県原子力防災訓練 令和2年11月8日(日) パレブラン高志会館

今年度は住民参加の訓練は実施されず、安定ヨウ素剤について、安定ヨウ素剤配布の流れと救護所における対応について講義を受けた。災害看護理事と看護協会職員の2名が参加した。

(2) 災害支援ナース派遣調整合同訓練 令和2年12月8日(火)～10日(木)
青森県八戸市東方沖で発生したM9.0の地震を想定し実施。発災を受け、看護協会からの招集で訓練に参加した。招集後、被災県からの情報収集を行い、協会での本部立ち上げと役割分担を行う。訓練参加16施設へ情報を共有した。災害支援ナース32名の候補者リストを日本看護協会へ送信した。14施設18名の派遣要請を受けて調整を行った。今回の訓練では新型コロナウイルス感染症防止対策も含めて考えた。

2) 災害看護研修会の運営

(1) 日本看護協会主催DVD研修 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～

令和2年7月20日(月)・21日(火) 参加者27名(コロナ対応のため人数制限)

(2) 災害看護(フォローアップ編)

福井大学医学部看護学科 災害看護学 教授 酒井 明子 氏

令和2年10月2日(金) 参加者16名(コロナ対応のため人数制限)

3) 新型コロナウイルス感染症対策

災害支援時(受援)新型コロナウイルス感染対応指針を制作した。

4) 富山県の災害時受援マニュアル検討

他県の災害派遣マニュアルを参考に富山県における派遣要請手順や受け入れ体制の整備連絡体制等のマニュアルを作成した。

◎学会委員会

委員長 小林孝子

1 開催回数 5回(研修会6回を含まず)

2 活動内容

1) 看護研究の研修企画・運営

(1) 看護研究Ⅰ(楽しく学ぶ初めての看護研究) 1日コース1回

令和2年5月8日(金)、5月15日(金) 中止

令和2年9月8日(火) 参加者59名

(2) 看護研究Ⅱ(進めよう看護研究) 2日コース3回

令和2年7月15日(水)・17日(金)、7月29日(水)・31日(金)

令和3年2月1日(月)・2日(火) 参加者計99名

(3) 看護研究Ⅲ(質的・量的研究の分析を学ぼう!) 1日コース1回

令和2年7月3日(金) 参加者35名

(4) 看護研究Ⅳ(迷わない研究サポート) 1日コース1回

令和2年9月4日(金) 参加者38名

COVID-19感染拡大の恐れがあるとして、5月の看護研究Ⅰは中止となった。その後の研修に関しては感染防止に努め、一部運営方法を変更し開催した。研修内での感染の報告はなかった。看護研究Ⅰに参加できなかった受講生が看護研究Ⅱに参加し、研修内容についていけず個人ワークがはかどらない受講生が半数見受けられた。また、グループワークに対し感染の不安を感じている受講生がいた。看護研究Ⅲの質的研究と量的研究を同時に行うのは困難と講師からの要望があった。次年度からは質的研究と量的研究を分けて隔年毎の開催で検討することになった。

2) 富山県看護研究学会の企画・運営

- (1) 令和2年度日本看護協会主催の教育学会開催に合わせ、富山県看護研究学会は開催せず。今後の富山県看護研究学会開催に備え、1年間のタイムスケジュールを作成した。令和3年度開催に向けて会場の選定と日時を決定。会場変更や感染防止策のための運営変更に伴い今後の検討事項の洗い出しを行った。
- (2) 看護研究学会の係員必携の見直しを行った。

◎選挙管理委員会

委員長 長美千代

- 1 開催回数 5回
- 2 活動内容

公益社団法人富山県看護協会役員及び公益社団法人日本看護協会代議員等の選挙に関する事務活動

1) 当選者の公表

令和2年度公益社団法人富山県看護協会役員及び令和3年度公益社団法人日本看護協会代議員等の選挙結果（無投票当選）について「看護とやまNo.136」7月15日号に掲載

2) 選挙録の作成

3) 選挙公示

令和3年度公益社団法人富山県看護協会役員及び令和4年度公益社団法人日本看護協会代議員等の公募について「看護とやまNo.138」1月15日号に掲載

4) 立候補者及び推薦候補者公示について「看護とやまNo.139」4月30日号に掲載

5) 選挙手順書の確認

- ・ 選挙時、看護協会総会での選挙管理委員の役割を確認
（準備～選挙当日までの行程を確認）
- ・ 総会参加者による投票を支障なく実施するため、選挙当日の手順書内容を確認

◎推薦委員会

委員長 浦田裕未

- 1 開催回数 6回
- 2 活動内容

1) 公益社団法人日本看護協会定款及び定款細則について読み合わせ （定款第1章から附則まで）

2) 公益社団法人富山県看護協会役員等の推薦及び推薦委員会に関する規程について読み合わせ（目的から附則まで）

3) 公益社団法人富山県看護協会職能委員会規程の読み合わせ（目的から附則まで）

4) 公益社団法人富山県看護協会選挙及び選挙管理委員会に関する規程について読み合わせ（目的から附則まで）

5) 地区別施設及び会員数一覧の見直し

6) 公益社団法人富山県看護協会役員等について

令和3年度役員の推薦候補者を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出

- 7) 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員について
令和4年度代議員・予備代議員を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
- 8) 令和3年度推薦委員及び職能委員の選出施設の検討
- 9) 令和3年度推薦委員及び職能委員の候補者を選出

令和2年度 支部活動報告

◎黒部・魚津支部

支部長 江田昌江

1 支部研修会

新川厚生センター主催で令和2年7月に介護職員等を対象とした感染症対策研修会が行われた。各病院等でも同様の院内研修は行われていたが、季節性インフルエンザ等冬季の感染症の流行に向けて、看護職を対象とした研修会を行った。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会員の参加数を制限し、感染対策を徹底して研修会を開催した。

講義「新型コロナウイルス感染症対策 ～冬季感染症流行に向けて～」

黒部市民病院 感染対策室 感染管理認定看護師

看護師長 能登 明子 氏

終了後のアンケートからは「新型コロナウイルスに関する情報が日々発信されているが、新しい情報や具体的な対応を聞くことができた」「改めて基本が一番大切であると実感した」「再度職場のスタッフと共有し、感染対策を徹底させたい」等、様々な意見や感想が聞かれた。基本的な感染症対策を押さえることができ、タイムリーな内容の研修であったことが良かったのではないかと思う。

2 地域のニーズに応じた看護活動

新型コロナウイルス感染症に関するリーフレットを作成し、特に重症化しやすい高齢者を対象に新川管内の保健センター等に配布した。新型コロナウイルスとインフルエンザの類似点や症状の違い、基本的な感染対策、予防接種の勧め等、わかりやすい内容に努めた。インフルエンザの流行に併せ10月～12月に配布した。単にリーフレットを配布するのではなく、健康教育や健康相談会に併せ、高齢者の疑問や不安に対応しながら活用した。

新型コロナウイルス感染症の影響で感染症に対する関心が高く、今季はインフルエンザ予防接種が思いのほか早く終了した。もう少し配布時期を早くするべきだったと反省している。

◎富山支部（東支部、北支部、西支部、南支部）

富山東、富山北支部長 高嶋 峰子

富山西、富山南支部長 相澤 幸子

1 支部研修会

今年度は、富山県内の新型コロナウイルス感染状況により研修受け入れ人数を制限し、4支部合同で子育て支援連携とコロナ禍における在宅医療の理解を目的に2回開催した。

1) 富山市における子育て支援をテーマとした。母子保健と児童虐待の相談・支援体制を強化するために創設された富山市こども家庭部こども健康課主幹 若松裕子先生より、切れ目ない子育て支援体制の強化に取り組みされた効果についてご講義をいただいた。子育て世代の包括支援センターや地域での子育て支援について理解することができた。

2) コロナ禍における在宅医療をテーマとした。やまだホームケアクリニック理事長 山田毅先生よりご講義いただいた。コロナ禍での在宅医療の現状、課題等の実態を理解することができた。今後、ICT活用を図り、更に地域包括ケアシステム推進に向けて取り組む必要を学んだ。

いずれも、地域のなかで暮らす人々を中心に、組織を越えて連携することが重要である。

2 地域のニーズに応じた看護活動

例年、看護職員の在宅医療体験実習や「いきいきとやま・健康と長寿の祭典」等での健康チェック・看護協会PR等を行っていたが、富山県内の新型コロナウイルス感染状況により、今年度は開催することができなかった。今後、感染状況を見ながら、地域のニーズに応じていく。

3 「まちの保健室」事業

例年、健康チェックを看護フェスティバルや富山市内のショッピングセンターで行っていたが、富山県内の新型コロナウイルス感染状況により、今年度は開催することができなかった。今後、コロナ禍における市民の身体的・精神的・社会的影響へのフォロー等、ニーズに応じていく役割があり、地域の要望に応じていきたい。

◎上市支部

支部長 岡部陽子

上市支部では、地域包括ケアの推進に向けた活動として、行政と医療・看護の連携強化を図ることを目的に研修会等を開催した。

1 支部研修会

講義①「医療を取り巻く環境の変化と看護職の役割」

富山県看護協会 会長 松原 直美 氏

②「地域医療構想と新型コロナウイルス対応について」

富山県中部厚生センター 所長 長瀬 博文 氏

③「人生会議（ACP）について」

かみいち総合病院 看護師長代理 緩和ケア認定看護師 水野 博美 氏

地域医療や新型コロナウイルス感染症への対応を学ぶとともに、生活を重視した保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の重要性を再認識した。

参加者からは、「これからの看護職の役割や方向性が理解できた」「地域医療の取り組みや新型コロナウイルス感染症対応についての知識を再確認した」「改めて意思決定支援を振り返ることができた」などの意見が聞かれた。

2 「まちの保健室」事業

「なめりかわ市民健康講演会」に合わせて開催し、健康相談等を実施した。

※今年度は新型コロナウイルス感染症対応により、上記以外の活動は中止

◎高岡・射水・氷見支部

支部長 松島淳子

今年度より高岡医療圏域の高岡・射水・氷見支部に新編成となった。当初の予定を大幅に変更し新型コロナウイルス感染症予防について保健・医療・福祉・介護等におけるそれぞれの専門職が情報共有し、自施設で活かすための研修会を1回行った。研修会は感染予防の

観点から感染対策を遵守しながら安全に実施できるように時間短縮、人数制限などを行った。

1 支部研修会 参加者43名

テーマ「新型コロナウイルス感染症に関する情報交換会」

講演と意見交換を行った。2名の講師よりコロナ感染予防の実務向上、支援体制の構築について有効な説明をしていただいた。グループワークによる有効な情報交換会ができた。

1) 講演「新型コロナウイルス感染症の現状と対策」

富山県高岡厚生センター 所長 守田 万寿夫 氏

2) 「新型コロナウイルス感染症に関する現場の困りごとを解決」

グループワーク 各グループに質問用紙配布 Q & A 形式

アドバイザー 高岡市医師会 感染管理認定看護師 廣上 ひとみ 氏

2 地域のニーズに応じた看護活動

感染管理に関する電話相談窓口を設置し、保健医療福祉の最前線で患者のケアにあたっている看護職や看護管理者、福祉施設の方からの相談を受けた。50施設に電話相談ポスターを配布した。

3 「まちの保健室」事業

高齢者のフレイル予防のため、老人会等の公民館活動を感染予防の観点から支援する計画を立て、高岡市高齢介護課に広報してもらったが支援依頼がなく実施に至らなかった。

4 「看護の日」及び看護週間における「1日まちの保健室」事業

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により中止した。

◎砺波・小矢部支部

支部長 塚本奈穂美

砺波医療圏の身近な話題に関心を持ち、行政と医療・看護の連携強化及びネットワークの構築を図る事を目的に活動を行った。

1 支部研修会 参加者43名

富山県看護協会長による「医療を取り巻く環境の変化と看護職の役割」、砺波市健康センター保健師による「健康寿命延伸のためのポピュレーションアプローチ」について研修会を開催した。

これからの看護師としての役割は、「医療」と「生活」の両方の視点を持ち、医療・介護などのサービス全体を統合的にマネジメントすること、常に予防的視点に立ち、その人の生きる力を見つけ引き出しながら支援することである。生活を重視した、保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護力が求められている。また、行政の活動として特定健診の結果から、壮年期からすでに糖尿病の人が増えており、将来を見据えて誰でも簡単に取り組める「となベジプロジェクト」の紹介があった。参加者から、まずは自分・家族・職場でも取り組みたいという意見が聞かれた。

2 地域のニーズに応じた看護活動

今年は、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、地域で正しいマスクの着用について、支部役員による体験講座を実施した。 7会場 参加者142名

地域から依頼を受けた出前講座にあわせて実際にマスクの着用、外し方、処分の仕

方、布マスクと不織布の使い分けなど興味深く聞いていただいた。参加者からはマスクの裏表やヒダの向きなど質問された。

普段、入院等で出会う高齢者とは違う地域の元気な高齢者のお話を直接聞く機会もよかった。看護職が生活の視点をもつきっかけとして地域での関わりに積極的に参加することは大事なことであると感じた。

1 支部研修会

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	10月頃 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	新川文化ホール	-	・講義「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 松原 直美 ・講演「看護とユマニチュード」 講師 検討中
	11/17(火) 18:30～19:45	黒部市国際文化センター コラーレ	46	感染症対策研修会 ・講義「新型コロナウイルス感染症対策 ～冬季感染症流行に向けて～」 講師 黒部市民病院 感染対策室 感染管理認定看護師 看護師長 能登 明子
富山4支部 合同	10/31(土) 14:00～15:30	富山県看護研修センター	54	担当：富山西支部、富山南支部 ・講義「富山市における切れ目ない子育て支援について」 ～他機関との連携を中心に～ 講師 富山市子ども家庭部子ども健康課 主幹 若松 裕子
	11/14(土) 14:00～16:00	富山県看護研修センター	38	担当：富山東支部、富山北支部 ・講義「新型コロナ禍における在宅医療について」 講師 やまだホームケアクリニック 理事長 山田 毅
上 市	9/12(土) 9:30～11:45	富山県看護研修センター	31	・講義「医療を取り巻く環境の変化と看護職の役割」 講師 富山県看護協会 会長 松原 直美 ・講義「地域医療構想と新型コロナウイルス対応について」 講師 富山県中部厚生センター 所長 長瀬 博文 ・講義「人生会議（ACP）について」 講師 かみいち総合病院 看護師長代理 緩和ケア認定看護師 水野 博美
	11月上旬(土) ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	かみいち総合病院	-	たてやまつるぎ在宅ネットワーク研修会と共催 ・講義「検討中」
高岡・射水・ 氷見	9月頃 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	医療法人真生会 真生会富山病院	-	・講義「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 松原 直美 ・講演「口腔ケアから食べることに（仮）」 講師 真生会富山病院 医師 稲田 雅一
	10/17(土) 10:00～12:15	射水市 救急薬品市民交流プラザ	43	富山県高岡厚生センター共催 新型コロナウイルス感染症に関する情報交換会 ・講演「新型コロナウイルス感染症の現状と対策について」 講師 富山県高岡厚生センター 所長 守田 万寿夫 ・情報交換会 アドバイザー 高岡市医師会 感染管理認定看護師 廣上 ひとみ コロナ感染予防の実務向上、支援体制の構築について有効な説明をしていただいた。グループワークは有効な情報交換会となった。 50施設に支部だよりを配布した。
砺波・小矢部	10/17(土) 10:00～11:30	砺波まなび交流館	43	・講演「医療を取り巻く環境の変化と看護職の役割」 講師 富山県看護協会 会長 松原 直美 ・講演「健康寿命延伸のためのポピュレーションアプローチ」 講師 砺波市健康センター 主査 山田 美紀
	10月頃 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	市立砺波総合病院	-	・講義「在宅生活を支援している福祉サービスについて」 講師 砺波市社会福祉協議会 在宅生活を支援している福祉サービスなど、社会福祉協議会で実施している事業について学ぶ。

2 地域のニーズに応じた看護活動

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容	
黒部・魚津	10月～12月	新川管内	1,000部	新型コロナウイルス感染症に関するリーフレットを配布し、感染予防について啓発 ・高齢者サロン、介護予防事業、健康教室・相談会等で配布 ・黒部市300部、入善町300部、魚津市300部、 富山県新川厚生センター・支所100部	
富山地区	富山地区 合同	7月～11月 ※新型コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	富山市まちなか総合ケアセン ターまちなか診療所、 やまだホームケアクリニック	-	担当：富山東支部、富山北支部 ・在宅医療体験実習 富山市まちなか総合ケアセンターまちなか診療所、 やまだホームケアクリニックにて在宅療養体験
	富山東 富山北	10/22(木) 10:00～16:00 ※新型コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	富山県民会館	-	「いきいきとやま・第33回健康と長寿の祭典」で実施 ・健康チェック（血圧測定、体重・体脂肪測定） ・健康相談 ・看護協会PRグッズ、パンフレットの配布
	富山西 富山南	10/23(金) 10:00～16:00 ※新型コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	富山県民会館	-	「いきいきとやま・第33回健康と長寿の祭典」で実施 ・健康チェック（血圧測定、体重・体脂肪測定） ・健康相談 ・看護協会PRグッズ、パンフレットの配布
		11月 ※新型コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	富山市総合体育館	-	「高齢者スポーツ大会」で実施 ・健康チェック（血圧測定、体重・体脂肪測定） ・健康相談 ・健康に関する啓蒙、パンフレットの配布
	上 市	9月～10月 ※新型コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	滑川市、舟橋村	-	高齢者参加事業等における ・血圧測定 ・健康相談 ・介護予防等健康教室 ・レクリエーション
高岡・射水・ 氷見	10月～ 令和3年6月	電話、メール	3件	感染管理に関する電話・メール相談窓口を設置 ・50施設に電話相談ポスターを配布 （高岡・射水・氷見支部の会員が在籍する医療機関及び施設等） ・保健医療福祉の最前線で患者のケアにあたっている看護職や 看護管理者、福祉施設の方から相談を受けた。	
砺波・小矢部	11/4(水) 11/5(木) 11/6(金) 11/6(金) 11/19(木) 12/1(火) 12/7(月)	南砺市地域包括支援センター 富山県砺波厚生センター 砺波市福祉センター北部苑 国立病院機構北陸病院デイケア 南砺市地域包括支援センター 砺波市健康センター ビスケットデイサービスかいぐん	20 16 16 15 20 30 25	各医療機関の出前講座や家族教室内で実施 「新型コロナウイルス感染症の予防」 ～やってみよう 正しいマスクの着用について～	

3 「まちの保健室」事業

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	8月下旬 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	入善町健康交流プラザ・ サンウエル	-	「サンウエルdeフェスタ」(健康フェスタ)に併せて実施 ・生活習慣病相談 ・血圧測定 ・体脂肪測定 ・咀嚼力チェック ・ちびっこナース記念撮影
	10月中旬 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	魚津テクノスポーツドーム ありそドーム	-	「魚津産業フェア・〇〇魚津」に併せて実施 ・生活習慣病相談 ・血圧測定 ・体脂肪測定 ・咀嚼力チェック ・ちびっこナース記念撮影
富山4支部 合同	通年 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	市内、病院等	-	市内、病院、行事に合わせて健康チェックを実施
	10月 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	アピタ富山店	-	担当：富山西支部、富山南支部 薬剤師会との協賛(肺年齢測定、お薬相談) ・健康相談 ・健康チェック血圧測定、体重・体脂肪測定、血管年齢測定、骨密度測定、 肌年齢) ・看護グッズの配布
富山西南	R3.2月 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	富山市婦中ふれあい館	-	「生涯フェスティバル」で実施 ・健康相談 ・健康チェック血圧測定、体重・体脂肪測定、血管年齢測定、骨密度測定、 肌年齢) ・看護グッズの配布
上 市	11/5(木) 12:50~13:50	滑川市民交流プラザ	80	「なめりかわ市民健康講演会」に併設(滑川市医師会・滑川市共催) ・健康相談コーナー 血糖検査、血圧測定、体脂肪測定、食育・栄養相談、 水分チェック
	未定 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	立山町 場所未定	-	「1日元気デー」に併設 町保健師、在宅保健師、健康づくりボランティア、介護予防サポーター ・健康相談および健康チェック 血圧測定、体脂肪測定、血管年齢測定、骨密度測定、 足指力測定、口腔機能チェック
	未定 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	上市町 場所未定	-	「生き生き健康フェスティバル」に併設 ・健康相談および血圧測定
高岡・射水・ 氷見	※支援依頼がなく 実施せず	公民館等	-	高齢者のフレイル予防のため、老人会等の公民館活動を感染予防の観点から支援する計画を立て、高岡市高齢介護課に広報してもらった。
砺波・小矢部	8月 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	イオンモールとなみ 2階催事場	-	担当：市立砺波総合病院 ・健康チェック ・健康相談
	11月 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止		-	担当：南砺市民病院・公立南砺中央病院 ・健康チェック ・健康相談
	R3.2月 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止		-	担当：北陸中央病院・国立病院機構北陸病院 ・健康チェック ・健康相談

4 「看護の日」及び看護週間における「1日まちの保健室」事業

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	5/9(土) 10:00~12:00 ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	黒部ショッピングセンター メルシー	-	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病相談 血圧測定 体脂肪測定 健康相談 咀嚼力チェック ・ちびっこナース記念撮影 ・疾患に関するリーフレット配布 ・看護グッズ配布 ・花のプレゼント
富山4支部 合同	5/2(土) ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	グランドプラザ	-	<ul style="list-style-type: none"> 担当：富山東支部、富山北支部 ・相談コーナー 健康相談 育児相談 更年期・思春期相談 ・健康チェック 血圧測定 体重・体脂肪測定 血管年齢測定 ・「看護の日」グッズ配布
上 市	5/9(土) ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	上市ショッピングタウン バル	-	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談 血圧測定 体脂肪測定 骨密度測定 血管年齢測定など リーフレット配布 ・ハンドマッサージ ・「看護の日」チラシ、グッズ配布し、PR活動
高岡・射水・ 氷見	5/10(日) ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	イオンモール高岡	-	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧測定 ・体脂肪測定 ・血管年齢・ヘモグロビン測定 ・肺活量測定 ・健康相談、食事指導等 ・看護協会啓蒙グッズによる看護協会活動のPR
砺波・小矢部	5/9(土) ※コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	イオンモールとなみ 催事場	-	<ul style="list-style-type: none"> 「看護の日」イベントを通して、各施設のネットワーク作りにも活かし、支部役員が合同で企画し院外で事業を開催する。 ・テーマ「未定」

新型コロナウイルス感染症関連報告

新型コロナウイルス感染症の対応を振り返って	41
新型コロナウイルス感染症の動向と富山県看護協会の対応	42
軽症者宿泊療養施設に係る協力について	45
新型コロナウイルス感染症対策に係るご支援並びに寄付金	46
全国学会・研修における新型コロナウイルス感染症の影響	47

『新型コロナウイルス感染症の対応を振り返って』

2019年中国・武漢市で初めて発生が確認されたCOVID-19感染症は、2020年パンデミックとなる深刻な事態を引き起こした。日本においても都市部を中心に感染が拡大し、医療崩壊の危機に直面し緊急事態宣言が発出された。

富山県においても2020年3月30日に初の感染者を確認し、第一波227人（2020年3月～5月）、第二波195人（2020年7月～10月）、第三波516人（2020年10月末～2021年3月31日時点）とクラスターや患者対応に追われた。

当初は未知の状況に直面し、感染リスクの高さが医療従事者への偏見につながり、感染患者を受け入れる施設の看護師やその家族に向けられることもあった。また、感染患者の対応にあたる看護師の健康管理と長時間ストレスにさらされることに対するメンタルサポートの重要性も浮かび上がった。

富山県看護協会は、病院等に対して新型コロナウイルス感染症対策、感染症指定医療機関の情報交換会を2回実施し、県民に対して地方紙の北日本新聞に「医療現場からのお願いです。」を5月いっぱい掲載、会員に対して広報紙「看護とやま」No136、No137、No138に新型コロナウイルス感染症の特別企画や各職能委員会が研修を2回実施した。

また、富山県の新型コロナウイルス感染症対策協議会、アフターコロナ時代を見据えた経済社会構想検討会議に定期的に協会長が出席している。

そして、富山県と「新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設における健康管理及び感興整備等業務委託契約書」を取り交わし、県内の病院や看護学校の協力を得ながらカナルパーク、玄猿楼、東横インへ看護師を派遣した。派遣に際しては県内の医療機関、学校・養成所から多大な協力を得て、3月31日時点で延べ544人の協力承諾があった。そして、宿泊療養施設入所者237人に対し延べ344人が実働した。新型コロナウイルス感染症に対して偏見のある中、職場や家族の理解を得ながら協力していただき深く感謝申し上げる。

2020年度の重点政策・重点事業の一番目である第51回日本看護学会-看護教育-学術集会開催も2年越しで準備を進めてきたが、大阪府、香川県、山形県、富山県の4会場合同のWeb学会に変更となった。Web学会参加者は7,701名で、看護教育の講演等の視聴回数は合計9,954回で盛会裏に終了した。

研修センターの環境整備は「認定看護管理者教育課程における新型コロナウイルス感染対策マニュアル」に準じて消毒と清掃を実施し、長期研修である認定看護管理者教育課程セカンドレベル、ファーストレベルや富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会も無事修了を迎えることができた。一般研修においても中止8件、人数制限24件、開催日の変更2件、再募集8件リモートへの変更等と対応し順調に実施する（終了を迎える）ことができた。ただし、県内就職ガイダンス、「看護の日」看護フェスティバル、総会等は中止や縮小せざるを得ないものもあった。

そのようなコロナ禍の中、県内外から頂いた支援物資や寄付は、私達看護職への熱いエールとなっている。これからも私達は、長期となるコロナ禍に対して新たな行動へつなげていきたい。

新型コロナウイルスの動向と富山県看護協会の対応（時系列）

年	月/日	政府・富山県等感染症関連の動向	富山県入院患者数のピーク	宿泊療養施設入所者・退所者のピーク	富山県看護協会対応
2020年	1月6日	・厚労省：中国武漢で非定型肺炎の集団発生に係る注意喚起			
	14日	・WHO：新型コロナウイルスを確認			
	15日	・日本国内初の感染者確認			
	17日	・厚労省：新型コロナウイルスに関連した肺炎患者の発生に係る注意喚起			
	24日	・WHO：「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当しない			
	30日	・WHO：「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」宣言 ・閣議決定：新型コロナウイルス感染症対策本部の設置・開催 ・富山県：新型コロナウイルス感染症対策本部会議設置・開催			
	2月3日	・ダイヤモンド・プリンセス（3,711人）が横浜港入港 3月1日下船完了 721人感染、13人死亡			
	3月9日	・専門家会議：密閉、密集、近距離での会話や発生の3条件が重なる場所（のちの「3密」）を避けるよう国民に求める			
	11日	・WHO：感染拡大をパンデミックと認定			
	24日	・五輪・パラリンピックの1年延期が決定			
26日	・政府対策本部を設置 ・富山県 新型コロナウイルス感染症対策本部設置				
30日	・国際オリンピック委員会（IOC）：来年の東京五輪について、7月23日に開会、8月8日に閉会と決定 ・富山県内初の感染者を確認			・3/31 第1回新型コロナウイルス感染症対策協議会 看護協会長出席	
4月7日	・政府 緊急事態宣言を7都道府県に発出			・4/6 執行部会議で新型コロナウイルス感染症に関する人員確保、物品確保、相談窓口、県要望を検討	
9日	・富山県：新型コロナウイルス感染症対策協議会ワーキンググループの設置			・4/8 日本看護協会新型コロナウイルス感染症対応に関する質問に回答	
13日	・富山県：新型コロナウイルス感染症対策本部、常設の対策本部事務局を設置			・4/10 第1回新型コロナウイルス感染症対策協議会 指定医療機関の情報交換会	
14日	・フェーズに関係なく重症者は富山県立中央病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院の3病院で受け入れる ・厚労省新型コロナウイルス感染症対策推進本部より4/2付の「新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養マニュアル」送付			・看護職員からの電話相談の対応	
16日	・富山県宿泊療養施設募集 ・緊急事態宣言全国に拡大			・4/15 第2回新型コロナウイルス感染症対策協議会 看護協会長出席	
17日	・富山県：緊急事態措置（4/17～5/31）			・「新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養マニュアル」を参照し、ガイドライン作成	
25日	・富山県：宿泊療養施設開設 4/25～6/30オークスカナルパークホテル（100室）	4/28 104人/日		・4/23 看護連盟と合同で富山県に「新型コロナウイルス感染症に対応している看護職に対する危険手当の支給等について」要望書提出	
27日	・富山県新型コロナウイルス感染症対策本部総括より、新型コロナウイルス発生施設への看護・介護職員等の応援要請あり（協力病院：高岡ふしき病院 富山市民病院 富山大学附属病院）			・4/25～6/21までの派遣チームを編成 派遣者の防護具着脱トレーニング実施	
5月3日			5/1 入所者 21人/日	・北日本新聞に県民に向けた「医療現場からのお願いです。」掲載（5/3～5月中）	
6日	・富山県一般職の職員等の特殊勤務手当等に関する条例改正 ・富山県緊急事態措置 Stage 3 対策強化（非常事態）：（5/6～5/14） Stage 2 注意喚起・自粛要請：（5/15～5/28） Stage 1 現行の措置：（5/29～）		5/5 退所者 9人/日	・看護職員、看護職員家族からの電話相談対応 ・5/14 富山県と「新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設における健康管理及び環境整備等業務委託契約書」を締結	

年	月/日	政府・富山県等感染症関連の動向	富山県入院患者数のピーク	宿泊療養施設入所者・退所者のピーク	富山県看護協会対応
2020年	25日	・政府：緊急事態宣言を全面解除			<ul style="list-style-type: none"> 5/20 認定看護管理者教育課程における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル作成（一般研修も準ずる） 5/22 第2回新型コロナウイルス感染症対策、感染症指定医療機関の情報交換会（Web会議）
	6月2日	<ul style="list-style-type: none"> 初の「東京アラート」 富山県：6月2日に感染症対策チーム（3チーム）を新たに設置し、災害派遣医療チーム（DMAT22チーム）と連携協力する体制を整備 			
	7月2日 13日 27日	<ul style="list-style-type: none"> JNA「新型コロナウイルス感染症への対応 Vor 3」公表 WHO「多くの国が誤った方向に」事態悪化を警告 富山県推定：第2波ピーク時318人、推計500病床確保 WHO「パンデミックは加速し続けている」 			<ul style="list-style-type: none"> 7/23 第3回新型コロナウイルス感染症対策協議会 看護協会長出席 富山県看護協会広報誌「看護とやま」No136特別企画「新型コロナウイルス感染症”感謝”そして看護職のみなさまの専門職としての自覚と責任が命を救います。」
	8月3日 11日 20日	<ul style="list-style-type: none"> 富山県：宿泊療養施設開設 8/3～12/31 玄猿楼（53室） 富山県：富山アラート（新型コロナウイルス感染拡大警報）発出 政府：対策分科会「流行はピークに達した」 富山県「新型コロナウイルス感染症対策における潜在看護職の活用について」とどけるん登録者5万人に対し復職依頼のメール送信 	8/20, 21 51人/日		<ul style="list-style-type: none"> 8/3 第1回アフターコロナ時代を見据えた経済社会構想 検討会議 看護協会長出席 8/3～12/15までの派遣チームを編成 派遣者の防護具着脱トレーニング 8/7 令和3年度富山県予算に対する要望事項提出 〈新規〉今後の新型コロナウイルス対応について 8/22保健師職能委員会研修「新型コロナウイルス感染症対策研修会」 ナースセンターから求人情報を発信 感染症に関する教育、看護技術の取得など個別研修の実施
	9月5日	・WHO「新型コロナワクチン分配開始は来年中頃の見通し」慎重に安全性を確認すべき		9/2入所者 11人/日 9/7退所者 7人/日	<ul style="list-style-type: none"> 9/28看護師職能I委員会研修「新型コロナウイルス感染症情報交流会」
	10月1日	<ul style="list-style-type: none"> 富山県：宿泊療養施設確保 10/1～3/31 北陸銀行研修センター（72室） ヨーロッパで感染急拡大 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援制度創設 			<ul style="list-style-type: none"> 富山県看護協会広報誌「看護とやま」No137特別企画「感染管理認定看護師に聞く！新型コロナ最前線」
	11月10日 27日	<ul style="list-style-type: none"> 政府分科会：緊急提言「急速な感染拡大の可能性も」 新型コロナウイルスワクチン接種に係る実施体制の発表 分科会尾身会長「個人努力だけに頼るステージ過ぎた」 			<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策 非常勤看護師2名採用 11/6 第4回新型コロナウイルス感染症対策協議会 看護協会長出席
	12月15日 18日 20日 25日	<ul style="list-style-type: none"> Go Toトラベル全国一時停止へ 新型コロナワクチン厚労省が2月下旬の接種開始準備を指示 変異ウイルス拡大 富山県：宿泊療養施設開設 12/20～3/31東横INN富山駅前幹線口I（248室） 菅首相 コロナ特措法改正検討 富山県：富山アラート再発出 			<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策 非常勤看護師3名採用 12/21 第2回アフターコロナ時代を見据えた経済社会構想検討会議 看護協会長出席 12/20～3/31までの派遣チームを編成 派遣者の防護具着脱トレーニング

年	月/日	政府・富山県等感染症関連の動向	富山県入院患者数のピーク	宿泊療養施設入所者・退所者のピーク	富山県看護協会対応
2020年	12月26日 30日	・全世界からの外国人新規入国28日から1月末まで停止 ・東京モニタリング会議 「東京の医療 危機的状況に直面」「より強い対策 直ちに実行を」 西村経済再生相「感染拡大続けば緊急事態宣言も視野に入る」			
2021年	1月7日 11日 13日	・菅首相 1都3県に緊急事態宣言 ・WHO「集団免疫」「今年中に獲得難しい」 ・全世界からの全ての外国人の入国禁止、全世界からの帰国者に対して制限を加える ・富山県：Stage 2の措置 ・7府県にも緊急事態宣言、あわせて11都道府県に	1/11 80人/日	1/13入所者 ピーク 64人/日 1/18退所者 ピーク 18人/日	・富山県看護協会広報誌「看護とやま」No138 特別企画 『新型コロナ最前線新型コロナウイルス感染症情報交流会』 ナースセンターニュース『新型コロナウイルス感染症Withコロナでの再就職を応援します』
	23日 25日 31日	・政府：コロナ特措法と感染症法の改正案を閣議決定 ・ワクチン開始から9週間以内に全ての高齢者に1回目の体制整備を厚労省が指示 ・富山県：Stage 2実施中、時短要請終了			
	2月9日 15日 17日 19日 28日	・特措法改正「まん延防止等重点措置」新設 2/13から施行 ・富山県：Stage 1へ移行 ・全国知事会：新型コロナウイルスのワクチンの接種に関する特別対策チーム設置 ・新型コロナワクチン先行接種開始（医療従事者） ・富山県新型コロナワクチン先行接種開始（高岡ふしき病院、富山労災病院） ・岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県緊急事態宣言解除			・新型コロナウイルス感染症対策 非常勤看護師2名採用
3月1日 7日 10日 19日 20日 21日 31日	・480万人医療従事者への優先接種開始 ・EUヨーロッパ連合：日本からの渡航原則禁止 ・政府分科会：「今後変異株が主流になるため監視体制を強化する必要を協調」 ・富山県で変異株2名初確認（3月上旬海外渡航歴有） ・東京2020組織委員会、東京都、国、IOC、IPCの五者協議 海外観客の受入を断念 ・菅首相 1都3県に緊急事態宣言解除（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県） ・大阪府：「第4波に入った」認識を示す。変異ウイルスの陽性率45.2%と上昇。 まん延防止等重点措置の適用を国に要請			・新型コロナウイルス感染症対策 非常勤看護師1名採用 （令和2年11月～令和3年3月 計8名採用） ・3/12新型コロナウイルス感染症対策 非常勤看護師打合せ 4/1～4/30までの派遣を編成	

世界・日本・富山の感染者数

2021年	3月31日	<p><感染者数></p> <p>世界の感染者数：128,212,879人 死者数：2,803,397人</p> <p>日本の感染者数：475,830人 死者数9,189人</p> <p>富山県の感染者数：938人 死者：29人</p> <p>第1波 227人（令和2年3/30～5/18 44日間ゼロ）</p> <p>第2波 195人（令和2年7/2～10/2 26日間ゼロ）</p> <p>第3波 516人（令和2年10/29～令和3年3月31日時点）</p>
-------	-------	--

新型コロナウイルス感染症軽症者宿泊療養施設利用状況

2021年	3月31日	<p>オークスカナルパークホテル（4/25～6/21）：入所者実40名</p> <p>玄猿楼（8/13～12/12）：入所者実47名</p> <p>東横INN富山駅新幹線口I（12/20～3/31）：入所者実150名</p>
-------	-------	--

2021年7月22日シンポジウム開催予定

<p>看護職のCOVID-19対応シンポジウム ～コロナ禍における看護管理者の危機管理～</p>	
1 目的	看護職はコロナ禍において様々な混乱やジレンマに直面しながら患者・利用者に対応してきた。その際看護管理者は、リーダーシップを発揮し危機管理を行った。今回、コロナ禍における看護管理者に危機管理についてリフレクションを行い、今後の組織作りや人材育成のマネジメントにつなげる。
2 目標	<p>1) コロナ禍で直面した危機管理と課題を共有することができる。</p> <p>2) コロナ禍で看護管理者が大切にしてきたことを共有することができる。</p> <p>3) コロナ禍における組織作りと人材育成について、展望することができる。</p>

新型コロナウイルス感染症対策に係るご支援並びに寄付金

	月日	企業名	品目	個数	配布先
1	2020年4月15日	東洋羽毛	不織布マスク	2000枚	富山県新型コロナウイルス感染症対策本部
2	2020年5月14日	プラス・ケア株式会社	マスク	5000枚	ネットワークセンター
3	2020年5月14日	吉岡徳仁デザイン事務所	フェイスシールド	2000枚 (1500枚) (500枚)	富山県新型コロナウイルス感染症対策本部 富山県看護協会
4	2020年5月15日	ファンケル	マイルドクレンジングオイル	420本	感染症指定医療機関等
5	2020年5月25日	チューリッヒ生命	サージカルマスク	2000枚	富山県看護協会
6	2020年7月2日	ケーシーシー商会	採血練習キット	5台	富山県看護協会ナースセンター
7	2020年7月6日	花王	薬用ピュオーラ GRAN マルチケア ハミガキ	1 梱 (144個)	県内病院等
8	2020年7月27日	日本看護協会	防護服	300枚	富山県新型コロナウイルス感染症対策本部
9	2020年7月27日	日本看護協会	アイソレーションガウン/ガウンタイプ 防護服	1000枚	富山県新型コロナウイルス感染症対策本部
10	2020年7月30日	株式会社照林社	新型コロナウイルス感染症 [COVID-19] 対応BOOK	20冊	感染症指定医療機関6病院に2冊ずつ 協力医療機関7病院に1冊ずつ 富山県看護協会図書室1冊
11	2020年7月31日	TFC株式会社	アイソレーションガウン/ガウンタイプ 防護服	100枚	富山県新型コロナウイルス感染症対策本部
12	2020年8月12日	日本看護協会	サージカルマスク	15000枚	富山県新型コロナウイルス感染症対策本部
13	2020年11月5日	池田模範堂	ヒビケアプリベント	2000本	県内病院等
14	2021年1月19日	東洋羽毛	マイカミンセット	2個	富山県看護協会
15	2021年1月27日	北日本新聞社	3万円		富山県看護協会
16	2021年2月26日	日本看護協会	防護服 ガウンタイプ防護服 サージカルマスク N95マスク パルスオキシメーター 非接触型体温計 消毒用アルコール ニトリルグローブ マスク（信州大学寄付）	10枚 100個 150枚 100個 20個 9個 70個 6000枚 800枚	富山県看護協会
17	2021年3月26日	東洋羽毛	50万円		富山県看護協会

全国学会・研修における新型コロナウイルス感染症の影響

第51回日本看護学会 –看護教育–学術集会

新型コロナ感染の影響で4月に当日開催中止が決定となり、5月26日に大阪府・山形県・香川県・富山県の4開催地合同打ち合わせ会を開催しWeb学会開催方法について検討し運用を確認した。結果、11月1日～30日までのWeb学会に変更となった。

Web学会となったため、講演等は収録に変更となり、研究発表を中止しPDFで掲載に変更、優秀発表の選考中止、交流集会（公募、富山枠）の中止、ランチョンセミナー中止、企業展示中止、地域・伝統文化教育関連企画「おわら風の盆」は中止、抄録集作成中止となった。

看護教育の演題採択数は226題、演題取り下げは26題、不採択6題、採択率は87.6%であった。

初めてのWeb学会であったが、4会場合計参加者は7,701名であった。

看護教育の各講演等視聴回数合計は9,954回であった。

一般研修

中止した研修	8件
50人の人数制限をかけたもの	24件
開催日を変更した研修	2件
延期のため再募集した研修	8件
オンライン研修に変更	9件

長期研修

<現状>

セカンドレベル、ファーストレベル、富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会（以下、実習指導者講習会）は予定通り開催できた。セカンドレベル、ファーストレベルにおいて講師が変更になったのは2科目、オンライン講義に変更したのは3科目、公開講座は全て公開を中止した。また、セカンドレベルの施設実習は講義と演習で代替し、実践報告会は縮小して開催した。実習指導者講習会においては、特別講演の公開を中止し、実習指導案作成は一部オンラインを活用した。そして実習指導案発表会の公開は中止した。

<受講生・講師の反応>

セカンドもファーストも実習指導者講習会もコロナ禍の制約はあったが満足度は高かった。しかし、どの長期研修でも受講生同志が対話を十分にできなかったという意見があった。受講生からはオンライン研修で講師に直接質問ができる点が評価が高かった。一方講師側は受講生の反応が読み取れないという声が聞かれた。その点は各講師に学習カードを送付し後日汲み取っていただくとした。

受講生の新型コロナウイルス感染防止に対する危機意識は、実習指導者講習会（2020年10月19日～12月18日）の頃になると食事時に対面で会話するなどゆるんだ雰囲気が見られ、ホワイエのソファを撤去するなど行った。しかし、連日協会職員が研修中の1時間ごとの換気や研修終了後の机・椅子・学習機器・エレベーター・手すり・自動販売機・トイレなどを消毒する姿を目にすることで、最終反省会で新型コロナウイルス感染防止は徹底的に続けてほしいという声が聞かれるように変化した。

<研修環境>

オンラインでZoomとTeamsを使用して明らかになったことは協会内のWi-Fi環境の脆弱性である。またカメラ付きのパソコンが不足した。次年度から予算化を要望していく。

<今後の展望>

今年度はやむを得ない状況で、看護研修センターに集合してのオンライン研修であったが、今後はオンラインと対面のハイブリッド型研修もありうる。受講生にとって何が効果的なのか検証していきたい。

提出議題

第1号議案	令和2年度事業報告(案)	51
第2号議案	令和2年度収支決算報告(案)及び監査報告	63
第3号議案	令和3年度富山県看護協会役員(案)の選任について	81
第4号議案	令和4年度日本看護協会通常総会代議員等(案)の選出について ...	82
第5号議案	令和3年度選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について ...	83

令和2年度事業報告(案)

○令和2年度は、定款第5条に定める6事業を実施した。

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

・ 下線は新規等事業

項目	実施状況	実績
1-1 継続教育に関する事業 1 継続教育の企画・実施・評価	1 継続教育の企画・実施・評価 ①令和2年度教育計画に基づいた研修を実施 ・64研修を実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため15研修中止 他は定員を縮小して実施 ・研修実施の評価を研修後アンケートにて実施 ・広報：「研修計画冊子」「看護とやま」「ホームページ」等 ②インターネットオンデマンド・DVD研修 ③オンライン研修検討会 ④ <u>研修申し込み方法、受講料納入方法の変更について検討、調整</u>	総受講者 3,040人 5コース 受講者 186人 2回 出席者 延べ22人
2 認定看護管理者の育成	2 認定看護管理者教育課程の実施 ①認定看護管理者教育（ファーストレベル課程） 117時間（19.5日間） ②認定看護管理者教育（セカンドレベル課程） 186時間（31日間）	受講者 43人 受講者 22人
3 認定看護師養成事業	3 認定看護師教育課程の実施 ① <u>摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程</u> 休講 ② <u>新たな認定看護師教育のあり方検討会</u>	2回 出席者 延べ26人
4 新人看護職員研修	4 新人看護職員研修 ①新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 4回 ②新人看護職員実地指導者研修 4回 ③新人看護職員研修 4回 ④新人看護職員研修推進会議 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	受講者 50人 受講者 57人 受講者 228人
5 実習指導者育成	5 実習指導者講習会の実施 ①保健師助産師看護師等実習指導者講習会 240時間（40日間）	受講者 52人

項目	実施状況	実績
6 認知症研修	②保健師助産師看護師等実習指導者講習会 (特定分野) 48時間 (9日間)	受講者 5人
	6 認知症研修 ①看護職員認知症対応力向上研修	受講者 55人
7 看護職員資質向上 実務研修	7 看護職員資質向上実務研修 (小規模施設対象研修)	
	①看護職員研修 5回 ②看護管理研修 (医療安全) 3回	受講者 22人 受講者 36人
8 特定行為研修制度の 普及と諸課題対策	8 特定行為研修制度の普及と諸課題対策	
9 委員会等担当研修 会等	9 委員会担当研修会等	
	①保健指導ミーティング 令和2年11月7日(土)	保健師職能委員会活動による 参加者 42人
	②人材育成研修 令和2年10月31日(土) 「問うチカラLet's Try コーチング」 ～相手の意欲と行動を引き出すために～	参加者 24人
	③保健師・助産師職能委員会合同研修 ～発達障害児への支援を学ぶ～ 令和2年8月22日(土)	保健師職能委員会助産師職 能委員会活動による 参加者 58人
	④准看護師ステップアップ研修 令和2年10月3日(土)	看護師職能I委員会活動による 参加者 5人
	⑤看護師のクリニカルラダー交流研修会 令和2年11月6日(金)	参加者 41人
	⑥福祉施設に望まれるハラスメント防止 令和2年9月5日(土)	看護師職能II委員会活動による 参加者 15人
	⑦施設等における災害への日頃の備えと初動体制 令和2年11月28日(土)	参加者 29人
	⑧看護管理者看護倫理交流会 ～倫理課題に対応し解決する能力を養う～ 令和2年11月27日(金)	看護倫理委員会活動による 参加者 27人
	⑨認定看護師交流会 令和2年12月5日(土)	認定看護師による 参加者 58人
	⑩新型コロナウイルス感染症対策研修会 令和2年8月22日(土)	保健師職能委員会活動による 参加者 26人
	⑪新型コロナウイルス感染症対策情報交流会 令和2年9月28日(月)	看護師職能委員会I活動による 参加者 44人
⑫新型コロナウイルス感染症対策情報交流会 令和3年1月23日(土) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	看護師職能委員会II活動による 参加予定者36人に事前のアンケートに ついて講師より書面にて回答後郵送	

2 学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
2-1 第51回日本看護学会学術集会(看護教育)開催	1 大阪府、山形県、香川県、富山県合同Web開催 令和2年11月1日(日)～11月30日(月) (Web開催への変更決定：5月26日)	参加者 7,701人 看護教育 演題採択数 226題 看護教育講演視聴回数 合計9,954回 委員12人 委員会2回開催 委員28人 委員会2回催
2-2 富山県看護研究学会	開催なし(第51回学術集会開催のため)	
2-3 図書室運営に関する事業	1 図書室機能の充実 ①看護専門図書・雑誌・資料等の購入	新刊図書購入、定期購読図書製本 (新刊書籍 74冊、製本 32冊、 年間購読雑誌 22冊、蔵書数 5,766冊) 利用者数(延べ) 184人

3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
3-1 医療安全に関する事業 1 医療安全対策研修等	1 医療安全対策研修 3回 令和2年8月24日(月)、9月16日(水)、 10月5日(月)、12月14日(月)・15日(火)	医療安全委員会による 受講者 8月24日AM 46人 PM 34人 9月16日 43人、10月5日 44人 12月14日・15日 34人 計201人
	2 DVD「カリウム製剤の正しい取り扱い」作成 3 医療事故調査制度に関すること ①医療事故調査制度支援団体の登録及び専門家の推薦 ②県内における専門家の派遣	日本看護協会へ推薦 1人 派遣要請なし
3-2 准看護師から看護師への支援事業	1 准看護師の進学支援 令和2年10月3日(土)	参加者 5人
3-3 看護業務及び制度に関する政策提言 1 看護業務に関する事業 (1) 職能委員会活動 ①日本看護協会職能委員会との連携	1 職能理事(職能委員長) ①日本看護協会通常総会職能交流集会：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ②全国職能委員長会議への出席 令和3年3月10日(水)～11日(木) Web開催 ③東海北陸地区職能委員長会議への出席 令和2年10月2日(金) Web開催	出席者 越坂裕子(保) 岡本里美(助) 千田昌代(看Ⅰ) 中島房代(看Ⅱ) 出席者 越坂裕子(保) 岡本里美(助)
②保健師職能委員会活動	2 保健師職能委員会 ①保健指導ミーティング 令和2年11月7日(土) (富山県市町村保健師連絡協議会、富山県保健師長会との合同開催)	参加者 42人
	②人材育成研修 令和2年10月31日(土) 「"問う"チカラLet's Try コーチング」 ～相手の意欲と行動を引き出すために～	参加者 24人
	③保健師・助産師職能委員会合同研修 ～発達障害児への支援を学ぶ～ 令和2年8月22日(土)	参加者 58人 (保助合わせて)

項目	実施状況	実績
③助産師職能委員会活動	④新型コロナウイルス感染症対策研修会 令和2年8月22日(土)	参加者 26人
	⑤職能集会開催：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	⑥「看護の日」看護フェスティバル運営協力： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	3 助産師職能委員会	
	①J-CIMELSに沿った母体救急 令和3年7月4日(土)	参加者 35人
	②フリースタイル分娩の介助 産婦主体の助産 ケアの提供 令和3年11月14日(土)	参加者 21人
	③グリーフケア 赤ちゃんを失った母へのケア について学ぶ 令和3年11月14日(土)	参加者 39人
	④保健師・助産師職能委員会合同研修 ～発達障害児への支援を学ぶ～ 令和2年8月22日(土)	参加者 58人 (保助合わせて)
	⑤職能集会開催：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	⑥「看護の日」看護フェスティバル運営協力： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
④看護師職能Ⅰ委員会活動	4 看護師職能Ⅰ委員会	
	①看護師のクリニカルラダー交流研修会 令和2年11月6日(金)	参加者 41人
	②准看護師ステップアップ研修開催 令和2年10月3日(土)	参加者 5人
	③新型コロナウイルス感染症対策情報交流会 令和2年9月28日(月)	参加者 44人
	④職能集会開催：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	⑤「看護の日」看護フェスティバル運営協力： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
⑤看護師職能Ⅱ委員会活動	5 看護師職能Ⅱ委員会	
	①在宅ケア事例検討会の運営協力	開催回数 8回
	②福祉施設に望まれるハラスメント防止 令和2年9月5日(土)	参加者 15人
	③施設等における災害への日頃の備えと初動体制 令和2年11月28日(土)	参加者 29人
	④新型コロナウイルス感染症対策情報交流会 令和3年1月23日(土)	参加予定者36人に事前のアンケートに ついて講師より書面にて回答後郵送
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	⑤職能集会開催：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	⑥「看護の日」看護フェスティバル運営協力： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
⑥3職能4委員会連携事業	6 3職能4委員会連携事業	
	事例検討連携研修会 令和3年1月16日(土)	参加者33人 (4職能委員、支部役員)

項目	実施状況	実績
2 看護制度に関する事項 (1) 准看護師制度について	1 准看護師の進学支援（看護師学校養成所2年課程（通信制）の情報提供） 准看護師交流会 1回	参加者 5人
(2) 特定行為に係る看護師の研修制度について	1 特定行為に係る看護師の研修制度について情報収集・啓発普及	

4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

項目	実施内容	実績
4-1 働きやすい労働環境づくり支援事業 (1) ナースセンター事業の拡充とハローワークとの連携強化	1 ナースセンター事業の今後の課題検討 富山県看護協会ナースセンター事業運営委員会 2 富山労働局との連携強化 ①公共職業安定所との連携 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 ③看護職員就業支援専門員を県内7か所のハローワークに配置（月1回）	委員14人 令和3年2月2日（火）開催 連携事業対象求人数 1,101人（81人） 連携事業対象求職者数 113人（39人） 連携事業就職者数 44人（9人） *（ ）は、ナースセンター実績 就業相談件数 135件
(2) 離職者の潜在化の防止と潜在看護職の再就業支援の強化	1 就労促進に関すること ①無料職業紹介所業務 ②ナースセンター求人・求職登録事業 ③看護師等免許保持者届出事業 ④看護職員就職アドバイザー事業 ⑤移動就業相談事業 ⑥看護師等就業支援サテライト事業（新川・射水・砺波） ⑦看護職員再就業支援研修会 定期研修（3日間） 随時研修（2日間） 随時研修（技術チェック研修） ⑧就職ガイダンス ア 公的病院・民間病院 令和3年3月～ 施設紹介をホームページに掲載 イ 民間病院 令和2年10月24日（土） 事前予約制で実施 ⑨登録看護職員就業希望調査（年1回実施 令和2年8月） ⑩ナースセンターニュースの発行 年4回	求人登録数 8,031人 求職登録数 2,972人 有効求人倍率 2.7倍 就職者数 264人 届出数 307人 ナースセンター登録希望数 159人 ナースセンター登録者数 94人 アドバイザーによる相談 3,321人 5ヶ所 相談者 8人 相談件数 11件 受講者 30人 受講者 1人 受講者 26人 随時（技術チェック研修）：26人 掲載施設数 41施設 参加者23人（一般5人、学生18人） 参加施設 18施設 施設参加者数 38人

項目	実施内容	実績
(3) 医療勤務環境改善 支援センター事業 病院サポート事業 WLB実現に向けた 取り組みの推進 (サポート終了) H23(4施設)、H24(4 施設)、H25(6施設) H26(4施設)、H27(4 施設)、H28(3施設) H29(2施設)	1 看護職のWLB推進ワークショップの企画・運営・評価 ①ワーク・ライフ・バランス研修会 令和2年8月18日(火) Web開催 講演会「勤務間インターバルについて」 ②ワーク・ライフ・バランス報告会 令和2年12月9日(水) 3施設の取り組みの報告と講演 講演「働き方改革—みんながWinWinな 組織を目指して」(Web講義) ③カンゴサウルス賞受彰式 富山県看護協会	出席者 20施設 33人 出席者 19施設 47人 受彰施設 2施設 ①富山労災病院 ②公立南砺中央病院
(サポート継続) H30(1施設)	2 従来型ワークライフバランス事業 インデックス調査 令和2年6~7月	実施施設 1施設 金沢医科大学水見市民病院
(民間病院訪問型サポ ート事業 令和元年より) R1(2施設)、R2(2施設)	3 民間病院訪問型サポート事業 ①インデックス調査 令和2年6~7月 実施施設 4施設 ②施設訪問(ワークショップ) 4施設 ③ワークライフバランス推進委員会 ④医療労務管理支援事業打ち合わせ会	ふくの若葉病院 令和2年10月8日(木) 高岡整志会病院 令和2年9月30日(水) 藤木病院 令和2年10月5日(月)/令和3年3月10日(水) 介護老人保健施設みどり苑 令和2年10月15日(木)/令和3年3月11日(木) 委員12人 令和2年5月21日(木)/令和3年2月1日(月) 年4回 令和2年7月10日(金) 9月8日(火) 11月26日(木) 令和3年3月1日(月)
(4) 看護職員定着支援	1 看護職員定着支援事業 ①看護職員定着講演会 令和2年11月21日(土) 「対応困難なスタッフとの関わり方」 「事例を通して学ぶ対応困難なスタッフに対 する職場支援のあり方」	出席者 28施設 49人
4-2 地域の医療提供 体制確保のため の看護職員の派 遣調整事業	1 地域の医療提供体制確保のための看護職員の 派遣調整事業(日本看護協会委託事業) ①代替職員の必要な施設に看護職を臨時雇用で紹介 ②代替看護師に対するスキルギャップ研修 (タイベック着脱研修など)の実施 ③新型コロナウイルス感染症に関する悩み・相 談等に対応	代替職員紹介 29人 研修回数 7回 参加者 20人 問い合わせ件数 54件

5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
<p>5-1 訪問看護支援事業</p> <p>(1) 訪問看護支援強化事業</p> <p>(2) 訪問看護の人材育成等</p>	<p>1 訪問看護支援強化事業</p> <p>①訪問看護コールセンター</p> <p>②訪問看護の普及啓発</p> <p>③訪問看護の機能強化・拡充</p> <p>④訪問看護運営支援アドバイザー派遣事業</p> <p>2 富山県訪問看護ステーション連絡協議会との連携・支援</p>	<p>アドバイザー</p> <p>訪問看護ステーションはーと（東京都）</p> <p>富岡里江氏 参加施設 3施設</p> <p>社会保険労務士</p> <p>二口良伸氏 参加施設 2施設</p>
	<p>1 訪問看護の人材育成</p> <p>①「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>②訪問看護従事者等研修会</p> <p>③訪問看護ステーション管理者育成研修会（2回開催）</p> <p>④訪問看護推進事業</p> <p>ア 在宅事例検討会（アドバイザー17人）8回</p> <p>イ 医療機関における看護師の訪問看護ステーション研修</p> <p>2 訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業</p> <p>①テレワーク型訪問看護ステーションモデル事業</p> <p>②訪問看護トライアル雇用</p> <p>3 訪問看護ステーション業務改善推進事業</p> <p>①タブレット端末等システム導入の助成</p> <p>4 訪問看護ステーション連携加速化事業</p> <p>①病院看護師出向研修事業</p> <p>ア 出向元（富山県済生会高岡病院）</p> <p>出向先（高岡市医師会訪問看護ステーション）</p> <p>出向期間（令和2年10月16日～12月15日：2カ月間）</p> <p>②病院看護師の研修受入事業</p> <p>ア 派遣元（高岡市民病院）</p> <p>研修先（もみじ訪問看護ステーション）</p> <p>研修期間（令和2年11月13日～12月11日：1カ月間）</p> <p>イ 派遣元（富山労災病院）</p> <p>研修先（訪問看護ステーションひよどり富山）</p> <p>研修期間（令和3年2月1日～2月28日：1カ月間）</p> <p>③訪問看護師スキルアップ研修事業</p> <p>2圏域2病院（黒部市民病院・市立砺波総合病院）</p> <p>④報告会 令和3年3月20日（土・祝）</p>	<p>受講者 23人</p> <p>受講者 第1回 43人</p> <p>第2回 30人</p> <p>参加者 255人</p> <p>4ステーション、参加者16人</p> <p>委託 0ステーション</p> <p>委託 6ステーション</p> <p>助成 3ステーション</p> <p>参加者 10人</p> <p>参加者 131人</p>

項目	実施状況	実績
	<p>5 訪問看護ステーションサポート事業 4圏域5ステーション（朝日町在宅介護支援センター、光風会、富山赤十字、南砺市、もみじ）</p> <p>①管理者会</p> <p>②報告会 令和3年3月20日（土・祝）</p> <p>6 訪問看護総合支援センター試行事業（日本看護協会委託事業）</p> <p>①訪問看護事業検討委員会</p> <p>②訪問看護ステーションの新卒看護師育成検討ワーキング</p> <p>③人材育成に関するアンケート（a新卒看護師、bプラチナナース、c看護学校での就職支援）</p> <p>④訪問看護に係るデータ分析 他既存事業の強化</p> <p>7 訪問看護災害時等支援体制整備事業（富山県委託事業）</p> <p>①訪問看護ステーションにおける感染症及び災害対策調査</p> <p>8 訪問看護ステーション連絡協議会に関する事務</p> <p>①新型コロナウイルス感染症に係る医療物資（マスク、消毒薬等）の配布の調整</p> <p>②新型コロナウイルス感染症に関するアンケート</p> <p>③総会（書面）、研修会、役員会（4回）</p>	<p>研修会 21回 相談 16件 2回（うち1回はアドバイザー派遣事業と合同）</p> <p>参加者 131人</p> <p>委員12人 2回開催 委員5人 1回開催</p> <p>a b訪問看護ステーション対象、c 県内看護学校教員対象</p>
5-2 富山県看護協会訪問看護ステーションの活動の推進	<p>1 訪問看護ステーションひよどりの活動</p> <p>2 訪問看護ステーションひよどり富山の活動</p> <p>1) 地域・他機関連携</p> <p>2) 研修会出席（富山県看護協会主催、富山県訪問看護連絡協議会主催、その他）</p> <p>3) 訪問看護実習の受け入れ状況</p>	
5-3 地域包括ケアシステムにおける活動の推進	<p>1 居宅介護支援事業所ひよどり富山の活動</p> <p>①ケアマネジメント実績 907件/年</p> <p>②認定調査実績 35件/年</p> <p>③地域ネットワークづくり事業Gグループ開催 神明・五福地域居宅介護支援事業所連絡会議開催</p> <p>2 神明・五福地域包括支援センターの活動</p> <p>①コロナウイルス感染防止対策を取りながら事業を実施 集合開催が難しいものは書面開催</p> <p>・地域ケア会議、医療介護連携推進会議、閉じこもり予防情報交換会など 8回</p> <p>・認知症地域説明会（認知症サポーター養成講座含む） 3回</p>	

項目	実施状況	実績
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症家族介護教室 2回 ・介護予防地域説明会 17回 ②研修会参加 会場集合研修参加 8回 オンライン研修参加 7回 3 富山市西エリア医療・介護連携推進会議への参加 1回 	

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
6-1 <u>新型コロナウイルス関連事業</u>	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>新型コロナウイルス感染症の軽症者に係る宿泊療養施設における健康管理及び環境整備等業務（県委託事業）</u> 2 <u>地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整事業（日本看護協会委託事業）</u> 3 <u>厚生センター等への潜在看護師派遣事業</u> 4 <u>広報 看護とやま、テレビ、新聞</u> 5 <u>会議</u> 6 <u>医療物資・寄付の受け入れ、配布、県本部へ提供</u> 	<p>令和2年4月～令和3年3月31日 派遣実績 延べ 164人 24施設</p> <p>派遣実績 29人</p>
6-2 県民の健康の増進・啓発に関する事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 「看護の日・看護週間」行事の実施 <ol style="list-style-type: none"> ①看護フェスティバル 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ②ふれあい看護体験 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 2 高校生の一日看護見学 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 3 看護普及推進事業 <ol style="list-style-type: none"> ア 看護体験学習 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 4 看護師等養成機関共同PR事業 ガイドブック作成 1,500冊 5 看護普及推進事業（看護学生就労啓発） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 	
(2) 支部活動の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 支部活動（8支部） <ol style="list-style-type: none"> ①支部における<u>看護職等連携構築の推進</u> ②研修会 ③地域のニーズに応じた看護活動 ④まちの保健室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ⑤一日まちの保健室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ⑥支部長会 	2回 参加者28人

項目	実施状況	実績
6-3 地域における看護職のネットワーク強化事業	1 地域における看護職ネットワーク強化事業 (看護政策のための組織強化事業) ①施設等への訪問 ②出前講座(感染対策)	施設訪問 8施設 出前講座 1施設(Web開催) 16人
6-4 災害時の看護支援活動に関する事業	2 専門職における保健指導等支援事業(県委託事業)	2市1町へ糖尿病認定看護師派遣、1市に看護師派遣
(1) 災害支援ネットワークづくりの推進	1 災害支援ナースの育成、登録の推進 (1) 災害医療・看護研修会、フォローアップ研修会の実施	受講者 基礎 27人、フォローアップ 16人
(2) 災害支援支援ナースの育成・登録の推進	(2) 災害支援支援ナースの登録	登録者 243人
(3) 災害支援マニュアルの整備	1 受援の手引き作成	
(4) 防災訓練等に関すること	1 各防災訓練へ参加 (1) 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練:令和2年12月8日(火)~12月10日(木)	参加施設 県内 14施設
6-5 広報活動	1 会員及び看護職への情報提供の充実 (1) 機関誌「看護とやま」の発行・配布 ・年4回発行(4月、7月、10月、1月 第135号~138号) (2) ホームページの内容充実、最新情報の掲載 (3) 看護フェスティバル 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (4) 県医師会報、自治体広報等で情報提供 (5) マスコミ(新聞広告、テレビ等)を通じた広報活動	
6-6 法人管理に関する事業	1 公益社団法人としての円滑な組織運営 (1) 定時総会 1回 令和2年6月28日(日) 富山県看護研修センター 新型コロナウイルス対策のため縮小開催 (2) 理事会 8回 4月(書面開催)、5月、6月、8月、10月、12月、1月、3月 (3) 職能集会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (4) 職能委員会:保健師、助産師、看護師I、看護師II (5) 委員会:総務、教育、広報、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会、選挙管理、推薦 ・合同委員会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (6) 支部役員会 令和2年7月8日(水) (7) 職員の人事管理・労務管理の充実 (8) 会員支援の充実 ①表彰 ②各受賞候補者の推薦 ③会員への福利厚生	総会参加者 43人 委任数 7,556人

項目	実施状況	実績												
<p>(2) 組織の管理及び強化 拡大に向けた活動</p> <p>6-7 渉外活動</p> <p>(1) 富山県・その他関係団体、審議会等への委員派遣</p> <p>(2) 自治体・関係団体への要望提出</p> <p>(3) 関係団体との連携</p> <p>6-8 日本看護協会との連携</p> <p>(1) 組織運営への協力</p>	<p>④慶弔</p> <p>ア 慶事</p> <p>イ 各種見舞（災害等）の支給</p> <p>ウ 弔慰</p> <p>(8) 職員の人事管理・労務管理の充実</p> <p>1 会員登録制度の充実</p> <p>(1) 会員募集及び入会の促進（非会員施設への広報活動等）</p> <p>(2) 会員登録</p> <p>ア 新規・更新会員の受付及び日本看護協会会員管理システム（ナースシップシステム）の運用管理</p> <p>イ 会員証の送付 令和2年度会員数（令和3年3月31日）</p> <table border="1" data-bbox="560 669 943 882"> <tr> <td colspan="2">総数</td> <td>8,793人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内訳</td> <td>保健師</td> <td>498人</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>388人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>7,792人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>115人</td> </tr> </table> <p>ウ 「会員情報管理体制」の推進</p> <p>エ キャリナーズの登録・活用の推進</p> <p>1 構成団体の一員としての活動・提言</p> <p>2 関係機関・団体の会議への参画・情報交換</p> <p>3 後援・推薦等依頼への協力</p> <p>1 富山県行政等への関連事業予算編成等に係る要望提案（2回実施）</p> <p>1 医師会、歯科医師会、薬剤師会等</p> <p>2 県訪問看護ステーション協議会、看護師養成機関、大学等</p> <p>3 コメディカル・介護保険団体等</p> <p>1 日本看護協会理事会・法人会員会</p> <p>(1) 理事会 年7回（Web開催）</p> <p>(2) 法人会員会 Web開催7回、地区別法人会員会（於：福井県）</p> <p>2 日本看護協会通常総会の代議員 令和2年6月新型コロナウイルス感染拡大防止のため議決権行使</p> <p>3 日本看護協会代議員の選出と代議員活動の支援</p> <p>(1) 県協会定時総会での日本看護協会代議員選出</p> <p>(2) 日本看護協会代議員への研修 中止</p> <p>4 全国職能交流集会 中止</p> <p>5 日本看護協会全国職能委員長会：1回（Web会議）、地区別職能委員長会1回（Web開催）</p> <p>6 その他の会議等</p> <p>(1) 第51回（2020年度）看護学会学術集会 大阪府・山形県・香川県・富山県4開催地合同打ち合わせ会 令和2年5月26日（火） Web開催</p>	総数		8,793人	内訳	保健師	498人	助産師	388人	看護師	7,792人	准看護師	115人	<p>叙勲者への祝電（春 0人、秋 2人）</p> <p>物故会員への弔慰 0</p> <p>令和2年8月27日（木）、令和3年1月29日（金）</p> <p>令和2年10月1日（木）～2日（金）</p> <p>全国：令和3年3月10日（水）～11日（木） 4人 地区別：令和2年10月2日（金） 2人</p> <p>出席者 大井きよみ（会長） 向野勝美（専務理事） 田村雅子（常任理事） 松原直美（看護師） 米道智子（職員）</p>
総数		8,793人												
内訳	保健師	498人												
	助産師	388人												
	看護師	7,792人												
	准看護師	115人												

項目	実施状況	実績
6-9 看護研修センター等の運営	(2) ナースセンター事業担当者会議 令和2年5月28日(木) 書面開催	出席者 松嶋瞳(センター長)
	(3) ナースセンター相談員研修 令和2年5月29日(金) 中止	
	(4) 都道府県看護協会ナースシップ担当者会議 令和2年9月10日(木) Web開催	出席者 村井一仁(職員) 高瀬かおり(職員)
	(5) 認定看護管理者教育機関担当者会議 令和2年9月17日(木) Web開催	出席者 田村雅子(常任理事) 米道智子(職員)
	(6) 公益法人に関する勉強会 令和2年10月28日(水) Web開催	出席者 大川昌宏(事務局長) 村井一仁(職員)
	(7) 都道府県看護協会災害看護担当者会議 令和2年11月11日(水) Web開催	出席者 境信子(理事) 向野勝美(専務理事)
	(8) 都道府県看護協会都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 令和2年11月19日(木) Web開催	出席者 向野勝美(専務理事) 安井千明(NWC) 加藤真理子(富山県訪問看護ステーション連絡協議会会長)
	(9) 都道府県看護協会看護労働担当者会議 令和2年11月25日(水) Web開催	出席者 松嶋瞳(センター長)
	(10) 全国准看護師制度担当役員会議 令和2年12月10日(木) Web開催	出席者 向野勝美(専務理事) 野口翔也(理事)
	(11) 訪問看護サミット・看護サミット 令和2年12月19日(土) Web開催	出席者 北川洋子(ひよどり富山) 森陽子(ひよどり)
	(12) 都道府県看護協会広報担当役員会議 令和3年1月15日(金) Web開催	出席者 越坂裕子(理事) 岡本里美(理事) 千田昌代(理事) 中島房代(理事) 松嶋瞳(ナースセンター長)
	(13) 都道府県看護協会図書室担当者研修会 令和3年1月29日(金) Web開催	出席者 田村雅子(常任理事) 米道智子(職員)
	(14) B課程認定看護師教育機関の教育担当者会議 令和3年2月5日(金) Web開催	出席者 向野勝美(専務理事) 田村雅子(常任理事)
	(15) 母と子のための地域包括ケアシステム推進会議 令和3年2月8日(月) Web開催	出席者 岡本里美(理事)
	(16) 全国看護基礎教育担当役員会議 令和3年2月10日(水) Web開催	出席者 稲村睦子(副会長) 田村雅子(常任理事)
	(17) 都道府県看護協会政策責任者会議 令和3年2月25日(木) Web開催	出席者 松原直美(会長) 向野勝美(専務理事)
	(18) 都道府県看護協会医療安全担当役員会議 令和3年3月3日(水) Web開催	出席者 田村雅子(常任理事) 秋山朝子(理事)
	(19) 都道府県ナースセンター相談員向け「キャリアコンサルティング研修」 令和3年2月2日(火) Web開催	出席者 城生裕子(非常勤看護師)
	1 看護研修センター、認定看護師教育センター 建物設備の管理・運営	(1) 建物設備・駐車場管理、警備、清掃、防災 新規駐車場借り上げに関する交渉・整備 (2) 保守修繕 (3) 地域活動(町内会等への協力、連携) ・子ども110番の家等

令和2年度 収支決算報告(案)

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	65,321,668	76,518,488	△ 11,196,820
未収金	46,536,317	48,056,141	△ 1,519,824
前払金	118,365	0	118,365
立替金	0	306,456	△ 306,456
流動資産合計	111,976,350	124,881,085	△ 12,904,735
2. 固定資産			0
(1) 特定資産			0
役員退職慰労引当資産	1,950,000	2,610,000	△ 660,000
退職給付引当資産	27,874,360	25,447,530	2,426,830
減価償却引当資産	205,904,918	204,834,968	1,069,950
会館建設引当資産	294,591,050	276,331,050	18,260,000
建物	345,125,350	355,824,853	△ 10,699,503
構築物	9,654,573	11,139,957	△ 1,485,384
什器備品	1	1	0
土地	74,574,139	74,574,139	0
特定資産合計	959,674,391	950,762,498	8,911,893
(2) その他固定資産			0
什器備品	10,720,287	12,130,146	△ 1,409,859
ソフトウェア	780,840	1,301,400	△ 520,560
電話加入権	91,575	91,575	0
その他固定資産合計	11,592,702	13,523,121	△ 1,930,419
固定資産合計	971,267,093	964,285,619	6,981,474
資産合計	1,083,243,443	1,089,166,704	△ 5,923,261
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未払金	11,871,025	12,608,656	△ 737,631
前受金	0	7,846	△ 7,846
前受会費	36,090,000	43,276,000	△ 7,186,000
預り金	2,109,769	2,400,457	△ 290,688
役員賞与引当金	1,232,000	1,129,334	102,666
賞与引当金	8,218,160	8,024,308	193,852
未払消費税	2,958,000	2,223,500	734,500
流動負債合計	62,478,954	69,670,101	△ 7,191,147
2. 固定負債			0
役員退職慰労引当金	1,950,000	2,610,000	△ 660,000
退職給付引当金	27,874,360	25,447,530	2,426,830
固定負債合計	29,824,360	28,057,530	1,766,830
負債合計	92,303,314	97,727,631	△ 5,424,317

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			0
1. 指定正味財産			0
地方公共団体補助金	241,952,112	248,288,824	△ 6,336,712
指定正味財産合計	241,952,112	248,288,824	△ 6,336,712
(うち特定資産への充当額)	(241,952,112)	(248,288,824)	(△ 6,336,712)
2. 一般正味財産	748,988,017	743,150,249	5,837,768
(うち特定資産への充当額)	(687,917,919)	(669,279,808)	(18,638,111)
正味財産合計	990,940,129	991,439,073	△ 498,944
負債及び正味財産合計	1,083,243,443	1,089,166,704	△ 5,923,261

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	53,832,000	52,968,000	864,000
受 取 会 費	53,832,000	52,968,000	864,000
受 取 会 館 運 営 基 金	18,260,000	18,425,000	△ 165,000
受 取 会 館 運 営 基 金	18,260,000	18,425,000	△ 165,000
事 業 収 益	125,707,296	150,202,154	△ 24,494,858
受 講 料 収 益	17,207,408	36,346,208	△ 19,138,800
学 会 事 業 収 益	0	1,613,500	△ 1,613,500
訪 問 看 護 事 業 収 益	69,299,138	74,477,917	△ 5,178,779
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	10,713,516	10,608,811	104,705
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	26,053,521	26,268,418	△ 214,897
そ の 他 の 事 業 収 益	664,100	887,300	△ 223,200
全 国 学 会 開 催 事 業 収 益	1,669,613	0	1,669,613
全 国 学 会 協 賛 収 益	100,000	0	100,000
受 取 補 助 金 等	90,989,710	76,483,844	14,505,866
受 取 県 補 助 金 等	73,613,826	66,246,444	7,367,382
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,004,773	2,160,243	△ 155,470
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 受 託 収 益	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	804,000	16,000
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	20,100,000	21,971,000	△ 1,871,000
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610,000	1,610,000	0
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207,000	3,207,000	0
受 取 訪 問 看 護 支 援 強 化 事 業 受 託 収 益	4,853,000	4,853,000	0
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	0	770,000	△ 770,000
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 認 定 看 護 師 教 育 課 程 設 置 事 業 受 託 収 益	0	5,818,000	△ 5,818,000
受 取 が ん 専 門 分 野 看 護 師 育 成 事 業 受 託 収 益	0	2,835,557	△ 2,835,557
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業 受 託 収 益	254,281	0	254,281
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 訪 問 看 護 ト ラ イ ア ル 雇 用 事 業 受 託 収 益	5,787,847	6,089,137	△ 301,290
受 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業 受 託 収 益	2,200,048	2,918,121	△ 718,073
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 連 携 加 速 化 事 業 受 託 収 益	2,821,497	3,745,386	△ 923,889
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託 収 益	917,000	917,000	0
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ポ ー ト 事 業 受 託 収 益	1,800,000	1,800,000	0
受 取 新 型 コ ロ ナ 感 染 症 の 軽 症 者 等 に 係 る 健 康 事 業 受 託 収 益	20,480,900	0	20,480,900
受 取 訪 問 看 護 災 害 時 支 援 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	9,480	0	9,480
受 取 日 看 協 受 託 収 益	17,375,884	10,237,400	7,138,484
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	1,548,940	1,529,310	19,630
受 取 法 人 会 員 助 成 金	8,218,660	8,208,090	10,570
看 護 職 ネットワーク強化事業受託収益	0	500,000	△ 500,000
訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー モ デ ル 事 業 受 託 収 益	2,000,000	0	2,000,000

科 目	当年度	前年度	増 減
地域の医療提供体制確保のための看護職員派遣事業受託収益	5,608,284	0	5,608,284
受 取 負 担 金	138,883	239,552	△ 100,669
受 取 負 担 金	138,883	239,552	△ 100,669
受 取 助 成 金	4,844,480	0	4,844,480
受 取 寄 付 金	1,030,000	800,000	230,000
受 取 寄 付 金	1,030,000	800,000	230,000
受 取 補 助 金 振 替 額	6,336,712	6,336,712	0
雑 収 益	1,583,327	1,486,049	97,278
受 取 利 息	2,307	2,301	6
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息 益	2,307	2,301	6
雑 収 益	1,581,020	1,483,748	97,272
経常収益計	302,722,408	306,941,311	△ 4,218,903
(2) 経常費用			
事 業 費	274,967,963	282,120,376	△ 7,152,413
役 員 報 酬	7,755,876	6,982,661	773,215
給 料 手 当	91,833,371	92,630,144	△ 796,773
臨 時 雇 賃 金	29,346,092	32,410,913	△ 3,064,821
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504,000	462,000	42,000
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	2,991,428	6,430,770	△ 3,439,342
福 利 厚 生 費	21,209,107	24,035,301	△ 2,826,194
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,108,800	1,013,467	95,333
賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,801,552	7,684,860	116,692
旅 費 交 通 費	3,134,771	7,337,038	△ 4,202,267
通 信 運 搬 費	6,809,048	7,304,486	△ 495,438
減 価 償 却 費	12,607,060	11,583,811	1,023,249
建 物 減 価 償 却 費	8,559,602	8,571,298	△ 11,696
構 築 物 減 価 償 却 費	1,188,307	1,676,450	△ 488,143
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	2,338,591	815,503	1,523,088
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	520,560	520,560	0
消 耗 什 器 備 品 費	75,900	138,600	△ 62,700
消 耗 品 費	7,340,739	3,301,198	4,039,541
修 繕 繕 製 費	1,180,135	1,489,677	△ 309,542
印 刷 製 本 費	5,030,261	7,820,429	△ 2,790,168
新 聞 図 書 費	801,275	1,248,366	△ 447,091
燃 料 費	703,695	771,942	△ 68,247
光 熱 水 料 費	4,442,877	4,828,432	△ 385,555
賃 借 料	10,476,052	13,560,718	△ 3,084,666
保 険 料	1,418,500	1,477,130	△ 58,630
諸 謝 金	22,252,188	17,637,688	4,614,500
広 報 費	3,031,251	3,401,429	△ 370,178
租 税 公 課	9,742,454	8,632,104	1,110,350
支 払 負 担 金	909,294	2,164,788	△ 1,255,494
支 払 助 成 金	14,540,195	7,027,797	7,512,398
委 託 費	6,669,370	8,738,582	△ 2,069,212
雑 費	1,252,672	2,006,045	△ 753,373
管 理 費	21,916,677	22,312,808	△ 396,131
役 員 報 酬	5,980,000	5,780,000	200,000
給 料 手 当	4,833,335	4,875,270	△ 41,935
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	336,000	308,000	28,000

科 目	当年度	前年度	増 減
退職給付引当金繰入額	155,402	114,000	41,402
福利厚生費	23,816	26,039	△ 2,223
役員賞与引当金繰入額	123,200	115,867	7,333
賞与引当金繰入額	416,608	339,448	77,160
旅費交通費	320,750	466,765	△ 146,015
会議費	56,548	255,710	△ 199,162
通信運搬費	145,674	122,589	23,085
減価償却費	3,021,626	2,765,811	255,815
建物減価償却費	2,139,901	2,142,825	△ 2,924
構築物減価償却費	297,077	419,110	△ 122,033
工具器具備品減価償却費	584,648	203,876	380,772
消耗品費	132,246	151,166	△ 18,920
修繕費	131,126	165,519	△ 34,393
印刷製本費	1,738,878	1,582,692	156,186
新聞図書費	116,754	122,016	△ 5,262
燃料費	23,839	28,129	△ 4,290
光熱水料費	493,652	536,492	△ 42,840
賃借料	1,209,022	1,506,753	△ 297,731
保険料	42,780	46,150	△ 3,370
諸謝金	0	67,500	△ 67,500
広報費	33,000	0	33,000
租税公課	901,500	901,100	400
支払負担金	371,874	471,931	△ 100,057
支払寄付金	20,000	25,000	△ 5,000
委託費	504,159	822,065	△ 317,906
雑費	784,888	716,796	68,092
経常費用計	296,884,640	304,433,184	△ 7,548,544
評価損益等調整前当期経常増減額	5,837,768	2,508,127	3,329,641
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,837,768	2,508,127	3,329,641
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,837,768	2,508,127	3,329,641
一般正味財産期首残高	743,150,249	740,642,122	2,508,127
一般正味財産期末残高	748,988,017	743,150,249	5,837,768
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
地方公共団体補助金	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
指定正味財産期首残高	248,288,824	254,625,536	△ 6,336,712
指定正味財産期末残高	241,952,112	248,288,824	△ 6,336,712
III 正味財産期末残高	990,940,129	991,439,073	△ 498,944

予算対比正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	53,700,000	53,832,000	△ 132,000
受 取 会 費	53,700,000	53,832,000	△ 132,000
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000,000	18,260,000	△ 260,000
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000,000	18,260,000	△ 260,000
事 業 収 益	152,738,000	125,707,296	27,030,704
受 講 料 収 益	24,712,000	17,207,408	7,504,592
訪 問 看 護 事 業 収 益	79,464,000	69,299,138	10,164,862
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	10,998,000	10,713,516	284,484
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	24,823,000	26,053,521	△ 1,230,521
そ の 他 の 事 業 収 益	550,000	664,100	△ 114,100
全 国 学 会 開 催 事 業 収 益	10,741,000	1,669,613	9,071,387
全 国 学 会 協 賛 収 益	1,450,000	100,000	1,350,000
受 取 補 助 金 等	74,605,000	90,989,710	△ 16,384,710
受 取 県 補 助 金 等	64,839,000	73,613,826	△ 8,774,826
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,262,000	2,004,773	257,227
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 受 託 収 益	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	820,000	0
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	21,971,000	20,100,000	1,871,000
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610,000	1,610,000	0
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207,000	3,207,000	0
受 取 訪 問 看 護 支 援 強 化 事 業 受 託 収 益	4,853,000	4,853,000	0
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	770,000	0	770,000
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 学 会 等 開 催 事 業 費 補 助 金	1,640,000	0	1,640,000
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業 受 託 収 益	0	254,281	△ 254,281
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 訪 問 看 護 ト ラ イ ア ル 雇 用 事 業 受 託 収 益	6,300,000	5,787,847	512,153
受 取 テ レ ワ ー ク 型 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン モ デ ル 事 業 受 託 収 益	1,500,000	0	1,500,000
受 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業 受 託 収 益	5,348,000	2,200,048	3,147,952
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 連 携 加 速 化 事 業 受 託 収 益	5,093,000	2,821,497	2,271,503
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託 収 益	917,000	917,000	0
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ポ ー ト 事 業 受 託 収 益	1,800,000	1,800,000	0
受 取 新 型 コ ロ ナ 感 染 症 の 軽 症 者 等 に 係 る 健 康 事 業 受 託 収 益	0	20,480,900	△ 20,480,900
受 取 訪 問 看 護 災 害 時 支 援 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	0	9,480	△ 9,480
受 取 日 看 協 受 託 収 益	9,766,000	17,375,884	△ 7,609,884
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 収 益	1,548,000	1,548,940	△ 940
受 取 法 人 会 員 助 成 金	8,218,000	8,218,660	△ 660
訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー モ デ ル 事 業 受 託 収 益	0	2,000,000	△ 2,000,000
地 域 の 医 療 提 供 体 制 確 保 の た め の 看 護 職 員 派 遣 事 業 受 託 収 益	0	5,608,284	△ 5,608,284

科 目	予算額	決算額	差 異
受 取 負 担 金	6,627,000	138,883	6,488,117
受 取 負 担 金	0	138,883	△ 138,883
受 取 負 担 金 振 替 額	6,627,000	0	6,627,000
受 取 助 成 金	0	4,844,480	△ 4,844,480
受 取 寄 付 金	0	1,030,000	△ 1,030,000
受 取 寄 付 金	0	1,030,000	△ 1,030,000
受 取 補 助 金 振 替 額	0	6,336,712	△ 6,336,712
雜 収 益	1,715,000	1,583,327	131,673
受 取 利 息	5,000	2,307	2,693
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息	5,000	2,307	2,693
雜 収 益	1,710,000	1,581,020	128,980
經常収益計	307,385,000	302,722,408	4,662,592
(2) 經常費用			
事 業 費	273,639,000	274,967,963	△ 1,328,963
役 員 報 酬	7,440,000	7,755,876	△ 315,876
給 料 手 当	83,888,000	91,833,371	△ 7,945,371
臨 時 雇 賃 金	31,169,000	29,346,092	1,822,908
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	462,000	504,000	△ 42,000
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,917,000	2,991,428	925,572
福 利 厚 生 費	20,181,000	21,209,107	△ 1,028,107
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	677,000	1,108,800	△ 431,800
賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,486,000	7,801,552	△ 315,552
旅 費 交 通 費	7,995,000	3,134,771	4,860,229
通 信 運 搬 費	5,191,000	6,809,048	△ 1,618,048
減 価 償 却 費	11,800,000	12,607,060	△ 807,060
建 物 減 価 償 却 費	8,500,000	8,559,602	△ 59,602
構 築 物 減 価 償 却 費	1,000,000	1,188,307	△ 188,307
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	1,800,000	2,338,591	△ 538,591
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	500,000	520,560	△ 20,560
消 耗 什 器 備 品 費	1,098,000	75,900	1,022,100
消 耗 品 費	4,623,000	7,340,739	△ 2,717,739
修 繕 費	2,525,000	1,180,135	1,344,865
印 刷 製 本 費	6,881,000	5,030,261	1,850,739
新 聞 図 書 費	1,405,000	801,275	603,725
燃 料 水 料 費	920,000	703,695	216,305
光 熱 水 料 費	3,754,000	4,442,877	△ 688,877
賃 借 料 費	11,815,000	10,476,052	1,338,948
保 險 料 費	1,814,000	1,418,500	395,500
諸 謝 金	14,314,000	22,252,188	△ 7,938,188
廣 報 費	1,678,000	3,031,251	△ 1,353,251
租 税 公 課	7,382,000	9,742,454	△ 2,360,454
支 払 負 担 金	110,000	909,294	△ 799,294
支 払 助 成 金	17,550,000	14,540,195	3,009,805
委 託 費	15,026,000	6,669,370	8,356,630
雜 費	2,538,000	1,252,672	1,285,328
管 理 費	30,926,000	21,916,677	9,009,323
役 員 報 酬	5,440,000	5,980,000	△ 540,000
給 料 手 当	5,380,000	4,833,335	546,665
臨 時 雇 賃 金	20,000	0	20,000

科 目	予算額	決算額	差 異
役員退職慰労引当金繰入額	308,000	336,000	△ 28,000
退職給付引当金繰入額	125,000	155,402	△ 30,402
福利厚生費	1,198,000	23,816	1,174,184
役員賞与引当金繰入額	451,000	123,200	327,800
賞与引当金繰入額	333,000	416,608	△ 83,608
旅費交通費	1,467,000	320,750	1,146,250
会議費	224,000	56,548	167,452
通信運搬費	774,000	145,674	628,326
減価償却費	2,780,000	3,021,626	△ 241,626
建物減価償却費	2,030,000	2,139,901	△ 109,901
構築物減価償却費	250,000	297,077	△ 47,077
工具器具備品減価償却費	500,000	584,648	△ 84,648
消耗什器備品費	310,000	0	310,000
消耗品費	309,000	132,246	176,754
修繕費	230,000	131,126	98,874
印刷製本費	2,432,000	1,738,878	693,122
新聞図書費	430,000	116,754	313,246
燃料費	65,000	23,839	41,161
光熱水料費	970,000	493,652	476,348
賃借料	1,960,000	1,209,022	750,978
保険料	78,000	42,780	35,220
広報費	0	33,000	△ 33,000
租税公課	2,850,000	901,500	1,948,500
支払負担金	180,000	371,874	△ 191,874
支払寄付金	0	20,000	△ 20,000
委託費	2,298,000	504,159	1,793,841
雑費	314,000	784,888	△ 470,888
経常費用計	304,565,000	296,884,640	7,680,360
評価損益等調整前当期経常増減額	2,820,000	5,837,768	△ 3,017,768
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,820,000	5,837,768	△ 3,017,768
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,820,000	5,837,768	△ 3,017,768
一般正味財産期首残高	0	743,150,249	△ 743,150,249
一般正味財産期末残高	2,820,000	748,988,017	△ 746,168,017
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	△ 6,336,712	6,336,712
一般正味財産への振替額	0	△ 6,336,712	6,336,712
地方公共団体補助金	0	△ 6,336,712	6,336,712
当期指定正味財産増減額	0	△ 6,336,712	6,336,712
指定正味財産期首残高	0	248,288,824	△ 248,288,824
指定正味財産期末残高	0	241,952,112	△ 241,952,112
III 正味財産期末残高	2,820,000	990,940,129	△ 988,120,129

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受 取 会 費	26,916,000	26,916,000		53,832,000
受 取 会 費	26,916,000	26,916,000		53,832,000
受 取 会 館 運 営 基 金	9,130,000	9,130,000		18,260,000
受 取 会 館 運 営 基 金	9,130,000	9,130,000		18,260,000
事 業 収 益	125,707,296	0		125,707,296
受 講 料 収 益	17,207,408	0		17,207,408
訪 問 看 護 事 業 収 益	69,299,138	0		69,299,138
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	10,713,516	0		10,713,516
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	26,053,521	0		26,053,521
そ の 他 の 事 業 収 益	664,100	0		664,100
全 国 学 会 開 催 事 業 収 益	1,669,613	0		1,669,613
全 国 学 会 協 賛 収 益	100,000	0		100,000
受 取 補 助 金 等	90,215,240	774,470		90,989,710
受 取 県 補 助 金 等	73,613,826	0		73,613,826
受 取 日 看 協 受 託 収 益	16,601,414	774,470		17,375,884
受 取 負 担 金	138,883	0		138,883
受 取 負 担 金	138,883	0		138,883
受 取 助 成 金	4,844,480	0		4,844,480
受 取 寄 付 金	1,030,000	0		1,030,000
受 取 寄 付 金	1,030,000	0		1,030,000
受 取 補 助 金 振 替	6,336,712	0		6,336,712
雑 収 益	827,250	756,077		1,583,327
受 取 利 息	1,846	461		2,307
雑 収 益	825,404	755,616		1,581,020
経常収益計	265,145,861	37,576,547		302,722,408
(2) 経常費用				
事 業 費	274,967,963	0		274,967,963
役 員 報 酬	7,755,876	0		7,755,876
給 料 手 当	91,833,371	0		91,833,371
臨 時 雇 賃 金	29,346,092	0		29,346,092
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504,000	0		504,000
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	2,991,428	0		2,991,428
福 利 厚 生 費	21,209,107	0		21,209,107
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,108,800	0		1,108,800
賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,801,552	0		7,801,552
旅 費 交 通 費	3,134,771	0		3,134,771
通 信 運 搬 費	6,809,048	0		6,809,048
減 価 償 却 費	12,607,060	0		12,607,060
消 耗 什 器 備 品 費	75,900	0		75,900
消 耗 什 器 備 品 費	7,340,739	0		7,340,739
修 繕 費	1,180,135	0		1,180,135
印 刷 繕 製 本 書 費	5,030,261	0		5,030,261
新 聞 図 料 書 費	801,275	0		801,275
燃 料 水 料 費	703,695	0		703,695
光 熱 水 料 費	4,442,877	0		4,442,877
賃 借 料	10,476,052	0		10,476,052

科 目			公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
保	險	料	1,418,500	0		1,418,500
諸	謝	金	22,252,188	0		22,252,188
広	報	費	3,031,251	0		3,031,251
租	税	課	9,742,454	0		9,742,454
支	払	金	909,294	0		909,294
支	払	金	14,540,195	0		14,540,195
委	託	費	6,669,370	0		6,669,370
雑		費	1,252,672	0		1,252,672
管	理	費	0	21,916,677		21,916,677
役	員	報	0	5,980,000		5,980,000
給	料	手	0	4,833,335		4,833,335
役	員	引	0	336,000		336,000
退	職	引	0	155,402		155,402
福	利	厚	0	23,816		23,816
役	員	引	0	123,200		123,200
賞	与	引	0	416,608		416,608
旅	費	交	0	320,750		320,750
会		議	0	56,548		56,548
通	信	運	0	145,674		145,674
減	価	償	0	3,021,626		3,021,626
消	耗	品	0	132,246		132,246
修		繕	0	131,126		131,126
印	刷	製	0	1,738,878		1,738,878
新	聞	図	0	116,754		116,754
燃		料	0	23,839		23,839
光	熱	水	0	493,652		493,652
賃		借	0	1,209,022		1,209,022
保		險	0	42,780		42,780
広		報	0	33,000		33,000
租	税	公	0	901,500		901,500
支	払	負	0	371,874		371,874
支	払	寄	0	20,000		20,000
委		託	0	504,159		504,159
雑		費	0	784,888		784,888
経常費用計			274,967,963	21,916,677		296,884,640
評価損益等調整前当期経常増減額			△ 9,822,102	15,659,870		5,837,768
評価損益等計			0	0		0
当期経常増減額			△ 9,822,102	15,659,870		5,837,768
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計			0	0		0
(2) 経常外費用						
経常外費用計			0	0		0
当期経常外増減額			0	0		0
当期一般正味財産増減額			△ 9,822,102	15,659,870		5,837,768
一般正味財産期首残高			461,303,416	281,846,833		743,150,249
一般正味財産期末残高			451,481,314	297,506,703		748,988,017
II 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額			△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
一般正味財産への振替額			△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額			△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
指定正味財産期首残高			248,288,824	0		248,288,824
指定正味財産期末残高			241,952,112	0		241,952,112
III 正味財産期末残高			693,433,426	297,506,703		990,940,129

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育等看護の質の向上に関する事業	看護研究会の開催等学術研究の振興に関する事業	看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業	訪問看護の実施等地域の保険医療福祉に関する事業	その他本会の目的を達成するために必要な事業	公益目的共通事業	
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取会費	0	0	0	0	0	0	26,916,000	26,916,000
受取会費	0	0	0	0	0	0	26,916,000	26,916,000
受取会館運営基金	0	0	0	0	0	0	9,130,000	9,130,000
受取会館運営基金	0	0	0	0	0	0	9,130,000	9,130,000
事業取	16,079,908	1,769,613	1,153,600	638,000	106,066,175	0	0	125,707,296
受講料取	16,079,908	0	1,127,500	0	0	0	0	17,207,408
訪問看護事業取	0	0	0	0	69,299,138	0	0	69,299,138
居宅介護支援費取	0	0	0	0	10,713,516	0	0	10,713,516
地域包括支援センター受託取	0	0	0	0	26,053,521	0	0	26,053,521
その他の事業取	0	0	26,100	638,000	0	0	0	664,100
全国学会開催事業取	0	1,669,613	0	0	0	0	0	1,669,613
全国学会協賛取	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000
受取補助金等	8,359,773	0	0	26,537,000	19,981,872	26,343,465	8,993,130	90,215,240
受取県補助金等	8,359,773	0	0	26,537,000	17,981,872	20,735,181	0	73,613,826
受取日看協受託取	0	0	0	0	2,000,000	5,608,284	8,993,130	16,601,414
受取負担金	0	0	0	0	138,883	0	0	138,883
受取負担金	0	0	0	0	138,883	0	0	138,883
受取助成金	0	0	0	0	4,844,480	0	0	4,844,480
受取寄付金	0	0	0	0	0	1,030,000	0	1,030,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	1,030,000	0	1,030,000
受取補助金振替	0	0	0	0	0	0	6,336,712	6,336,712
雑取	0	0	0	0	218,899	0	608,351	827,250
雑取	0	0	0	0	218,899	0	1,846	1,846
雑取	0	0	0	0	218,899	0	606,505	825,404
経常収益計	24,439,681	1,769,613	1,153,600	27,175,000	131,250,309	26,343,465	53,014,193	265,145,861
(2) 経常費用								
事業費	18,385,636	0	585,203	24,519,913	127,096,970	21,539,461	82,840,780	274,967,963
役員報酬	0	0	0	0	0	0	7,755,876	7,755,876
給料手当	0	0	0	9,712,700	64,687,326	1,380,000	16,053,345	91,833,371
臨時雇賃	0	0	0	5,787,043	17,752,784	1,853,200	3,953,065	29,346,092
役員退職慰勞引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	504,000	504,000
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	2,991,428	2,991,428
福利厚生費	0	0	0	2,083,163	12,943,216	0	6,182,728	21,209,107
役員賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	1,108,800	1,108,800
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	7,801,552	7,801,552
旅費交通費	1,382,360	0	84,355	71,925	322,518	1,229,170	44,443	3,134,771
通信搬却費	669,620	0	168	706,214	3,495,603	997,863	939,580	6,809,048
減価償却費	0	0	0	0	0	0	12,607,060	12,607,060
消耗什器備品	75,900	0	0	0	0	0	0	75,900
消耗品	823,687	0	0	204,966	4,339,665	1,698,753	273,668	7,340,739
修繕費	165,099	0	0	3,267	125,194	2,178	884,397	1,180,135
印刷製本費	1,755,040	0	0	1,707,650	654,277	356,043	557,251	5,030,261
新聞図書費	528,589	0	29,700	161,545	58,819	22,622	0	801,275
燃料水料	0	0	0	0	703,695	0	0	703,695
光熱水料	0	0	0	174,721	346,458	0	3,921,698	4,442,877
賃借料	4,149,344	0	0	781,248	5,935,880	33,580	△ 424,000	10,476,052
保険料	0	0	0	2,160	1,125,640	0	290,700	1,418,500
諸謝報	8,248,088	0	436,000	265,000	1,081,600	12,221,500	0	22,252,188
広報費	0	0	0	1,601,433	0	1,429,818	0	3,031,251
租税公課	35,800	0	0	23,000	2,450	30,400	9,650,804	9,742,454
支払負担金	2,090	0	0	0	550	703,380	0	203,274
支払助成金	0	0	0	0	11,232,395	0	3,307,800	14,540,195
委託費	50,600	0	0	1,215,236	1,153,273	99,000	4,151,261	6,669,370
雑費	499,419	0	34,980	18,092	432,797	185,334	82,050	1,252,672
経常費用計	18,385,636	0	585,203	24,519,913	127,096,970	21,539,461	82,840,780	274,967,963
評価損益等調整前当期経常増減額	6,054,045	1,769,613	568,397	2,655,087	4,153,339	4,804,004	△ 29,826,587	△ 9,822,102
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	6,054,045	1,769,613	568,397	2,655,087	4,153,339	4,804,004	△ 29,826,587	△ 9,822,102

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育等看護の質の向上に関する事業	看護研究会の開催等学術研究の振興に関する事業	看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業	訪問看護の実施等地域の保険医療に関する事業	その他本会の目的を達成するために必要な事業	公益目的共通事業	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,054,045	1,769,613	568,397	2,655,087	4,153,339	4,804,004	△ 29,826,587	△ 9,822,102
一般正味財産期首残高	52,892,151	4,037,852	4,685,470	101,740,284	203,620,612	△ 57,600,252	151,927,299	461,303,416
一般正味財産期末残高	58,946,196	5,807,465	5,253,867	104,395,371	207,773,951	△ 52,796,248	122,100,712	451,481,314
II 指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	129,215	0	248,159,609	248,288,824
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	129,215	0	241,822,897	241,952,112
III 正味財産期末残高	58,946,196	5,807,465	5,253,867	104,395,371	207,903,166	△ 52,796,248	363,923,609	693,433,426

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

- (1) 重要な会計方針の変更について
変更なし。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 - ①建物 …………… 定額法によっている。
 - ②構築物・什器備品 …………… 定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
 - ①賞与引当金 …………… 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ②役員賞与引当金 …………… 役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ③退職給付引当金 …………… 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。
 - ④役員退職慰労引当金 …………… 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産、特定資産及びその残高

基本財産、特定資産及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	2,610,000	840,000	1,500,000	1,950,000
退職給付引当資産	25,447,530	3,146,830	720,000	27,874,360
減価償却引当資産	204,834,968	1,069,950		205,904,918
会館建設引当資産	276,331,050	18,280,000		294,611,050
建 物	355,824,853	0	10,699,503	345,125,350
構 築 物	11,139,957	0	1,485,384	9,654,573
什 器 備 品	1	0	0	1
土 地	74,574,139	0	0	74,574,139
小 計	950,762,498	23,336,780	14,404,887	959,694,391
合 計	950,762,498	23,336,780	14,404,887	959,694,391

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	1,950,000			1,950,000
退職給付引当資産	27,874,360			27,874,360
減価償却引当資産	205,904,918		205,904,918	
会館建設引当資産	294,611,050		294,611,050	
建築物	345,125,350	167,377,972	177,747,378	
構築物	9,654,573		9,654,573	
什器備品	1	1		
土地	74,574,139	74,574,139		
小 計	959,694,391	241,952,112	687,917,919	29,824,360
合 計	959,694,391	241,952,112	687,917,919	29,824,360

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建築物	563,685,911	218,560,561	345,125,350
構築物	47,073,459	37,418,886	9,654,573
什器備品	209,160	209,159	1
その他固定資産			
什器備品	23,919,928	13,199,641	10,720,287
ソフトウェア	3,451,425	2,670,585	780,840
電話加入権	91,575	0	91,575
合 計	638,431,458	272,058,832	366,372,626

5 保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	富山県他	248,288,824	0	6,336,712	241,952,112	指定正味財産
看護職員研修補助金	富山県	0	2,268,000	2,268,000	0	
看護職員定着支援事業補助金	富山県	0	420,000	420,000	0	
助成金						
教育事業（研修）助成金	日本看護協会	0	8,118,660	8,118,660	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
合計		248,288,824	10,906,660	17,243,372	241,952,112	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	6,336,712

9 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

10 重要な後発事象

該当事項なし。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産、特定資産の増減額及びその残高」に記載

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	2,610,000	840,000	1,500,000	0	1,950,000
退職給付引当金	25,447,530	3,146,830	720,000	0	27,874,360
役員賞与引当金	1,129,334	1,232,000	1,129,334	0	1,232,000
賞与引当金	8,024,308	8,218,160	8,024,308	0	8,218,160

財産目録

令和3年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	(単位:円) 金額		
(流動資産)						
現金 預金	手元保管 普通預金 北陸五福会費収入 北陸五福支払 北陸五福受講料収入 北陸五福補助金収入 北陸五福ひよどり 北陸五福ひよどり大島 北陸五福ひよどり富山 北陸五福包括センター	運転資金として 運転資金として		253,681		
				65,067,987		
				42,280,740		
				1,886,509		
				450,000		
				979,060		
				5,261,782		
				599,481		
				7,898,109		
				5,712,306		
未収金 前払金		県委託費、訪問看護収入、居宅収入、包括支援センター収入他 令和3年度ナースセンター事業前払金	46,536,317 118,365			
流動資産合計				111,976,350		
(固定資産)						
特定資産						
役員退職慰労引当資産 北陸五福普通 退職給付引当資産 北陸五福普通 減価償却引当資産 北陸五福普通 北陸五福定期 会館建設引当資産 北陸五福普通 富山第一普通	役員退職慰労引当預金 退職給与引当預金 減価償却引当預金 会館建設引当預金	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 資産取得資金であり、建物及び附属設備等の更新に備えたもの 資産取得資金であり、建物の建替えに備えたもの		1,950,000 (1,950,000)		
				27,874,360 (27,874,360)		
				205,904,918 (182,882,890)		
				(23,022,028)		
				294,591,050 (204,819,194)		
				(89,771,856)		
			建物 建物	富山市鶴島字川原 1907-1	公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	345,125,350
			構築物 構築物	融雪設備、キュービクル等	公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	9,654,573
			什器備品 什器備品	附属設備一式	公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	1
			土地 土地	富山市鶴島字川原 1907-1	公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	74,574,139
その他固定資産	什器備品等 ソフトウェア 電話加入権	附属設備一式 公益目的事業及び管理運営の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	10,720,287 780,840 91,575			
固定資産合計				971,267,093		
資産合計				1,083,243,443		
(流動負債)						
未払金 前受会費 預り金 役員賞与引当金 賞与引当金 未払消費税	令和3年度協会会費 令和3年3月源泉所得税他 令和2年度消費税	令和3年3月分社会保険料他	11,871,025			
		公益目的事業及び管理費運営の支出に供する会費の前受け	36,090,000			
		令和3年3月健康保険料他	2,109,769			
		役員に対する賞与の支払いに備えたもの	1,232,000			
		職員に対する賞与の支払いに備えたもの	8,218,160			
		令和2年度に支払う消費税	2,958,000			
流動負債合計				62,478,954		
(固定負債)						
役員退職慰労引当金 退職給付引当金		役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,950,000 27,874,360			
固定負債合計				29,824,360		
負債合計				92,303,314		
正味財産				990,940,129		

監査報告書

令和3年5月17日

公益社団法人富山県看護協会
会長 松原直美 殿

監事 三日市 麻紀子



監事 竹澤 和美



監事 河村 拓栄



公益社団法人富山県看護協会定款第29条に基づき、令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）公益社団法人富山県看護協会収支決算書について、財産の管理状況と業務執行状況の監査を令和3年5月17日に行った結果、財産管理並びに業務の執行については、正確且つ適正に処理されていることを認める。

令和3年度 富山県看護協会役員(案)の選任について

役員候補者

理事

(五十音順)

新任者氏名	職種	勤務先	前任者氏名	職種	勤務先
宇波 淳子	保	氷見市市民部 健康課	金岡 亨子	保	小矢部市民生部 健康福祉課
炭田 恵	看	独立行政法人労働者 健康安全機構 富山労災病院	安倍 淑子	看	独立行政法人労働者 健康安全機構 富山労災病院
丸池 小百合	看	国立大学法人 富山大学附属病院	/		
嘉藤 和男	准	かみいち総合病院	野口 翔也	准	医療法人社団藤聖会 富山西総合病院

監事

新任者氏名	職種	勤務先	前任者氏名	職種	勤務先
/			三日市 麻紀子	助	国立大学法人 富山大学附属病院

任期：前任者の残任期間（就任日から令和4年度定時総会の終結の時まで）

**令和4年度日本看護協会通常総会
代議員及び予備代議員(案)の選任について**

代議員及び予備代議員候補者

(五十音順)

役職等	氏名	職種	勤務先
代議員候補者	井上 享子	保健師	医療法人社団博啓会 アイ・クリニック
	大坪 幸代	看護師	国立大学法人富山大学附属病院
	岡本 里美	助産師	富山県立中央病院
	嘉藤 和男	准看護師	かみいち総合病院
	越坂 裕子	保健師	富山県高岡厚生センター 氷見支所
	千田 昌代	看護師	富山県済生会富山病院
	中島 房代	看護師	光ヶ丘病院
	藤根 優子	保健師	富山市西保健福祉センター
	諸江 由紀子	看護師	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
予備代議員候補者	石田 美奈	保健師	富山県高岡児童相談所
	稲村 睦子	看護師	富山県立総合衛生学院
	岡部 陽子	保健師	富山県中部厚生センター
	田村 雅子	看護師	公益社団法人富山県看護協会
	林 貴子	助産師	市立砺波総合病院
	船木 恵	看護師	富山市立富山まちなか病院
	宮木 貴英	准看護師	介護老人保健施設おおぞら
	向野 勝美	保健師	公益社団法人富山県看護協会
	村上 久美子	看護師	池田リハビリテーション病院

令和3年度選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について

選挙管理委員・推薦委員候補者

(五十音順)

委員名	氏名	職種	施設名
選挙管理委員 候補者	朝倉由紀	看護師	独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院
	石黒幸子	助産師	富山県立中央病院
	瀬山尚子	看護師	富山県済生会富山病院
	成瀬久美子	保健師	富山市福祉保健部介護保険課
推薦委員 候補者	荒井都子	保健師	小矢部市民生部健康福祉課
	太田桃子	看護師	医療法人社団藤聖会 富山西総合病院
	掛尾琴美	保健師	上市町役場福祉課
	杉本泰子	助産師	高岡市民病院
	杉山貴美江	看護師	独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院
	高井雅美	助産師	富山県立中央病院
	廣島恭子	保健師	富山県砺波厚生センター
	藤井早苗	看護師	かみいち総合病院
	村田伊紀子	看護師	富山県済生会高岡病院
	山田美香	看護師	公立学校共済組合 北陸中央病院

報 告 事 項

報告事項1	令和3年度重点事業並びに事業計画	87
報告事項2	令和3年度収支予算	93

令和3年度 重点政策・重点事業並びに事業計画

少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革はすでに進んでおり、病床の機能分化・連携、地域包括ケアシステムの構築、医療従事者の確保・勤務環境の改善等が推進されている。また、令和2年度から拡大している新型コロナウイルス感染症は、なかなか終息の兆しが見えず、第一線で働く看護職の業務が増大している。

このような中で、看護については、提供する場の拡大により、「あらゆる人に対する良質な看護の提供」が求められている。

これらに対し、今年度は2025年に向けた「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を看護の将来ビジョンとして表明している日本看護協会と連携して、「県民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」ため、本会の使命である「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を前提としつつ、医療モデルから生活モデル重視への転換に対する看護提供体制を構築するとともに、変革に対し、新たに必要な対策を講じるとともに、さらに踏襲すべきことを併せて重点事業として取り組む。

以上のことから、本会の使命を達成するため、令和3年度の重点事業を次の5項目とする。

【重点政策・重点事業】

- 1 新興感染症の対応及び災害発生時初動体制の検討
- 2 看護師基礎教育4年制への情報収集
- 3 全世代型地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
 - (1) 在宅・施設等の看護の機能強化
 - (2) 健康寿命の延伸に向けた地域連携推進
 - (3) 包括的な母子支援のための看護機能の強化
- 4 看護職の働き方改革の推進
 - (1) 勤務環境改善（多様な勤務形態、タスクシフト/シェア）の推進
 - (2) 看護職の就業と定着の推進
- 5 看護職の役割拡大の推進と人材育成
 - (1) 訪問看護ステーションの機能強化
 - (2) 特定行為研修制度の周知・普及
 - (3) 「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」活用の推進

令和3年度事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業を日本看護協会と連携し、次のとおり行う。

○事業計画は、定款第5条の6事業に沿って掲載

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業） ・下線は新規等事業

実施内容	事業活動支出 予算（千円）	
1-1 継続教育に関する事業 1 教育計画の企画・実施・評価 ①令和3年度教育計画の広報・実施・評価 ・80研修 ・研修実施の評価を研修後アンケートにて実施 ・広報：「研修計画冊子」「看護とやま」「ホームページ」等 ②JNAオンデマンド活用研修 ・1研修 ③DVD研修 ・3研修 ④委員会担当研修会 ⑤研修申し込み方法、受講料納入方法の変更（新） 2 認定看護管理者の育成 ①認定看護管理者教育（ファーストレベル課程） 111時間（18.5日間） 50人 ②認定看護管理者教育（セカンドレベル課程） 180時間（30日間） 25人 3 看護師基礎教育4年制への情報収集（新） 4 新人看護職員研修 ①新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 ②新人看護職員実地指導者研修 ③新人看護職員研修 5 実習指導者育成 ①保健師助産師看護師等実習指導者講習会（一般） 180時間、40人 ②保健師助産師看護師等実習指導者講習会（特定分野） 39時間、8人 6 認知症研修 ① 看護職員認知症対応力向上研修（3日間） 7 看護職員資質向上実務研修（8回） 8 特定行為研修制度の普及	・令和3年度教育研修計画に掲載 ・保健師職能、助産師職能、看護師職能、教育、看護倫理、医療安全、学会委員会等 ・WEB申し込み、コンビニ決済 ・認定看護管理者教育運営委員会（年4回開催） ・新人看護職員研修推進会議 (240時間→180時間) (48時間→39時間)	18,696

2 学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
2-1 富山県看護研究学会の開催	・令和3年12月4日(土)：富山県教育文化会館	790
2-2 図書室運営に関する事業		

3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
3-1 医療・安全に関する事業 (1) 医療安全対策研修 (2) 医療事故調査等制度に関すること ①支援団体として登録 ②院内事故調査に関わる専門家の推薦及び派遣	・令和3年9月4日(土)	1,171
3-2 准看護師から看護師への支援事業 (1) 准看護師の進学支援研修 (2) 准看護学生への進学支援		
3-3 看護業務及び制度に関する政策提言 (1) 職能委員会、委員会活動 (2) 行政・関係団体等からの委員委嘱		

4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
4-1 働きやすい労働環境づくり支援事業 (1) 富山県ナースセンター事業 ①看護師等就業促進事業 ア ナースセンター求人・求職登録事業 イ 看護師等免許保持者届出事業 ウ 看護職員就職アドバイザー事業 エ 移動就業相談事業 オ 就業支援専門員配置事業 (ハローワーク7か所) カ ナースセンターサテライト事業 (新川・射水・砺波地区) キ ナースセンター・ハローワーク連携事業 ク 看護職員再就業支援研修会 ケ 就職ガイダンス コ 登録看護職員就業希望調査 サ 看護職員・大学生Uターン促進事業 シ 養成機関共同PR事業 ②看護職員定着支援事業 ア 看護職員体験談募集・表彰 イ 看護職員定着支援シンポジウム ③看護普及推進事業 ア 看護体験学習等 ④看護学生就労啓発事業 (2) 医療勤務環境改善支援センター事業 (病院サポート事業) ①看護職のWLB推進事業報告会 訪問型中小民間病院支援事業 WLB推進事業表彰式（カンゴサウルス賞）	24,678	
	・表彰式 令和3年5月9日(日) ・令和3年8月10日(火)	
	推進事業報告会 令和3年12月8日(水) 令和3年5月26日(水)	

5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
<p>5-1 訪問看護支援事業</p> <p>(1) 訪問看護支援強化事業（訪問看護ネットワークセンター事業）</p> <p>①訪問看護コールセンター</p> <p>②訪問看護の普及啓発</p> <p>③訪問看護の機能強化</p> <p>④訪問看護運営支援アドバイザー派遣</p> <p>(2) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会</p> <p>(3) 訪問看護従事者等研修会</p> <p>(4) 訪問看護ステーション管理者育成研修会</p> <p>(5) 訪問看護ステーション業務改善推進事業（ICT導入推進）</p> <p>(6) 訪問看護推進事業（在宅ケア事例検討会等）</p> <p>(7) 訪問看護トライアル雇用事業</p> <p>(8) 訪問看護ステーション連携加速化事業（出向、研修受入、スキルアップ研修）</p> <p>(9) 訪問看護ステーションサポート事業</p> <p>(10) 訪問看護災害時支援体制整備事業（新）</p> <p>(11) 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業（新）</p> <p>(12) 訪問看護総合推進センター設置に向けた検討（新）</p> <p>(14) 富山県訪問看護ステーション連絡協議会等との連携・支援</p> <p>5-2 訪問看護ステーション活動の推進</p> <p>(1) 訪問看護ステーションひよどり</p> <p>(2) 訪問看護ステーションひよどり富山</p> <p>5-3 地域包括システムにおける活動の推進</p> <p>(1) 居宅介護支援事業所ひよどり富山</p> <p>(2) 神明・五福地域包括支援センター</p>	<p>令和2年度日本看護協会委託事業「訪問看護ステーション総合推進センター試行事業」を実施。</p>	<p>138,578</p>

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
<p>6-1 新型コロナウイルス感染症に関する事業（新）</p> <p>(1) シンポジウム</p> <p>(2) 医療機関への支援</p> <p>(3) 医療機関、行政、軽症者宿泊施設への看護職の派遣</p> <p>(4) 再就業支援研修の充実</p> <p>6-2 県民の健康の増進・啓発に関する事業</p> <p>(1) 看護の心普及啓発事業</p> <p>①「看護の日・看護週間」行事の実施</p> <p>ア 「看護の日」看護フェスティバル</p> <p>イ ふれあい看護体験</p> <p>②高校生の一日看護体験</p> <p>③看護師等養成機関共同PR事業</p> <p>④看護普及推進事業</p>	<p>・令和3年7月22日（木・祝）</p> <p>・令和3年5月9日（日） 富山県看護研修センター</p>	<p>44,085</p>

実 施 内 容		事業活動支出 予算（千円）
<p>(2) 支部活動の推進</p> <p>①支部における看護職連携構築の推進</p> <p>②研修会</p> <p>③地域のニーズに応じた看護活動</p> <p>④まちの保健室</p> <p>⑤一日まちの保健室</p> <p>⑥支部長会の開催</p> <p>6-3 地域における看護職のネットワーク強化事業</p> <p>(1) 地域における看護職ネットワーク強化事業</p> <p>①施設訪問</p> <p>②出前講座</p> <p>6-4 災害時の看護支援活動に関する事業</p> <p>(1) 災害看護ネットワークづくりの推進</p> <p>(2) 災害支援ナースの育成・登録の推進</p> <p>(3) 災害看護受援マニュアルの整備</p> <p>(4) 災害支援ポケットマニュアル等の更新</p> <p>(5) 防災訓練等に関すること</p> <p>(6) 富山県における災害発生時対応体制の検討(新)</p> <p>6-5 広報活動</p> <p>(1) 看護職及び県民等への広報</p> <p>①看護とやま発行・配布</p> <p>②ホームページの内容充実</p> <p>③県医師会報、自治体広報等で情報提供</p> <p>④新聞広告、テレビ等で情報提供</p> <p>6-6 法人管理に関する事業</p> <p>(1) 内部管理体制の強化</p> <p>①定時総会 1回</p> <p>②理事会</p> <p>③職能集会 1回</p> <p>④職能委員会</p> <p>⑤委員会</p> <p>・合同委員会</p> <p>⑥支部長会</p> <p>⑦職員の人事管理・労務管理の充実</p> <p>(2) 会員登録制度の充実</p> <p>①会員募集</p> <p>②会員登録</p> <p>ア 新規・更新会員の受付及び新会員情報管理体制「ナースシップ」の運用管理</p> <p>イ キャリナースの機能強化</p> <p>③新会員情報管理体制構築</p>	<p>・日本看護協会収録都道府県看護協会向けDVD研修 災害支援ナースの第一歩（基礎編） 令和3年8月5日(木)、6日(金)</p> <p>・災害看護研修（フォローアップ編） 令和3年10月14日(木)</p> <p>①災害支援ナース派遣調整合同訓練（日本看護協会等）</p> <p>②富山県総合防災訓練</p> <p>③富山県原子力防災訓練</p> <p>・年4回発行（4月、7月、10月、1月）</p> <p>・令和3年6月19日(土)</p> <p>・4, 5, 6, 8, 10, 12, 1, 3月</p> <p>・令和3年6月19日(土)</p> <p>・令和3年6月23日(水)</p> <p>・年2回</p>	

実施内容	事業活動支出 予算（千円）
<p>(3) 会員支援の充実</p> <p>①表彰</p> <p>②各受賞候補者の推薦</p> <p>③会員への福利厚生</p> <p>ア 各種見舞（災害等）の支給</p> <p>イ 物故会員への弔慰</p> <p>6-7 渉外活動</p> <p>(1) 自治体への要望提案</p> <p>(2) 関係団体との連携</p> <p>①構成団体の一員としての活動</p> <p>②関係団体の会議への参加、情報交換、委員等派遣</p> <p>③後援・推薦等依頼への協力</p> <p>(3) 保守修繕</p> <p>(4) 地域活動（町内会等への協力、連携）</p> <p>・子ども110番の家等</p> <p>(5) 新規駐車場の確保・運営</p> <p>6-8 日本看護協会との連携</p> <p>(1) 会議等</p> <p>①日本看護協会通常総会</p> <p>②全国職能別交流集会</p> <p>③理事会</p> <p>④法人会員会（中央）</p> <p>⑤地区別法人会員会・職能委員長会 開催県：静岡県</p> <p>⑥全国職能委員長会</p> <p>⑦その他の会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県看護協会看護労働担当者会議 ・ナースセンター事業担当者会議 ・都道府県看護協会教育担当者会議 ・都道府県看護協会政策責任者会議 ・都道府県看護協会災害看護担当者会議 ・都道府県看護協会事務担当者会議 ・都道府県看護協会広報担当者役員会議 ・都道府県看護協会医療安全担当者役員会議 ・都道府県看護協会新会員情報交換会 ・訪問看護連絡協議会全国会議 ・全国准看護師制度担当役員会議 ・全国基礎教育担当役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年6月9日(水) 千葉幕張メッセ（千葉県） ・令和3年6月10日(木) 千葉幕張メッセ（千葉県） ・年6回：東京JNAホール・神戸研修センター ・年5回：東京JNAホール・神戸研修センター ・令和3年10月14日(木)、15日(金) ・未定 ・令和3年5月20日(木) ・令和3年5月21日(金) ・令和3年7月21日(水) ・未定

令和3年度 収支予算

令和3年度収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(千円)

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	54,420	53,700	720	
受 取 会 費	54,420	53,700	720	
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000	18,000	0	
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000	18,000	0	
事 業 収 益	138,385	152,738	△ 14,353	
受 講 料 収 益	21,013	24,712	△ 3,699	
学 会 事 業 収 益	930	0	930	
全 国 学 会 事 業 収 益	0	10,741	△ 10,741	
全 国 学 会 協 賛 収 益	0	1,450	△ 1,450	
訪 問 看 護 事 業 収 益	79,964	79,464	500	
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	11,584	10,998	586	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	24,344	24,823	△ 479	
そ の 他 の 事 業 収 益	550	550	0	
受 取 補 助 金 等 収 益	116,545	74,605	41,940	
受 取 県 補 助 金 等 収 益	106,252	64,839	41,413	
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268	2,268	0	
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420	420	0	
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,262	2,262	0	
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050	2,050	0	
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820	820	0	
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	21,771	21,971	△ 200	
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510	510	0	
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207	3,207	0	
受 取 訪 問 看 護 支 援 強 化 事 業 受 託 収 益	4,853	4,853	0	
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610	1,610	0	
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785	770	15	
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200	1,200	0	
受 取 訪 問 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 の た め に 働 き 方 改 革 推 進 事 業 受 託 収 益	6,300	7,800	△ 1,500	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業 受 託 収 益	5,348	5,348	0	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 連 携 加 速 化 事 業 受 託 収 益	5,093	5,093	0	
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託 収 益	917	917	0	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ポ ー ト 事 業 受 託 収 益	1,800	1,800	0	
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300	300	0	
受 取 学 会 開 催 事 業 費 補 助 金	0	1,640	△ 1,640	
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業 受 託 収 益	991	0	991	
受 取 新 型 コ ロ ナ 軽 症 者 宿 泊 療 養 施 設 健 康 管 理 整 備 事 業 受 託 収 益	39,857	0	39,857	
受 取 訪 問 看 護 災 害 時 等 支 援 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	1,690	0	1,690	
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	2,200	0	2,200	
受 取 日 看 協 受 託 収 益	10,293	9,766	527	
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,066	1,548	518	
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	8,227	8,218	9	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,627	6,627	0	

科 目	当 年 度 額	前 年 度 額	増 減	備 考
受 取 補 助 金 振 替	6,627	6,627	0	
雑 収	2,841	1,715	1,126	
受 取 利 息	5	5	0	
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息	5	5	0	
そ の 他 の 雑 収	2,836	1,710	1,126	
経 常 収 益	336,818	307,385	29,433	
2) 経常費用			0	
事 業 費	304,560	273,639	30,921	
役 員 報 酬	7,958	7,440	518	
給 料	89,682	83,888	5,794	
臨 時 雇 賃 金	29,787	31,169	△ 1,382	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504	462	42	
退 職 給 付 費 用	3,457	3,917	△ 460	
福 利 厚 生 費 額	20,212	20,181	31	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	739	677	62	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	8,054	7,486	568	
旅 費	5,888	7,995	△ 2,107	
通 信 費	5,630	5,191	439	
減 価 償 却 費	15,001	11,800	3,201	
消 耗 什 耗 品 費	850	1,098	△ 248	
消 耗 什 耗 品 費	3,296	4,623	△ 1,327	
修 繕 費	300	2,525	△ 2,225	
印 刷 費	5,009	6,881	△ 1,872	
新 聞 費	1,407	1,405	2	
燃 料 費	920	920	0	
光 熱 費	3,390	3,754	△ 364	
賃 借 料	15,627	11,815	3,812	
保 険 料	1,814	1,814	0	
諸 謝 託 報 費	46,238	14,314	31,924	
委 託 報 費	7,946	15,026	△ 7,080	
広 告 費	1,684	1,678	6	
租 税 公 課	9,395	7,382	2,013	
支 払 負 担 金	110	110	0	
支 払 助 成 金	17,888	17,550	338	
雑 費	1,774	2,538	△ 764	
管 理 費	31,615	30,926	689	
役 員 報 酬	5,786	5,440	346	
給 料	5,915	5,380	535	
臨 時 雇 賃 金	17	20	△ 3	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	336	308	28	
退 職 給 付 費 用	45	125	△ 80	
福 利 厚 生 費 額	1,063	1,198	△ 135	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	493	451	42	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	156	333	△ 177	
会 費	224	224	0	
旅 費	878	1,467	△ 589	
通 信 費	753	774	△ 21	
減 価 償 却 費	3,751	2,780	971	
消 耗 什 耗 品 費	310	310	0	
消 耗 什 耗 品 費	209	309	△ 100	
修 繕 費	130	230	△ 100	
印 刷 費	2,184	2,432	△ 248	
新 聞 費	230	430	△ 200	
燃 料 費	65	65	0	

科 目	当 年 度 算 額	前 年 度 算 額	増 減	備 考
光 熱 水 料 費	970	970	0	
賃 借 料	2,160	1,960	200	
保 険 料	78	78	0	
諸 謝 金	50	0	50	
委 託 費	2,364	2,298	66	
租 税 公 課	2,940	2,850	90	
支 払 負 担 金	180	180	0	
雑 費	328	314	14	
経 常 費 用 計	336,175	304,565	31,610	
当 期 経 常 増 減 額	643	2,820	△ 2,177	
経常外増減の部			0	
1. 経常外収益			0	
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
2. 経常外費用計			0	
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	643	2,820	△ 2,177	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税			0	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	643	2,820	△ 2,177	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	739,355	736,535	2,820	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	739,998	739,355	643	
指定正味財産増減の部			0	
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,627	△ 6,627	0	
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0	
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 6,627	△ 6,627	0	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	247,708	254,335	△ 6,627	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	241,081	247,708	△ 6,627	
正味財産期末残高	981,079	987,063	△ 5,984	

令和3年度収支予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(千円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	27,210	27,210		54,420
受 取 会 費	27,210	27,210		54,420
受 取 会 館 運 営 基 金	9,000	9,000		18,000
受 取 会 館 運 営 基 金	9,000	9,000		18,000
事 業 収 益	138,385			138,385
受 講 料 収 益	21,013			21,013
学 会 事 業 収 益	930			930
訪 問 看 護 事 業 収 益	79,964			79,964
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	11,584			11,584
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	24,344			24,344
そ の 他 の 事 業 収 益	550			550
受 取 補 助 金 等 収 益	115,512	1,033		116,545
受 取 県 補 助 金 等 収 益	106,252			106,252
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268			2,268
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420			420
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,262			2,262
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050			2,050
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820			820
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	21,771			21,771
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510			510
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207			3,207
受 取 訪 問 看 護 支 援 強 化 事 業 受 託 収 益	4,853			4,853
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610			1,610
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785			785
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200			1,200
受 取 訪 問 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 の た め に 働 き 方 改 革 推 進 事 業 受 託 収 益	6,300			6,300
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業 受 託 収 益	5,348			5,348
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 連 携 加 速 化 事 業 受 託 収 益	5,093			5,093
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託 収 益	917			917
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ポ ー ト 事 業 受 託 収 益	1,800			1,800
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300			300
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業 受 託 収 益	991			991
受 取 新 型 中 軽 症 者 宿 泊 療 養 施 設 健 康 管 理 整 備 事 業 受 託 収 益	39,857			39,857
受 取 訪 問 看 護 災 害 時 等 支 援 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	1,690			1,690
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	2,200			2,200
受 取 日 看 協 受 託 収 益	9,260	1,033		10,293
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	1,033	1,033		2,066
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	8,227			8,227
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	886		6,627
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	886		6,627
雑 収 益	2,004	837		2,841
受 取 利 息	4	1		5
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息	4	1		5
そ の 他 の 雑 収 益	2,000	836		2,836
経 常 収 益 計	297,852	38,966	0	336,818

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
2) 經常費用				
事 業 費	304,560			304,560
役 員 報 酬	7,958			7,958
給 料 手 賃	89,682			89,682
臨 時 雇 賃	29,787			29,787
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入	504			504
退 職 給 付 費	3,457			3,457
福 利 厚 生 費	20,212			20,212
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入	739			739
賞 与 引 当 金 繰 入	8,054			8,054
旅 費	5,888			5,888
通 信 費	5,630			5,630
減 価 償 却 費	15,001			15,001
消 耗 什 耗 器 備 品 費	850			850
消 耗 什 耗 器 備 品 費	3,296			3,296
修 繕 費	300			300
印 刷 製 本 書 費	5,009			5,009
新 聞 製 本 書 費	1,407			1,407
燃 料 水 料 費	920			920
光 熱 水 料 費	3,390			3,390
賃 借 料 費	15,627			15,627
保 險 料 費	1,814			1,814
諸 謝 託 報 費	46,238			46,238
委 託 報 費	7,946			7,946
広 告 費	1,684			1,684
租 税 公 課 金	9,395			9,395
支 払 負 担 金	110			110
支 払 助 成 金	17,888			17,888
雜 費	1,774			1,774
管 理 費		31,615		31,615
役 員 報 酬		5,786		5,786
給 料 手 賃		5,915		5,915
臨 時 雇 賃		17		17
役 員 退 職 慰 勞 金 費		336		336
退 職 給 付 費		45		45
福 利 厚 生 費		1,063		1,063
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入		493		493
賞 与 引 当 金 繰 入		156		156
會 議 費		224		224
旅 費		878		878
通 信 費		753		753
減 価 償 却 費		3,751		3,751
消 耗 什 耗 器 備 品 費		310		310
消 耗 什 耗 器 備 品 費		209		209
修 繕 費		130		130
印 刷 製 本 書 費		2,184		2,184
新 聞 製 本 書 費		230		230
燃 料 水 料 費		65		65
光 熱 水 料 費		970		970
賃 借 料 費		2,160		2,160
保 險 料 費		78		78
諸 謝 託 報 費		50		50
委 託 報 費		2,364		2,364

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
租 税 公 課 支 払 負 担 金 費 雑		2,940 180 328		2,940 180 328
経 常 費 用 計	304,560	31,615		336,175
当 期 経 常 増 減 額	△ 6,708	7,351		643
経常外増減の部				
1. 経常外収益				
経 常 外 収 益 計				0
2. 経常外費用計				
経常外費用計				0
当 期 経 常 外 増 減 額				0
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 6,708	7,351		643
法 人 税、 住 民 税 及 び 事 業 税				
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 6,708	7,351		643
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	480,489	258,866		739,355
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	473,781	266,217		739,998
指定正味財産増減の部				
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金				0
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	195,009	52,699		247,708
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	189,268	51,813		241,081
正味財産期末残高	663,049	318,030		981,079

令和3年度収支予算書内訳表（公益目的事業会計）

令和3年4月1日より令和4年3月31日まで

(千円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							合 計
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に關 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
1) 経常収益								
受 取 会 費							27,210	27,210
受 取 会 費							27,210	27,210
受 取 会 館 運 營 基 金 収 益							9,000	9,000
受 取 会 館 運 營 基 金 収 益							9,000	9,000
事 業 収 益	19,813	930	1,200	550	115,892	0	0	138,385
受 講 料 収 益	19,813		1,200					21,013
学 会 事 業 収 益		930						930
訪 問 看 護 事 業 収 益					79,964			79,964
居 宅 介 護 支 援 費 収 益					11,584			11,584
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益					24,344			24,344
そ の 他 の 事 業 収 益				550				550
受 取 補 助 金 等	8,317	0	300	25,668	29,273	42,694	9,260	115,512
受 取 県 補 助 金 等	8,317	0	300	25,668	29,273	42,694	0	106,252
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	1,968		300					2,268
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金				420				420
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 会 事 業 受 託 収 益	2,262							2,262
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050							2,050
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 研 修 受 託 収 益	820							820
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益				18,446	1,479	1,846		21,771
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益					510			510
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益				3,207				3,207
受 取 訪 問 看 護 支 援 強 化 事 業 受 託 収 益					4,853			4,853
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益				1,610				1,610
受 取 看 護 普 及 事 業 受 託 収 益				785				785
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益				1,200				1,200
受 取 訪 問 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 の た め に 働 き 方 改 革 推 進 事 業 受 託 収 益					6,300			6,300
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業 受 託 収 益					5,348			5,348
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 連 携 加 速 化 事 業 受 託 収 益					5,093			5,093
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託 収 益	917							917
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ポ ー ト 事 業 受 託 収 益					1,800			1,800
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300							300
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業 受 託 収 益						991		991
受 取 新 型 コ ロ ナ 病 毒 宿 泊 療 養 施 設 健 康 管 理 整 備 事 業 受 託 収 益						39,857		39,857
受 取 訪 問 看 護 災 害 時 等 支 援 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益					1,690			1,690
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益					2,200			2,200
受 取 日 看 協 受 託 収 益							9,260	9,260
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益							1,033	1,033
受 取 法 人 会 員 助 成 金							8,227	8,227
受 取 補 助 金 振 替 額							5,741	5,741
受 取 補 助 金 振 替 額							5,741	5,741
雑 収					800	0	1,204	2,004
受 取 利 息							4	4
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息							4	4
そ の 他 の 雑 収 益					800	0	1,200	2,000
経 常 収 益 計	28,130	930	1,500	26,218	145,965	42,694	52,415	297,852
2) 経常費用								
事 業 費	18,696	790	1,171	24,678	138,578	44,085	76,562	304,560
役 員 報 酬	3,000						4,958	7,958
給 料 手 当				7,000	64,059		18,623	89,682
臨 時 雇 賃 金	2,280			8,886	18,308		313	29,787
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額							504	504
退 職 給 付 費 用					2,619		838	3,457
福 利 厚 生 費				963	11,753		7,496	20,212
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額							739	739

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							合 計
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	
賞与引当金繰入額					5,097		2,957	8,054
旅費交通費	2,497	100	265	492	644	1,890		5,888
通信運搬費	71	18		1,168	1,790	698	1,885	5,630
減価償却費							15,001	15,001
消耗什器備品					750		100	850
消耗品	145	75	21	634	1,348	1,073		3,296
印刷製本費	360	322		2,260	150		150	300
新聞図書費	1,005				892	725	450	5,009
燃料費	12				200	2	200	1,407
光熱水料				80	810			920
賃借料	1,071	100		586	4,817	153	8,900	15,627
保険料				29	1,285		500	1,814
諸委託金	7,668	90	837	480	2,427	34,736		46,238
広報費	140	35		700	2,539	66	4,466	7,946
租税公課				1,328	20	336		1,684
支払負担金						3,713	5,682	9,395
支払助成金					110			110
支雑金					17,888			17,550
経常費用計	447	50	48	72	320	637	200	1,774
当期経常増減額	18,696	790	1,171	24,678	138,578	44,085	76,562	304,560
II 経常外増減の部	9,434	140	329	1,540	7,387	△ 1,391	△ 24,147	△ 6,708
1. 経常外収益								0
経常外収益計								0
2. 経常外費用計								0
経常外費用計								0
当期経常外増減額								0
税引前当期一般正味財産増減額	9,434	140	329	1,540	7,387	△ 1,391	△ 24,147	△ 6,708
法人税、住民税及び事業税								0
当期一般正味財産増減額	9,434	140	329	1,540	7,387	△ 1,391	△ 24,147	△ 6,708
一般正味財産期首残高								480,489
一般正味財産期末残高								473,781
指定正味財産増減の部								
一般会計への振替額							△ 5,741	△ 5,741
受取地方公共団体補助金								
当期指定正味財産増減額							△ 5,741	△ 5,741
指定正味財産期首残高								195,009
指定正味財産期末残高								189,268
正味財産期末残高								663,049

資 料

令和3年度優良看護職員表彰者名簿	105
公益社団法人富山県看護協会設立40周年記念感謝状贈呈者名簿	106
公益社団法人富山県看護協会設立40周年の経過	107

[第1号議案 令和2年度事業報告(案)資料]

第51回(2020年度)日本看護学会—看護教育—学術集会	112
令和2年度研修会等実施状況報告	113
令和2年度富山県ナースセンター事業報告	129
令和2年度訪問看護ネットワークセンター事業報告	143
令和2年度訪問看護ステーションひよどり事業報告	150
令和2年度訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	153
令和2年度ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	158
令和2年度神明・五福地域包括支援センター事業報告	161
令和2年度その他の委託事業報告	164
令和3年度富山県行政への要望事項	170
令和2年度行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況	172
令和2年度他団体等への推薦	174
令和2年度後援・協力等依頼報告	175

[各種名簿]

令和2年度富山県看護協会施設別・職種別会員数	176
令和2年度受賞者名簿	178
令和2年度富山県看護協会役員及び委員名簿	179
令和2年度支部役員名簿	182
令和3年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員名簿	183

[委員会等報告資料]

新型コロナウイルス感染症対策研修会	保健師職能委員会	184
人材育成研修会報告	保健師職能委員会	185
保健指導ミーティング～支援困難事例へのアプローチ～研修会報告	保健師職能委員会	186
発達障害児への支援を学ぶ研修会報告【保健師・助産師合同】	助産師職能委員会	187
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	188
看護師のクリニカルラダー交流研修会報告	看護師職能Ⅰ委員会	189
新型コロナウイルス感染症情報交流会報告	看護師職能Ⅰ委員会	190
福祉施設に望まれるハラスメント防止研修会報告	看護師職能Ⅱ委員会	192
施設等における災害への日頃の備えと初動体制研修会報告	看護師職能Ⅱ委員会	193
在宅ケア事例検討会報告	看護師職能Ⅱ委員会	194
3職能4委員会連携事業報告	保・助・看ⅠⅡ職能委員会	197
令和2年度支部長会報告	地区支部	199

[参考資料]

会員数と入会率	200
都道府県看護協会一覧表	202
都道府県ナースセンター一覧表	203
公益社団法人富山県看護協会定款	204
公益社団法人富山県看護協会組織図	216
公益社団法人富山県看護協会職員名簿	217

令和3年度 優良看護職員表彰者名簿

◎富山県知事部門功労表彰者（5人）

五十音順

相澤幸子	医療法人社団和敬会谷野呉山病院
高木雅美	金沢医科大学氷見市民病院
村井眞須美	社会福祉法人福寿会北部定期巡回センター
安井千明	富山県看護協会訪問看護ネットワークセンター
山崎伸子	富山市保健所西保健福祉センター

◎富山県看護協会会長表彰者（10人）

五十音順

金岡亨子	小矢部市民生部 健康福祉課
北川洋子	石川県立看護大学 (元 富山県看護協会 訪問看護ステーションひよどり富山)
坂本奈緒子	中新川訪問看護ステーション (元 かみいち総合病院)
鈴木洋子	医療法人社団三医会 となみ三輪病院 (元 市立砺波総合病院)
高山由紀子	黒部市民病院
武田幸	富山県立中央病院
土肥裕美子	富山県砺波厚生センター
中島眞由美	学校法人富山国際学園富山短期大学 (元 富山市福祉保健部)
松島淳子	射水市民病院
三輪恵里	医療法人社団重仁 佐々木病院

公益社団法人富山県看護協会設立40周年記念 感謝状贈呈者名簿

(10名)

上野 栄一	奈良学園大学 教授	研修講師
笹田 茂樹	国立大学法人富山大学 教授	研修講師
小川 亮	国立大学法人富山大学 元教授	研修講師
四十万 文男	四十万文男公認会計士税理士事務所	元富山県看護協会監事
竹内 登美子	公立大学法人富山県立大学 教授	研修講師 元ワークライフバランス 推進会議委員
西谷 美幸	国立大学法人富山大学 教授	研修講師 認定看護管理者教育課程 教育運営委員
原田 洋美	特定医療法人財団五省会西能病院 看護部長	ナースセンター事業運営委員 ワークライフバランス推進会議委員
比嘉 肖江	公立大学法人富山県立大学 准教授	元富山県教育研修センター主任教員
中川 裕美子	市立砺波総合病院	元総務委員等
吉田 喜代美	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院	元教育委員等

公益社団法人富山県看護協会設立40周年の経過

年度	内 容
1981年 昭和56年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月25日 社団法人富山県看護協会設立総会を富山県農協会館において開催 (2) 6月27日 社団法人として認可される。同日三支部の解散総会並びに保健婦、助産婦、看護婦統一本化総会を富山市労働者福祉会館で開催 (3) 看護だより創刊号発刊 (4) 看護協会長に太田ゆくい氏就任（～昭和62年迄、6年間）
1982年 昭和57年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 富山県看護研修センター建設用地購入のため諸手続きを完了し、6月10日起工式を施行 所在地 富山市鶴島字川原1907-1 敷地面積 1,647.90㎡、建設面積 719.63㎡、延面積 1,104.16㎡ (2) 日本看護協会創立35周年記念式典（感謝状27名）
1983年 昭和58年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 4月30日 富山県看護研修センター竣工式。披露パーティー挙行 (2) 5月1日 富山市総曲輪事務所より移転 富山県看護研修センター建設にあたり、富山県、富山市、市町村管理組合、日本自転車振興会等より多大な援助を受ける (3) 富山県看護研修センターが富山県建築賞を受賞 (4) 東海北陸地区看護研究学会開催（10/18・19） 場所：富山県民会館、参加者数：延2,081名
1984年 昭和59年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第15回日本看護協会－成人看護－開催（8/7・8） 場所：富山市公会堂、参加者数：延3,876名 (2) 第1回富山県看護研究発表会開催
1985年 昭和60年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 准看護婦の進学に必要な補習教育を毎月2回開催し、進学受験援助事業として実施（平成3年度まで継続） (2) 第18回ICN大会に支部長が参加 6月14日～21日まで イスラエル、テルアビブ、エルサレム
1986年 昭和61年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 東海北陸地区（北陸）看護研究学会開催（9/26）、富山市、参加数：619名 (2) 日本看護協会東海北陸地区 } 合同地区別支部長会議開催（10/15） 日本看護連盟東海北陸地区 } 呉羽ハイツ、出席者30名
1987年 昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 日本看護協会創立40周年を記念し「富山県看護史」を編纂することを総会に議案提案し可決 (2) 富山県看護協会に顧問をおくことを総会に議案提案し可決 (3) 富山県より「とやまの女性史」出版について、県内女性団体に呼び掛けがあり「看護団体の誕生及び看護活動」について原稿を提出（昭和63年2月に発刊） (4) 富山県看護協会会員名簿5,000部を印刷し、各施設に配布 (5) 日本看護協会会費を2,500円から5,000円に増額
1988年 昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 東海北陸地区母性小児研修会開催（11/15・16） 場所：富山県看護研修センター 参加者数：45名 (2) 看護協会長に坂倉ナミ氏就任（～平成4年迄、5年間）
1989年 平成元年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第20回日本看護学会－看護総合－開催（7/25・26） 場所：富山市公会堂、参加者数：延3,779名 (2) 地区支部活動補助費を1地区10万円支払うことを了承
1990年 平成2年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 東海北陸地区看護研究学会の開催（10/25・26） 場所：富山県民会館、参加者数：延1,584名 (2) 訪問看護婦養成講習会開講（120時間）、受講者25名 以降毎年実施
1991年 平成3年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 法人化設立10周年記念式典（感謝状22名） (2) 「看護の日」制定記念事業の実施、街頭PRキャンペーン、記念講演等（5/11・12） その後毎年実施 (3) 雲仙普賢岳災害見舞金を募り1,756千円を長崎県看護協会へ送金した (4) 富山県委託事業として「訪問看護マニュアル」を作成し、看護職員の訪問看護業務の指針として活用することとなる (5) 富山県国際ボランティアセミナーに協力（9/4） 場所：井波町総合文化センター、参加者：220名
1992年 平成4年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 日本看護協会創立45周年記念式典（感謝状27名） (2) 富山県ナースセンターの指定（11月）開所式を11月27日に実施 (3) 東海北陸地区看護研修学会の開催（9/16・17） 場所：富山県民会館、参加者数：延1,670名

年度	内 容
1993年 平成 5 年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 日本看護協会富山県支部の廃止と日本看護協会への法人会員としての加入について総会で議案提案し可決（法人会員証10月1日付） (2) 専務理事をおくことについて定款及び細則改正について議案提案し可決 (3) 看護管理者（ファーストレベル）研修会開講（150時間）、受講者31名以降毎年実施 (4) 富山県から国立富山医科薬科大学医学部看護学科の施設設備整備に要する経費に対し助成依頼があったので、会員に募金を呼びかけ、1,895千円寄付する (5) 富山県委託事業として「看護職員リフレッシュ事業」実施 海外－看護の翼－（大韓民国）及び県外（妙高高原）及び県内へ20～30名で実施（県内・外は平成12年度まで継続、海外は平成16年度まで継続） (6) 地区別法人会員会・都道府県職能委員長会議を富山県で開催（10/2・3） 場所；富山県民会館 (7) 看護協会長に木屋真千子氏就任（～平成10年迄、6年間）
1994年 平成 6 年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成7年度より富山県看護協会費の増額について通常総会に提案し可決 従来1人4,000円を6,000円に増額（平成7年度以降） (2) 当協会の前面敷地の一部が都市計画道路草島西線整備計画に入っており、現駐車スペースがなくなることが予想されるので隣接土地を購入し（469.53㎡）駐車場とした (3) 高齢化社会に看護職能団体として対応するため、老人訪問看護ステーションの設置に向け検討会をもった (4) 平成7年1月、阪神・淡路大震災による義援金として会員から拠出された3,410千円を日本看護協会へ送金した。また看護ボランティアを派遣（3名） (5) 日看協助成事業「先駆的保健活動定着化のための研修」を実施 その後平成9年まで4回実施 会場；安田生命ホール、参加者数；233名
1995年 平成 7 年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 訪問看護ステーションを平成8年度に設置することを総会で可決 (2) 富山県委託事業として「看護職員サポート事業（管理者セミナー事業）」実施（平成11年度まで継続） (3) 富山県補助事業「看護職員定着支援事業」実施、その後毎年実施
1996年 平成 8 年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 社団法人設立15周年記念式典（感謝状19名） (2) 組織強化のため新規に常任理事をおくことについて協議し承認 (3) 平成8年8月1日「訪問看護ステーションひよどり」を新湊市農協会館内に開設 (4) 看護研修センター2階部分に研修室（176.9㎡）を増築する (5) 富山県委託事業として「病院ボランティア支援活動事業（活動支援費交付・養成講座）」実施（平成16年度まで継続） (6) 富山県看護協会会員名簿6,100部を印刷し会員、関係施設等に配布する (7) セーナー苑の改修工事に係る寄付金の要請を受け、会員から拠出された2,076千円を出損
1997年 平成 9 年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第28回日本看護協会－成人看護－開催（9/4・5） 場所；オーバードホール・とやま自遊館 参加者数；延3,847名 (2) 富山県委託事業として「保健婦助産婦看護婦実習指導者講習会」実施 以降毎年実施 (3) 「2001年までに准看護婦養成停止を求めるつどい」に参加 場所；日比谷公会堂、参加者15名 (4) 富山県看護協会の歴史を綴る「とやまの看護史－優しさはふれあいから－」を7,000冊発刊 会員及び関係者等に配布する
1998年 平成10年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成10年10月1日「訪問看護ステーションひよどり富山」を看護研修センターに開設する (2) 看護研修センター1階和室部分を改修し、図書室と訪問看護ステーション事務室を整備した。 図書室78㎡ 訪問看護ステーション事務室52㎡ 計130㎡ (3) 図書室の整備とともにコンピュータによる図書検索整理を図った
1999年 平成11年	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成11年7月1日「在宅介護支援センター」を看護研修センター内に開設する (2) 平成11年7月15日介護保険法の規定により訪問看護ステーションひよどり、ひよどり富山、在宅介護支援センターが指定居宅介護支援事業者の指定を受ける (3) 平成11年10月1日「訪問看護ステーションひよどり」を射水地区広域圏事務組合庁舎内に移設する (4) 平成11年8月ホームページを全国学会にさきがけて開設する (5) 東海北陸地区看護研修学会の開催（10/9・10） 場所；富山県民会館、参加者数；延1,032名 (6) 平成12年2月、トルコ・台湾地震災害への義援金として950千円を日本看護協会へ送金した (7) 委員会検討委員会により検討後、理事会に諮り承認 準備委員会を次年度は休止、准看護婦（士）委員会を廃止、その後両委員会とも廃止 (8) 看護協会長に稲田まつ江氏就任（～平成16年迄、6年間）

年度	内 容	
2000年 平成12年	(1) 平成12年度から従来の「看護だより」を「看護とやま」と名称変更 また、ナースセンター情報を挿入し、会員及びナースセンター登録者等へも配布することにした (2) 看護研修センターに融雪工事施工	
2001年 平成13年	(1) 保助看法の一部改正（平成13年法律第153号）により、看護職の名称が変更される (2) 平成13年11月12日、看護研修センター1階に在宅介護支援センター事務室を増築整備（28.37㎡） (3) 県内初の認定看護師誕生（WOC看護） (4) 地区別法人委員会・都道府県職能委員長会議を富山県で開催（10/2・3） 場所；カナルパークホテル富山	
2002年 平成14年	(1) 富山県看護協会シンボルマークを制定した（9/5） (2) 第33回日本看護学会－小児看護－開催（9/26・27） 場所；富山県民会館、参加者数；延2,172名 (3) ナースセンター東海北陸ブロック会議を富山県で開催（11/20）	
2003年 平成15年	(1) 認定看護管理者制度セカンドレベル教育研修会を開講。受講者20名 以降毎年実施 (2) 看護研修センター全館にLAN工事施工 (3) 平成13年～15年の3年間で日本看護協会原宿会館建設募金を会員から募る 総額6,070口、6,358,500円を日本看護協会へ送金した	
2004年 平成16年	(1) 平成17年2月1日「訪問看護ステーションいそべ・同、居宅介護支援事業所」を富山市中央保健福祉センター内で開設した (2) 富山県委託事業として「治験コーディネーター養成研修会」を開催（平成22年度まで継続） (3) 富山県委託事業として「訪問看護推進事業」を開催 以降毎年実施 (4) ナースセンター事業として「看護師等職場紹介と相談会」を初めて開催した 平成16年8月4日（水）参加施設56施設 参加者延224名 (5) 東海北陸地区看護研究学会を開催（11/16・17） 場所；富山国際会議場、参加者数；延878名 (6) 会館空調設備（冷暖房）の老朽化のため、全面的に設備更新した (7) 協会組織強化の一環として「准看護師研修会」を開催した（4日間・延121名）	
2005年 平成17年	(1) 特別委員会として「災害看護委員会」を新設した (2) 9月からナースセンターに就業や悩みごと相談に応じる「就職アドバイザー」1名を配置した (3) 北日本新聞「2006新春色紙展記念文庫」寄贈 (4) 看護協会長に武田幸子氏就任（～平成20年迄、4年間）	
2006年 平成18年	(1) 介護保険法改正により、在宅介護支援センターを神明・五福地域包括支援センターに変更 (2) 第37回日本看護学会－地域看護－開催（10/6・7） 場所；富山国際会議場・富山市民プラザ、参加者数；延1,902名 (3) 射水市民病院の医療事故を受け、特別追加研修（2回） －医療従事者の責務と倫理－を開催（18.8/19、19.2/26）	
2007年 平成19年	(1) 「訪問看護ステーションいそべ」をひよどり富山に統合、いそべ居宅介護支援事業所廃止 (2) 富山県委託事業として「看護師等養成機関共同PR事業」を実施 以降毎年実施 (3) 能登半島地震支援ナース派遣（4/2～4/29）41名 中越沖地震支援ナース派遣（7/26～8/9）22名 (4) 特別委員会として「看護倫理委員会」「医療安全委員会」を新設した また「情報検討委員会」は常任委員会の「広報委員会」と合併した (5) 認定看護管理者セカンドレベル教育機関視察（5年毎）を受ける（20.1/28）	
2008年 平成20年	(1) 富山県委託事業として「看護大学生Uターン促進事業」を実施 以降毎年実施 (2) 県内初の専門看護師誕生（がん看護） (3) 特別委員会として「新会館建設プロジェクトチーム」を新設した (4) 地区別法人委員会・都道府県職能委員長会議を富山県で開催（10/7・8） 場所；カナルパークホテル富山	
2009年 平成21年	(1) 3月通常総会に「富山県看護協会基本理念」を提案し承認 (2) 富山県委託事業として「潜在看護職員就業支援専門員配置事業」実施 以降毎年実施 富山県委託事業として「訪問看護運営支援アドバイザー派遣事業」実施 以降毎年実施 富山県委託事業として「訪問看護チェックリスト作成事業、訪問看護教室事業」実施 富山県委託事業として「新卒看護職員指導者研修事業」実施 (3) 看護協会長に三谷順子氏就任（～平成27年6月迄、6年間）	

年度	内 容
2010年 平成22年	(1) 訪問看護ネットワークセンターが看護研修センター内に設立（6月1日） (2) 3月通常総会に「富山県看護協会会館リニューアル構想（案）」を提案し承認 (3) 東海北陸地区リスクマネージャー交流会を富山県で開催（22.9.4）参加者72名 (4) 富山県委託事業として「訪問看護ネットワークセンター支援事業」開催 富山県委託事業として「看護普及推進事業」開催 (5) 東日本大震災で富山県医師会の医療班チーム（JMAT）に富山県看護協会の災害支援ナースを福島県いわき市に派遣 11名
2011年 平成23年	(1) 富山県看護協会30周年記念式典を開催。「看護とやま」100号記念号を発刊。 (2) 日本看護協会と協働して看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップを開催。 (3) 富山県看護研修センター増築工事実施設計 (4) 公益法人化プロジェクトチームによる公益法人化に向けた取り組み
2012年 平成24年	(1) 社団法人から公益社団法人に移行 (2) 富山県看護研修センター増築工事着工 (3) 開設に向けた富山県認定看護師教育課程設置事業
2013年 平成25年	(1) 富山県看護研修センターの増改築工事竣工 (2) 富山県認定看護師教育センターを開設 (3) ナースセンターとハローワーク連携モデル事業の実施
2014年 平成26年	(1) 認定看護師教育課程（分野：緩和ケア）開講 (2) 災害に関する協定の締結（日本看護協会、富山県、富山市） (3) 精神科訪問看護診療報酬算定研修（20H）開講←平成27年度まで実施 (4) ナースセンターサテライト（3か所）開所
2015年 平成27年	(1) 第46回日本看護学会—ヘルスプロモーション学術集会を富山県で開催 (2) 訪問看護ステーション相互支援実証事業 (3) 地区支部等における看護職員連携構築モデル事業実施（2支部）←平成28年度まで実施 (4) 看護師等免許保持者届出制度開始 (5) 富山県委託事業「医療勤務環境改善支援センター事業病院サポート事業」 (6) 地区別法人会・職能委員長会を富山県で開催（10/7・8）場所：ANAクラウンプラザホテル富山 (7) 看護協会長に大井きよみ氏就任（～令和2年6月迄、5年間）
2016年 平成28年	(1) 基金で訪問看護支援事業の強化（テレワーク、トライアル事業、ICT推進事業、シミュレーション機器の整備等） (2) 日本看護協会委託事業「訪問看護における人材活用試行事業」 →平成29年度からは富山県委託事業として連携加速化事業を実施 (3) 地区支部等における高齢者及び認知症支援のための看護職連携構築モデル事業（1支部） (4) 新会員情報管理体制（ナースシップ）開始 会費の口座引き落とし可能になる。
2017年 平成29年	(1) 認定看護師教育課程（分野：摂食・嚥下看護）開講/緩和ケアは休講 (2) 「看護の日」看護フェスティバルを総曲輪グランドプラザで開催 (3) 日本看護協会委託事業「地域における看護職のネットワーク強化事業」
2018年 平成30年	(1) 日本看護協会委託事業「看護政策推進のための組織強化事業」（令和元年度まで） (2) 看護サウルス賞授賞式 (3) 支部活動で病院看護師の1日診療所体験実習開始 (4) 新規駐車場借り上げについて交渉開始
2019年 平成31年 令和元年	(1) 富山県委託「訪問看護ステーションサポート事業」 (2) 支部構成を2次医療圏と一致し、支部長を役職者とした (3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告書作成 (4) 富山県立大看護学部開校
2020年度 令和2年	(1) 第51回学術集会—大阪府・山形県・香川県・富山県合同Webで開催 (2) 4月16日 国が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令。研修、会議、総会等新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対策の実施 (3) 富山県委託事業「新型コロナウイルス感染症の軽症者における健康管理及び環境整備等業務」により、軽症者療養施設へ非常勤看護師・施設看護師を派遣 (4) 日本看護協会委託事業「地域の医療提供体制確保のための看護職員派遣調整事業」 (5) 日本看護協会委託事業「訪問看護総合支援センター試行事業」 (6) 認定看護師教育課程休講 (7) 看護協会長に松原直美氏就任（～現在に至る）

会員数の推移

年度	会員数 (各年 3 /31 現在)
S56	3,756
57	3,901
58	4,033
59	4,232
60	4,283
61	4,539
62	4,740
63	4,758
H元	4,891
2	4,916
3	5,012
4	5,097
5	5,292
6	5,401
7	5,604
8	5,762
9	5,942
10	6,080
11	6,200
12	6,389
13	6,445
14	6,637
15	6,710
16	6,819
17	6,958
18	7,035
19	7,081
20	7,119
21	7,224
22	7,377
23	7,599
24	7,780
25	7,916
26	8,047
27	8,149
28	8,355
29	8,453
30	8,667
R元	8,828
2	8,793

第51回（2020年度）日本看護学会-看護教育-学術集会

委員会	開催日	内容																					
準備委員会 8回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年5月30日 ・ 2019年6月13日 ・ 2019年7月2日 ・ 2019年11月20日 ・ 2020年2月12日 ・ 2020年5月11日 (書面会議) ・ 2020年7月23日 ・ 2020年11月6日 (書面会議) 	<p>1 報告事項</p> <p>1) 第51回日本看護学会の概要と学術集会共同開催の運用</p> <p>2) COVID-19感染拡大による第51回日本看護学会-看護教育-学術集会の変更</p> <p>2 審議事項</p> <p>1) 第51回日本看護学会-看護教育-学術集会開催に伴うメインテーマ、企画、運用</p> <p>2) 第51回日本看護学会-看護教育-学術集会 Web学会開催変更に伴う企画、運用</p> <p>変更：大阪府、富山県、香川県、山形県の当日開催を中止</p> <p>4 開催地合同でWeb学会に変更、開催期間2020年11月1日(日)～30日(月)</p> <p>口演・示説の区別なく、PDFで抄録配信</p> <p>学術集会会長挨拶、基調講演、特別講演、教育講演の配信</p> <p>シンポジウムを指定講演に変更し配信</p> <p>新企画：(JNA枠)シンポジウム・交流集会の配信</p> <p>中止：口演・示説発表、交流集会(公募枠)、交流集会(富山枠)、抄録発送</p> <p>地域・伝統文化教育関連企画、企業展示、ランチョンセミナー、優秀発表審査</p>																					
抄録選考委員会 2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年2月13日 ・ 2020年4月3日 	<p>1 抄録選考</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">演題受付</th> <th colspan="3">初回選考</th> <th colspan="2">再選考</th> <th rowspan="2">演題 取下げ</th> <th rowspan="2">採択数</th> </tr> <tr> <th>採択</th> <th>保留</th> <th>不採択</th> <th>採択</th> <th>不採択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>258</td> <td>19</td> <td>239</td> <td>0</td> <td>207</td> <td>6</td> <td>26</td> <td>226</td> </tr> </tbody> </table>	演題受付	初回選考			再選考		演題 取下げ	採択数	採択	保留	不採択	採択	不採択	258	19	239	0	207	6	26	226
演題受付	初回選考			再選考		演題 取下げ	採択数																
	採択	保留	不採択	採択	不採択																		
258	19	239	0	207	6	26	226																

第51回日本看護学会-看護教育-学術集会 日本看護学会

学会長	福井トシ子	日本看護協会
-----	-------	--------

日本看護学会-看護教育-学術集会

会長	松原直美	富山県看護協会
----	------	---------

富山県看護協会準備委員会

役割	氏名	所属
委員長	稲村 睦子	富山県立総合衛生学院
副委員長	田村 雅子	富山県看護協会
副委員長	八塚 美樹	富山大学医学部看護学科
副委員長	吉川久美子	日本看護協会
委員	岡本 里美	富山県立中央病院
	鹿島美友紀	富山大学附属病院
	越田美穂子	富山県立大学看護学部
	高木 雅美	金沢医科大学氷見市民病院
	満間 信江	富山赤十字看護専門学校
	向野 勝美	富山県看護協会
	利田 智恵	富山県厚生部医務課

(五十音順)

看護教育 富山県看護協会抄録選考委員会

役割	氏名	所属
委員長	八塚 美樹	富山大学医学部看護学科
委員	伊藤 裕佳	富山県立大学看護学部
	梅村 俊彰	富山大学医学部看護学科
	重松 理恵	富山市立富山まちなか病院
	鹿島美友紀	富山大学附属病院
	柏崎 由美	富山大学附属病院
	工藤 里香	富山県立大学看護学部
	坂中 善恵	富山市立看護専門学校
	渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
	渋谷 昭子	富山県立大学看護学部
	杉山由香里	富山県立大学看護学部
	瀬山 尚子	富山県立中央病院
	高木 雅美	金沢医科大学氷見市民病院
	高畑 聖子	富山県立総合衛生学院
	坪田 恵子	富山大学医学部看護学科
	寺井 孝弘	富山県立大学看護学部
	寺内 英真	富山県立大学看護学部
	中川裕美子	市立砺波総合病院
	中村 美穂	金沢医科大学氷見市民病院
	西谷 美幸	富山大学医学部看護学科
	林 静子	富山県立大学看護学部
松井 弘美	富山県立中央病院	
満間 信江	富山赤十字看護専門学校	
村上真由美	富山赤十字病院	
森 太貴子	富山赤十字病院	
山崎 智可	富山県立大学看護学部	
山本 恵子	富山県済生会富山病院	
山本 朋子	(元)富山赤十字看護専門学校	

(五十音順)

令和2年度 研修会等実施状況報告

◎参加状況一覧表

区分	富山県委託補助事業	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講数 (うち 非会員)	受講率 (%)	受講者の内訳					
									保	助	看	准	その他	
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ 質の高い看護の普及に向けた継続教育	※委託	看護職員資質向上実務研修	7月2日(木)PM 7月9日(木)PM 7月22日(木)PM 7月30日(木)PM 8月27日(木)	0.5 ×4 1	50	47	13(9)	26%	0	0	11	2	0	
	委員会 研修	人材育成研修「問う」チカラLet'sTryコーチング ～相手の意欲と行動を引き出すために～	10月31日(土) AM	0.5	50	24	24(1)	48%	14	0	10	0	0	
		保健指導ミーティング～支援困難事例へのアプローチ～	11月7日(土) AM	0.5	50	43	42(1)	84%	42	0	0	0	0	
		【保健師・助産師職能委員会合同研修】発達障害児への支援を学ぶ	8月22日(土) AM	0.5	50	64	58(3)	116%	32	14	12	0	0	
	※補助	フリースタイル分娩の介助 産婦主体の助産ケアの提供	11月14日(土) AM	0.5	25	22	21(0)	84%	0	21	0	0	0	
		グループケア 赤ちゃんを失った母へのケアについて学ぶ	11月14日(土) PM	0.5	40	41	39(0)	98%	0	34	5	0	0	
	委員会 研修	准看護師ステップアップ研修	10月3日(土) PM	0.5	20	6	5(5)	25%	0	0	0	5	0	
		看護師のクリニカルラダー交流研修会	11月6日(金) PM	0.5	50	44	41(0)	82%	0	5	36	0	0	
		福祉施設に望まれるハラスメント防止 施設等における災害への日頃の備えと初動体制	9月5日(土) PM 11月28日(土) PM	0.5 0.5	50 50	18 37	15(5) 29(12)	30% 58%	0 0	0 0	13 24	0 1	0 4	
	※委託	看護職員再就業支援研修	10月17日(土) AM 11月7日(土) AM 12月12日(土) AM	2h ×3	10	8 11 16	6(5) 11(9) 13(9)	60% 110% 130%	0 1 2	1 1 0	5 8 9	0 1 2	0 0 0	
	委員会 研修	新型コロナウイルス感染症対策研修会(保健師職能)	8月22日(土) PM	0.5	50	30	26(1)	52%	25	0	1	0	0	
		新型コロナウイルス感染症情報交流会(看護師職能Ⅰ)	9月28日(月) PM	0.5	50	43	44(0)	88%	0	4	40	0	0	
		新型コロナウイルス感染症情報交流会(看護師職能Ⅱ)	令和3年1月23日(土) PM	0.5	50			()						
	ラダーと連動した継続教育	※補助	新人看護職員研修Ⅰ 働き始めたあなたに!	A	5月27日(水)	1	130		()					
				B	5月28日(木)	1	130		()					
C				5月29日(金)	1	130		()						
※補助		新人看護職員研修Ⅱ 医療者に求められるコミュニケーション	A	10月15日(木) AM	0.5	50	56	58(0)	116%	0	3	55	0	0
			B	10月15日(木) PM	0.5	50	63	59(5)	118%	0	5	52	2	0
			C	10月22日(木) AM	0.5	50	55	53(0)	106%	0	4	49	0	0
			D	10月22日(木) PM	0.5	50	58	58(0)	116%	0	1	57	0	0
※補助		中堅看護師に役立つコミュニケーション!	5月15日(金)	1	80		()							
※補助		看護倫理Ⅰ 看護専門職として基本的な姿勢を学ぶ	9月18日(金)	1	50	43	40(1)	80%	0	1	36	1	2	
※補助		看護倫理Ⅱ 職場の倫理風土を育てる	10月16日(金)	1	50	57	56(2)	112%	1	3	49	1	2	
※補助		看護研究Ⅰ(楽しく学ぶ初めての看護研究)	A	5月8日(金)	1	100		()						
			B	5月15日(金)	1	100		()						
			C	9月8日(火)	1	50	63	59(1)	118%	1	2	54	1	1
※補助		【Zoom】医療安全対策Ⅰ 基本的な安全対策	A	8月24日(月) AM	0.5	40	48	46(3)	115%	1	2	43	0	0
			B	8月24日(月) PM	0.5	40	41	34(7)	85%	1	0	28	4	1
※補助		医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法	A	9月16日(水)	1	40	44	43(9)	108%	0	0	38	3	2
			B	10月5日(月)	1	40	45	44(3)	110%	0	3	39	1	1
ラダーと連動した継続教育		感染対策Ⅰ 基礎編	A	9月3日(木)	1	50	63	58(10)	116%	1	1	52	3	1
			B	9月10日(木)	1	50	37	31(14)	62%	0	0	20	5	6
		感染対策Ⅱ 実践編		9月24日(木)	1	50	71	61(9)	122%	0	5	48	6	2
		がん看護シリーズⅠ がん性疼痛看護 緩和ケアにおける症状コントロール		11月16日(月)	1	50	54	48(2)	96%	0	0	46	2	0
		がん看護シリーズⅡ 病院から在宅につなぐ意思決定支援		11月26日(木)	1	50	31	27(0)	54%	0	1	26	0	0
		がん看護シリーズⅢ がんと共に働き生きる患者への支援		12月10日(木)	1	50	21	18(0)	36%	0	0	18	0	0
		糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への生活調整と支援		8月4日(火)	1	50	67	55(4)	110%	0	2	52	1	0
		現場に活かせる褥瘡ケア	A	10月13日(火)	1	50	71	70(12)	140%	1	1	65	3	0
			B	10月29日(木)	1	50	50	45(16)	90%	0	0	36	4	5
		実践に活かす! 摂食嚥下障害の理解とケア		9月17日(木)	1	50	59	54(13)	108%	0	0	46	8	0
		高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケア	A	11月17日(火)	1	50	62	54(5)	108%	0	0	51	3	0
			B	11月18日(水)	1	50	40	38(1)	76%	0	0	37	1	0
		もっと深めよう! 脳卒中患者の看護		10月8日(木)	1	50	43	35(4)	70%	0	0	33	2	0
	優しさを伝える認知症ケア～対象を理解することでケアが変わる～	A	7月1日(水)	1	50	43	40(3)	80%	0	1	39	0	0	
		B	7月14日(火)	1	50	47	45(7)	90%	0	0	40	4	1	
※補助	せん妄の理解とケア	10月26日(月)	1	50	65	63(6)	126%	2	1	55	3	2		
※補助	【Zoom】心と命を守るゲートキーパー 医療従事者としてできる生きることへの支援	11月28日(土)	1	50	55	49(4)	98%	1	4	42	0	2		
ワザマド	【JNAオンデマンド活用研修】終焉を迎える患者家族および看護職のケア	9月29日(火)	1	50	35	33(7)	66%	3	0	24	6	0		
※委託	精神科訪問看護師育成研修 精神疾患を抱える患者の在宅看護	9月26日(土)	1	50	26	22(3)	44%	0	1	20	1	0		
地域包括ケアⅠ 入院前から始める入退院支援	11月12日(木)	1	50	69	63(4)	126%	2	0	61	0	0			
	地域包括ケアⅡ 事例から学ぶ地域における多職種連携	11月19日(木)	1	50	54	47(2)	94%	1	2	41	1	2		
※委託	訪問看護従事者等研修会	11月5日(木)	1	30	23	23(7)	77%	0	0	23	0	0		
※補助	J-CIMELSに沿った母体救急	7月4日(土) PM	0.5	40	37	35(1)	88%	0	26	9	0	0		

区分	富山県委託補助事業	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講者うち (非会員)	受講率 (%)	受講者の内訳					
									保	助	看	准	その他	
看護管理者が地域包括ケアシステムに向けた継続教育を推進	※委託	【一部Zoom】医療安全の観点からのリスクマネジメント	8月13日(木) 8月20日(木) 9月14日(月)	3	50	44	36(6)	72%	0	0	36	0	0	
	※補助	リーダーシップの磨き方	11月10日(火)	1	50	59	57(4)	114%	0	0	53	2	2	
	※補助	コーチングのできるリーダー育成	10月6日(火) 10月7日(水)	2	50	42	40(4)	80%	0	0	40	0	0	
	DVD	【DVD研修】 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修改訂版2020	A	7月27日(月)	1	50	39	37(0)	74%	1	4	32	0	0
			B	8月26日(水)	1	50	27	23(2)	46%	0	1	22	0	0
	※補助	看護管理者看護倫理交流会 ～倫理課題に対応し解決する能力を養う～	11月27日(金)	1	50	29	27(0)	54%	0	1	26	0	0	
	※日看 試行事業	【Zoom】訪問看護ステーション管理者育成研修会	9月27日(日) AM	0.5	50	47	43(11)	86%	2	0	40	0	1	
			12月19日(土) PM	0.5	50	32	30(6)	60%	1	0	28	0	1	
	専門能力開発を支援する教育体制の 充実に向けた継続教育	※委託	【一部Zoom】新人看護職員研修責任者・教育担当者研修	8月1日(土) 8月6日(木) 8月7日(金) 9月25日(金)	4	50	53	50(1)	100%	0	2	48	0	0
		※委託	【一部Zoom】新人看護職員実地指導者研修	8月17日(月) 9月10日(木) 9月11日(金) 2月19日(金)	4	50	66	57(1)	114%	0	1	56	0	0
※補助		【一部Zoom】看護研究Ⅱ(進めよう看護研究)	A	7月15日(水) 7月17日(金)	2	50	50	47(1)	94%	0	5	41	0	1
			B	7月29日(水) 7月31日(金)	2	50	31	28(0)	56%	0	0	28	0	0
			C	令和3年2月1日(月) 2月2日(火)	2	50	30	24(0)	48%	1	0	23	0	0
※補助		看護研究Ⅲ(質的・量的研究の分析を学ぼう！)	7月3日(金)	1	50	42	35(0)	70%	0	2	33	0	0	
※補助		【Zoom】看護研究Ⅳ(迷わない研究サポート)	9月4日(金)	1	50	39	38(0)	76%	1	5	32	0	0	
※補助		医療安全対策Ⅲ ImSAFER分析Basic 2日コース	12月14日(月) 12月15日(火)	2	50	34	34(2)	68%	1	0	33	0	0	
		災害看護(フォローアップ編)	10月2日(金)	1	50	17	16(0)	32%	0	0	16	0	0	
資格認定教育			<セカンドレベル公開講座>人事・労務管理	6月29日(月)	1	25		()						
		<セカンドレベル公開講座>人材を育てるマネジメント	7月8日(水)	1	25		()							
		<セカンドレベル公開講座>経営資源と管理の実際	8月5日(水)	1	25		()							
		<認定看護管理者教育課程セカンドレベル看護管理実践報告会>	8月21日(金) AM	0.5	50	26	27(0)	54%	1	1	25	0	0	
		<ファーストレベル公開講座>組織マネジメント概論	9月8日(火)	1	30		()							
		<ファーストレベル公開講座>人材育成の基礎知識	9月17日(木)	1	30		()							
		<ファーストレベル公開講座>ヘルスケアサービスにおける看護の役割	9月19日(土)	1	30		()							
		<ファーストレベル公開講座>経営資源と管理の基礎知識	9月26日(土)	1	30		()							
	※委託	<富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会特別講演>	12月1日(火) AM	0.5	50		()							
	※委託	<富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会指導案発表会>	12月17日(木)	1	40		()							
	※委託	<「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会公開講座> 認知症の看護	10月17日(土)	1	50		()							
		【Zoom】摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修Ⅰ	8月8日(土) AM	0.5	50	28	27(3)	54%	0	0	24	0	3	
		摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修Ⅱ 事例報告会	令和3年3月13日(土) AM	0.5	50	22	20(0)	40%	0	0	20	0	0	
		【Zoom】認定看護師交流会	12月5日(土) AM	0.5	50	71	58(0)	116%						
	日看看護協会研修	DVD	【JNA収録DVD研修】 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～	7月20日(月) 7月21日(火)	2	50	31	27(0)	54%	1	1	25	0	0
【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識			10月27日(火) 10月28日(水)	2	50	70	66(14)	132%	0	0	64	2	0	
	衛星研修	2020年度重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	6月21日(日)	1	180		()							
		3職能4委員会連携事業 合同事例検討会	令和3年1月16日(土) PM	0.5	55	34	34(0)	62%	4	9	18	3	0	
長期研修		糖尿病重症化予防(フットケア)研修	7月16日(木) 7月17日(金) 7月18日(土)	3	30	22	22(0)	73%	0	0	22	0	0	
		認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	9月1日(火) ～10月9日(金)	19.5	50	45	43(0)	86%	2	2	39			
		認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	6月25日(木) ～8月20日(木)	31	25	22	22(0)	88%	0	0	22			
	※委託	富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会	10月19日(月) ～12月18日(金)	40	40	53	52(4)	130%	3	2	47	0	0	
	※委託	富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会(特定分野)	10月19日(月) ～12月18日(金)	8	8	5	5(0)	63%	0	0	5	0	0	
	※委託	「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	6月26日(金) ～12月3日(木)		30		()							
	※委託	看護職員認知症対応力向上研修会	8月12日(水) 8月21日(金) 8月25日(火)	3	50	58	55(11)	110%	0	0	54	1	0	
	合計							3,040						

■は中止になった研修

令和2年度 教育研修アンケート結果

受講者数 2,658人
 アンケート回収数 2,614人
 アンケート回収率 98%

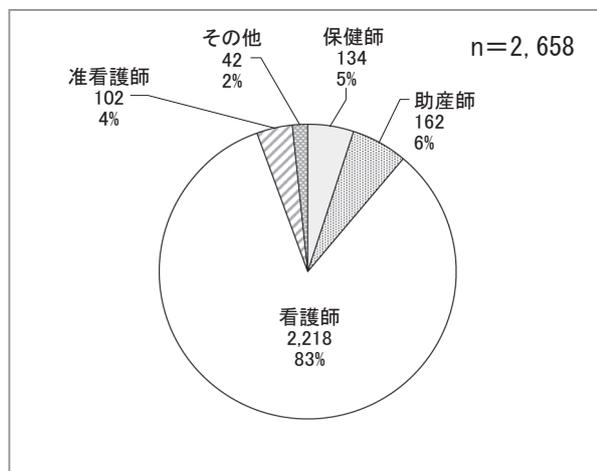


図1 職種別

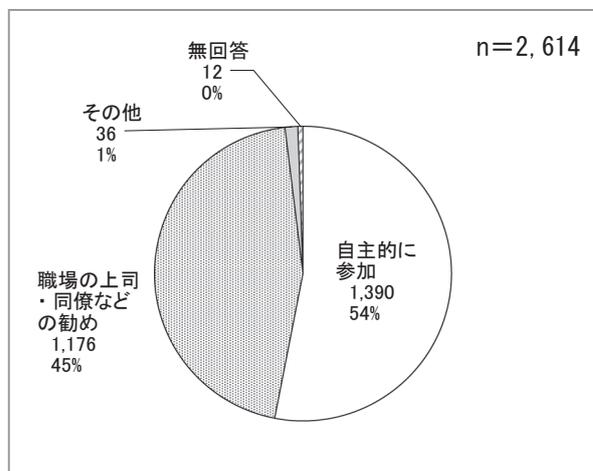


図4 受講動機

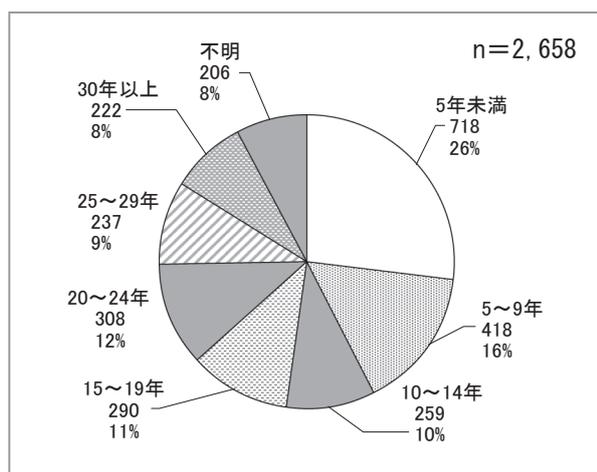


図2 経験年数別

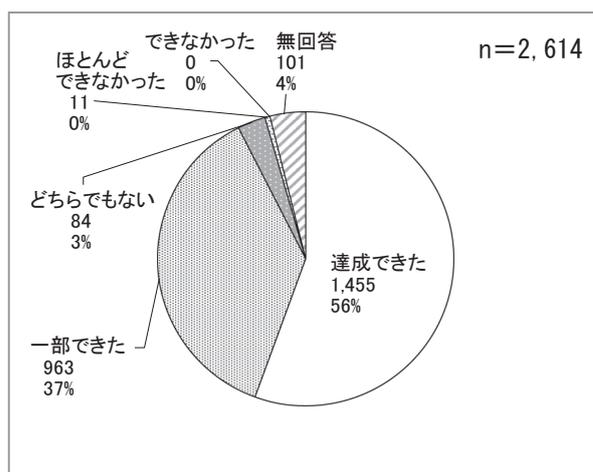


図5 研修目的の達成度

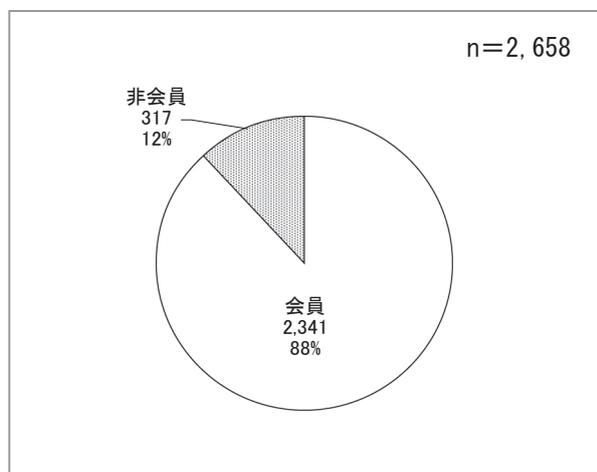


図3 会員・非会員

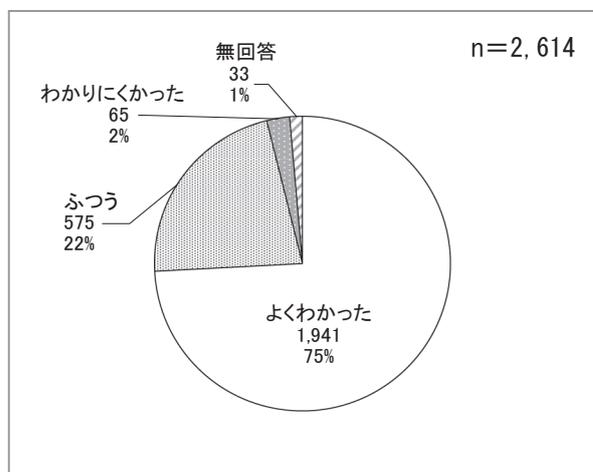


図6 研修内容について

一般研修

■ は中止になった研修

1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護職員 資質向上実務研修	高岡市民病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 菅原 暁子 富山市立富山市民病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 田中 順子	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に活かす看護実践能力を高める（高齢社会、多死時代に対応するために） 参加者間のネットワークを拡げる機会とする 	<ul style="list-style-type: none"> 肺炎予防（肺炎・呼吸介助） 肺炎予防（摂食嚥下障害と口腔ケア） 実習
	富山大学附属病院 感染管理認定看護師 青木 雅子		<ul style="list-style-type: none"> 感染対策の基礎 疾患と感染対策（新型コロナウイルス、ノロウイルス等） 施設の感染管理体制 演習
	富山県立中央病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 松村 江美子		<ul style="list-style-type: none"> ロコモティブシンドロームの概念及び現状 演習：転倒予防のリハビリテーション
	富山赤十字病院 糖尿病看護認定看護師 沢田 悦子		<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病と合併症、低血糖、治療 糖尿病患者の食事療法、運動療法 インスリン注射、GLP-1注射 シックデイ、フットケア ロールプレイング
	【集中ケア認定看護師】 富山県立中央病院 前坪 瑠美子 富山大学附属病院 佐藤 慎哉 富山市立富山市民病院 島 佳子 富山県済生会富山病院 稲田 浩子		<ul style="list-style-type: none"> フィジカルアセスメントの基礎知識を学び、日々の看護実践に活かす
人材育成研修 「問う”チカラLet'sTry コーチング」 ～相手の意欲と行動を 引き出すために～	国際コーチ連盟（ICF） アソシエイト認定コーチ 産業カウンセラー／看護師 遊道 直美	対象者のやる気や潜在能力を引き出すコーチングの考え方やスキルを（特に質問スキルを中心に）学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 講義および演習 相手の意欲と行動を引き出すコーチングスキル（質問のスキル）を習熟する
フリースタイル分娩の介助 産婦主体の助産ケアの提供	【石川県助産師会】 ひまわり助産院 石田 美幸 恵愛みらいクリニック 彦野 亜希子	<ul style="list-style-type: none"> フリースタイル分娩の方法について学び、院内助産に対応できる介助技術を身につける 妊産婦の意思を尊重し安全に配慮した助産ケアについて学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> フリースタイル分娩における直接介助と間接介助のポイント 演習：フリースタイル分娩の実技について模型を使用し学ぶ
グリーンケア 赤ちゃんを失った母への ケアについて学ぶ	金沢医科大学 看護学部 准教授 北濱 まさみ	新生児死亡や死産・流産などで児を失った母親の心理過程を知り、ケアを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 児を失った母の心理過程 児を失った母のケアについて 家族への指導（母に対する接し方）

研修名	研修目標/研修内容
医療機関看護師の 訪問看護研修	<p>研修目標：在宅療養患者の生活を理解し、医療機関から在宅に向けた退院指導や準備を行うことができる</p> <p>研修内容：訪問看護ステーション実習（3日間） 在宅療養患者や家族に対する看護ケアの提供により、望ましい退院指導や利用者のニーズにあった在宅療養環境の調整のあり方を理解する 在宅ケア事例検討会の参加（2日間） 退院支援における医療機関の看護師の役割と訪問看護師との連携のあり方を理解する</p>
在宅ケア事例検討会	<p>研修目標：訪問看護師や医療機関の看護職が在宅療養患者・家族の現状やニーズに応じたより質の高いケアが提供できるよう支援する</p>

2 ラダーと連動した継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員研修Ⅰ 働き始めたあなたに！	富山県看護協会 会長 松原 直美 富山県看護協会 専務理事 向野 勝美 富山県ナースセンター長 松嶋 瞳	看護を取り巻く状況を知り、 専門職業人としての自覚を 高める	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会について ・富山県看護協会の概要と活動内容 ・ナースセンターの役割
	富山県看護協会 医療安全委員会	カリウム製剤について正しい知識を学び、事故防止に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・カリウム製剤の基礎知識 ・カリウム製剤の使用法 ・カリウム製剤を使用する際の注意点と禁忌事項
	富山赤十字病院 看護師長 石川 今日子	新人が起こしやすいインシデントの種類、原因、防止対策について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故等の事例から学ぶ ・故意の事故や犯罪の防止 ・患者の診療情報管理 ・安全な薬剤の取り扱い
新人看護職員研修Ⅱ 医療者に求められるコミュニケーション	NPO法人アサーティブジャパン 事務局長 専属講師 牛島 のり子	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として求められるコミュニケーションスキルを理解する ・自己の現状のコミュニケーションスタイルを客観的に把握する ・すべての人間関係に必要なコミュニケーションスキルを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本を理解する ・自己のコミュニケーションスタイルを知る ・コミュニケーション技法を学ぶ ・演習
中堅看護師に役立つコミュニケーション！	有限会社ビジネスブレン (財)生涯学習開発財団 認定コーチ 永井 則子	臨床現場で患者・家族と良好な人間関係を築くための技法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・聴くことの難しさとそのトレーニング ・患者、家族の意思決定を支える対話のポイントについて ・コンフリクト発生時の対話への介入の仕方 ・積極的傾聴法 ・演習
看護倫理Ⅰ 看護専門職として基本的な姿勢を学ぶ	【がん看護専門看護師】 市立砺波総合病院 平 優子 富山県立中央病院 加藤 麻衣	<ul style="list-style-type: none"> ・看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる ・日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理とは ・倫理的行動と4つの要素（倫理原則） ・看護専門職と倫理の関係（看護師の倫理綱領） ・ケアリングの倫理 ・事例検討
看護倫理Ⅱ 職場の倫理風土を育てる	【がん看護専門看護師】 富山赤十字病院 村上 真由美 富山県立中央病院 竹中 健	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎知識を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び自施設の活動に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理原則、看護者の倫理綱領 ・倫理カンファレンスの効果的な進め方、進め方の実際 ・演習：臨床倫理4分割表を用いた倫理カンファレンスの実際 ・個人ワーク ・グループワーク
看護研究Ⅰ (楽しく学ぶ初めての看護研究)	富山県立大学 看護学部 精神看護学 教授 田中 いずみ	臨床で行う看護研究の進め方や研究倫理を理解し、看護研究計画書の作成方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護研究とは ・研究論文の構成・書き方 ・看護研究の種類 ・看護研究のプロセス ・看護研究計画書 ・看護研究における倫理的配慮 ・グループワーク 論文をマッピングしてみよう

研修名	講師	ねらい	主な内容
Zoom開催 医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策	愛媛大学医学部附属病院 医療安全管理部 副部長 戸田 由美子	医療安全対策の基本的概念と具体的対策に関する知識を学び、安全性を高める行動がとれる	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理について <ul style="list-style-type: none"> 医療KYTの歴史 *医療KYTの目指すもの 1. *健康問いかけKYT *指差し呼称 2. イラストKYT ワーク&発表 3. 指示だし指示受けKYT ロールプレイ 4. インシデントレポートKYT DVD鑑賞 5. インシデントレポートKYTワーク 発表、まとめ
医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法	【TeamSTEPPS Japan 認定トレーナー】 あさひ総合病院 副看護部長 山本 陽子	チームSTEPPSを活用しエビデンスに基づいたチームトレーニングを学び、患者安全文化の醸成につなげる	<ul style="list-style-type: none"> チームSTEPPSの基本的知識 ツールを使った事例演習
感染対策Ⅰ 基礎編A	【感染管理認定看護師】 国立病院機構富山病院 小泉 順平 射水市民病院 伊藤 ひろみ 富山労災病院 高本 恭子 金沢医科大学水見市民病院 南 康一	感染対策の基礎知識を理解し、看護に役立てる	<ul style="list-style-type: none"> 標準予防策（概論） 標準予防策（各論） 感染経路別予防策 職業感染対策
感染対策Ⅰ 基礎編B	【感染管理認定看護師】 富山県立中央病院 清水 直美 光ヶ丘病院 吉田 輝美 富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター 吉岡 智子 厚生連高岡病院 窪田 恵子	標準予防策を理解し正しい感染対策（手指衛生、予防具、環境整備、職業感染予防）を実践することができる	<ul style="list-style-type: none"> 急性期・慢性期病院、施設、在宅での感染リスク 職業感染対策 標準予防策、感染経路別予防策 環境整備について 医療処置における感染対策 <ul style="list-style-type: none"> 末梢・中心静脈カテーテル（ポート）の管理を含む）、尿道留置カテーテルの管理 看護ケアにおける感染対策 <ul style="list-style-type: none"> 経管栄養、吸引、おむつ交換、褥瘡交換
感染対策Ⅱ 実践編	【感染管理認定看護師】 金沢医科大学水見市民病院 谷畑 祐子 富山労災病院 延地 真理 南砺市民病院 野原 里香 北陸中央病院 荒俣 ゆかり	根拠に基づいた感染対策を実践・指導できる	<ul style="list-style-type: none"> 感染症別感染対策とアウトブレイク対応 <ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ、ノロウイルス感染症、結核、流行性ウイルス（麻疹、水痘、風疹、流行性耳下腺炎） 新型コロナウイルス感染症への対応 侵襲的処置別感染対策 <ul style="list-style-type: none"> 尿路感染防止対策、血流感染防止対策 感染症発生時の対応 <ul style="list-style-type: none"> 事例検討、発表
がん看護シリーズⅠ がん性疼痛看護 緩和ケアにおける症状 コントロール	富山県立中央病院 がん看護専門看護師 竹中 健	がん患者の苦痛症状を理解し、適切なケアが実践できる	<ul style="list-style-type: none"> 症状の理解とアセスメント 症状コントロールの実際 実践事例から学ぶ
	市立砺波総合病院 がん性疼痛看護認定看護師 前田 真裕美	がん性疼痛を理解し、がん患者の疼痛緩和の看護技術を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> がんの痛みの理解 痛みのアセスメント 薬剤を使用した疼痛マネジメント 副作用とケア 痛みを緩和するケア

研修名	講師	ねらい	主な内容
がん看護シリーズⅡ 病院から在宅につなぐ 意思決定支援	済生会富山訪問看護 ステーション がん性疼痛看護認定看護師 柳原 照代 厚生連高岡病院 緩和ケア認定看護師 宮原 美恵子	・がん患者の身体的・心理的・社会的な課題と看護を学ぶ ・がん患者・家族の心理と看護師の役割を理解し、援助の実際を知る	・意思決定支援とは ・がん患者の意思決定について がん告知から終末期 ・病院から在宅療養へ繋ぐための支援について 一般病棟から在宅へ繋ぐための支援を中心に ・コミュニケーションと意思決定支援について ・在宅におけるサービスとは ・地域包括システムケアとは ・人生会議（ACP）について ・地域で暮らす患者・家族の意思決定支援 ・意思決定支援（ACP）と倫理 ・事例をもとに考える（個人ワーク） ・事前アンケートから
がん看護シリーズⅢ がんと共に働き生きる 患者への支援	富山県がん総合相談 支援センター 統括相談員 尾川 洋子 ピアサポーター 小池 真実	・診断から復職までの患者・家族の心理を理解する ・がんと働くことの両立を支える支援を学ぶ	・がん患者・家族を知る ・がん相談の現場から伝えたいこと 富山県がん総合相談支援センターの概要 相談支援 がんピアサポーターの養成・活動 ・がん患者をめぐる現状 ・がん患者の就労支援の必要性 ・医療機関における支援の在り方 就労の基礎知識 具体的な就労支援
糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への 生活調整と支援	【糖尿病看護認定看護師】 富山労災病院 長田 裕子 高岡市民病院 寺澤 多英	・生活習慣病である糖尿病の正しい知識を知り、最新の情報やケアを学ぶ ・糖尿病患者の重症化予防のための療養指導を学ぶ	・糖尿病の基礎知識 糖尿病とは、合併症 ・糖尿病の療養指導 食事療法、薬物療法、運動療法、心理面、フットケア ・チームの取り組み
現場に活かせる 褥瘡ケアA	【皮膚・排泄ケア認定看護師】 富山赤十字病院 印幡 香 高岡ふしき病院 粕山 陽子	病院における褥瘡の予防と悪化させないための最新の知識・技術を取得する	・褥瘡の基礎 ・褥瘡の予防 体圧分散ケア・栄養管理 ・褥瘡の治癒過程、治療とケア ・褥瘡の評価方法 ・スキン・ケア、医療関連機器圧迫創傷、失禁関連皮膚障害 ・最近の褥瘡治療
現場に活かせる 褥瘡ケアB	【皮膚・排泄ケア認定看護師】 富山大学附属病院 石黒 伸昌 高岡市民病院 東城 美智代	褥瘡の基礎知識を理解し、予防対策・褥瘡ケアを実践できる	・褥瘡とは ・褥瘡予防に必要なスキンケアを理解する ・スキンケアトラブル対策、失禁の対策 ・褥瘡アセスメント ・褥瘡分類 ・在宅での褥瘡予防 ・事例検討
実践に活かす！ 摂食嚥下障害の理解とケア	【摂食・嚥下障害看護 認定看護師】 富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター 濱屋 宏衣 富山県立中央病院 河口 絵里奈	・摂食嚥下のメカニズムとその障害を理解する ・摂食嚥下機能評価と訓練の実際を学び看護実践に活かす	・摂食嚥下のメカニズム ・誤嚥性肺炎、口腔ケアについて ・摂食嚥下評価 ・スクリーニング ・摂食嚥下訓練 ・嚥下体操DVD視聴 ・食事介助 ・チーム医療 ・摂食・嚥下障害看護認定看護師の役割について

研修名	講師	ねらい	主な内容
高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケア	富山協立病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山本 佳江 富山市立富山まちなか病院 慢性心不全看護認定看護師 加藤 美加代	高齢者に多い疾患の病態を理解し、ケアのポイントを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ COPDについて ・ 喘息について ・ 肺炎について ・ 循環器疾患の動向について ・ 心不全の病態について ・ 心不全ケアのポイント ・ チームでの取り組み ・ 在宅でのセルフケアのポイント ・ ACPについて
もっと深めよう！ 脳卒中患者の看護	【脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師】 かみいち総合病院 新林 正子 市立砺波総合病院 池守 実智代	脳卒中患者の機能回復及び日常生活の支援について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脳卒中の病態、脳・神経系のアセスメント ・ 機能回復・早期離床・ADL獲得にむけた支援 ・ 在宅にむけての調整 ・ チームでの取り組み
優しさを伝える認知症ケア ～対象を理解することで ケアが変わる～	光ヶ丘病院 認知症看護認定看護師 林 浩靖 レビー小体患者 レビー小体患者家族	認知症ケアの「人として守られる尊厳」について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の本人の声を知る ・ 認知症とともに生きる体験を知る ・ 認知症ケアのあり方と自分のこと考える
せん妄の理解とケア	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口 達也	せん妄について理解し、予防や対応について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ せん妄を引き起こす要因 ・ せん妄の症状と治療 ・ せん妄の症状・評価と対応 ・ チームでの取り組み ・ 演習
Zoom開催 心と命を守る ゲートキーパー 医療従事者としてできる 生きることへの支援	岩手医科大学 神経精神科学講座 教授 大塚 耕太郎	潜在的な自殺リスク者に高い頻度で接する医療従事者を、メンタル面での異変に「気づき」「聴き」専門機関に「つなぐ」ことのできるゲートキーパーに養成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ かけがえのない命を守る ・ 院内自殺の予防と対応 ・ 自殺の予防と対策 ・ 災害現場の心のケア
【JNAオンデマンド 活用研修】 終焉を迎える患者家族 および看護職のケア	【がん看護専門看護師】 市立砺波総合病院 平 優子 富山県立中央病院 時山 麻美	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看取りのプロセスにおける尊厳の尊重や苦痛の緩和、コミュニケーションを学ぶ ・ 看護師の終末期看護ケアにおけるサポートの実際を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンド 導入、看取りのプロセス、人生の最終段階における苦痛の緩和、臨死期のケアの受け手や周囲の人々への配慮、個性をふまえた苦痛の緩和のための計画・実施・評価、確認テスト ・ 講義および演習 家族の思いに寄り添うケア 患者、家族の意思決定支援 看護師自身のグリーフケア エンゼルメイク
精神科訪問看護師育成研修 精神疾患を抱える患者の 在宅看護	滋賀県立精神医療センター 精神看護専門看護師 福岡 雅津子	精神障害者地域サポート強化：精神疾患をかかえる患者の地域生活を支えるため、基本的知識及び技術の取得を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神疾患を持ちながら生活すること ・ 精神科訪問看護とは ・ 診断に至る過程と患者情報の捉え方 ・ ケース理解 (代表的な疾患から 困った場面から) ・ コミュニケーションとかかわりのポイント ・ 連携、社会資源、家族支援 ・ GAFと診療報酬
地域包括ケア I 入院前から始める 入退院支援	富山大学附属病院 副看護部長 瀬川 美香子	入院前から始める入退院支援・退院調整の基礎知識を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会情勢 ・ 地域医療計画 ・ 入退院支援とは ・ 入退院支援及び調整の実際 ・ 介護保険 ・ 訪問看護 ・ 病院機能 ・ ACP ・ 心不全、糖尿病、小児、がん患者の退院支援 ・ 演習（個人ワーク）

研修名	講師	ねらい	主な内容
地域包括ケアⅡ 事例から学ぶ 地域における多職種連携	富山市まちなか 総合ケアセンター 主幹 三浦 太郎 光風会訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 小原 留美	生活を見据えた退院支援の 実際を事例から学ぶ	・入退院支援の現状 ・多職種連携における看護師の役割 ・事例検討 ・在宅医療の現状 ・訪問事例から学ぶ
J-CIMELSに 沿った母体救急	富山県立中央病院 産婦人科 医長 吉越 信一	分娩前後に起こりうる急変 に対して適切な初期対応が できる	・母体救急の特徴 原因となる基礎疾患 大量出血のリスクの理解 ・急変時の初期対応 大量出血時の対応 ショック時の対応

3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
一部Zoom開催 医療安全の観点からの リスクマネジメント	パラマウントベッド(株) 技術本部 主席研究員 杉山 良子	医療安全の実務力向上を めざす	・医療安全文化の醸成 ・医療安全管理に必要な基本的知識 ・転倒転落 ・事例分析法 ・事例分析法の実際
	厚生連滑川病院 薬剤部 部長 鍛冶 洋樹		【安全な与薬業務を行うための管理】 ・薬剤の安全管理に必要な知識 ・カリウム製剤の基礎知識
	社会医療法人社団正志会 本部 看護部業務担当部長 (非常勤) 佐々木 久美子		【医療安全に関する法・制度】 ・医療安全に関する法令や制度の知識 ・医療事故調査制度に関する知識
	愛知県立大学 看護学部・大学院看護学研究科 看護管理学 教授 森田 恵美子		・医療コンフリクト・マネジメント ・医療メデイエーション・スキル
リーダーシップの磨き方	西武文理大学 看護学部 客員教授 北浦 暁子	スタッフがやりがいを見出し 笑顔で働くことができる 牽引力・包容力・統率力を 学ぶ	・チームワークの育て方と組織活性化術 ・逆境をチャンスに受け止められるメンタリ ティ
コーチングのできる リーダー育成	(有) AEメディカル 代表取締役 野津 浩嗣	スタッフを育成するための コーチングスキルを学ぶ	・コーチングとは ・スタッフ育成のためコーチングスキル ・コーチングスキルの実際

研修名	研修目標/研修内容
【DVD研修】 看護補助者の活用推進の ための看護管理者研修 改訂版2020	効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者と協働のための体制整備の一助となる 看護補助者の活用に関する制度の理解/看護職との連携と業務整理/看護補助者の雇用形態と処遇等/看護補助者の育成・研修・能力評価/看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成 ※演習含む

4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
一部Zoom開催 新人看護職員 研修責任者・ 教育担当者研修	公益社団法人日本看護協会 常任理事 熊谷 雅美 済生会横浜市東部病院 看護部教育担当 兼 人材開発センター スキルトレーニング室 小陽 美紀	新人看護職員研修の卒業 臨床研修制度について理 解し、その実施に向けて部 署としての取り組みを考 えることができる	【新人看護職員研修ガイドラインの理解と活用方法】 ・新人看護職員をめぐる現状と課題 ・新人看護職員研修制度の概要 ・新人看護職員ガイドラインの内容と活用方法 ・新人看護職員研修の組織体制 ・研修責任者・教育担当者・実地指導者の役割 ・新人看護職員に関わる看護職員の職場適応メ ンタルサポート 【新人看護職員研修の企画と評価の実際】 ・基礎教育における看護実践能力の習得状況 ・指導方法や教育的かかわり方 ・新人看護職員教育計画立案と運営、評価の 実際 ・グループワーク 【新人看護職員指導上の問題とその解決方法】 ・自部署の教育支援の中で困っていること ・演習
一部Zoom開催 新人看護職員 実地指導者研修	金沢医科大学 精神神経科学 講師（臨床心理士） 北本 福美 東京医療保健大学 医療保健学部看護学科 機能看護学 教授 末永 由理	新人看護職員研修の実地 指導者としての役割を理解 し、新人看護職員に対して 効果的な臨床実践指導及 び教育的なかわりができ るよう必要な知識・技術 を習得する	・新人看護職員の精神的支援 新人看護職員の心理的特徴・適応状況の 把握、適応の支援、関係を築くコミュニ ケーション ・自身のストレスマネジメント ・情報交換 【新人看護職員研修について】 ・新人看護職員ガイドライン ・実地指導者の役割 ・新人看護職員の特徴 ・新人看護職員への効果的な関わり 【指導方法・評価】 ・成人学習者の特徴と教育方法 ・指導計画の立案と実施・評価のポイント 【実地指導者の育成・支援】 ・実地指導者が経験しやすい指導上の問題 や困難と解決方法 ・フィードバック
看護研究Ⅱ (進めよう看護研究)	富山大学 学術研究部医学系 基礎看護学Ⅰ 准教授 吉井 美穂 福井大学 医学部看護学科 基盤看護学 教授 上野 栄一	看護研究計画書の実際を 学び、看護研究計画書 を作成する	【日常の看護から研究の題材を見つける】 ・テーマの決め方 ・研究デザイン ・対象の絞り方 ・データの集め方 ・データの分析 ・研究計画書作成 ・アンケートの作成方法 ・演習
看護研究Ⅲ (質的・量的研究の 分析を学ぼう！)	金城大学 看護学部 成人看護学 教授 岩城 直子	看護研究に必要な統計の 知識や質的分析を学ぶ	・量的研究データの整理、処理および基本的な 分析方法 ・統計の種類や検定の選び方、手法 ・質的研究の進め方 ・演習
看護研究Ⅳ (迷わない研究サポート)	福井大学 医学部看護学科 基盤看護学 教授 上野 栄一	・円滑な看護研究支援方法 を学ぶ ・論文作成が出来るよう になる	・クリティーク（査読）の実際 ・研究遂行上に直面しやすい問題 ・具体的な助言方法 ・論文作成に向けた課題の明確化
医療安全対策Ⅲ ImSAFER分析 Basic 2日コース	株式会社安全推進研究所 代表取締役所長 博士（心理学） 河野 龍太郎 (自治医大名誉教授)	「事故の構造に基づく分析 手法：ImSAFER」を学び、 医療事故の再発防止支援 に活かす	・医療システムの問題点と対策 ・ヒューマンエラー発生メカニズム ・ヒューマンエラー対策と戦略と戦術 ・ImSAFER分析手法について ・事例分析、グループワーク ・まとめ

研修名	講師	ねらい	主な内容
災害看護 (フォローアップ編)	福井大学 医学部看護学科 災害看護学 教授 酒井 明子	看護専門職の災害時支援者として、被災地や被災者に対しニーズに応じた看護実践能力を有効に発揮し、他者と協働でき、自律した活動ができる	・講義および演習 富山県看護協会における災害看護支援活動 災害支援ナースの派遣の概要 災害支援ナースの活動の実際、心構え HUG等の机上シミュレーション

5 資格認定教育

研修名	講師	ねらい	主な内容	
<セカンドレベル公開講座> 人事・労務管理	東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科 学部長・教授 基盤看護学 宮本 千津子	看護管理者として基本的業務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する	・リーダー機能 ・マネージャー機能 ・労働能力	
<セカンドレベル公開講座> 人材を育てるマネジメント	昭和大学 特任教授 看護キャリア開発・ 研究センター長 市川 幾恵		・幸福学×看護学 ・レジリエンスについて ・動機づけ理論の活用 ・ワークライフバランスの現状と課題について ・組織・職場の変革	
<セカンドレベル公開講座> 経営資源と管理の実際	工学院大学 建築学部建築デザイン学科 教授 筧 淳夫		・患者の実態と病棟計画 ・病室計画 ・これからの病棟計画 ・介護環境計画	
<認定看護管理者教育課程 セカンドレベル看護管理実践報告会>	【報告者】 2019年度認定看護管理者 教育課程セカンドレベル 修了者 若干名	看護管理実践報告をもとに問題点の共有と課題の明確化をはかり、より望ましい看護管理のあり方を学ぶ	・実践報告	
<ファーストレベル公開講座> 組織マネジメント概論	東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部看護学科 大学院看護学研究科 小児看護学 教授 中島 美津子	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する	・看護組織の歴史 ・看護組織の外部環境・内部環境 ・「かんり」とは	
<ファーストレベル公開講座> 人材育成の基礎知識	医療法人協和会 法人本部 理事長補佐 青木 菜穂子		・学習理論 ・モチベーション理論 ・人的資源管理	
<ファーストレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける看護の役割	公益社団法人日本看護協会 看護開発部 安西 恵梨子		・看護職にかかわる法の概要 ・看護職の責務 ・地域包括ケアシステムにおける看護の役割 ・医療法	
<ファーストレベル公開講座> 経営資源と管理の基礎知識	聖路加国際大学 法人事務局長 渡辺 明良		・医療制度と診療報酬制度について ・病院経営分析 ・経営戦略	
Zoom開催 摂食・嚥下障害看護 認定看護師 フォローアップ研修Ⅰ	JA神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 小山 珠美		摂食・嚥下障害看護認定看護師としての活動実践を共有し、個々の課題を明確にすることを目的とする	・脳機能の回復を促す包括的食支援スキル ・意見交換会
摂食・嚥下障害看護 認定看護師 フォローアップ研修Ⅱ 事例報告会	【発表者】 富山県認定看護師教育課程 修了生			・事例・活動報告会 ・グループワーク：コロナ禍での院内研修・後方への情報提供のあり方

日本看護協会主催 都道府県看護協会向けDVD研修

研修名	研修目的/研修内容
災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	<p>看護専門職の災害時支援者として必要な基礎知識を習得し、災害支援ナースとしての役割や活動の実際を理解する</p> <p>災害医療の基礎知識/災害時に求められる看護支援活動/災害サイクル別疾病構造と看護/災害時の心理変化とこころのケア/看護協会の災害時看護支援活動/災害時の保健師の役割と災害支援ナースとの連携～北海道胆振東部地震災害における支援活動より～/災害支援ナースとしての活動の実際～平成30年7月豪雨災害における支援活動より～</p>
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	<p>国の施策や医療の現状を理解するとともに、入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を学ぶ</p> <p>認知症高齢者に関する医療の現状と国の取組み/認知症に関連する疾患と病態・治療/組織で取組む認知症高齢者ケア/認知症高齢者の看護に必要なアセスメント/認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術/認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方/多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方/認知症高齢者に適した療養環境と調整方法/認知症高齢者に特有な倫理的課題/認知症高齢者の意思決定支援 ※演習含む</p> <p style="text-align: center;">【演習支援者】 市立砺波総合病院 認知症看護認定看護師 畑 真夕美</p>

令和2年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会

区分	内容
<p>[第1回] 令和2年 5月20日(水) ※書面審議</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者の選考 定員25名に対して応募者24名あったが、途中2名(1施設)キャンセル 全員21名の受講決定 研修期間：令和2年6月25日(木)～8月20日(木) 186時間(31日間) 2 2020年度認定看護管理者教育課程の運営について <ol style="list-style-type: none"> 1) 講師が来県できない場合の授業形態の変更について 新型コロナウイルス感染の状況によるが、来県できない場合、遠隔授業または講義の延期を検討する。 2) セカンドレベル教育課程における統合演習Ⅱの実習について 認定部より2020年度に限り、実習を行わなくてもよいとしているため、実習を中止する。実習の代替として、講義3時間、演習3時間とし、講義・演習の出席状況と学習カードの提出を評価対象とする。 3) セカンドレベル看護管理実践報告会開催について 参加対象を2020年度セカンドレベル受講生と2019年度セカンドレベル修了生とし、看護管理の役割にあたっている者または看護管理者に準ずる役割を担っている者を除き開催する。 4) ファーストレベル教育課程の開講について 開講予定だが、今後の感染状況により事務局で判断する。定員50名を超える場合は、富山県内の会員を優先する。応募に関して理事会で状況を説明し、応募人数の配慮を得る。 5) ファーストレベル教育課程の公開講座中止について 厚労省のイベント開催の注意「比較的少人数50人程度」を超える可能性があるため、セカンド同様公開を中止する。 3 受講時における新型コロナウイルス対策について マニュアル「認定看護管理者教育課程における新型コロナウイルス感染対策」を作成。マニュアルに沿ってセカンドレベルを運営する。 ファーストレベルは、事務局が感染状況によりマニュアルを使用するか判断する。
<p>[第2回] 令和2年 7月8日(水) 10:00～11:00</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者の選考 定員45名に対して応募者45名 全員45名受講決定 研修期間：令和2年9月1日(火)～10月9日(金) 117時間(19.5日間) 2 2020年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル実習代替案について 第1回書面委員会で承認済 3 2020年度認定看護管理者教育課程アンケートについて 認定部からのアンケートの回答内容および受講生用のアンケート案を提示 4 新型コロナウイルス感染症対策について状況報告 <ul style="list-style-type: none"> ・現在セカンドレベル開講中だが、体調不良者は出ていない。受講前に体温測定を行っている。研修後は、専任教員が研修室等の消毒作業を行っている。 ・数名の県外講師が来県できない状況であり、オンラインや担当講師を変更し講義を行っている。
<p>[第3回] 令和2年 10月14日(水) 10:00～11:00</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者修了について 受講者22名全員修了 2 受講生研修修了アンケート結果報告 3 新型コロナウイルス感染拡大に伴う授業形態の変更について 日本看護協会認定部より(2020年4月7日付) ・2020年度に限り、感染防止対策のため、授業形態を集合での講義形態からインターネット等を活用した形態への変更や代替手段で対応することを可能とする。

区分	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・セカンド・サードレベルの統合演習については、実習先の確保が困難であることが予想されるため2020年度に限り実施しなくても可とする。演習部分については実施する必要があるが、カリキュラム基準に記載の計画立案等が行えればよいため、必ずしもグループワーク等の形式で行う必要はない。 <富山県の対応> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンド2科目、ファースト1科目でZOOMを利用した講義に変更。セカンド2科目で講師を変更して実施。 ・実習の代替として、講義3時間、演習（事例展開）3時間行った。 4 2020年度認定看護管理者教育機関担当者会議報告 5 2019年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル未修了者の科目履修について受講生1名の修了が承認され、修了証を発行することになる。
<p>[第4回] 令和2年 11月25日(水) 10:00~11:15</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者修了について受講者43名全員修了 2 2021年度認定看護管理者教育課程実施要項等について事務局の変更案が承認された。 3 2021年度認定看護管理者教育課程事前課題について協議の結果、目的等を追加して事前課題を提示することになる。 4 2021年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル統合演習Ⅰについて協議の結果、事務局の案が承認された。 5 2021年度認定看護管理者教育課程公開講座について今年度同様、新型コロナウイルス感染症対策として、受講人数を50名程度とし、セカンドは定員25名なので、公開講座の定員を25名として開催。ファーストは、定員50名であり、協議の結果公開講座は中止とする。再来年は状況をみて委員会に諮ることとなる。 6 2021年度認定看護管理者教育課程教育運営委員委嘱について事務局の案が承認された。

令和2年度 オンライン研修 検討会

区 分	内 容
[第1回] 令和2年 9月18日(金) 10:00～11:00	1 報告事項 1) 令和2年度オンライン研修 開催状況 2 審議事項 1) オンライン研修について 研修形式はライブ配信、受講場所は会場参加型を承認 2) オンライン研修の実際 3) オンライン可能な研修について メリット・デメリット、研修管理の協議
[第2回] 令和2年 12月18日(金) 10:00～11:00	1 審議事項 1) 令和3年度 オンライン研修企画 教育委員会等、4支部の研修企画(案) 2) 研修管理上の課題について ウェブ環境：配信用資機材、通信環境の予算化 研 修 管 理：器材・通信トラブル対応 受 講 料：WEB・対面 受講料同一(会場参加型)

オンライン研修検討会 委員(10名)

氏 名	施 設 名
安倍 淑子	富山労災病院
高山 由紀子	黒部市民病院
森 太貴子	富山赤十字病院
米 山 美智代	高岡市民病院
小 倉 里 美	市立砺波総合病院
松 原 直 美	富山県看護協会
稲 村 睦 子	富山県看護協会(富山県立総合衛生学院)
向 野 勝 美	富山県看護協会
田 村 雅 子	富山県看護協会
米 道 智 子	富山県看護協会

令和2年度 新たな認定看護師教育のあり方 検討会

区 分	内 容
<p>[第1回] 令和2年 10月27日(火) 10:00～11:30</p>	<p>1 報告事項</p> <p>1) 富山県認定看護師登録者数</p> <p>2) 富山県認定看護師教育課程休講理由</p> <p>2 審議事項</p> <p>1) 新たな認定看護師教育について 新たな認定看護分野と特定行為 認定看護師教育機関認定の要件 2019年度、2020年度開講のB課程</p> <p>2) 特定行為研修の現状</p> <p>3) 富山県看護協会 看護師の特定行為研修に関する調査から</p> <p>4) 各医療圏のB課程認定看護師教育へのニーズ 休講中のA課程は再開しない。 B課程の課題(分野・教員・受講生)の再検討</p>
<p>[第2回] 令和3年 3月22日(月) 10:00～11:00</p>	<p>1 報告事項</p> <p>1) 日本看護協会 認定部からの情報提供</p> <p>2 審議事項</p> <p>1) B課程の予算推計 (仮)皮膚・排泄ケア認定看護師B課程</p> <p>2) 今後の方向性、B課程認定看護師教育のニーズ等について 県内で認定看護師教育を行うことは重要であるが、人材確保(教員・受講生)困難、 協会の自己資金負担が大きく、認定看護師教育を一旦中止とする。 今後、看護職から強い要望があれば再度検討する。</p>

新たな認定看護師教育のあり方検討会 委員(13名)

氏 名	施 設 名
岡 本 里 美	富山県公的病院看護部長総看護師長協議会(富山県立中央病院)
高 山 由紀子	黒部市民病院
三日市 麻紀子	富山大学附属病院
森 太貴子	富山赤十字病院
米 山 美智代	高岡市民病院
竹 澤 和 美	南砺市民病院
小 倉 里 美	市立砺波総合病院
藤 岡 敦 子	富山西総合病院
利 田 智 恵	富山県厚生部医務課
松 原 直 美	富山県看護協会
稲 村 睦 子	富山県看護協会(富山県立総合衛生学院)
向 野 勝 美	富山県看護協会
田 村 雅 子	富山県看護協会

令和2年度 富山県ナースセンター事業報告

	事業	事業内容	実績																		
就労促進に関する事項	求人・求職登録事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料職業紹介所として運営 ・ 求人・求職登録、一般情報の登録 ・ 「e ナースセンター」登録推進 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">求人登録数</td> <td style="text-align: right;">8,031人</td> </tr> <tr> <td>求職登録者数</td> <td style="text-align: right;">2,972人</td> </tr> <tr> <td>有効求人倍率</td> <td style="text-align: right;">2.7倍</td> </tr> <tr> <td>就職者数</td> <td style="text-align: right;">264人</td> </tr> </table>	求人登録数	8,031人	求職登録者数	2,972人	有効求人倍率	2.7倍	就職者数	264人										
	求人登録数	8,031人																			
	求職登録者数	2,972人																			
	有効求人倍率	2.7倍																			
就職者数	264人																				
公共職業安定所との連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規求人・求職人数の報告（毎月） ・ 看護系求人情報、相談記録のやりとり（毎週） ・ 就職ガイダンスにてハローワーク相談コーナー設置 																				
看護師等免許保持者届出事業	病院・介護福祉施設等を離職した看護職員に届出をしていただくことで、看護職員の潜在化を防止し、看護職員確保の支援や復職支援の促進を図る。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">届出者数</td> <td style="text-align: right;">307人</td> </tr> <tr> <td>ナースセンター登録希望数</td> <td style="text-align: right;">159人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td style="text-align: right;">94人</td> </tr> </table>	届出者数	307人	ナースセンター登録希望数	159人	登録者数	94人													
届出者数	307人																				
ナースセンター登録希望数	159人																				
登録者数	94人																				
就業相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 就業に関する相談 ② 就職アドバイザーによる就業相談 ③ 移動就業相談（まちの保健室・福祉職場説明会） 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">相談件数（全体）</td> <td style="text-align: right;">9,116件</td> </tr> <tr> <td>①のうち就職アドバイザーによる相談</td> <td style="text-align: right;">3,321件</td> </tr> <tr> <td>5/28(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」</td> <td style="text-align: right;">中止^(※)</td> </tr> <tr> <td>7/30(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」</td> <td style="text-align: right;">中止^(※)</td> </tr> <tr> <td>9/29(火) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」</td> <td style="text-align: right;">0人</td> </tr> <tr> <td>11/24(火) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」</td> <td style="text-align: right;">5人</td> </tr> <tr> <td>2/25(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」</td> <td style="text-align: right;">3人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・ (※)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・ 合同就職面接会及びまちの保健室を活用した相談は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 </td> </tr> <tr> <td>④ 就職アドバイザー等による病院等訪問事業</td> <td>④ 令和2年10月～11月実施</td> <td style="text-align: right;">21施設</td> </tr> </table>	相談件数（全体）	9,116件	①のうち就職アドバイザーによる相談	3,321件	5/28(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	中止 ^(※)	7/30(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	中止 ^(※)	9/29(火) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	0人	11/24(火) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	5人	2/25(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ (※)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・ 合同就職面接会及びまちの保健室を活用した相談は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 		④ 就職アドバイザー等による病院等訪問事業	④ 令和2年10月～11月実施	21施設
相談件数（全体）	9,116件																				
①のうち就職アドバイザーによる相談	3,321件																				
5/28(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	中止 ^(※)																				
7/30(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	中止 ^(※)																				
9/29(火) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	0人																				
11/24(火) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	5人																				
2/25(木) 14:00～15:30 サンフォルテ「介護職場就職説明・面談会」	3人																				
<ul style="list-style-type: none"> ・ (※)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・ 合同就職面接会及びまちの保健室を活用した相談は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 																					
④ 就職アドバイザー等による病院等訪問事業	④ 令和2年10月～11月実施	21施設																			
看護職員就業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 就業支援専門員の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内7か所のハローワークへ就業支援専門員を毎月1回派遣し、潜在看護職員等に対する就業相談を行う。 ・ 就業支援相談開催について、新聞広告およびちらしにて周知する。 ② ナースセンターサテライト設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職アドバイザーをナースセンターサテライト3か所（新川・射水・砺波）に毎月1回派遣し、就業に関する相談等を行う。 ・ 就業支援相談開催について、新聞広告およびちらしにて周知する。 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">①・就業相談件数</td> <td style="text-align: right;">135件</td> </tr> <tr> <td>・新聞広告</td> <td style="text-align: right;">6月27日(土) 10月18日(日) 12月21日(月) 3月8日(月) 3月30日(火)</td> </tr> <tr> <td>②・相談件数</td> <td style="text-align: right;">11件</td> </tr> <tr> <td>・チラシ発行</td> <td style="text-align: right;">1,500部</td> </tr> <tr> <td>・新聞広告</td> <td style="text-align: right;">6月27日(土) 10月18日(日) 12月21日(月)</td> </tr> </table>	①・就業相談件数	135件	・新聞広告	6月27日(土) 10月18日(日) 12月21日(月) 3月8日(月) 3月30日(火)	②・相談件数	11件	・チラシ発行	1,500部	・新聞広告	6月27日(土) 10月18日(日) 12月21日(月)									
①・就業相談件数	135件																				
・新聞広告	6月27日(土) 10月18日(日) 12月21日(月) 3月8日(月) 3月30日(火)																				
②・相談件数	11件																				
・チラシ発行	1,500部																				
・新聞広告	6月27日(土) 10月18日(日) 12月21日(月)																				

	事業	事業内容	実績
就労促進に関する事項	看護職員就業支援事業	③ハローワーク（富山、高岡、魚津）との連携 ・就業支援専門員の派遣（上記①に含） ・求職者・求人に関する情報を共有 ・医療機関へのあっせん強化（管理選考会）	③連携事業対象求人数1,101人（81人） 連携事業対象求職数 113人（39人） 連携事業就職者数 44人（9人） （ ）はナースセンター実績 <管理選考会> ハローワークと協議の上、今年度中止
	登録看護職員就業希望等の調査	年1回実施 令和2年8月20日（木）	対象：eナースセンター登録者 243人
	看護職員再就業支援研修	①定期研修 令和2年10月17日（土）、 11月7日（土）、12月12日（土） ②随時研修（病院実習） 通年 ③随時研修（技術チェック研修） 通年	①受講者数（延人数） 30人 ②受講者数 1人 ③受講者数 26人
	就職ガイダンス事業	看護学生・再就職者を対象に県内病院の紹介・面談を行い、看護職員の人材確保を図る。	①県内民間病院就職ガイダンス 令和2年10月24日（土） 参加者 24人 参加施設 18施設（38人） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前予約制で実施 ②県内病院就職ガイダンス ホームページにWEB動画を6か月掲載する 参加施設（41）
	看護職員・大学生Uターン促進事業	・病院ガイドブックの作成と配布 ・就職ガイダンスの案内	ガイドブック作成 1,000部 掲載施設 51施設
	養成機関共同PR事業	県内の看護師等学校・養成所ガイドブックの作成と配布	ガイドブック作成 1,500部
	看護学生就労啓発事業	・看護学生に看護協会およびナースセンターの役割と活動を紹介 ・就労定着を促進する取組みに関する情報提供	2/22（月）富山市医師会看護専門学校 60人 2/26（金）富山市立看護専門学校 40人 3/5（金）富山医療福祉専門学校 34人
	広報活動	・富山県看護協会ホームページ ・協会広報誌「看護とやま」 ・市町村広報誌掲載と新聞広告	「看護とやま」年発行部数 37,300部 （4、7、10、1月発行）
	富山県ナースセンター事業運営委員会	令和3年2月2日（火）	事業実績報告書作成・配布 250部
訪問看護支援に関する事項	「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	令和2年6月26日（金）～12月3日（火） （eラーニング・集合研修・実習）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	訪問看護従事者等研修会	令和2年11月5日（木）	受講者数 23人
	訪問看護ステーション管理者育成研修会	令和2年9月27日（木）	受講者数 43人

	事業	事業内容	実績
看護の心普及啓発に関する事項	「看護の日」 「看護週間」等PR事業	①第30回「看護の日」看護フェスティバル ・表彰式「看護職員等からの体験談」 ・授賞式「看護職のWLB推進カンゴサウルス賞」 ②ふれあい看護体験	①「看護職員等からの体験談」受賞者数 6人 「カンゴサウルス賞」受賞施設数 2施設 新型コロナウイルス感染拡大防止のため看護フェスティバル中止 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため各施設実施できず
	高校生の一日看護見学	院内案内、看護業務見学、各病院で計画した内容、「看護の道」について説明、座談会、個別進路相談	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	看護普及推進事業	看護師等養成学校における看護体験学習	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
その他	看護職員定着支援事業	①看護職員からの体験談 ②講演会 令和2年11月21日(土)	①体験談応募数 168編 ②参加者 49人
	医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業	①研修会 令和2年8月18日(火) ②研修・報告会 令和2年12月9日(水) ③従来型WLB推進事業 ④訪問型ワークショップ ⑤看護職のWLB推進委員会 第1回令和2年5月21日(木) 第2回令和3年2月1日(月) ⑥WLB表彰式 5/21(木)・5/25(月) ⑦医療労務管理支援事業打ち合わせ出席	①参加者数 33人 ②参加者数 47人 ③1施設 ④4施設 訪問回数延べ8回(説明会含む) ⑤推進委員12人 ⑥2病院 ⑦年4回
	地域の医療体制確保のための看護職員の派遣調整事業	①看護職を紹介(厚生センター、コロナ軽症者療養施設等) ②スキルギャップ研修の実施 ③新型コロナウイルス感染症に関する相談対応	①紹介人数 29人 ②参加者 20人 ③相談件数 看護職 51人 施設 18人

I 就労促進に関する事項

1 求人・求職登録実績

(令和2年度)

月	有効 求人数(人)	有効 求職者数 (人)	有効 求人倍率 (倍)	就職件数(述べ)		
				計	NC就職	NC以外
4	721	258	2.8	15	11	4
5	700	267	2.6	23	18	5
6	686	252	2.7	16	7	9
7	694	257	2.7	32	20	12
8	672	246	2.7	16	5	11
9	635	240	2.6	20	10	10
10	663	236	2.8	19	11	8
11	645	237	2.7	14	7	7
12	669	234	2.9	23	14	9
1	629	234	2.7	12	4	8
2	643	246	2.6	17	7	10
3	674	265	2.5	57	33	24
延べ人数	8,031	2,972	2.7	264	147	117

有効求人数…対象月の前月以前から繰越した求人票の募集人数及び対象月に新規求人票を登録した求人票の募集人数

有効求職者数…対象月の前月以前から繰越した求職者数+対象月に新規求職票を登録した求職者数及び対象月に求職票を作成せずにシステム応募した求職者数

就職件数(延べ)…ナースセンターからの紹介、ナースセンター以外(ハローワークからの紹介、自己によるいずれか)の紹介就職による延べ件数

2 看護職員就職アドバイザー業務実績

1) 相談実績 相談内容は上位5項目

(件)

内 訳 相談件数	相談方法			相談内容(重複)					
	来所	電話	メール・郵送	勤務形態	他の職場への興味	技術不安	子育て	転居	その他
3321	247	2657	437	289	120	96	90	42	213

2) 施設訪問

(1) 目的 ナースセンター就職アドバイザー等が病院等を訪問し、看護管理者等と面談することで、看護職員の就労状況や勤務環境等を把握し、必要に応じて情報提供や相談・助言を行うことにより、看護職員の人材確保や定着支援を推進する。また、施設内における新型コロナウイルス感染症における問題点を把握し対応する。

(2) 時期 令和2年8月～11月

(3) 施設数 公的病院3、民間病院14、特別養護老人ホーム2、介護老人保健施設2、有料老人ホーム1

3 移動就業相談

1) 介護職場の就職説明・面談会（主催：富山労働局、富山市、ハローワーク富山）

回	日時・場所	相談件数（件）
1	令和2年5月28日(木) 14:00～15:30サンフォルテ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2	令和2年7月30日(木) 14:00～15:30サンフォルテ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3	令和2年9月29日(火) 14:00～15:30サンフォルテ	0
4	令和2年11月24日(火) 14:00～15:30サンフォルテ	5
5	令和3年2月25日(木) 14:00～15:30サンフォルテ	3

2) 合同就職面接会（主催：富山労働局、ハローワーク高岡・砺波・小矢部・氷見） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3) その他（「看護の日」看護フェスティバル、就職ガイダンス）

回	日時・場所	相談件数（件）
1	看護フェスティバル	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2	令和2年10月24日(土) 県内民間病院就職ガイダンス 富山県看護研修センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため相談コーナーは設置せず
3	県内病院就職ガイダンス WEB開催 令和3年3月～9月まで掲載	相談コーナーは設置せず

4) まちの保健室を活用した相談 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4 就職ガイダンスの実績

- 1) 目的 県内の医療機関等に就業を希望する県内外の看護学生および看護師等免許を有する者を対象に、医療機関等の施設紹介や面談、相談会の機会を提供し、看護職員の人材確保を図る。
- 2) 主催 富山県・公益社団法人富山県看護協会
- 3) 民間病院就職ガイダンス

開催日	会場	参加施設		参加者	
		内訳	数	内訳	数
令和2年10月24日(土) 14:00～16:00	富山県看護 研修センター	民間病院	18	看護学生(県内) 一般	18 5
		施設計	18	参加者計	23

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前予約制で実施

4) 県内病院就職ガイダンス

開催日	会場	動画掲載施設	
		内訳	数
令和3年3月～9月	協会ホームページ WEB開催	公的病院	22
		民間病院	19
		施設計	41

5 看護職員就業支援事業

- 1) 目的 看護職の資格を持ち、再就業等を希望する看護職員等に対し、情報提供や復職に対する不安や悩み等に対する相談・助言を行い、円滑な就労・定着を支援することを目的とする。
- 2) 内容 就業支援専門員を公共職業安定所（ハローワーク）に派遣し、潜在看護職員等に対する就業相談等を行う。

ハローワーク	開催日	開催回数（回）	相談件数（件）
富山	第4水曜日	11	29
高岡	第3火曜日	11	47
魚津	第2水曜日	12	11
滑川	第3木曜日	11	10
氷見	第2木曜日	9	13
砺波	第3水曜日	12	20
小矢部出張所	第3火曜日	12	5
計		78	135

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年4月の富山・高岡・氷見の就業支援相談中止

※天候不良（大雪）のため令和3年1月の氷見、及び令和3年2月の滑川、氷見、就業支援相談中止

6 ナースセンター・ハローワーク連携事業

- 1) 目的 看護職員の人材確保に向け、ナースセンターとハローワークの連携・協働により、公的職業紹介機関における看護職員のマッチング機能の強化を図る。
- 2) 内容
 - ①連携ハローワーク：富山・高岡・魚津の3か所
 - ②連携内容
 - ・ナースセンター及びハローワークの双方からの支援を希望する求職者及び対象ハローワーク管轄内の求人に関する情報を共有し、医療機関や福祉施設等へあっせんを行う。
 - ・月1回ナースセンター就業支援専門員がハローワークにおいて就業相談及び施設の見学・面接など就業までの支援を行う。
- 3) 実績
 - ・求職

	ナースセンター	ハローワーク	計
登録求職者数	39	74	113
就業件数	9	35	44

・求人

	ナースセンター	ハローワーク	計
求人数	81	1,020	1,101
求人件数	51	558	609

- 4) 管理選考：求人についてマッチした求職者が集まり、企業と面接を行う。
ハローワーク富山と協議の上、今年度中止。

7 看護師等免許保持者届出事業

- 1) 目的 看護師等人材確保促進法が改正され、看護職が離職時等にナースセンターへ届出を行う看護師等免許保持者届出制度が努力義務化された。この届出情報を効果的に活用することで、看護職員の潜在化を防止するとともに、看護職員確保の支援や復職支援の促進を図る。
- 2) 対象 病院・介護福祉施設等を離職した保健師、助産師、看護師、准看護師の免許保持者等
- 3) 方法 (1) 対象者本人が直接届け出る方法
(2) 就業先が本人に代行して届け出る方法

届出者の状況

	人数
届出者数	307
ナースセンター登録希望数	159
ナースセンター登録者数	94

8 看護師等就業支援サテライト事業

- 1) 目的 富山県ナースセンターから遠隔地にある県東部や県西部に、ナースセンターサテライトを開設し、就業に関する相談や無料職業紹介等のナースセンター事業を行うことにより、看護師等の確保を図る。
- 2) 体制 ナースセンターの各サテライトに、就職アドバイザーを派遣する。
- 3) 内容 (1) 就業を希望する看護師等および退職予定の看護師等へ情報の提供、相談等の支援を行う。
(2) 就業を希望する看護師等および退職予定の看護師等に、ナースセンターの登録を勧める。
(3) 病院等の開設者、管理者、看護師等確保推進者等に対し、看護師確保に関する情報の提供、相談等を行う。
(4) 病院等の開設者、管理者、看護師等確保推進者等に対し、ナースセンターの登録を勧める。
(5) ナースセンターやハローワーク等と密接に連携を取りながら相談に応じる。
(6) 進路相談等を行う。
- 4) 開催場所及び開設日
(1) 新川ナースセンターサテライト（黒部ショッピングセンターメルシー内） 毎月第1月曜日
(2) 射水ナースセンターサテライト（高岡厚生センター射水支所内） 毎月第1火曜日
(3) 砺波ナースセンターサテライト（砺波厚生センター内） 毎月第4木曜日
- 5) 開設時間 10：00～16：00
- 6) 実績

場所	開催回数（回）	相談件数
新川サテライト	12	3
射水サテライト	12	5
砺波サテライト	11	3
計	35	11

2月砺波サテライト雪のため中止

9 看護職員再就業支援研修会

- 1) 目的 就業を希望する者、及び看護力の向上のため再就業支援研修を希望する者に対して、最近の看護についての知識及び技術を修得させ、職場復帰の促進と看護力の向上を図る。
また、未就業又は就業1年以内の看護技術に不安のある者に対し、体験学習ができる場と環境を提供し、自信をもって復職または看護業務にあたることができるように支援する。
- 2) 主催 富山県・公益社団法人富山県看護協会
- 3) 対象者 県内に居住する看護職の免許所有者で現在看護業務に従事していないか、就業一年以内の者

・定期研修【令和2年10月17日(土)、11月7日(土)、12月12日(土)の3日間】

研修日時	内容	場所	受講者 (人)
10月17日(土)	「未就業者の集い	富山県 看護研修センター	6
11月7日(土)	「感染看護について学ぼう」	富山県 看護研修センター	11
12月12日(土)	「採血・注射・吸引について学ぼう」	富山県 看護研修センター	13
計(延人数)			30
就業者数			11

・随時研修(病院実習)

No.	研修期間	内容	場所	受講者 (人)
1	7月28日、29日 9:00～16:00	各病院において講義・研修(最近の看護についての実際、医療安全、感染予防、褥瘡対策などについて学ぶ)	高岡市民病院	1
計				1
就業者数				0

・随時研修(技術チェック研修)

研修期間	研修日	内容	場所	受講者 (人)
通年	月～金(予約制)	DVD研修、実技研修(シミュレーターを使用した輸液・採血技術練習)	富山県 ナースセンター相談室	26
計				26
就業者数				23

10 看護職員・大学生Uターン促進事業

- 1) 目的 県民に安心安全で質の高い医療を提供するために看護職員の安定的な確保が重要であることから、その確保対策を推進するため、県外からの看護職員や県外の看護大学進学者等に対し、県内の就職情報等を提供し、県内医療機関への就業を促進することを目的とする。
- 2) 内容 (1) 富山の看護職員募集案内冊子「あなたの夢をかなえるために」作成
(2) 上記内容をホームページに掲載
(3) 冊子の配布（就職ガイダンス参加者、県外進学者、県内養成所、冊子掲載病院等）
(4) 県外からの看護職員に、協会広報誌、求人情報等を送付
(5) 県外へ進学している看護学生等に、就職ガイダンスの案内を送付

11 看護職員養成機関共同PR事業

- 1) 目的 県内看護師等養成機関の入学者を確保するため、看護職員養成課程の概要や各校の特徴等を紹介したガイドブックを作成し、県内の高等学校、中学校等に配布し広く学生募集を行う。
- 2) 内容 (1) 看護師等養成機関紹介ガイドブック「看護を学びたいあなたへ」作成
(2) 上記内容をホームページに掲載
(3) ガイドブックの配布（県内外の高等学校、県内の中学校等）

12 看護学生就労啓発事業

- 1) 目的 看護学生に、看護師資格取得後スキルアップしながら、生涯にわたり働き続けることの必要性を啓発し、ナースセンター等が支援していることを周知することにより、就労促進を図る。
- 2) 内容 (1) ナースセンターの役割と活動を紹介（看護師等の人材確保の促進に関する法律含む）
(2) スキルアップしながら働き続けるために、看護協会の役割と活動について紹介
(3) 就労定着を促進する取組みに関する情報提供
- 3) 方法 看護師等養成学校に出向き、学生に対し講義を行う。
- 4) 実績

区分	学校名	講義日	参加者
1	富山市医師会看護専門学校	2月22日(月)	60人
2	富山市立看護専門学校	2月26日(金)	40人
3	富山医療福祉看護専門学校	3月5日(金)	34人

II 訪問看護支援に関する事項

1 「訪問看護 e ラーニング」を活用した訪問看護師育成講習会

- 1) 目的 訪問看護事業の実施に必要な基本的知識と技術を修得し、質の高い訪問看護の提供ができる。
- 2) 対象者
 - (1) 訪問看護を実施している施設の看護職
 - (2) これから訪問看護を始めようとする、あるいは興味関心がある看護職
 - (3) 本人のパソコンのメールアドレスがあること（携帯スマートフォンは不可）
 - (4) パソコンの推奨環境が整っており、パソコンの基本動作ができること
 - (5) 公益財団法人日本訪問看護財団ホームページ上の「訪問看護 e ラーニング」体験版が問題
- 3) 定員 30人

研修期間	内容	場所	備考
令和元年 6月28日 (金) ～ 12月3日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉の動向と訪問看護の位置づけと役割 ・訪問看護の対象の特性 ・訪問看護の効果的な展開 ・在宅ケアシステム ・訪問看護の実践に必要な看護知識、技術 	【eラーニング】 自宅学習5ヶ月間 【講義】 富山県看護研修センター 5日間 【実習】 病院1日間 訪問看護ステーション3日間 地域包括支援センター1日間	

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、最小定員を満たさず、中止とする。

2 訪問看護従事者等研修会

- 1) 目的 訪問看護に従事する看護職員および訪問看護に関心のある看護職員に対して、より高度な知識の習得を図り、質の高い看護の提供に資することを目的とする。
- 2) 対象者 訪問看護に従事している、あるいは今後従事しようとする看護職者
- 3) 定員 30人
- 4) 場所 富山県看護研修センター

研修日	内容	受講者
令和2年 11月5日(木) 9:00～16:00	【講義】「訪問看護をめぐる動向」 講師 富山県厚生部高齢福祉課 副主幹 水上 みどり 氏 【講義・演習】「フィジカルアセスメント」 講師 富山赤十字病院 集中ケア認定看護師 浅生 かおり 氏 厚生連高岡病院 集中ケア認定看護師 松木 健宏 氏 富山県立中央病院 集中ケア認定看護師 蔵 サユリ 氏 富山県済生会富山病院 集中ケア認定看護師 稲田 浩子 氏	23人

3 訪問看護ステーション管理者育成研修会

- 1) 目的 訪問看護ステーションの管理・運営上の問題への取組みと人材育成について学ぶ。
- 2) 対象者 訪問看護ステーション管理者および従事する看護職員
- 3) 定員 50人
- 4) 場所 富山県看護研修センター

研修日	内容	受講者
令和2年 9月27日(日) 9:00～12:00	【Zoom Meetingによるオンライン講義】 誰もがなりたいと思える管理者に ～人材育成と確保、地域ネットワーク構築～ 【講師】 公益社団法人岐阜県看護協会立訪問看護ステーション 統括管理者 野崎 加世子 氏	43人
令和2年 12月19日(土) 9:00～12:00	【Zoom Meetingによるオンライン講義】 人材育成、経営管理について 【講師】 公益社団法人岐阜県看護協会立訪問看護ステーション 統括管理者 野崎 加世子 氏	30人

Ⅲ 看護の心普及啓発に関する事項

1 「看護の日」及び「看護週間」等 PR 事業

1) 「看護の日」看護フェスティバル

- (1) 目的 ・「看護の日」制定30周年を記念して、県民に看護について考える機会を提供し、看護の心を伝える。
・看護のイメージアップを図り、人材確保・定着に結び付ける。
・知識と技術を持つプロフェッショナルとしての看護師像を県民や看護職志望者・家族、看護職に発信する。
- (2) 事業名 第30回「看護の日」看護フェスティバル
～看護の心をみんなの心に・看護の力で健康な社会を！～
- (3) 日時 令和2年5月2日(土) 10:00～15:00
- (4) 場所 富山市まちなか賑わい広場「グランドプラザ」
- (5) 主催 富山県・公益社団法人富山県看護協会
- (6) 後援 富山県医師会・富山県歯科医師会・富山県薬剤師会・富山県理学療法士会・富山市
- (7) 実施状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

広報（新聞等の記事）

掲載年月日	新聞等名	主な掲載内容
令和2年5月12日	北日本新聞	「病院内のすべての人を感染から守る」
令和2年5月12日	富山新聞	「看護職員等の体験談」受賞作品掲載

2) ふれあい看護体験

- (1) 目的 「看護の日」事業の一環として、看護体験や健康チェック等の交流を行う「ふれあい看護体験」を実施することにより、看護の心を伝え、看護が広く県民に理解されることを目的とする。
- (2) 実施期間 5月12日の看護の日にあわせて、5月～6月に実施
- (3) 内容 各施設で工夫をこらし、看護体験や施設見学、健康相談、健康チェック等を企画し、県民に実施する。
- (4) 実施状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2 高校生の一日看護見学

- 1) 目的 高校生が看護業務と看護に対する理解を深め、看護職への進路選択の参考に資することを目的とする。
- 2) 内容 院内案内、看護業務見学、各病院で計画した内容、「看護の道」について説明座談会、個別進路相談
- 3) 対象 県内の高等学校に在学する生徒
- 4) 実施状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 看護普及推進事業

- 1) 目的 小、中、高校生など若年層をはじめ、学校教員等への看護の普及啓発を行い、看護についての理解や関心を高め、看護職員の確保を図る。
- 2) 内容 (1) 看護師等養成学校における看護体験学習
小、中、高校の生徒およびその父兄、教員（特に進路相談担当）、地域住民などに対し看護体験等を通し看護への力人普及を図る。
【方法】看護についての講義（看護の魅力、看護師への進路等）
看護体験、個別進路相談、学生との交流、授業見学等
【講師】看護師等養成学校教員
- (2) 広報 ホームページで事業のPRや紹介を行う。
- 3) 実施状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

IV その他

1 看護職員定着支援事業

1) 事業の目的

(1) 看護職員の体験談募集

県内の看護職員等から看護を通して得られた「忘れられない体験談」を募集し、広報することで看護職への理解を深め、看護職員の定着推進を図る。

(2) 講演会

少子高齢社会が進んでいく中で、今後ますます医療のみならず福祉・介護施設等で看護職員が必要とされている。看護職員を着実に確保するために、勤務環境の改善に取り組み、看護職が健康で安心して働くことができる環境整備を促進することが重要である。このような中、同僚や患者・家族とうまく関係を作れない、教えたことがなかなか身につかない等、既存の教育体制では対応できない看護職員が増えたとの声を聞く。そこで、対応が困難なスタッフに対する職場支援の在り方を学び、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進するために講演会を開催する。

2) 事業実施内容

事業（行事）名	事業内容
(1) 看護職員の体験談募集	<p>①作品募集 募集期間：令和元年12月5日～令和2年1月31日 テーマ：看護を通して得られた忘れられない体験談やエピソード 対象：富山県内の看護職員および看護学生</p> <p>②表彰 受賞者：最優秀賞1名、優秀賞2名、特別賞3名（体験談応募原稿数168編） 表彰式：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>③受賞者発表 ・受賞作品の冊子配布 ・広報「看護とやま」、富山新聞、ホームページに掲載</p> <p>④広報 別刷1回 発行部数約9,000部 ・医療関係施設、県内養成所等 ・富山県看護協会会員</p>
(2) 講演会	<p>①主催：富山県・公益社団法人富山県看護協会 ②開催日時：令和2年11月21日(土) 13:00～16:00 ③場所：富山県看護研修センター ④参加者：県内病院の看護管理者及び病院経営者・事務職員等 ：28施設49人</p> <p>⑤内容 【講演】 「対応困難なスタッフとの関わり方」 講師 富山大学人間発達科学部 准教授 水内 豊和 氏 【講演】 「事例を通して学ぶ対応困難なスタッフに対する職場支援の在り方」 講師 富山県発達障害者支援センター 副センター長 北川 忠 氏</p>

2 医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業

1) 目的

病院看護職員が健康で安心して働き続けることが可能となるよう、マネジメントシステムを用い就業環境の改善を図る。

また、医療勤務環境改善支援センターと連携して参加施設を訪問し、看護管理者・院長・経営担当者等と面談し、ワーク・ライフ・バランス推進を病院全体で取り組むようすすめるとともにその施設の強みや課題を客観的に話し合う機会とする。

2) 目標

(1) ワーク・ライフ・バランス推進への取組みの一層の推進を図る。

(2) 中小・民間病院看護職員のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む医療施設を増加し、労働環境の改善の普及推進を図る。

3) 実施体制

(1) ワーク・ライフ・バランスの普及推進を担う推進委員会を設置し、推進体制づくりを検討する。

(2) 推進委員会は、推進者、支援者、社会経済福祉委員、看護教育関係者、社会保険労務士、行政関係者で構成する。

(3) 富山県看護協会の社会経済福祉委員は、この事業の企画、運営に協力する。

(4) 富山県医療勤務環境改善支援センターと連携を図る。

4) 参加施設 5施設

3年目 1施設 金沢医科大学氷見市民病院

2年目 2施設 医療法人社団良俊会ふくの若葉病院、医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院

1年目 2施設 医療法人財団恵仁会藤木病院、特定医療法人財団五省会介護老人保健施設みどり苑

5) 実施状況

1) 訪問型中小・民間病院支援及び従来型病院支援

(1) 事前説明会

訪問日 令和2年4月28日(火)

施設 医療法人財団恵仁会 藤木病院

特定医療法人財団五省会介護老人保健施設みどり苑

(2) インデックス調査

実施日 令和2年6月～7月

実施施設 5施設

(3) 施設訪問

①医療法人社団良俊会ふくの若葉病院 訪問日 令和2年10月8日(木)

②医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院 訪問日 令和2年9月30日(水)

③医療法人財団恵仁会藤木病院
訪問日 令和2年10月5日(月)、令和3年3月10日(水)

④特定医療法人財団五省会介護老人保健施設みどり苑
訪問日 令和2年10月15日(木)、令和3年3月11日(木)

6) 研修会・報告会

①研修会 令和2年8月18日(火) 富山県看護研修センター (参加者:20施設、33人)

Web研修 「勤務間インターバルについて」

講師 藤田医科大学病院 看護部長 眞野 恵子氏

②報告会 令和2年12月9日(水) 富山県看護研修センター (参加者:19施設、47人)

Web研修 「働き方改革—みんながWin Winな組織を目指して—」

講師 加藤看護師社労士事務所 看護師・社会保険労務士 加藤 明子氏

7) WLB推進委員会

1回目 令和2年5月21日(木) 富山県看護研修センター (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため新委員のみ参加)

2回目 令和3年2月1日(月) 富山県看護研修センター

8) カンゴサウルス賞表彰式 令和2年5月21日(木)、5月25日(月)

9) 医療労務管理支援事業打ち合わせ会への参加

令和2年7月10日(金) 9月8日(火) 11月26日(木) 令和3年3月1日(月)

3 地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整事業

1) 目的

医療機関及び宿泊療養施設等における感染者対応や帰国者・接触者相談センター等での対応など、地域の新型コロナウイルス感染症対策において看護職員の存在が求められる活動は継続的に必要となっており、医療機関等に勤務する看護職員において、職員自身やその家族の新型コロナウイルス感染症の罹患等を理由に出勤が困難となる可能性があり、地域に必要な医療提供等を継続するために看護職員の派遣調整を行うことを目的とする。

2) 事業内容

(1) 代替職員の必要な施設に看護職を臨時雇用で紹介

「e ナースセンター」「とどけるん」等を活用し、代替職員が必要な施設に臨時雇用で就業を希望する看護職を紹介する。

(2) 代替看護師に対するスキルギャップ研修の実施

代替看護師として、潜在看護師を活用する場合、感染症対策に係るスキルギャップ解消のため研修を行う。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する悩み・相談等に対応する。

3) 実施状況

(1) 代替職員紹介先

紹介先	人数 (人)
病院	1
介護老人保健施設	3
厚生センター (帰国者接触者相談)	6
厚生センター (濃厚接触者健康調査)	4
軽症者宿泊療養離接	17
映画製作会社 (コロナ対策)	2
合計	43

(2) 代替看護師に対するスキルギャップ研修 (タイバック着脱研修) の実施状況

実施月	人数 (人)
10月	2
11月	4
12月	7
1月	1
2月	5
3月	1
合計	20

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する相談・問い合わせ件数

期間	看護職から (件)	施設から (件)
4/6 ~ 5/10	11	5
5/11 ~ 5/31	2	2
6/1 ~ 6/28	0	0
6/29 ~ 7/26	1	4
7/27 ~ 8/23	4	3
8/24 ~ 9/20	0	0
9/21 ~ 10/18	5	1
10/19 ~ 11/15	3	0
11/16 ~ 12/13	4	0
12/14 ~ 1/17	8	1
1/18 ~ 1/31	6	0
2/1 ~ 2/14	3	2
2/15 ~ 2/28	3	0
3/1 ~ 3/14	0	0
3/15 ~ 3/28	1	0
合計	51	18

令和2年度 訪問看護ネットワークセンター事業報告

1 訪問看護支援強化事業

平成22年6月、厚生労働省老健局が実施した訪問看護支援事業として県の委託を受け、訪問看護ネットワークセンターを開設し2年間事業を継続する。平成24年度から県の訪問看護支援強化事業として継続実施している。

1) 事業目的

訪問看護サービスを安定的に供給し在宅療養環境の充実を図るため、訪問看護のPRや相談対応等を行い、訪問看護の推進を図る。

2) 事業内容と実績

(1) 訪問看護相談窓口（コールセンター）の開設

県民等からの訪問看護利用に関する相談や、医療機関や訪問看護ステーションからの相談、質問等に応じる。必要に応じて関係機関と連絡調整を行う。

①相談数及び相談方法

ア) 相談数 延643件（月平均53.58回）

イ) 相談方法 電話相談579件（90.0%）、ファックス・メール25件（3.9%）、来訪等39件（6.1%）

②相談者及び相談内容

相談者	延件数	割合 (%)	相談内容
訪問看護ステーション	483	75.1	診療報酬、介護報酬、訪問看護指示書等に関すること
病院	50	7.8	訪問看護ステーションの紹介 訪問看護制度・利用料に関すること
新規開設予定者	16	2.5	開設準備等に関すること
ケアマネジャー	11	1.7	医療保険の訪問看護、サービス内容に関すること
家族	6	0.9	訪問看護ステーションの紹介 サービス内容、利用料に関すること
施設	6	0.9	
その他	71	11.1	研修会の案内等
合計	643		

(2) 訪問看護のPR

訪問看護サービスについて県民等に広く周知することを目的に総合病院等での相談説明会を開催。イベントの参加、パンフレットの配布で訪問看護のPRを行う。

①訪問看護普及啓発コーナー（相談会）の実施

3医療圏の総合病院6カ所で12回開催。管轄の訪問看護ステーション管理者1～2名が担当。病院毎に相談会チラシを作成し、事前に開催病院に配布。

開催病院	開催数（回）	相談者数（人）
富山県立中央病院	3	28
富山市立富山市民病院	2	9
富山大学附属病院	2	12
高岡市民病院	2	11
射水市民病院	2	4
黒部市民病院	1	5
合計	12	69

②県民に対する訪問看護のPR

ア) イベントでのPR

	内容
サンフォルテフェスティバル	新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示のみ実施

イ) 新聞掲載

	掲載欄	掲載日
北日本新聞	情報かわら版	毎週木曜日
富山新聞	社会面のお知らせ欄	土・日・祝日を除く毎日

(3) 訪問看護ステーションの機能強化・拡充

訪問看護ステーションに勤務する看護職員へ訪問看護技術研修や支援を行い、医療圏域毎の事例検討会の開催や他職種との交流会を通して訪問看護ステーションの機能強化・拡充を図る。

①看看連携の推進

在宅ケア事例検討会（訪問看護推進事業）開催

②多職種との連携

富山県ホームヘルパー協議会研修会へ講師を派遣し、訪問介護と訪問看護の連携の強化を図る。

地区	日時	場所	参加者（人）	講師
富山 東部	10月16日(金) 18:00~20:00	自治労とやま会館	8	富山赤十字訪問看護ステーション 管理者 加藤 真理子
富山 西部	10月8日(木) 18:00~20:00	黒瀬谷交流センター 喜楽里館	20	訪問看護ステーションまめなけ 管理者 井崎 明子
高岡	10月9日(金) 18:00~20:00	高岡市 社会福祉協議会館	26	高岡市医師会訪問看護ステーション 管理者 野田 美加
新川	11月7日(土) 10:00~12:00	黒部市 社会福祉センター	16	魚津病院 ふれあい訪問看護ステーション 管理者 辻 和栄
砺波	10月10日(土) 10:00~12:00	砺波まなび交流館	12	砺波市訪問看護ステーション 管理者 岩原 裕子

③その他

富山県訪問看護ステーション連絡協議会との連携・協力

ア) 連絡協議会事務局理事 として役員会へ出席（年4回）

イ) 令和元年度訪問看護ステーション実績調査への協力

(4) 訪問看護運営支援アドバイザー事業

①目的 訪問看護ステーションの安定した運営基盤を構築するために、訪問看護運営支援アドバイザーを派遣して事業所運営全般に関する助言指導を実施する。

②事業内容 アドバイザーによる運営に関する助言指導

講 師：訪問看護ステーションはーと 訪問看護認定看護師 富岡 里江 氏

開 催 日：令和2年11月10日(火)

方 法：ZoomMeetingを用いたオンライン指導

実施施設：訪問看護ステーション十色、リハ・ハウス来夢訪問看護ステーション
だいもん訪問看護ステーション

アドバイザーによる労務管理に関する助言指導

講 師：社会保険労務士 二口 良伸 氏

開 催 日：令和3年1月14日(木)、3月24日(水)

方 法：ZoomMeetingを用いたオンライン指導

実施施設：訪問看護ステーションあぼかど、訪問看護ステーション十色

2 訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業

1) テレワーク型訪問看護ステーションモデル事業

- (1) 目的 訪問看護職員の確保を図るため、柔軟な働き方が選択できる「テレワーク」を訪問看護ステーションに導入・試行することにより、看護職の確保・定着を図り、運営体制の強化や事業規模の拡大を推進する。
- (2) 事業内容 クラウドサービスを活用したテレワーク（在宅勤務）を導入・試行することにより、業務の効率化やサービス管理、医療安全、労務管理上の問題点等を検証する。
- (3) 実施施設 なし
事業PRに努めたが、対象となる利用者、訪問看護師がいない為実施に至らなかった。

2) 訪問看護トライアル雇用事業

- (1) 目的 新たに訪問看護分野への就職を希望する者が、就業に際し不安なく業務に従事することができるよう、実務経験を付与させながら、成長過程に応じた指導や助言を行い、現場での対応力・判断力を身に付けさせることにより、質の高い人材を育成・確保し、訪問看護ステーションの運営体制の強化や事業規模の拡大を図る。
- (2) 事業内容 訪問看護未経験の看護職有資格者を雇用し、訪問看護業務に従事させながら、OJT等や訪問看護業務に必要な研修の受講機会を提供し、訪問看護業務に必要な知識及び技能を習得させる。
- (3) 実施施設 6事業所
①アモール訪問看護ステーション②光風会訪問看護ステーション③訪問看護ステーションジョジョ④訪問看護ステーションなでしこ⑤ファミリーケア訪問看護ステーション⑥訪問看護ステーションほ〜っととやま

3 訪問看護ステーション業務改善推進事業

- 1) 目的 ICT活用により事務作業の効率化を図り、負担を軽減し、魅力ある職場づくりを進めることで、職員の確保・定着を図り、運営体制の強化、事業規模の拡大を図る。
- 2) 事業内容 訪問看護ステーションにおけるICT活用の基盤を整備する。
- 3) 実施施設 3事業所
①訪問看護ステーションまめなけ②訪問看護ステーションひだまり③みどりえん訪問看護ステーション

4 訪問看護ステーション連携加速化事業

- 1) 目的 増大・多様化する在宅医療ニーズに対応するため、医療機関と訪問看護ステーションがそれぞれ技術の向上を図り、また人材交流による相互研修や連携会議等の開催による連携強化を図る。
- 2) 病院看護師出向研修事業
 - (1) 事業内容 病院看護師が一定期間（3～6ヶ月程度）訪問看護ステーションに出向し、退院支援や訪問看護等に必要な知識や技術の習得を支援する。
 - (2) 実施施設

	派遣病院 受入ステーション	出向期間	出向看護師の所属
1	富山県済生会高岡病院 高岡市医師会訪問看護ステーション	令和2年 10月16日～12月15日	外科病棟 看護師長

(3) 事業評価（感想等より）

- ・ベストミックスを目指す。
- ・病院側は、その人にとって当たり前の生活をイメージすることや、地域医療スタッフとの多職種連携があまり得意ではないので、訪問看護ステーションでの経験の必要性を強く感じた。
- ・退院支援の弱みが具体的に明らかになった。

- ・実践を通して「地域で果たす役割」を学び、理解できる職員が誕生した。
- ・自宅での療養をあきらめることなく主体的に生活できるようにするため制度を活用する。

3) 病院看護師の研修受入事業

(1) 事業内容 派遣等により病院看護師を一定期間（1～2ヶ月程度）訪問看護ステーションで受入れ、訪問看護の理解を深め、退院支援に必要な知識や技術研修を行うとともに、地域包括支援センターなど関係機関との役割も学ぶ。

(2) 実施施設

	派遣病院 受入ステーション	研修期間	研修看護師の所属
1	高岡市民病院 もみじ訪問看護ステーション	令和2年 11月13日～12月11日	内科病棟 副看護師長
2	富山労災病院 訪問看護ステーションひよどり富山	令和3年 2月1日～2月28日	看護師 脳神経外科等混合病棟

(3) 事業評価（感想等より）

【受入ステーション】

①出向事業を実施した理由

- ・病院看護師へ在宅看護・介護の現状を伝えることはステーションにとってプラス。
- ・病院看護師の専門的な知識やスキルを学びたい。
- ・マンパワーの補充だけでなく、新しい風が入ることで、スタッフの意識が高まる。

②成果

- ・職員の業務負担が軽減。
- ・病院との連携が強化され、地域の病院に訪問看護経験者がいる安心感が生まれる。
- ・勉強会等で専門分野の知識が習得できる。

③感想

- ・出向者は向上心・意識が高く、スタッフは、プラスの刺激を受け、利用者にも刺激になる。
- ・受入れ目的を明確にすることで、混乱はおこらない。
- ・定期的に振り返り、目的を再確認すること、一緒に楽しむが大事。
- ・在宅・訪問看護の理解者が増え、うれしい。

【研修生】

①動機

- ・訪問看護に興味があったから。
- ・退院支援に必要な情報や退院準備を学び実践したいから。

②学び

- ・退院後の緊急時の対応やサービス利用予定など、家族と情報共有を行うことで不安なく退院後の生活が過ごせることを再確認できた。
- ・チームとして利用者に関わっていることを実感した。
- ・信頼関係を作ることの大切さを再認識した。
- ・病院で退院後の生活指導することが利用者及び家族の在宅生活の自信につながることを知った。
- ・主治医やケアマネジャーなど多職種との連携が利用者の生活を支えていることを実感した。
- ・在宅生活を見据えた「患者が実施できる退院指導」の必要性を感じた。
- ・入院前のサービス状況を踏まえた退院支援の実施を行う。
- ・早期から在宅退院を阻害する問題点や、患者及び家族の不安を知り、改善策をアドバイスすることの必要性を感じた。

4) 訪問看護師スキルアップ研修事業

(1) 事業内容

- ・医療圏ごとの病院が、最新情報や最新の看護技術等を学ぶ研修会を開催し、訪問看護師に学ぶ機会を提供する。
- ・訪問看護ステーション看護師が、医療圏ごとの病院で開催される研修に参加し、医療機器に係る最新情報や看護技術を学び、訪問看護サービスの向上を図る。

(2) 実施施設

圏域	開催日	場所	参加者(人)	内容
新川	令和2年 11月7日(土)	黒部市民病院	7	認知症患者の「痛み」を知ろう がん性疼痛のある認知症患者への家族ケア 認知症の症状とアセスメントの視点 情報交換会
砺波	令和2年 11月10日(火)	市立砺波総合病院	3	人工呼吸器と呼吸ケア がん看護について 摂食嚥下ケア 認知症高齢者の看護 褥瘡ケアの実際 情報交換会

(3) 事業評価(感想等より)

- ・認知症看護について再確認でき、本人の持てる力を大切にして関わりたいと思った。
- ・利用者・家族の尊厳、残存機能を大切にしてBPSD予防につなげた関わりを大切にしていきたい。
- ・認知症の「痛み」について学ぶことが出来た。
- ・認知症のがん患者で興奮や不穏となり、原因がわからず介護疲弊する家族がいた。痛みが表現できない時のスケールを利用したい。
- ・病院看護師の考え、訪問看護の考え、他ステーションの意見を聞くことができ参考になった。
- ・認知症の方は痛みや苦痛を訴えることが難しいので、私たちは訴えだけでなく色々なことを観察して、苦痛の緩和に努めなければならないと感じた。
- ・丁寧な対応でとても質問しやすく、充実した1日だった。
- ・参加者が少なく認定看護師さんとより身近に話ができ、困っていることなど直接聞くことができたので大変有意義だった。
- ・臨床を離れて数年経過しており、刺激を受けることばかりだった。
- ・病院の状況を知り、連携の回り方を学ぶことが出来たので、今後はこの学びを利用者さんのため還元していきたい。

5 訪問看護ステーションサポート事業

- 1) 目的 「訪問看護サポートステーション」を医療圏単位で選定し、訪問看護職員を対象とした実践的研修等や管理者等の相談対応や情報交換会等を開催することで、訪問看護職員の資質向上、ネットワークの構築を図り、訪問看護サービスの向上を目指す。
- 2) 事業内容 「訪問看護サポートステーション」は圏域内の訪問看護ステーションを対象に、人材育成等に関する相談対応、個別指導・訪問及び研修の実施、並びに圏域内の情報交換会を開催し、ネットワークを構築する。
- 3) サポートステーション

医療圏	サポートステーション	電話相談	同行訪問	ST訪問	研修情報交換会等
新川	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	0	0	0	7
富山	富山赤十字訪問看護ステーション	3	0	0	3
	光風会訪問看護ステーション	1	0	0	3
高岡	もみじ訪問看護ステーション	6	0	0	4
砺波	南砺市訪問看護ステーション	6	0	0	4

6 訪問看護総合支援センター試行事業（日本看護協会委託事業）

- 1) 目的 試行事業により、センター設置に向けたプロセスや必要な条件等の情報を収集するとともに、センターの意義や設置による成果を明確にし、今後の設置拡大に向けた根拠資料として蓄積することを目的とする。
- 2) 事業内容
 - (1) 訪問看護師倍増策に示す「訪問看護総合支援センター」の3つの目的・7つの機能を満たす事業の実施
 - (2) 中間報告書の提出、および日本看護協会担当者によるヒアリングへの協力
 - (3) 事業実施後、実施報告書の提出
 - (4) 2021年度以降のセンター事業継続について都道府県や関係機関と協議し、地域医療介護総合確保基金等による公的事業化に向けての調整
- 3) 実施事業
 - (1) 経営支援
 - ①訪問看護運営支援アドバイザー（社会保険労務士）派遣事業
講師：社会保険労務士 二口 良伸 氏
開催日：令和3年1月14日(木)、3月24日(水)
方法：ZoomMeetingを用いたオンライン指導
実施施設：訪問看護ステーションあぼかど、訪問看護ステーション十色
 - ②訪問看護啓発リーフレットの作成
 - (2) 人材確保
 - ①プラチナナース雇用と活用に関する意識調査
調査対象：県内訪問看護ステーション79事業所
実施期間：令和2年8月24日～9月4日
 - ②新卒看護師の採用と育成に関する意識調査
調査対象：県内訪問看護ステーション79事業所
実施期間：令和2年8月24日～9月4日
 - ③新卒看護師の就職に関する意識調査
調査対象：県内看護師等学校・養成所 教員212名
実施期間：令和2年11月27日～12月10日
 - ④訪問看護ステーションの新卒看護師育成検討ワーキング（委員5名）
開催日：令和2年12月23日(水)
 - (3) 訪問看護の質向上
 - ①富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析
 - ②第1回訪問看護ステーション管理者育成研修会
開催日：令和2年9月27日(日)
講師：公益社団法人岐阜県看護協会立訪問看護ステーション
統括管理者 野崎 加世子 氏
参加者：43名
 - ③第2回訪問看護ステーション管理者育成研修会
開催日：令和2年12月19日(土)
講師：公益社団法人岐阜県看護協会立訪問看護ステーション
統括管理者 野崎 加世子 氏
参加者：30名
 - (4) 訪問看護事業検討委員会（委員12名）
開催日：第1回 令和2年10月23日(金)
第2回 令和3年2月19日(火)

7 事業報告会

- 1) 開催日 令和3年3月20日(祝・土) 13:30～16:10
- 2) 開催場所 富山県看護研修センター
- 3) 参加人数 131名

- 4) 内 容 ①病院看護師出向研修事業報告
②病院看護師の研修受入事業報告
③実習指導者講習会（特定分野）報告
④訪問看護ステーションサポート事業報告
⑤訪問看護総合支援センター試行事業報告
- 5) 事業評価（アンケート結果等より）
- ・退院支援に関する取り組みを知ることができた。
 - ・訪問看護の様々な事業や取り組みを知ることができ、大変有意義な研修だった。病院の立場で連携につなげたいと思った。
 - ・他病院の訪問看護に関する取り組みなど知ることができ、大変参考になった。
 - ・病院看護師出向研修事業は、連携や退院に向けてとても良い事業だと思うので、継続して実施し、一人でも多くの看護師が在宅での生活に意識が向いてくれれば良いと思う。
 - ・出向研修事業、研修受入事業を通し、地域における訪問看護への理解を深めることができ、大きな成果を得られたのだと強く感じた。地域内の病院とステーションの看護師の交流が図られ、ステーションの人材確保につながればと考える。
 - ・訪問看護のやりがい、難しさ、スタッフの育成、日々の想いの報告でもあり、訪問看護の良さ（家庭、家族との関係でできる看護、充実しているなど）を若い世代に伝えていきたい。
 - ・医療機関から在宅につなげることについて、新しい人材育成につながるという報告は、目からうろこだった。
 - ・病院と訪問看護の連携は本当に大切だと思う。病院では自宅での生活は見え、退院指導が非現実的なことも多い。新人教育の中で在宅を見る研修（地域の訪問看護スタッフと同行など）があれば、生活に合った退院指導ができるのではないかと思う。
 - ・実習指導者講習会（特定分野）は、今年度は看護部の考えもあり参加できなかったが、必要性を感じるので参加したい。
 - ・出向や研修が医療機関でどのような活動につながるのか、継続的に知りたいと思った。
 - ・病院看護師出向事業は訪問看護を知っていただくいい機会になったと思う。
 - ・病院に勤務していると訪問看護の実態を知る機会がなかなかないので、出向や研修受入事業は訪問看護の「魅力」「やりがい」を知ってもらえる良い事業だと思う。
 - ・病院退院後の訪問看護サービス開始がスムーズに介入できるよう、より連携を強められたらと感じることが多い。自分は病院勤務から訪問看護スタッフへ職場を変えた立場で、実際の在宅でのサービスの種類や生活について、退院調整を行ってきたが理解が浅かったと思う。出向研修は現状を把握し、利用者の生活の実際に触れることで看護の視点も病院とは変わり、退院支援へ患者の思いに添える関わりを持てる足掛かりになると思う。研修の学びをスタッフへ浸透させていくことは簡単ではないが、うまく発信を進めていただければと感じた。
 - ・実習指導者講習会（特定分野）をぜひ受講したいと思った。
 - ・切れ目のない継続的な看護を提供するために、連携が重要だとあらためて実感した。
 - ・看看連携が充実するための活動がよくわかった。
 - ・色々な立場からの発表が聞いて良かった。意見交換の時間をもう少し増やしてほしい。
 - ・出向研修は、病院と訪問看護ステーションの間で情報交換や現状把握ができるとても良い機会だと感じた。
 - ・入院中の情報が分からないまま初回訪問を実施することがある。病院側が退院前カンファレンスや情報を伝える大切さを感じていただけるのはありがたい。
 - ・出向研修を受入れた場合「どこまで病棟看護師全体に伝わるのか」という思いがある。スタッフ全体が退院に向けて関わっていくにはどうしていけばいいか考えられるように、病院と訪問看護ステーションとの意見交換できる場がもっとあってもいいのではと思う。
 - ・富山県の訪問看護の現状がわかり勉強になった

令和2年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告

- 平成8年8月訪問看護事業開始。平成12年4月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所を開設。介護保険改定に伴い、平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。平成26年3月31日で居宅介護支援事業を廃止。4月より訪問看護事業のみとなる。
- 地域・他機関連携
 - 富山県訪問看護ステーション連絡協議会（総会・管理者会参加）
 - 射水市在宅医療・介護連携推進協議会
 - 射水市在宅医療・介護連携推進協議会情報共有ツールワーキング部会参加
 - 射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会
 - 在宅ケア事例検討会
 - 射水在宅医療カンファレンス
 - 在宅いみずネットワーク多職種連携協働研修会
- 研修会出席
 - 【富山県看護協会主催】**
 - 在宅ケア事例検討会
 - 支部研修会
 - 【富山県訪問看護ステーション連絡協議会主催】**
 - 管理者研修会・研修会
 - 地区別勉強会
 - 【その他】** 一部を記載
 - 高齢者虐待対応研修
 - 射水市在宅医療と介護を考える市民公開講座
 - ポリファーマシー対策に関する研修会
 - 第16回在宅医療推進フォーラム（Web）
 - 2020年日本看護学会学術集会（Web）
 - 新型コロナウイルス感染予防Webセミナー（Web）
 - 精神障害者の在宅看護セミナー（Web）
 - 富山県立大学看護学部ユマニチュート公開講座（Web）
 - 静岡がんセンター公開講座2020 がんと感染症の最新情報（Web）
 - 富山県在宅医療支援センター研修会（Web）
 - 第22回看護職賠償責任保険制度研修会（Web）
 - 令和2年度在宅人工呼吸器に関する講習会（Web）
 - 精神科訪問看護に使えるアセスメント（Web）

4 訪問看護実習の受け入れ

施設名／研修名	期間	人数
神戸常磐大学短期大学部	令和2年7月16日～9月4日	3名

5 職員体制（令和3年3月現在）

常勤換算	5.9名
勤務形態	
管理者	1名
常勤看護師	4名
非常勤看護師	4名

令和 2 年度訪問看護活動実績

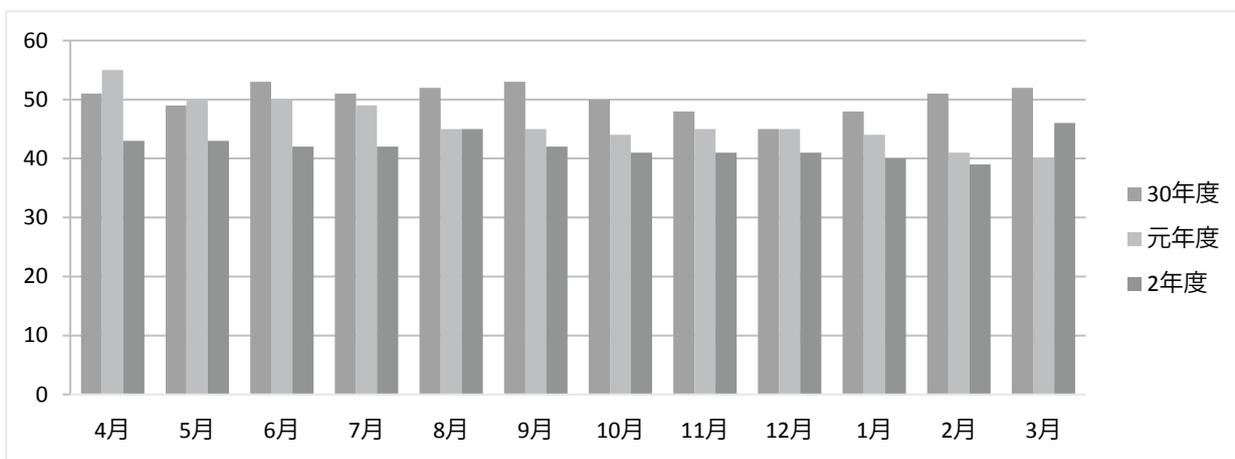
		21	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数		21	18	22	21	20	20	22	19	19	19	18	23	242	20.2	
利用者状況	登録者数	43	43	42	42	45	42	41	41	41	40	39	44	503	41.9	
	利用者数	43	43	42	42	45	42	41	41	41	40	39	44	503	41.9	
	介護保険	26	29	29	29	31	29	28	29	27	26	25	29	337	28.1	
	医療保険	14	14	13	13	14	13	13	12	14	14	14	15	163	13.6	
	新利用者数	3	3	1	3	3	0	0	2	3	1	2	5	26	2.2	
	終了者	0	1	4	3	1	3	1	1	2	4	3	1	24	2.0	
訪問状況	訪問延回数	254	292	271	253	284	260	257	226	236	210	208	318	3,069	255.8	
	医療保険訪問	108	131	91	74	112	122	111	90	91	100	95	137	1,262	105.2	
	複数訪問	16	20	12	0	3	3	6	0	0	0	0	1	61	5.1	
	平均訪問回数	6.4	6.8	6.4	5.8	6.1	6.2	5.5	5.7	5.3	5.3	5.3	7.2	72.0	6.0	
終了内訳	死亡	0	1	3	2	0	1	1	1	1	2	1	0	13	1.1	
	入院	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	2	0	7	0.6	
	入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1	
	軽快	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.2	
	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	
依頼状況	居宅支援事業所	3	0	1	2	3	0	0	2	2	0	2	2	17	1.4	
	地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0.2	
	医療機関	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	4	0.3	
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
介護度	要支援	0	0	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	13	1.1	
	要介護 1	5	6	6	5	6	6	6	8	7	8	8	9	80	6.7	
	要介護 2	3	3	4	6	5	4	4	3	4	3	3	2	44	3.7	
	要介護 3	11	9	9	9	10	8	6	7	8	7	5	7	96	8.0	
	要介護 4	1	3	4	4	4	5	4	4	4	4	5	6	48	4.0	
	要介護 5	7	9	5	4	4	4	3	3	2	2	2	4	49	4.1	
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	医療保険利用	13	13	13	13	14	14	13	12	14	15	14	14	162	13.5	
利用者年齢	平均年齢	74.5	75.1	71.0	75.6	76.6	76.3	75.5	75.0	74.7	73.9	73.4	74.2	895.8	74.7	
	65歳未満	12	12	11	11	11	11	11	11	11	12	13	13	139	11.6	
	65～69歳	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0.4	
	70～74歳	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	21	1.8	
	75～79歳	1	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	3	18	1.5	
	80～84歳	12	13	14	13	15	11	10	9	9	8	8	8	130	10.8	
	85～89歳	6	7	5	6	5	6	6	7	9	8	6	7	78	6.5	
	90歳以上	7	7	7	8	10	10	9	8	8	8	8	9	99	8.3	
連携	退院前カンファレンス	1	1	0	2	0	0	1	2	1	0	1	2	11	0.9	
	担当者会議	1	0	0	2	0	1	2	1	0	0	1	2	10	0.8	
	地域包括ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	

*実働日数には休日・祝日は含まれない

訪問看護ステーションひよどりの年度別推移

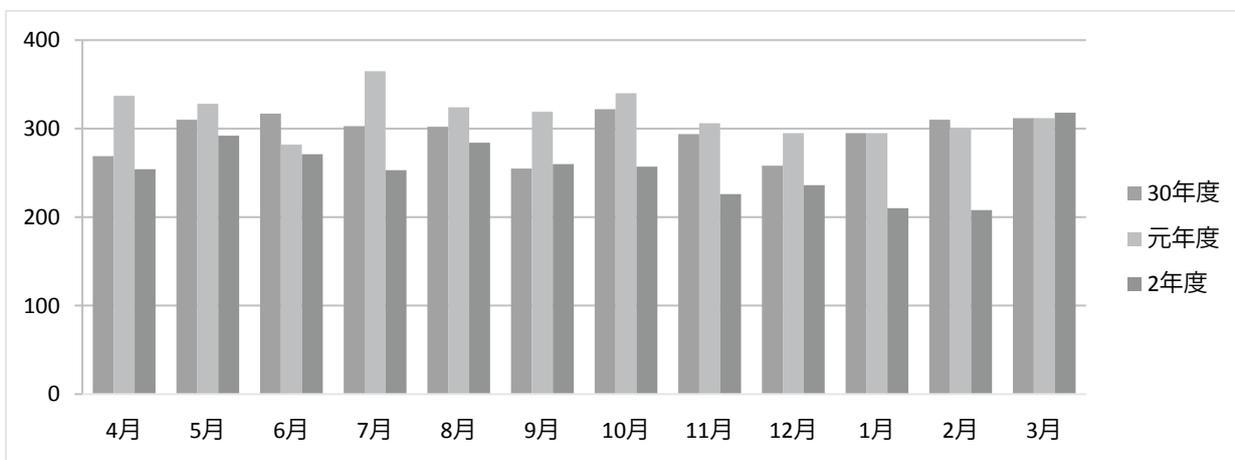
1 利用者の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	51	49	53	51	52	53	50	48	45	48	51	52	603
元	55	50	50	49	45	45	44	45	45	44	41	40	553
2	43	43	42	42	45	42	41	41	41	40	39	46	505



2 訪問回数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	269	310	317	303	302	255	322	294	258	295	310	312	3,547
元	337	328	282	365	324	319	340	306	295	295	300	312	3,803
2	254	292	271	253	284	260	257	226	236	210	208	318	3,069



令和 2 年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告

1. 平成10年10月訪問看護事業開始。平成12年4月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所開設。事業拡大に向け平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。訪問看護事業は平成20年10月訪問看護ステーションいそべと合併し中規模ステーションとして12年経過。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行による対応や影響が大きい年度であった。

2. 地域・他機関連携

- ・富山県訪問看護ステーション連絡協議会参加（総会・管理者会）
- ・西エリア医療・介護連携推進会議実行委員会参加
- ・五福4区公民館・羽根公民館で出前講座（講師）
- ・富山大学医学部看護学科（講師） ・富山県立総合衛生学院（講師）

3. 研修会出席

【富山県看護協会主催】

- ・糖尿病重症化予防フットケア研修
- ・優しさを伝える認知症ケア
- ・糖尿病の看護
- ・看護職員資質向上実務研修
- ・実践に活かす！摂食嚥下障害の理解とケア
- ・終焉を迎える患者家族および看護職のケア
- ・看護倫理Ⅱ
- ・せん妄の理解とケア
- ・がん看護シリーズⅠ がん性疼痛看護
- ・がん看護シリーズⅡ がんと共に働き生きる患者への支援
- ・訪問看護ステーション管理者育成研修会
- ・保健師助産師看護師等実習指導者講習会（特定分野）
- ・現場に活かせる最新褥瘡ケア
- ・せん妄の理解とケアA・B
- ・地域包括ケアⅡ 事例から学ぶ医療と介護の連携
- ・高齢者に多い呼吸器、循環器疾患のケア

【訪問看護ステーション連絡協議会・ネットワークセンター主催】

- ・訪問看護ステーション管理者育成研修会
- ・在宅ケア事例検討会（9/11・10/8・10/15）
- ・富山市Ⅰ・Ⅱ地区合同勉強会、情報交換会（Web）
- ・令和2年度訪問看護に関する事業報告会及び集団指導

【その他】

- ・日本訪問看護財団主催：訪問看護サミット2020（Web）
- ・超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成（北信がんプロ）主催：ライフステージ事例検討会
- ・公益社団法人富山市医師会（西エリア）主催：新型コロナウイルス感染と在宅医療・介護連携の課題

4. 訪問看護実習の受け入れ

新型コロナウイルス感染症の影響あり、4月～6月の間は実習受け入れを中止。

富山大学看護学科、セカンドレベル研修は中止、その他は実習期間を縮小して受け入れた。

施設名／研修名	期間	人数
・富山市医師会看護専門学校	令和2年7月1日～7月28日	12名
・富山市立看護専門学校	令和2年8月31日～9月29日	9名
・富山県立総合衛生学院	令和2年7月6日～6月25日	3名
・富山医療福祉専門学校	令和2年7月7日～8月26日	3名
・神戸常盤大学短期大学部看護学科	令和2年8/27～8/28・9/3～9/4	6名
・医療機関に勤務する看護師の訪問看護研修	令和2年8/3～5・8/11～13・8/17～19	8名
・富山大学看護学科総合実習	令和2年11月18日～11月20日	2名
・病院看護師の研修受け入れ事業	令和3年2月1日～2月28日	1名

5. 職員体制（令和3年3月現在）

常勤換算 7.2名

勤務形態

管理者 1名

常勤看護師 5名

非常勤看護師 4名

令和2年度訪問看護活動実績

富山県看護協会訪問看護ステーションひよどり富山

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数		21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243	20.3
利用者状況	登録者数	57	54	54	53	55	60	61	63	63	61	60	61	702	58.5
	利用者数	50	50	51	53	52	57	56	59	56	53	55	56	648	54.0
	介護保険	30	29	31	30	28	31	32	31	23	19	36	38	358	29.8
	医療保険	20	21	23	23	24	26	26	29	4	2	20	20	238	19.8
	新利用者数	3	2	4	3	3	7	2	5	4	5	5	5	48	4.0
	終了者数	1	4	3	4	2	2	1	3	7	8	4	5	44	3.7
訪問状況	訪問延回数	298	270	317	332	300	392	383	333	355	284	316	398	3,978	331.5
	医療保険訪問	107	91	122	124	105	168	162	150	150	119	100	170	1,568	130.7
	複数名訪問	8	7	12	13	4	7	12	11	11	9	11	12	117	9.8
	利用者平均訪問回数	14.0	15.0	14.0	15.8	14.0	19.6	17.4	18.0	18.0	15.0	15.8	17.3	194	16.2
終了内訳	死亡	0	2	1	2	2	1	1	1	3	3	4	3	23	1.9
	入院	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0.4
	入所（ショート）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.2
	軽快	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	0.3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
依頼状況	居宅介護支援事業所	2	1	3	2	1	3	1	1	2	0	3	2	21	1.8
	地域包括支援センター	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	0.3
	医療機関	0	0	1	1	2	4	0	4	1	2	2	2	19	1.6
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0.0
介護度	要支援	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	2	3	39	3.3
	要介護 1	8	6	5	5	5	6	7	7	7	7	6	6	75	6.3
	要介護 2	6	5	5	7	6	7	7	8	8	7	6	9	81	6.8
	要介護 3	2	3	4	4	4	4	4	5	6	6	4	4	50	4.2
	要介護 4	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6	7	8	72	6.0
	要介護 5	6	6	5	4	4	6	7	6	5	6	5	5	65	5.4
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0/0
	医療保険利用	20	21	23	23	24	25	22	25	22	19	25	20	269	22.4
利用者年齢	平均年齢	78	77	78	78	77	78	78	77	77	77	76	76	927.0	77.3
	3歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	3歳から14歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12.0	1.0
	15歳から39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	40歳から64歳	5	5	5	5	6	7	7	8	7	6	6	6	73.0	6.1
	65～69歳	2	2	2	1	2	2	2	5	5	4	4	6	37	3.1
	70～74歳	8	9	9	8	7	7	7	6	6	7	8	8	90	7.5
	75～79歳	6	6	7	9	9	10	8	8	7	8	10	10	98	8.2
	80～84歳	10	10	8	9	8	9	9	11	10	7	7	8	106	8.8
	85～89歳	11	10	10	10	8	10	11	11	10	11	11	9	122	10.2
	90歳以上	7	7	10	10	11	11	11	10	11	10	8	8	114	9.5
連携	退院前カンファレンス	0	0	1	1	3	1	1	1	0	0	2	3	13	1.1
	担当者会議/緊急カンファ	0	0	1	3	0	3	3	0	1	1	2	2	16	1.3
	地域包括ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

*実働日数には休日・祝日は含まれない

令和2年度定期巡回随時対応型訪問介護看護（連携型）活動実績

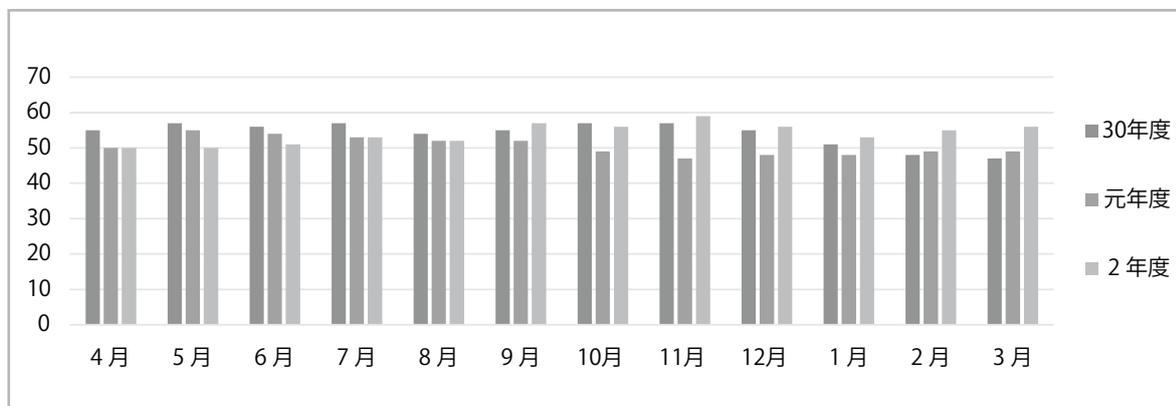
富山県看護協会訪問看護ステーションひよどり富山

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
利用者状況	登録者数		7	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	45	3.8
	新規利用者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	モニタリング実施数		7	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	45	3.8
	終了者数		0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
訪問状況	訪問看護契約者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	訪問回数(介護保険)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
終了内訳	死亡		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	入院		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	入所（ショート）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	軽快		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
依頼状況	居宅介護支援事業所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	地域包括支援センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療機関		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家族・本人		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要介護 1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	12	1.0
	要介護 2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	要介護 3		1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
	要介護 4		1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0.4
	要介護 5		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	申請中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療保険訪問看護利用者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
利用者年齢	平均年齢		86	85	85	80	84	84	84	84	84	84	84	83	100.6	83.8
	65歳未満		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	65～69歳		0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8	0.7
	70～74歳		2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0.7
	75～79歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	80～84歳		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	85～89歳		3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.4
	90歳以上		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0

訪問看護ステーションひよどり富山の年度別推移

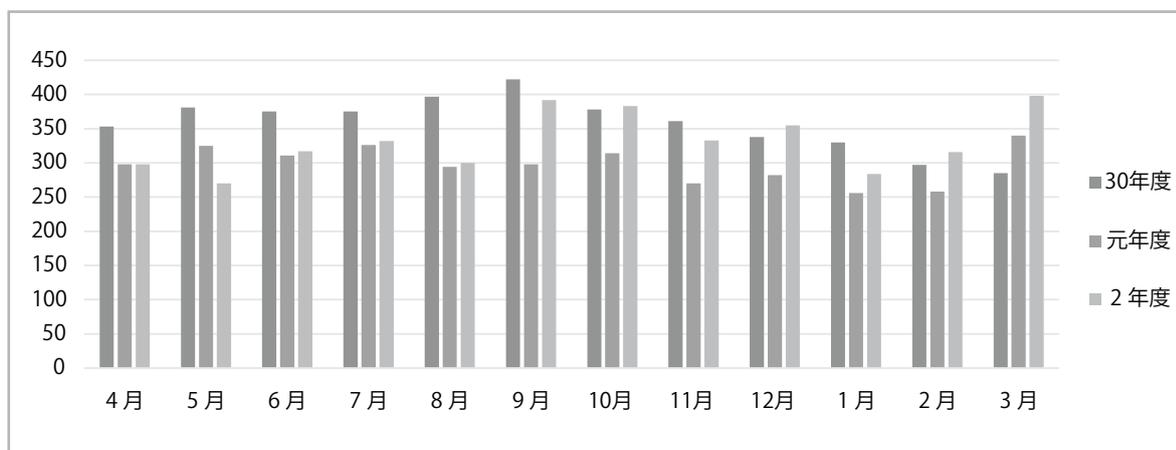
1 利用者数の月別・年度別推移

年度月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30年度	55	57	56	57	54	55	57	57	55	51	48	47	649
元年度	50	55	54	53	52	52	49	47	48	48	49	49	606
2年度	50	50	51	53	52	57	56	59	56	53	55	56	648



2 訪問延回数の月別・年度別推移

年度月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30年度	353	381	375	375	397	422	378	361	338	330	297	285	4,292
元年度	298	325	311	326	294	298	314	270	282	256	258	340	3,572
2年度	298	270	317	332	300	392	383	333	355	284	316	398	3,978



令和2年度 ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告

- 1 平成12年4月介護保険法施行により訪問看護事業と併設にて指定居宅介護支援事業所開設。
事業拡大に向け平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業分離。令和2年度に居宅介護支援事業所指定を令和7年度まで更新。

- 2 地域・他機関連携
 - ・地域のネットワークづくり事業（Web）
 - ・神明・五福地域居宅介護支援事業所連携会議
 - ・ひよどり富山訪問看護ステーション合同事例検討会参加
 - ・神明・五福地域包括支援センター合同研修会参加

- 3 研修会出席
 - 【富山市主催】
 - ・富山市医療介護連携研修会（Web）
 - ・富山市認知症高齢者見守りネットワーク講演会（Web）
 - ・包括的・継続的マネジメント研修会（Web）
 - 【地域包括支援センター主催】
 - ・認知症ブロック研修会
 - ・医療介護連携推進会議
 - 【富山県介護支援専門員協会主催】
 - ・ケアマネ事業所運営強化セミナー（Web）
 - 【その他】
 - ・とやま在宅協議会
 - ・富山県看護協会富山支部合同研修会
 - ・地域連携運営推進会議

- 5 職員体制（令和3年3月現在）

常勤換算	2.3名
勤務形態	
管理者	1名
常勤介護支援専門員	1名
非常勤介護支援専門員	0.3名

令和2年度 居宅介護支援事業活動実績

ひよどり富山居宅介護支援事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
認定調査件数		4	4	2	2	2	2	1	3	5	5	3	2	35	2.9	
給付管理	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	要支援2	4	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17	1.4	
	要介護1	29	30	31	31	31	33	34	30	29	29	27	27	361	30.1	
	要介護2	24	21	24	23	23	23	22	23	28	31	32	34	308	25.7	
	要介護3	6	6	6	7	5	5	9	10	10	8	7	7	86	7.2	
	要介護4	6	9	8	8	7	6	7	7	5	4	5	7	79	6.6	
	要介護5	9	5	4	4	4	5	4	4	4	4	4	5	56	4.7	
	小計	78	74	74	74	71	73	77	75	77	77	76	81	907	75.6	
	加算	新規・2区分アップ	1	3	5	3	1	3	5	0	2	1	0	4	28	2.3
		入院時情報連携	2	2	4	4	2	2	2	1	2	0	1	1	23	1.9
退院・退所連携		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1	
小規模 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
小計		3	5	9	7	3	6	7	1	4	1	1	5	52	4.7	
支援内容	社会資源の調整	徘徊SOS	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0.2
		減額	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
		介護手当て	0	1	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6	0.5
		オムツ支給	1	1	0	0	2	0	2	0	1	1	1	2	11	0.9
		配食	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
		ミドルステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		地域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	住宅改修工事	申請	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	2	2	9	0.8
		完了	0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0	1	6	0.5
	福祉用具	例外給付申請	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.2
		購入 他	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	2	1	8	0.7
	小計		4	5	7	1	3	2	6	3	3	1	5	6	46	3.8
	医療・介護施設連携		6	6	4	2	4	6	5	7	6	4	9	11	70	5.8
サービス担当者会議		4	4	10	12	7	9	19	6	10	3	8	16	108	9.0	

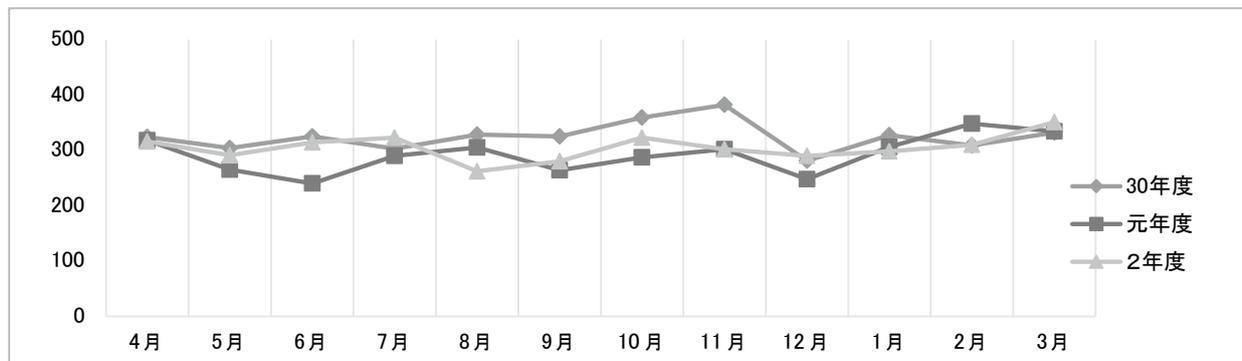
総合相談	時間内	TEL	221	167	155	148	137	136	151	146	132	158	159	197	1,907	158.9
		来所	11	5	11	9	7	8	15	10	7	9	7	8	107	8.9
		訪問	84	112	139	147	109	120	143	127	139	112	132	146	1,510	125.8
		合計	316	284	305	304	253	264	309	283	278	279	298	351	3,524	293.7
	時間外	TEL	0	3	2	12	5	9	8	8	5	16	4	5	77	6.4
		来所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.2
		訪問	0	4	6	7	4	7	6	11	7	3	8	9	72	6.0
		合計	0	7	9	19	9	16	14	19	12	19	12	15	151	12.6

研修会	0	1	2	1	2	3	2	2	1	1	2	3	20	1.7
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-----

ひよどり富山居宅介護事業所の年度別推移

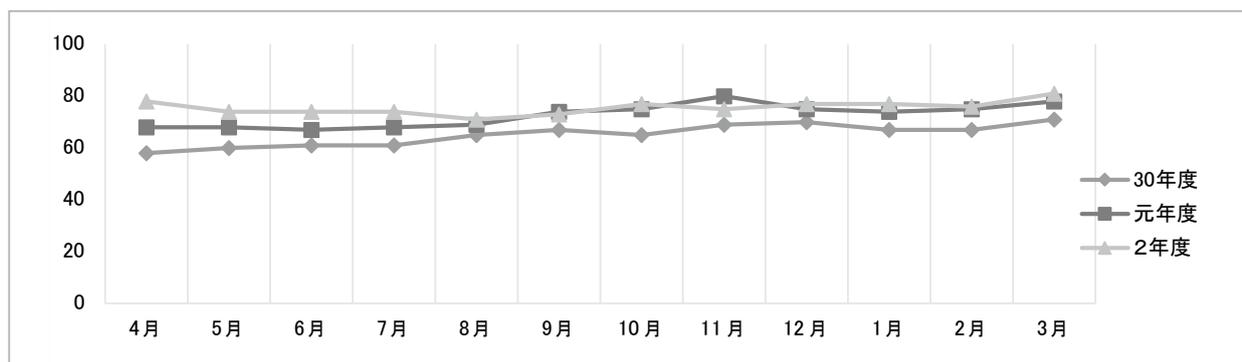
1 総合相談（電話・来所・訪問）

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	324	304	325	303	328	325	359	382	281	327	309	332	3,899
元	318	265	240	290	305	264	287	302	248	306	348	334	3,507
2	316	291	314	323	262	280	323	302	290	298	310	351	3,309



2 ケアプラン作成件数の推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	新規利用者
30	58	60	61	61	65	67	65	69	70	67	67	71	781	40
元	68	68	67	68	69	74	75	80	75	74	75	78	871	29
2	78	74	74	74	71	73	77	75	77	77	76	81	907	26



3 認定調査件数の推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	5	6	5	4	6	2	4	3	5	3	3	11	57
元	5	4	9	4	5	1	8	6	5	6	5	4	62
2	4	4	2	2	2	2	1	3	5	5	3	2	35

令和2年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告

平成18年4月1日から富山市より業務委託を受け、事業を開始した。平成24年度、平成29年度に再委託を受け事業を継続している。

1 事業内容

- (1) 一般介護予防事業
 - ①介護予防把握事業
 - ②介護予防普及啓発事業
 - ③地域介護予防推進事業
 - ④介護予防訪問相談指導事業
 - ⑤介護予防ふれあいサークル事業
 - ⑥介護予防推進リーダー事業
- (2) 介護予防・生活支援サービス事業
 - ①介護予防ケアマネジメント事業
 - ②介護予防教室事業
- (3) 包括的支援事業
 - ①総合相談事業
 - ②権利擁護事業
 - ③包括的・継続的マネジメント支援事業
 - ④認知症総合支援事業
 - ⑤生活支援体制整備事業
 - ⑥在宅医療・介護連携推進事業
- (4) 任意事業
 - ①認知症高齢者見守り支援事業
- (5) 指定介護予防支援事業

2 実習生受け入れ

施設名／研修名	期 間	人数（人）
富山いずみ高校	令和2年9月24日～9月25日	2
	令和2年10月5日～10月6日	2
	令和2年10月29日～10月30日	2

3 主な研修会参加状況

- ・地域包括支援センター職員研修会
- ・富山市権利擁護研修会
- ・高齢者虐待対応研修会
- ・富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修
- ・地域包括支援センター連絡協議会研修会
- ・生活支援コーディネーター研修
- ・富山市ソーシャルワーク基礎研修会
- ・介護サービス苦情・相談担当者研修会
- ・富山市医療介護連携研修会

4 職員体制

管理者（主任介護支援専門員・社会福祉士）1名 看護師1名 保健師1名 社会福祉士1名

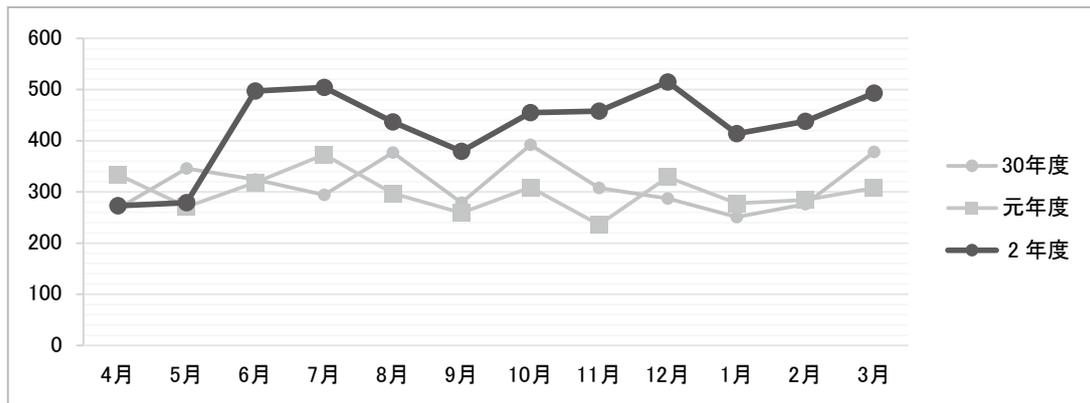
令和2年度 神明・五福地域包括支援センター事業活動実績

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	総合相談	TEL	157	163	306	277	246	252	256	309	319	302	299	298
来所		22	17	25	16	15	22	26	21	31	22	21	32	270
訪問		94	99	166	211	176	105	173	128	165	90	118	163	1,688
合計		273	279	497	504	437	379	455	458	515	414	438	493	5,142
実態把握	事業対象者	10	7	12	71	46	10	22	12	31	2	10	33	266
事業対象者	介護予防教室	0	0	0	0	1	4	5	3	0	0	0	1	14
	地域ケア会議	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0	1	3	9
	介護予防、認知症地域説明会	0	0	2	8	4	1	1	3	0	1	2	0	22
	予防給付、介護予防ケアマネジメント費	118	113	112	123	125	119	116	115	118	117	118	122	1,416
	認定調査	2	2	4	5	3	5	4	3	3	3	7	6	47
	主な研修会	0	0	0	4	7	4	4	9	6	6	4	8	52

神明・五福地域包括支援センターの年度別推移

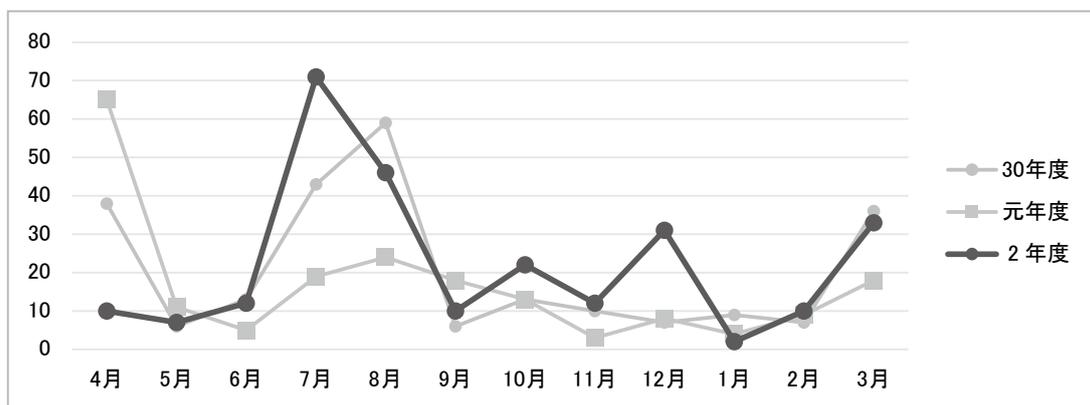
1 総合相談（電話・来所・訪問）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30		267	346	324	294	377	279	392	308	287	251	276	378	3,779
元		334	271	318	373	297	259	309	236	329	278	284	308	3,596
2		273	279	497	504	437	379	455	458	515	414	438	493	5,142



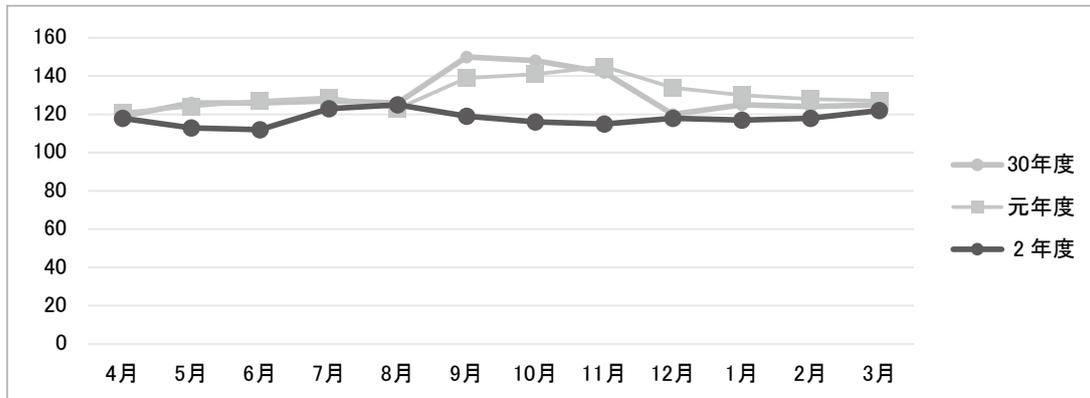
2 実態把握（事業対象者）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30		38	6	13	43	59	6	13	10	7	9	7	36	247
元		65	11	5	19	24	18	13	3	8	4	9	18	197
2		10	7	12	71	46	10	22	12	31	2	10	33	266



3 予防給付 介護予防 ケアマネジメント費

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	119	126	126	127	126	150	148	142	120	125	124	125	1,558
元	121	124	127	129	123	139	141	145	134	130	128	127	1,568
2	118	113	112	123	125	119	116	115	118	117	118	122	1,416



4 事業対象者介護予防教室

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	0	0	0	0	0	4	4	4	0	0	1	0	13
元	0	0	0	0	0	4	5	3	0	0	0	0	12
2	0	0	0	0	1	4	5	3	0	0	0	1	14

5 地域ケア会議

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	0	2	1	0	0	3	1	1	1	1	0	0	10
元	2	1	2	1	0	1	1	0	1	0	1	0	10
2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0	1	3	9

6 介護予防 認知症 地域説明会

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	5	7	8	4	1	2	5	3	4	4	6	1	50
元	5	7	7	6	2	3	2	5	4	1	5	0	47
2	0	0	2	8	4	1	1	3	0	1	2	0	22

7 認定調査

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	6	11	7	9	4	7	14	5	5	9	6	11	94
元	9	5	8	7	5	7	7	6	10	5	9	8	86
2	2	2	4	5	3	5	4	3	3	3	7	6	47

8 主な研修会

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	2	1	4	1	5	7	2	5	3	3	4	1	38
元	2	3	4	5	1	4	7	3	5	1	3	1	39
2	0	0	0	4	7	4	4	9	6	6	4	8	52

令和 2 年度 その他の委託事業報告

1 訪問看護推進事業（富山県委託事業）

1) 目的

医療機関の看護師が訪問看護の現場に赴き、在宅医療移行に向けてのケアの視点や退院支援、地域連携に関する知識を養うことなどを通し、地域医療の充実と質の高い在宅療養支援体制づくりを推進する。また、訪問看護師や医療機関に勤務する看護師が、共同で在宅療養患者の療養上の課題を明確にし、対応策を検討することにより、看護師の資質向上や相互理解、連携強化を図る。

2) 内容

(1) 医療機関看護師の訪問看護ステーション研修

医療機関に勤務する看護職員が訪問看護師と同行訪問（3日）し、利用者にあった在宅療養環境の調整のあり方を理解する。また、事例検討会に参加（2回）をして、退院支援における医療機関の看護師の役割と訪問看護師との連携の在り方を理解する。

研修期間及び場所		参加者数 (人)
訪問看護ステーション	在宅ケア事例検討会	
朝日町訪問看護ステーション 7/8(水)・9(木)・10(金)	黒部市民病院 8/20(木) 富山県立中央病院 9/17(木)	1
朝日町訪問看護ステーション 7/15(水)・16(木)・17(金)	黒部市民病院 8/20(木) 富山県看護研修センター 10/8(木)	1
朝日町訪問看護ステーション 7/29(水)・30(木)・31(金)	富山県看護研修センター 10/8(木) 富山県看護研修センター 10/15(木)	1
訪問看護ステーションひよどり富山 7/29(水)・30(木)・31(金)	富山県立中央病院 9/17(木) 富山県看護研修センター 10/8(木)	2
訪問看護ステーションひよどり富山 8/3(月)・4(火)・5(水)	富山市立富山市民病院 8/18(火) 富山県立中央病院 9/17(木) 富山県看護研修センター 10/15(木)	2
訪問看護ステーションひよどり富山 8/11(火)・12(水)・13(木)	富山県看護研修センター 10/8(木) 富山県看護研修センター 10/15(木)	2
訪問看護ステーションひよどり富山 8/17(月)・18(火)・19(水)	富山県看護研修センター 10/8(木) 富山県看護研修センター 10/15(木) 真生会富山病院 10/21(水)	2
富山赤十字訪問看護ステーション 8/17(月)・18(火)・19(水)	富山県立中央病院 9/17(木) 富山県看護研修センター 10/8(木) 富山県看護研修センター 10/15(木)	2
高岡市医師会訪問看護ステーション 7/28(火)・29(水)・30(木)	厚生連高岡病院研修センター 8/26(水) 市立砺波総合病院 9/17(木) 真生会富山病院 10/21(水)	2
高岡市医師会訪問看護ステーション 8/4(火)・5(水)・6(木)	厚生連高岡病院研修センター 8/26(水) 真生会富山病院 10/21(水)	1

(2) 在宅ケアアドバイザー派遣事業(事例検討会)

各医療圏域内の訪問看護ステーション及び医療機関等の看護職員等を対象に事例検討会を開催し、専門看護師、認定看護師等の専門性の高いアドバイザーを派遣し、患者・家族の現状やニーズに応じたより質の高いケアができるよう支援する。

・在宅ケア事例検討会アドバイザー

氏名	所属	認定看護師等
開 弘美	黒部市民病院	糖尿病看護認定看護師
小原 留美	光風会訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
林 直美	富山大学附属病院	緩和ケア認定看護師
岸澤 由紀子	市立砺波総合病院	慢性呼吸器疾患看護認定看護師
松村 江美子	富山県立中央病院	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
池田忍・渡邊逸平	富山県立中央病院	リハビリテーション科 係長・主任
盛田 大樹	富山城南温泉病院	認知症看護認定看護師
長瀬 佐知子	市立砺波総合病院	老人看護専門看護師
藤縄 マスミ	富山県済生会富山病院	緩和ケア認定看護師
長 光代	おれんじ訪問看護ステーション	がん看護専門看護師
加藤 真理子	富山赤十字病院	訪問看護認定看護師
山本 亜希子	厚生連高岡病院	認知症看護認定看護師
柿沢 有希子	富山県立中央病院	小児救急看護認定看護師
若杉 央	高岡厚生センター射水支所	地域健康課 課長 保健師
上野 三佳	もみじ訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
池守 実智代	市立砺波総合病院	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

・在宅ケア事例検討会

地区	開催日	会場	アドバイザー	事例検討テーマ	参加者数(人)
新川	8月20日(木)	黒部市民病院	開小原	インスリン導入となった高齢者の血糖コントロール ～理解力の乏しい家族への関わり～	23
中部	8月18日(火)	富山市立富山市民病院	林岸澤	非がんの緩和ケアとアドバンス・ケア・プランニング(ACP)のタイミング	21
	9月17日(木)	富山県立中央病院	松村池田/渡邊	リハビリ意欲のない慢性炎症性脱髄性多発神経炎の患者へのかかわり	31
	10月8日(木)	看護研修センター	盛田長瀬	暴言を受けている介護者との関わり ～介護者支援とは～	34
	10月15日(木)	看護研修センター	藤縄長	強く在宅死を望む80代がん末期利用者と、非協力的な家族への支援	42
高岡	8月26日(水)	厚生連高岡病院	加藤山本	サービス付き高齢者住宅に入居している認知症のある利用者への訪問看護師としての関わり	36
	10月21日(水)	真生会富山病院	柿沢若杉	外国人の両親を持つ発達遅延児の多職種連携のあり方	33
砺波	9月17日(木)	市立砺波総合病院	上野池守	コミュニケーション困難となった神経難病の娘と介護する高齢の母への支援	35

2 訪問看護災害時等支援体制整備事業（富山県委託事業）

1) 目的

新型コロナウイルス感染症拡大時や災害発生時に訪問看護サービスを必要とする在宅療養者が自宅で医療サービスを継続して利用できる環境を整備するため、訪問看護ステーション相互や関係機関との連携体制を構築することを目的とする。

2) 内容

- ①訪問看護ステーションへ災害時等のサービス提供体制、医薬材料の備蓄状況等について状況調査
- ②応援可能な施設一覧の作成
- ③災害時等の応援体制の構築、周知

3) 委託期間

令和2年12月～令和3年3月31日

3 訪問看護総合支援センター試行事業（日本看護協会委託事業）

1) 目的

日本看護協会では、2018年度重点事業として訪問看護師倍増策案の策定に取り組み、2019年「日本看護協会が提案する訪問看護師倍増策」を公表した。この倍増策の実現に向けた具体的方策の一つとして、地域の訪問看護に係る様々な課題を一体的及び総合的に解決し、訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点となる「訪問看護総合支援センター」の設置を掲げている。

各都道府県への訪問看護総合支援センターの設置を目指し、日本看護協会が訪問看護師倍増策に示すセンターの目的及び機能を実施・検証する試行事業を実施する。センター設置に向けたプロセスや必要な条件等の情報収集し、センターの意義や設置による効果を明確にする。富山県看護協会ではこの趣旨に賛同し、試行事業に取り組むこととした。

(委託期間 令和2年7月1日～令和3年2月26日)

2) 内容

(1) 日本看護協会が示すセンターの3つの目的と7つの機能

目的	機能	実施内容
1. 経営支援	1) 事業所運営基盤整備支援	⑤⑥
	2) 訪問看護事業所の開設支援	⑧⑩
2. 人材確保	3) 潜在看護師・プラチナナース等の就業及び転職促進	①③⑪
	4) 人材出向支援	⑨
	5) 新卒看護師採用に向けた取り組み	①②③
3. 訪問看護の質の向上	6) 訪問看護に関する情報分析	④
	7) 教育・研修実施体制の組織化	⑥⑦

(2) 実施内容（新規事業[㊦]及び既存事業[㊧]で強化した内容）

㊦①訪問看護事業検討委員会

2回（令和2年10月23日（金） 令和3年2月19日（金））出席者 委員12名 事務局5名

内容 訪問看護に係る状況と課題の共有

訪問看護の安定的な経営と人材確保について

㊦②訪問看護師の新卒看護師育成検討ワーキング

1回（令和2年12月23日（水））出席者 委員5名 事務局5名

内容 新卒看護師が訪問看護ステーションに就職するために必要なこと

- ③ 人材確保に関するアンケート
訪問看護ステーション管理者：プラチナナース、新卒看護師の雇用について
看護教育機関教員：新卒看護師の訪問看護ステーションへの就職支援について
- ④ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会集計データの分析
(過去10年分を経年的、医療圏別に分析)
- ⑤ 訪問看護サポートステーション管理者会へのアドバイス
(アドバイザー 東京都の訪問看護ステーション勤務訪問看護認定看護師)
- ⑥ 新設3年未満ステーションへのアドバイス ⑤のアドバイザーに社会保険労務士を加えた。
(⑤⑥はリモートで実施)
- ⑦ 訪問看護ステーション管理者研修
(従来1回のところ、人材育成、経営支援について2回目を追加して行った。)
- ⑧ 訪問看護ステーションPR用のパンフレット作成
- ⑨ 訪問看護ステーションへの病院看護師出向事業
1 病院看護師が1ステーションに2か月出向した。
3月20日に事業報告会を行い、研修で学んだこと、病院で取り組むことなどを報告。
- ⑩ 新規開設ステーションへのアドバイス
- ⑪ 訪問看護ステーションへの職業紹介 訪問看護ステーションに5名就職

4 地域の医療提供体制確保のための看護職員派遣調整事業（日本看護協会委託事業）

1) 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療機関及び宿泊療養施設等における感染者対応や帰国者・接触者相談センター等での対応等、地域の新型コロナウイルス感染症対策において看護職員の存在が求められる活動は継続的に必要である。

地域に必要な医療提供等を継続するために看護職員の派遣調整を行うことを目的とする。

2) 内容

(1) 代替職員の確保を必要とする施設のニーズ把握

就職アドバイザー等が病院等を訪問し、看護管理者、事務担当したと面談することで看護職員の就労状況や勤務環境などを把握し、看護職員の人材確保や、定着支援を推進する。また施設内における新型コロナウイルス感染症に対する問題点を調査し対応する。

・実施状況 訪問施設21施設（公的病院3・民間病院14・特別養護老人ホーム2・老人保健施設1・有料老人ホーム1）

(2) 代替職員の必要な施設に看護職を臨時雇用

新型コロナ感染拡大に伴い、新聞広告・看護とやまに非常勤職員募集を行い看護応援活動の就業希望があった場合求人求職のマッチングを速やかに行い人材確保に努めた。(43名確保)

(3) 代替職員確保のための必要な人員の確保と調整業務にあたる職員の調整。

(4) 代替看護師に対するスキルギャップ研修を実施

タイベック着脱の方法の手順作成。感染管理を合わせて担当者2名で個別研修実施。(20名実施)

(5) 新型コロナウイルス感染症に関する電話・メール相談・問い合わせ対応

看護職から 51件 施設から18件

3) 委託期間

令和2年4月25日～令和3年3月31日

5 新型コロナウイルス感染症の軽症者に係る宿泊療養施設における健康管理及び環境整備事業 (富山県委託事業)

1) 目的

県では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、入院患者の増加が見られた場合、より重症者に対する医療施設の確保が重要になることから、新型コロナウイルス感染症の軽症者等について、宿泊療養を実施し、富山県看護協会に人員体制の確保の協力要請に基づき派遣調整を行う。

2) 内容

軽症者療養施設への看護師派遣

3) 委託期間

令和2年4月25日～令和3年3月31日

4) 協力機関

県内公的病院、看護学校、富山県看護協会 25施設

5) 派遣実績

実 119名 延 164名 施設 24施設

6) 業務内容

- (ア) 入所者の健康管理
- (イ) 清掃および環境整備
- (ウ) 入所者により生じた廃棄物の回収
- (エ) 医師によるPCR検査の検体採取補助
- (オ) 医師との連絡調整
- (カ) その他医療関係者として行うことが適当な業務

7) 派遣場所

- ①令和2年4月25日～8月 オークスカナルパークホテル
- ②令和2年8月14日～12月19日 山田温泉 玄猿楼
- ③令和2年12月20日～令和3年3月31日 東横INN富山駅新幹線口 I

6 専門職による保健指導等支援事業（富山県委託事業）

1) 目的

市町村においては、国保被保険者の生活習慣病発症予防・重症化予防に重点をおいた保健指導が求められ、取り組んでいる。富山県の市町村国保はメタボリックシンドローム該当者の割合が全国的にも高く、糖尿病による新規人工透析患者も増加傾向にあることから、より効果的・継続的な取り組みが必要である。そこで、市町村の実情に応じて専門職を派遣し、市町村国保の保健指導の効果的・効率的な実施及び保健指導実施者の資質向上などの人材育成の面からも支援することを目的とする。

2) 内容

(1) 市町村の専門職が行う保健指導（特定保健指導、糖尿病性腎症保健指導の訪問指導等）に同行等行い、技術的支援を行う。

- ①訪問前の対象者情報及び支援方針等の確認
- ②同行訪問の実施
- ③訪問後の振り返り、今後の支援方針の確認

実施市町村・実施日	講師	派遣 看護師
立山町 令和3年3月5日(金) (新型コロナウイルス感染防止のため、 訪問ではなく来所相談で実施)	おれんじ訪問看護ステーション 糖尿病看護認定看護師	1

(2) 特定健診・特定保健指導未受診者に対する個別勧奨（電話等）

実施市町村・実施日	講師	派遣 看護師
高岡市 令和3年2月・3月 計9回	看護協会非常勤看護師	1

(3) 事例検討会及び保健指導実施後の評価会議等での助言指導等

実施市町村・実施日	講師	派遣 看護師
黒部市 令和3年3月2日(火)	黒部市民病院 糖尿病看護認定看護師	1
小矢部市 令和3年3月1日(月)	高岡市民病院 糖尿病看護認定看護師	1

(4) 重症化予防対策における保健指導（高血圧、血糖コントロール不良者への個別訪問）
令和2年度は実施なし

- (1) 及び (3) の講師については、糖尿病看護専門看護師に派遣調整を依頼した。

令和3年度 富山県行政への要望事項

第1回目 令和2年8月27日実施（対 総合政策局長、厚生部長）

1 今後の新型コロナウイルス対応について

- (1) 今回の感染で、リモートを使用した会議、研修の活用必要性が示された。アフターコロナの時代に向け、医療機関における現在のリモート環境などを調査して、リモートによる会議や研修ができる環境の整備のために、必要な財政支援を講じていただきたい。
- (2) 第2波に備えた防護具を含めた衛生材料の安定的な供給と、看護職のメンタル面のサポート体制の整備をお願いしたい。さらに、安心安全な看護を提供するために医療従事者の検査体制の整備及び体制支援をお願いしたい。
- (3) 医療機関や介護施設等でクラスターが発生した場合の協力体制を構築される際、厚生労働省医政局看護課の通知にもあるように、専門家の派遣に現場の状況を見極め、スタッフの配置や業務管理を適切に行う看護管理者も要件に規定していただきたい。
- (4) 介護施設や訪問看護事業所などの小規模施設等へ助言・指導を行う相談窓口の整備、及び保健所・厚生センターにおける相談員の確保をお願いしたい。
- (5) 医療職への風評被害がない環境づくりや広報を引き続きお願いしたい。

2 看護の質の向上について

- (1) 県立大学に大学専攻科を設置し、県内の保健師・助産師の育成確保をお願いしたい。
また、より質の高い看護師・保健師・助産師育成のために看護職の2年間の大学院教育をお願いしたい。
- (2) 特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師の養成については、令和3年度末まで検討予定だが、地域包括ケア推進のために特定行為研修に関する実態やニーズに関する調査を行っていただきたい。
また、将来的には特定行為指定研修機関の連絡協議会の設立をお願いしたい。

3 看護職の働き方改革の推進

- (1) 看護職のセカンドキャリアへの支援
定年後も働き続けるためのセカンドキャリアをスムーズに行うための支援をお願いしたい。特に再就業にあたり不安な技術や感染対策等の知識について学ぶ機会への財政支援をお願いしたい。
- (2) 医療勤務環境改善支援センター 病院サポート事業の継続
平成31年4月から働き方改革関連法が施行されたことを受け、今後もその実態を把握し、病院、団体、介護施設の理解のための啓発活動支援及び改善指導をお願いしたい。
また、働き方改革として、看護師の業務負担軽減や効率化を進めるために積極的にAIを導入する施設への財政支援をお願いしたい。
- (3) 子育て支援の充実
育児休業後に復帰する看護師が、不安なく仕事ができるように、公的保育施設の拡充、24時間対応保育所、学童保育の開始時間や放課後対策の充実、病児保育の促進についてより一層市町村へ働きかけていただきたい。

4 看護領域の開発・展開について

(1) 「訪問看護総合支援センター（仮称）」に機能強化への支援

平成22年に訪問看護ネットワークセンターを開設し、訪問看護のPRや相談支援を行っているが、訪問看護に係る様々な課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化や推進支援を図る拠点として、機能強化するための支援をお願いしたい。

(2) 保健師の計画的な人材確保、育成及び適切な配置への支援

新型コロナウイルスだけでなく、あらゆる感染症対策について、関係機関とも連携をとり安全安心な対策を実施できる保健師を増員してほしい。

富山県保健師人材育成ガイドライン（令和2年3月改訂）の活用普及に向けた取り組みをお願いしたい。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に必要となる保健師等の医療専門職及び統括保健師の配置について県内市町村に働きかけていただきたい。

(3) 「人生の最終段階における医療・ケア」の推進

看護職、訪問看護、施設等も含めた医療・ケアチームにより取り組んでいるが、在宅等での看取りが推奨される中、本人の望みを踏まえたものとなるよう住民向けの研修等の県民への普及・啓発をお願いしたい。

第2回目 令和3年1月29日実施（対 富山県知事）

- 1 県立大学に大学院（修士課程）を設置すること
専門看護師など、より高度な看護人材を育成するため、県立大学に看護系の大学院を設置すること。
- 2 県立大学において保健師及び助産師を育成すること
県立大学に大学専攻科を設置し、引き続き、県内の保健師及び助産師の育成・確保を図ること。

令和2年度 行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況

委託先	団体会議名	役員・委員等	
富山県	富山県医療審議会・地域医療構想部会 医療法人部会 富山県医療対策協議会	委員	
	富山県新型インフルエンザ等対策検討委員会	委員	
	富山県新型コロナウイルス感染症対策協議会	委員	
	アフターコロナ時代を見据えた経済社会構想検討会議	委員	
	富山県防災会議	委員	
	富山県がん対策推進協議会・富山県がん対策推進県民会議 がん診療体制部会	委員	
	富山県母乳育児推進連絡協議会	理事	
	富山県母子保健推進員連絡協議会	顧問	
	富山県社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会	委員	
	富山県あんしん在宅医療・訪問看護推進会議	委員	
	富山県障害者施策推進協議会 (富山県自立支援協議会・富山県障害者差別解消協議会)	委員	
	富山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会	委員	
	とやま県民活躍・働き方改革推進会議	委員	
	富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会	委員	
	富山県地域リハビリテーション推進会議	委員	
	富山県感染症対策連絡協議会	委員	
	富山県国民健康保険運営協議会	委員	
	富山県健康寿命日本一推進会議	委員	
	公立大学法人富山県立大学経営審議会	委員	
	公立大学法人富山県立大学研究協力会 理事会	理事	
	公立大学法人富山県立大学看護系大学院等設置検討委員会	委員	
	富山県公衆衛生学会 理事会	理事	
	北陸公衆衛生学会 評議員会	評議員	
	富山マラソン2020 実行委員会	委員	
	富山マラソン2020メディカル協議会	委員	
	サンフォルテフェスティバル実行委員会	委員	
	富山県ウィメンズフェスティバル健康・スポーツ交流大会運営委員会	委員	
	富山県女性団体連絡協議会	加盟団体長	
	認定薬局等の整備促進事業連携協議会	委員	
	富山県アレルギー疾患医療連絡協議会	委員	
	富山県薬事審議会	委員	
	富山県精神医療審査会	委員	
	富山県水防協議会	委員	
	富山県献血推進協議会	委員	
	富山県骨髄バンク推進連絡協議会	委員	
	特別支援学校医療的ケア体制整備事業運営協議会	委員	
	富山県犯罪被害者等支援協議会	団体長	
	富山市	富山市地域包括支援センター運営協議会 評価委員会	委員
		富山市介護予防推進会議	委員

委託先	団体会議名	役員・委員等
富山市	富山市国民健康保険運営協議会	委員
	富山市国民保護協議会	委員
	富山市自殺対策推進連絡会議	委員
	富山市社会福祉審議会	委員
	富山市保健所運営協議会	委員
	富山市民病院地域医療支援病院委員会	委員
	富山市病院事業経営改善委員会	委員
	富山市要保護児童対策地域協議会代表者会議	代表者
	富山市防災会議	委員
	富山市生活支援体制整備推進会議	委員
	富山市地域密着型サービス等運営委員会	委員
	富山市障害者自立支援協議会	委員
	富山市障害者差別解消支援協議会	委員
	富山市高齢者総合福祉プラン策定懇話会	委員
高岡市	学校法人未来高岡 富山県高岡看護専門学校 評議員会	評議員
	富山県高岡看護専門学校修学資金審査委員会	委員
関連団体等	富山県社会福祉協議会 評議会	評議員
	富山県高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議	委員
	富山県福祉人材確保対策会議	委員
	富山県福祉カレッジ運営委員会 富山県健康・福祉人材センター運営委員会	委員
	社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 評議員会	評議員
	医療法人財団とやま医療健康センター 評議員会	評議員
	富山県民ボランティア総合支援センター 理事会	理事
	富山県民ボランティア総合支援センター運営委員会	委員
	富山県民ボランティア・NPO大会企画運営委員会	委員
	富山県民福祉推進会議	委員
	福祉用具・アイデアコンクール運営審査委員会	委員
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部富山県済生会支部 理事会	理事
	富山県済生会富山病院地域医療支援病院運営委員会	委員
	富山赤十字病院 地域医療支援病院委員会	委員
	厚生連高岡病院 地域医療支援病院委員会	委員
	女性保護富山県民協議会	理事
	富山県健康づくり財団 理事会	理事
	全国健康保険協会富山支部 評議会	評議員
	富山県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
	富山県介護支援専門員協会	理事
	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター指定管理者評価	委員
	いきいきとやま・健康と長寿の祭典実行委員会	委員
	富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会	委員
	社会福祉法人セーナー苑 評議員会	評議員
	富山県医療事故調査等支援団体連絡協議会	委員
	富山県糖尿病対策推進会議	幹事
	富山県後期高齢者医療広域連合運営懇話会	委員
	日本糖尿病協会富山県支部 常任理事会・理事会	理事

令和 2 年度 他団体等への推薦

委託先	委員名	任期 (年)	令和2年度 推薦数 (人)	総数 (人)
富山県	富山県新生児聴覚検査事業に係る協議会委員	2	1	1
	公立大学法人富山県立大学研究協力会 リエゾンサポーターリーダー	2	1	1
	富山県地域医療推進対策協議会・部会委員	2	1	1
富山市	富山市介護認定審査会委員	2	36	36
	富山市障害支援区分判定審査会委員	2	2	2
高岡市	高岡市介護認定審査会委員	2	10	10
	高岡市子ども・子育て会議委員	2	1	1
	高岡市要保護児童対策地域協議会委員	1	1	1
氷見市	氷見市要保護児童対策地域協議会代表者会議委員	2	1	1
関連団体等	富山県高齢者総合相談センター専門相談員	1	2	2
	富山県高齢者総合相談センター専門相談員(認知症ほっと電話相談)	1	4	4
	全国健康保険協会富山支部健康づくり推進協議会委員	1	1	1
	富山家庭裁判所家事調停委員	2	0	3
	富山家庭裁判所委員会委員	2	0	1

令和 2 年度 後援・協力等依頼報告

受諾の後援等

内 容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
令和 2 年度富山大学附属病院市民公開講座「総合がんセンター創設」	富山大学附属病院	富山国際会議場	2020/9/6(日)
2020年度 福祉のお仕事フェア inTOYAMA	富山県社会福祉協議会 富山県健康・福祉人材センター	富山国際会議場	2020/9/19(土) 9/20(日)
第46回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会	Web 開催	2020/9/26(土)
摂食嚥下ケア研修会 7thクール	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	Web 開催	2020/9/27(日) 2020/10/25(日)
福祉用具・アイデアコンクール	富山県 富山県社会福祉協議会	サンシップとやま 2階	2020/11/14(土)
緩和ケア市民公開講座	富山大学附属病院	富山国際会議場	2021/2/14(日)
摂食嚥下ケア特別研修会	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	Web 開催	2021/3/13(土)
看護師就職ガイダンスin金沢2021	中日新聞	金沢港クルーズターミナル セミナールーム	2021/4/17(土)
第7回日本医療安全学会学術総会	日本医療安全学会	東京都産業貿易センター及 びWeb配信	2021/5/29(土) 5/30(日)
2021年度肝がん撲滅運動 肝がん撲滅フォーラム2021	日本肝臓学会 富山県支部	富山国際会議場 201・202号室	2021/7/31(土)

令和2年度 富山県看護協会 施設別・職種別会員数

令和3年3月31日現在

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
国立大学法人富山大学附属病院	0	48	688	0	736	さかい内科クリニック	0	0	1	0	1
独立行政法人国立病院機構 富山病院	0	0	84	0	84	女性クリニックWe富山	0	0	2	0	2
独立行政法人国立病院機構 北陸病院	0	0	58	0	58	佐伯レディースクリニック	0	2	0	0	2
独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院	1	5	182	0	188	瀬尾内科医院	0	0	1	0	1
独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院	7	0	74	1	82	医療法人社団スバル杉野脳神経外科病院	0	0	3	0	3
富山県立中央病院	0	60	662	0	722	富山医療生活協同組合 富山協立病院	0	0	66	0	66
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	0	0	156	0	156	医療法人社団城南会 富山城南温泉病院	0	0	21	4	25
富山市立富山市民病院	0	19	483	0	502	医療法人社団城南会 富山城南温泉第二病院	0	0	8	0	8
高岡市民病院 看護科	8	14	312	0	334	医療法人高岡みなみハートセンターみなみの杜病院	0	1	17	1	19
黒部市民病院	4	26	312	0	342	医療法人社団和歌会 谷野呉山病院	1	0	31	2	34
金沢医科大学水見市民病院	0	0	184	6	190	医療法人社団三医会 となみ三輪病院	0	0	3	1	4
射水市民病院	0	0	146	0	146	医療法人社団寿恵会 つざわ津田病院	0	0	11	2	13
市立砺波総合病院	7	27	380	0	414	緑心会 砺波サナトリウム福井病院	0	0	2	0	2
あさひ総合病院	0	0	91	1	92	チューリップ長江病院	0	0	15	1	16
かみいち総合病院	5	10	120	1	136	富山駅前ひまわり病院	0	0	3	0	3
南砺市民病院	3	0	130	4	137	医療法人社団藤聖会富山西総合病院	1	0	123	2	126
公立南砺中央病院	1	0	73	1	75	医療法人新川病院	0	0	4	0	4
富山市立富山まちなか病院	1	2	26	0	29	流杉病院	0	0	25	2	27
富山赤十字病院	4	40	410	1	455	沼内科医院	0	0	4	0	4
富山県済生会富山病院	2	2	234	0	238	南砺家庭地域医療センター	0	0	2	0	2
富山県済生会高岡病院	0	19	192	0	211	長田整形外科クリニック	0	0	1	0	1
厚生連高岡病院	26	19	514	0	559	医療法人財団正友会 中村記念病院	0	0	3	0	3
厚生連滑川病院	6	7	157	2	172	医療法人社団にしの会 西野内科病院	0	0	1	0	1
公立学校共済組合 北陸中央病院	1	1	119	1	122	医療法人社団尽誠会 野村病院	0	0	2	0	2
医療法人社団七徳会 魚津病院	0	0	13	0	13	不二越病院	5	0	65	2	72
医療法人社団睦心会 あさなぎ病院	0	0	17	0	17	医療法人北聖病院	0	0	3	0	3
医療法人社団東方会 おおやま病院	0	0	19	7	26	光ヶ丘病院	0	0	58	13	71
医療法人社団樫の木会 大島くろみ病院	0	0	3	0	3	医療法人深川病院	0	0	5	1	6
医療法人社団信和会 魚津神経サナトリウム	0	0	1	0	1	医療法人社団良俊会 ふくの若葉病院	0	0	14	0	14
医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院	0	0	8	4	12	医療法人財団恵仁会 藤木病院	0	0	3	0	3
医療法人社団アルベン会アルベリハビリテーション病院	0	0	15	0	15	医療法人社団健心会 坂東病院	0	0	4	0	4
医療法人社団寿山会 あおい病院	0	0	3	0	3	医療法人社団萩野医院	0	0	4	0	4
池田リハビリテーション病院	0	0	12	1	13	姫野病院	0	0	1	0	1
医療法人社団博啓会 アイ・クリニック	3	0	1	0	4	医療法人社団秋桜 丸川病院	0	0	22	4	26
あいARTクリニック	0	0	2	0	2	政岡内科病院	0	0	7	0	7
医療法人社団悠心会 うさかクリニック	0	0	1	0	1	特定医療法人社団三医会 三輪病院	0	0	9	0	9
医療法人社団あずさ会 駅南あずさ病院	0	0	3	0	3	南富山中川病院	0	0	4	0	4
医療法人社団アルベン会アルベン山谷クリニック	0	0	1	0	1	医療法人社団藤聖会 八尾総合病院	0	0	25	0	25
医療法人社団啓愛会 小矢部大家病院	0	0	0	1	1	医療法人社団矢野神経内科医院	0	0	1	0	1
医療法人社団基伸会 栗山病院	0	0	1	0	1	特定医療法人財団博仁会 横田記念病院	0	0	26	5	31
かんすいこうえんレディースクリニック	0	3	0	0	3	医療法人社団友愛病院会 友愛温泉病院	0	0	8	0	8
けやきひふ科	0	0	1	0	1	医療法人社団親和会富山西リハビリテーション病院	0	0	41	4	45
くれよん在宅クリニック	0	0	1	0	1	医療法人社団秀林会 吉見病院	0	0	1	0	1
医療法人社団友愛病院会 黒部温泉病院	0	0	5	0	5	医療法人社団吉本レディースクリニック	0	11	3	3	17
特定医療法人財団五省会 西能病院	0	0	70	4	74	医療法人社団友愛病院会 陽和温泉病院	0	0	3	0	3
特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院	0	0	28	2	30	南砺市平診療所	0	0	1	0	1
医療法人真生会 真生会富山病院	0	0	161	2	163	富山県厚生部医務課	2	0	1	0	3
常願寺病院	0	0	6	0	6	富山県厚生部障害福祉課	1	0	0	0	1
医療法人社団桜井病院	0	0	6	0	6	富山県厚生部健康課	10	0	0	0	10
医療法人社団平成会 桜井病院	0	0	3	0	3	富山県厚生部厚生企画課	1	0	0	0	1
医療法人社団重仁 佐々木病院	0	0	1	0	1	富山県厚生部高齢福祉課	3	0	0	0	3
セーナー苑診療所	0	0	9	1	10	富山県経営管理部人事課	1	0	0	0	1
医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院	0	0	68	1	69	富山県高岡厚生センター	14	0	0	0	14
医療法人明心会 柴田病院	0	0	2	0	2	富山県新川厚生センター	9	0	0	0	9
医療法人社団志貴野会 サンパリー高岡病院	0	0	11	0	11	富山県新川厚生センター 魚津支所	4	0	0	0	4
医療法人社団志貴野会 サンパリー福岡病院	0	0	3	0	3	富山県中部厚生センター	8	0	0	0	8
医療法人社団仁敬会 坂本記念病院	0	0	2	0	2	富山県砺波厚生センター	10	0	0	0	10
医療法人社団清幸会 島田病院	0	0	2	0	2	富山県高岡厚生センター 射水支所	3	0	0	0	3
医療法人社団マイクリニックさたけ産婦人科	0	6	7	1	14	富山県砺波厚生センター 小矢部支所	4	0	0	0	4

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
富山県高岡厚生センター氷見支所	6	0	0	0	6	ものがたり訪問看護ステーション	0	0	2	0	2
富山県心の健康センター	3	0	0	0	3	もみじ訪問看護ステーション	0	0	7	0	7
富山県がん総合相談支援センター	0	1	3	0	4	東岩瀬訪問看護ステーション	0	0	1	0	1
富山県高岡児童相談所	2	0	0	0	2	光風会訪問看護ステーション	0	0	8	0	8
富山県立砺波学園	1	0	0	0	1	訪問看護ステーションままアシスト	0	0	3	0	3
富山県立高志支援学校	0	0	1	0	1	アモール訪問看護ステーション	0	0	1	0	1
富山市福祉保健部介護保険課	2	0	0	0	2	アルペン室谷訪問看護ステーション	0	0	1	0	1
富山市福祉保健部障害福祉課	4	0	0	0	4	訪問看護ステーションジョジョ	0	0	1	0	1
富山市福祉保健部長寿福祉課	6	0	1	0	7	高志訪問看護ステーション	0	0	4	0	4
富山市役所こども支援課	0	0	1	0	1	訪問看護ステーションゆりかご	2	0	5	0	7
富山市役所こども健康課	10	0	0	0	10	株式会社ラ・ファミュー	0	0	2	0	2
富山市まちなか総合ケアセンター	4	2	4	0	10	中新川訪問看護ステーション	0	0	5	0	5
富山市まちなか総合ケアセンター病児保育室	0	0	1	0	1	訪問看護ステーションほっととやま	0	0	3	0	3
富山市役所保険年金課	1	0	0	0	1	訪問看護ナースソフィアにいかわ	0	0	2	0	2
富山市立堀川保育所	0	0	1	0	1	訪問看護ステーションあぼかど	0	0	2	0	2
富山市立福島保育所	0	0	1	0	1	社会福祉法人梨雲福祉会特別養護老人ホーム梨雲苑	0	0	12	1	13
富山市立愛宕保育所	0	0	1	0	1	特別養護老人ホーム やなせ苑	0	0	3	0	3
富山市保健所	12	0	4	0	16	社会福祉法人特別養護老人ホームおあしす新川	0	0	1	0	1
富山市中央保健福祉センター	13	0	0	0	13	特別養護老人ホームあさひ苑	0	0	1	0	1
富山市大沢野保健福祉センター	5	0	0	0	5	特別養護老人ホーム藤園苑	0	0	3	0	3
富山市大山保健福祉センター	4	0	0	0	4	社会福祉法人喜寿会特別養護老人ホーム七美ことぶき苑	0	0	1	0	1
富山市八尾保健福祉センター	3	0	0	0	3	老人保健施設 白雲荘	0	0	1	0	1
富山市西保健福祉センター	7	0	0	0	7	老人保健施設シルバーケア今泉	0	0	1	0	1
富山市南保健福祉センター	7	0	0	0	7	大沢野老人保健施設 かがやき	0	0	1	0	1
富山市北保健福祉センター	10	0	0	0	10	特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設みどり苑	1	0	8	4	13
高岡市福祉保健部	26	0	0	0	26	介護老人保健施設さくら苑	0	0	1	0	1
朝日町役場 健康福祉課	1	0	0	0	1	入善老人保健施設こぶしの庭	0	0	5	0	5
入善町保健センター	6	0	0	0	6	医療法人社団藤聖会上市老人保健施設つるぎの庭	0	0	1	0	1
黒部市役所	15	0	0	0	15	介護老人保健施設シルバーケア羽根苑	0	0	1	0	1
魚津市健康センター	8	0	0	0	8	介護老人保健施設おおぞら	0	0	10	2	12
魚津市役所社会福祉課	6	0	0	0	6	介護老人保健施設チューリップ苑	0	0	6	0	6
滑川市民健康センター	6	0	0	0	6	八尾老人保健施設風の庭	0	0	10	4	14
滑川市役所 福祉介護課	5	0	0	0	5	介護老人保健施設ゆうゆうハウス	0	0	1	0	1
上市町役場福祉課	5	0	1	0	6	社会福祉法人三寿会 ケアハウス三寿荘	0	0	1	0	1
立山町健康福祉課	12	0	0	0	12	養護老人ホーム志貴野長生寮	0	0	1	0	1
舟橋村役場生活環境課	3	0	0	0	3	特定非常利活動法人デイサービスこのゆびとーまれ	0	0	2	0	2
中新川広域行政事務組合介護保険課	2	0	1	0	3	富山型デイサービスくわの里	0	0	1	0	1
ふなほしこども園	0	0	1	0	1	社会福祉法人くるみ	0	0	1	0	1
砺波市健康センター	18	0	0	0	18	社会福祉法人新川むつみ園	0	0	1	0	1
南砺市健康課保健センター	8	0	0	0	8	富山福祉短期大学	1	2	2	0	5
南砺市役所健康課	2	0	0	0	2	公立大学法人富山県立大学看護学部看護学科	6	9	39	0	54
南砺市役所こども課	1	0	0	0	1	富山県立富山いずみ高等学校 看護科	0	1	13	0	14
南砺市立福光どんぐり保育園	1	0	0	0	1	富山県立総合衛生学院	4	3	9	0	16
南砺市地域包括支援センター	1	0	0	0	1	富山赤十字看護専門学校	0	1	2	0	3
南砺市五箇山在宅介護支援センター	1	0	0	0	1	富山市立看護専門学校	1	1	9	0	11
小矢部市民生部健康福祉課	14	0	0	0	14	富山市医師会看護専門学校	0	2	14	0	16
氷見市役所	13	0	0	0	13	公益社団法人砺波医師会 砺波准看護学院	0	1	3	0	4
射水市保健センター	23	0	0	0	23	富山医療福祉専門学校	0	1	8	0	9
富山県健康増進センター	5	0	5	0	10	富山県高岡看護専門学校	3	3	20	0	26
北陸予防医学協会	0	1	0	0	1	富山病院附属看護学校	0	0	5	0	5
富山市医師会健康管理センター	4	0	4	0	8	学校法人富山国際学園富山短期大学	1	0	0	0	1
北陸予防医学協会高岡総合健診センター	0	1	0	0	1	公益社団法人富山県看護協会	1	1	10	0	12
一般社団法人高岡市医師会	0	1	0	0	1	訪問看護ステーションひよどり	0	0	8	0	8
一財)北陸予防医学協会とやま健診プラザ	0	0	1	0	1	神明・五福地域包括支援センター	1	0	1	0	2
北陸電力株式会社富山健康管理センター	4	0	0	0	4	訪問看護ステーションひよどり富山	0	0	9	0	9
JFEマテリアル株式会社	1	0	0	0	1	富山県看護連盟	1	0	3	0	4
介護施設 日和野	0	0	1	0	1	ひよどり富山居宅介護支援事業所	0	0	2	0	2
高岡市医師会訪問看護ステーション	2	0	3	0	5	(順不同)					
氷見訪問看護ステーション	0	0	7	0	7						
滑川市医師会訪問看護ステーション	0	0	1	0	1						
南砺市訪問看護ステーション	0	0	17	0	17	会員施設 (241施設)	472	353	7,282	100	8,207
朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション	0	0	3	0	3	個人会員	26	35	510	15	586
訪問看護ステーションほのぼの	0	0	5	0	5						
下新川郡医師会 黒部訪問看護ステーション	0	0	1	0	1	合計	498	388	7,792	115	8,793
社会福祉法人富山城南しみずまち敬寿苑訪問看護ステーション	1	0	3	0	4						
ボラリス訪問看護ステーション	0	0	1	0	1						

令和2年度 受賞者名簿

種 別	受賞者	所属（表彰時）
秋の叙勲 瑞宝双光章	下 崎 ふみ子	元 富山県済生会高岡病院
秋の叙勲 瑞宝単光章	家 城 美和子	元 富山市立富山市民病院
	南 部 一二三	元 富山家庭裁判所
日本看護協会会長表彰	井 上 享 子	アイ・クリニック 元 富山市福祉保健部
	松 原 直 美	元 市立砺波総合病院
富山県知事部門功労表彰	高 三 由紀子	元 立山町役場
	塚 原 千恵子	医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院
	中 川 美都子	元 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	中 嶋 育 美	あさひ総合病院
	三日市 麻紀子	国立大学法人富山大学附属病院
富山県看護協会会長表彰	伊 東 宏 美	黒部市民病院
	金 和 みづほ	富山県立中央病院
	谷 崎 志津子	富山市福祉保健部北保健福祉センター
	千 田 昌 代	富山県済生会富山病院
	廣 上 ひとみ	元高岡市民病院
	藤 川 揚 子	高志ライフケアホーム
	松 井 紀 子	特別養護老人ホームやなぜ苑 (元 市立砺波総合病院)
	村 本 康 子	富山県済生会高岡病院
	吉 田 智 子	富山県新川厚生センター魚津支所
渡 辺 富美子	元 厚生連滑川病院	

令和 2 年度 富山県看護協会 役員及び委員名簿

●役員（25名）

役職名	氏名	施設名
会長	松原直美	公益社団法人富山県看護協会
副会長	井上享子	医療法人社団博啓会アイ・クリニック
副会長	稲村陸子	富山県立総合衛生学院
専務理事	向野勝美	公益社団法人富山県看護協会
常任理事	田村雅子	公益社団法人富山県看護協会
保健師 職能理事	越坂裕子	富山県高岡厚生センター
助産師 職能理事	岡本里美	富山県立中央病院
看護師 職能I理事	千田昌代	富山県済生会富山病院
看護師 職能II理事	中島房代	光ヶ丘病院
監事	竹澤和美	南砺市民病院
〃	三日市麻紀子	国立大学法人富山大学附属病院
〃	河村拓栄	河村公認会計士事務所
理事	秋山朝子	厚生連高岡病院
〃	安倍淑子	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
〃	岩城光子	厚生連滑川病院
〃	浦野妃路美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
〃	小倉里美	市立砺波総合病院
〃	金岡亨子	小矢部市民生部健康福祉課
〃	境信子	富山市立富山市民病院
〃	渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
〃	高木雅美	金沢医科大学氷見市民病院
〃	高山由紀子	黒部市民病院
〃	森太貴子	富山赤十字病院
〃	米山美智代	高岡市民病院
〃	野口翔也	医療法人社団藤聖会富山西総合病院

●保健師職能委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
石田美奈	富山県高岡児童相談所
小野江恵	黒部市健康増進課
金兵留美	南砺市地域包括支援センター
黒田綾子	舟橋村役場生活環境課
○田中恵美子	富山市まちなか総合ケアセンター
中村有紀	射水市子ども子育て総合支援センター子ども発達相談室
藤塚宏美	富山市医師会健康管理センター
谷内奈央	富山県中部厚生センター

●助産師職能委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
小川成美	黒部市民病院
片林雅代	富山赤十字病院
竹澤玲美	高岡市民病院
武田ひとみ	富山市立富山市民病院
當波かおり	富山県立中央病院
鍋田祐美子	医療法人社団吉本レディースクリニック
野末緑	厚生連高岡病院
○林貴子	市立砺波総合病院

●看護師職能I委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
白田喜美子	富山市立富山市民病院
大坪幸代	国立大学法人富山大学附属病院
中林明子	富山県立中央病院
○深田智美	高岡市民病院
二谷鶴美	富山県済生会高岡病院
細木美奈子	厚生連高岡病院
吉田明実	黒部市民病院
田中美雪	あさひ総合病院

●看護師職能II委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
佐々木志津恵	流杉病院
柴田恵子	訪問看護ステーションジョジョ
浄聖陽子	医療法人社団藤聖会上市老人保健施設つぎの庭
仲俣拓	社会福祉法人三寿会 ケアハウス三寿荘
○西野崇乃	射水市民病院
村上久美子	池田リハビリテーション病院
吉田隆子	南砺市訪問看護ステーション
宮木貴英	介護老人保健施設おおぞら

●総務委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
岡本慶子	あさひ総合病院
窪谷真弓	特定医療法人財団五省会 西能病院
◎橋場香	富山市立富山市民病院
○花島宏子	市立砺波総合病院
堀井由紀	富山市大沢野保健福祉センター
松本千恵	高岡市民病院
松柳 齊	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
○渡辺 義美	射水市民病院

●教育委員（18名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
荒川由紀美	富山市医師会看護専門学校
石堂美果	あさひ総合病院
栄前田美穂子	南砺市民病院
久和恵子	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
京角修治	富山県高岡看護専門学校
○駒見恵子	富山赤十字病院
◎酒井和子	国立大学法人富山大学附属病院
清水好志美	富山市立富山市民病院
中田智恵	富山市南保健福祉センター
能登恵子	富山県新川厚生センター
○濱田裕子	黒部市民病院
平野貢三子	金沢医科大学氷見市民病院
藤井里美	かみいち総合病院
堀田桂江	市立砺波総合病院
水口直美	富山県立中央病院
吉川和美	厚生連高岡病院
力示安希子	特定医療法人財団五省会 西能病院
和田 薫	高岡市民病院

●広報委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
赤井明代	厚生連滑川病院
黒崎由紀子	国立大学法人富山大学附属病院
米納由希子	不二越病院
澤村美和子	射水市民病院
◎下村由美	富山県済生会高岡病院
辻川美穂	富山市中央保健福祉センター
堂田恵子	富山県済生会富山病院
○殿谷智子	富山県立中央病院
松田香織	富山赤十字病院
山越千恵	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

●社会経済福祉委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
◎岩崎純一	独立行政法人国立病院機構 富山病院
太田真由美	かみいち総合病院
○佐伯京美	富山県立中央病院
中村香	医療法人真生会 真生会富山病院
西村ゆかり	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
林悠佳	富山市立富山まちなか病院
星子みゆき	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
向山忍	公立学校共済組合 北陸中央病院

●看護倫理委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
○石倉恵美	厚生連高岡病院
石崎薫恵	市立砺波総合病院
◎荻野博美	黒部市民病院
中西美雪	富山県済生会高岡病院
安栄千鶴子	富山赤十字病院

●医療安全委員（6名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
太田絹子	金沢医科大学氷見市民病院
高島早苗	黒部市民病院
◎富崎真由美	国立大学法人富山大学附属病院
中井博子	富山市立富山市民病院
原 香	公立南砺中央病院
○森本桑子	高岡市民病院

●災害看護委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
有田幸子	市立砺波総合病院
飯澤 泉	高岡市民病院
○酒井貴代美	富山県立中央病院
谷越千代美	黒部市民病院
◎樋口正樹	富山市立富山市民病院

●学会委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
岩村徳子	富山赤十字看護専門学校
鹿島美友紀	国立大学法人富山大学附属病院
川東由加利	厚生連高岡病院
◎小林孝子	富山市立富山市民病院
高畑聖子	富山県立総合衛生学院
長瀬佐知子	市立砺波総合病院
○三枝和香子	富山県高岡看護専門学校
山本雅子	富山県立中央病院

●選挙管理委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
糀屋知美	富山県済生会高岡病院
○瀬山尚子	富山県立中央病院
中湊磨貴子	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
◎長美千代	富山市八尾保健福祉センター
向千春	金沢医科大学氷見市民病院

●推薦委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
◎浦田裕未	国立大学法人富山大学附属病院
○越坂裕子	あさひ総合病院
沢田朋子	富山県済生会富山病院
条谷直美	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
西村美奈子	公立南砺中央病院
南英理子	独立行政法人国立病院機構 富山病院
矢木恭江	入善町元気わくわく健康課
山田晴子	富山県砺波厚生センター
山本佳世子	高岡市福祉保健部 保険年金課
渡辺純子	市立砺波総合病院

認定看護管理者教育課程 教育運営委員（9名）

氏名	施設名
三日市 麻紀子	富山大学附属病院
岡本 里美	富山県立中央病院
米山 美智代	高岡市民病院
高山 由紀子	黒部市民病院
満間 信江	富山赤十字看護専門学校
西谷 美幸	富山大学
利田 智恵	富山県厚生部医務課
田村 雅子	富山県看護協会
柳平 洋子	富山県看護協会

新人看護職員研修推進会議 委員（10名）

氏名	施設名
岡本 里美	富山県立中央病院
原田 洋美	特定医療法人財団五省会 西能病院
田中 美智子	医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院
小倉 里美	市立砺波総合病院
高山 由紀子	黒部市民病院
境 信子	富山市立富山市民病院
満間 信江	富山赤十字看護専門学校
長谷川 徹	富山県医師会
佐藤 尚	医療法人社団藤聖会富山西総合病院
松原 直美	富山県看護協会

新たな認定看護師教育のあり方検討会（13名）

氏名	施設名
岡本 里美	富山県公的病院看護部長総看護師長協議会（富山県立中央病院）
高山 由紀子	黒部市民病院
三日市 麻紀子	富山大学附属病院
森 太貴子	富山赤十字病院
米山 美智代	高岡市民病院
竹澤 和美	南砺市民病院
小倉 里美	市立砺波総合病院
藤岡 敦子	富山西総合病院
利田 智恵	富山県厚生部医務課
松原 直美	富山県看護協会
稲村 睦子	富山県看護協会(富山県立総合衛生学院)
向野 勝美	富山県看護協会
田村 雅子	富山県看護協会

オンライン研修検討会（10名）

氏名	施設名
安倍 淑子	富山労災病院
高山 由紀子	黒部市民病院
森 太貴子	富山赤十字病院
米山 美智代	高岡市民病院
小倉 里美	市立砺波総合病院
松原 直美	富山県看護協会
稲村 睦子	富山県看護協会(富山県立総合衛生学院)
向野 勝美	富山県看護協会
田村 雅子	富山県看護協会
米道 智子	富山県看護協会

富山県ナースセンター事業運営委員会（14名）

氏名	施設名
永原 和久	富山県厚生部医務課
岡本 里美	富山県立中央病院
加藤 真理子	富山赤十字訪問看護ステーション
西田 寿美恵	富山県市長会
米山 美智代	高岡市民病院
高山 由紀子	黒部市民病院
野田 八嗣	富山県済生会高岡病院
長谷川 徹	富山県医師会
原田 洋美	特定医療法人財団五省会 西能病院
竹澤 和美	南砺市民病院
富田 誠	富山労働局職業安定部
池田 浩郎	富山県社会福祉協議会
越坂 裕子	富山県高岡厚生センター
河西 恵子	富山市医師会看護専門学校

富山県看護協会ワーク・ライフ・バランス推進委員会（12名）

氏名	施設名
越田 美穂子	公立大学法人富山県立大学
中川 浩一	富山県社会保険労務士会
坂本 奈緒子	かみいち総合病院
谷村 一美	公立南砺中央病院
原田 洋美	特定医療法人財団五省会 西能病院
高嶋 峰子	富山医療生活協同組合 富山協立病院
渋谷 美保子	富山県済生会高岡病院
岩崎 純一	独立行政法人国立病院機構富山病院
岩城 隆純	富山県厚生部医務課
松原 直美	富山県看護協会
向野 勝美	富山県看護協会
松嶋 瞳	富山県看護協会 ナースセンター

訪問看護事業検討委員会（12名）

氏名	施設名
井川 晃彦	富山県医師会
高原 啓生	富山県介護支援専門員協会
岡本 里美	富山県立中央病院
加藤 真理子	富山赤十字訪問看護ステーション
北川 洋子	訪問看護ステーションひよどり富山
炭谷 靖子	富山福祉短期大学
佐伯 和子	富山県立大学
二口 良伸	富山県社会保険労務士会
永井 利夫	富山県中小企業診断協会
中井 裕	富山県厚生部高齢福祉課
永原 和久	富山県厚生部医務課
松原 直美	富山県看護協会

訪問看護ステーション新卒看護師育成検討ワーキング（5名）

氏名	施設名
岡本 里美	富山県立中央病院
加藤 真理子	富山赤十字訪問看護ステーション
満間 信江	富山赤十字看護専門学校
炭谷 靖子	富山福祉短期大学
松原 直美	富山県看護協会

令和2年度 支部役員名簿

支 部	担当理事	支 部 長	副支部長	会 計	役 員
黒部・魚津	⑩高山 由紀子 (黒部市民病院)	⑩江田 昌江 (魚津市健康センター)	⑩佐々木 孝子 (黒部市介護老人 保健施設カリエール)	⑩吉田 喜代美 (独立行政法人労働者健康 安全機構富山労災病院)	⑩福森 夏樹 (入善町保健センター)
富山東 富山北		⑩高嶋 峰子 (富山医療生活協同組合)	⑩船木 恵 (富山市立富山まちなか病院)	⑩川向 正美 (富山県立中央病院)	⑩郷谷 さと美 (富山赤十字病院) ⑩浜井 晴美 (富山県済生会富山病院) ⑩澤武 美穂 (富山市北保健福祉センター)
富山西南 富山南	⑩森 太貴子 (富山赤十字病院)	⑩相澤 幸子 (医療法人社団和敬会 谷野具山病院)	⑩藤根 優子 (富山市西保健福祉センター)	⑩塚田 信子 (流杉病院)	⑩中村 陽子 (国立大学法人 富山大学附属病院) ⑩山口 麻知 (医療法人社団藤聖会 富山西総合病院) ⑩田中 裕美 (富山市立富山市民病院)
上 市		⑩岡部 陽子 (富山県中部厚生センター)	⑩山本 久美子 (かみいち総合病院)	⑩高橋 まゆ子 (厚生連滑川病院)	⑩林 ひろえ (かみいち総合病院)
高岡・射水・ 氷見	⑩米山 美智代 (高岡市民病院)	⑩松島 淳子 (射水市民病院)	⑩田井 雅代 (独立行政法人地域医療機能 推進機構高岡ふしき病院) ⑩河上 裕子 (高岡市民病院)	⑩森 朋子 (富山県済生会高岡病院)	⑩鹿島 桃子 (富山県高岡厚生センター) ⑩沖崎 美希 (氷見市健康課子育て世代 包括支援センター) ⑩八十嶋 佳織 (射水市保健センター) ⑩吉田 さおり (厚生連高岡病院) ⑩川合 洋子 (金沢医科大学氷見市民病院) ⑩浅野 恵美子 (医療法人真生会 真生会富山病院) ⑩田中 美佳子 (医療法人社団整志会 沢田記念高岡整志会病院) ⑩山本 智子 (真生会訪問看護 ステーションこころ)
砺波・小矢部	⑩小倉 里美 (市立砺波総合病院)	⑩塚本 奈穂美 (砺波市健康センター)	⑩井上 泰子 (独立行政法人国立病院機構 北陸病院) ⑩石田 一美 (公立学校共済組合 北陸中央病院)	⑩中井 陽子 (公立南砺中央病院) ⑩中谷 栄里子 (市立砺波総合病院)	⑩小竹 昌子 (南砺市民病院) ⑩桃井 成子 (富山県砺波厚生センター)

令和3年度日本看護協会通常総会
代議員及び予備代議員名簿

(五十音順)

No.	代 議 員			予 備 代 議 員		
	職種	氏 名	勤 務 先	職種	氏 名	勤 務 先
1	保	江 田 昌 江	魚津市地域包括支援センター	看	相 澤 幸 子	医療法人社団和敬会 谷野呉山病院
2	助	岡 本 里 美	富山県立中央病院	看	稲 村 睦 子	富山県立総合衛生学院
3	保	越 坂 裕 子	富山県高岡厚生センター 氷見支所	保	井 上 享 子	医療法人社団博啓会 アイ・クリニック
4	看	田 村 雅 子	公益社団法人富山県看護協会	看	尾 田 愛	公立学校共済組合 北陸中央病院
5	看	千 田 昌 代	富山県済生会富山病院	助	武 田 ひとみ	富山市立富山市民病院
6	看	中 島 房 代	光ヶ丘病院	保	田 中 恵美子	富山市まちなか 総合ケアセンター
7	准	野 口 翔 也	医療法人社団藤聖会 富山西総合病院	准	田 中 美 雪	あさひ総合病院
8	看	林 泰 治	特定医療法人財団五省会 西能病院	看	西 野 崇 乃	射水市民病院
9	看	二 谷 鶴 美	富山県済生会高岡病院	保	向 野 勝 美	公益社団法人富山県看護協会

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策研修会

保健師職能委員会

- 1 日時 令和2年8月22日(土) 13:30～16:20
2 場所 富山県看護研修センター
3 内容 講義Ⅰ「新型コロナウイルス感染症の基礎と保健所(厚生センター)と市町村との連携」
富山県高岡厚生センター 所長 守田 万寿夫 氏
講義Ⅱ「保健事業における感染対策を見直し改善へ」
高岡市健康増進課(感染管理認定看護師) 廣上 ひとみ 氏
4 参加者 26名
経験年数(回答者22名)

5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	未記入
3	1	1	4	7	5	1

5 講義の概要

(1) 講義Ⅰ

- ・新型コロナウイルス感染症の基礎(国内発生動向や症状・経過)や保健所・厚生センターにおける対応(相談・受診の目安、濃厚接触者の基準と対応、検査)等について講義
- ・感染可能期間は発症2日前から発症後7～10日で、診断を受けた時には2次感染が起きている可能性がある。感染者発生時の対応では初動(スタートダッシュ)が極めて重要。最大の敵は噂や中傷の拡散(SNS)
- ・感染者を早期に把握しクラスターの発生を防ぐため、また職員が職場にウイルスを持ち込まないようにするために、職場の健康管理・情報連絡体制の整備が必要

(2) 講義Ⅱ

- ・感染対策の考え方には以下の2つがあり、根拠を持った感染対策を実践することが重要
- ①全ての患者に行う「標準予防策」:手指衛生、個人防護具の適切な使用、咳エチケット、患者に使用した機材の取り扱い、環境の維持管理、リネン類の取り扱い、労働者の安全等
- ②特定の感染症(疑い含む)がある人に対して標準予防策に追加して行う「感染経路別予防策」
- ・実際に高岡市における保健事業において、感染対策を見直して取り組んでいる内容について講義(布エプロンからディスポーザブルエプロンへの変更、感染対策マニュアルや基準・手順の作成)

6 研修に対する評価

受講後アンケート結果(回答者22名)

項目		項目	
① 知識が整理できた	16	② 自己のニーズが満たされた	1
③ アイデアが得られた	7	④ 思考が明確になった	5
⑤ 実践に活かしてみたい	14	⑥ 問題解決の糸口が得られた	4
⑦ リフレッシュになった	0	⑧ 充実感が得られた	1
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

7 まとめ

新型コロナウイルス感染症対策の基礎を学ぶとともに、感染対策を講じた上での保健事業等の取組みの実際を知り、自身の職場において取組みを考える際に活かすことのできる研修であった。

令和2年度 人材育成研修報告

保健師職能委員会

- 1 **ねらい** 対象者のやる気や潜在能力を引き出すコーチングの考え方やスキルを（特に質問スキルを中心に）学ぶ
- 2 **日時** 令和2年10月31日(土) 9:00～12:00
- 3 **場所** 富山県看護研修センター
- 4 **内容** 講義・演習「“問う”チカラ Let's Try コーチング」
～相手の意欲と行動を引き出すために～
講師 国際コーチ連盟（ICF）アソシエイト認定コーチ
ギャラップ認定ストレングスコーチ 遊道直美 氏

- 5 **参加者**：24名
実務経験年数（回答者24名）

5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	合計
9	3	4	3	1	2	2	24

6 講義の概要

- ・コーチングとは、相手の本来持っている能力、強み、個性を引き出し、目標実現や問題解決するために自発的行動を促すコミュニケーション技術。代表的なスキルは、認める、聴く、質問する、伝えるなど。
- ・行動を促すコミュニケーションのプロセスには、ステップ1安心感を創る、ステップ2自信を育む、ステップ3行動を促すことが重要である。
- ・「安心感」を創るためには、話しやすい環境づくり、聴き上手になる（うなずき、あいづちなど意識しながら一所懸命聴こうとする）、相手を認める（結果、事実、存在の承認）。
- ・「自信」を育むためには、コミュニケーションのタイプを知り、人と人との違いを理解した上で、相手に関心をもち、相手を理解する。
- ・行動を促すためには、前向き言葉を使う。コーチングにおける質問は「相手のため」というスタンスであることを理解しつつ、相手が前向き思考になるような「肯定型」で、「可能性」と「未来」に焦点をあてた質問を使うことが必要である。

7 研修に対する評価

研修後のアンケート結果（回答者24名 複数回答）

項目		項目	
① 知識が整理できた	13	② 自己のニーズが満たされた	4
③ アイデアが得られた	10	④ 思考が明確になった	6
⑤ 実践に活かしてみたい	21	⑥ 問題解決の糸口が得られた	3
⑦ リフレッシュになった	3	⑧ 充実感が得られた	4
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

8 まとめ

業務のみならず、職場間でのコミュニケーションを円滑にするうえでも、十分に活かすことが出来る研修であったと感じた。

実際、研修ではまず今回の研修で何を得たいか目的意識を持って望むという導入から始まり、テーマごとに学んだこと、実践したいことを個々が振り返り、演習も交えながら行ったことで、参加者一人ひとりが実践的で身をもって感じられた研修であったと思われる。

アンケート結果から「コーチング、ティーチングは繰り返して講義を続けて欲しい」という意見があったように、繰り返し行うことがスキルの習得に繋がると考えるため、再度開催を期待したい。

令和2年度 富山県看護協会 保健師職能委員会研修 保健指導ミーティング～支援困難事例へのアプローチ～

保健師職能委員会

- 1 日時 令和2年11月7日(土) 9:00～12:00
- 2 場所 富山県看護研修センター
- 3 内容 講義・グループワーク「現場で遭遇する処遇困難事例へのアプローチを学ぶ」
講師 富山県立大学看護学部地域看護学
教授・博士(保健学) 越田 美穂子 氏
- 4 参加者 保健師42名
経験年数 (回答者37名)

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	合計
4	2	2	4	9	5	11	37

5 講義の概要

- ・ 処遇困難事例とは、個人的要因、社会的要因、不適応な対応の発生要因の内、2つ、もしくは3つの要因が重なり、困難性が増幅した事例をいい、要因が重なれば重なるほど困難性が高まる。
- ・ 支援をする際は、エコマップを活用すると、家族と社会との関係性が図式化され、事例を取巻く人間関係や資源等明らかになるため有効である。
- ・ 支援をする際は、ケースと支援者には異なる思いや考え方が存在することを理解した上で、ケースを主役にした支援を考えることが必要である。
- ・ ケースと関わる際には、抱え込まないこと、支援にも限界があることを念頭におきながら、支援者ネットワークを構築し、最後まで支援しきる経験を積み重ねることでスキルアップにつながる。

6 研修に対する評価

研修後のアンケート結果 (回答者37名、複数回答)

項目	回答数	項目	回答数
① 知識が整理できた	27	② 自己のニーズが満たされた	5
③ アイデアが得られた	14	④ 思考が明確になった	16
⑤ 実践に活かしてみたい	17	⑥ 問題解決の糸口が得られた	16
⑦ リフレッシュになった	15	⑧ 充実感が得られた	5
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

7 まとめ

- ・ 講義にて、処遇困難事例の特性や情報収集方法、アセスメント手法を学んだ上で、各参加者の事例についてグループに分かれて話し合った。グループで事例を共有することにより、講義内容を照らし合わせながら、事例への関わりを深めることができた。

令和2年度 保健師・助産師職能委員会合同研修 ～発達障害児への支援を学ぶ～

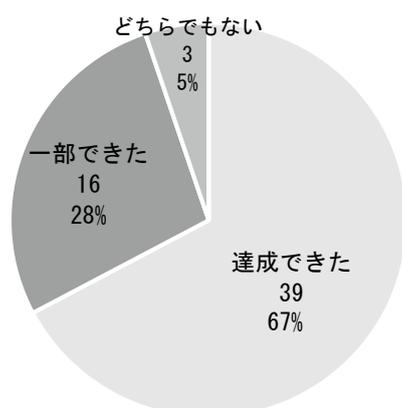
保健師・助産師職能委員会

- 1 **ねらい** 発達障害についての講義を聞き、新生児期から乳幼児期の発達・行動の特性や支援の方法を理解し、それぞれの職種の立場からどのように支援できるかを学ぶ。
- 2 **日時** 令和2年8月22日(土) 9:00～12:00
- 3 **場所** 富山県看護研修センター
- 4 **内容** 講義 「発達障害の早期発見早期支援 ～発達障害児への支援を学ぶ～」
講師 富山県発達障害者支援センター ほっぷ 相談支援専門員 永田香奈子先生
- 5 **参加者** 58名
参加者背景
(1) 職種 保健師：32名、助産師：15名、看護師：11名
(2) 経験年数

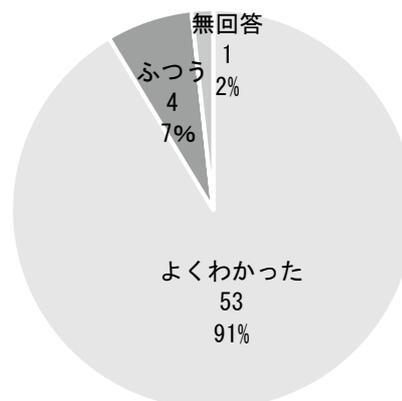
0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
28	5	8	4	4	7	2

6 研修会に対する評価 (アンケート回収(回収率100%):58名より)

研修目的の達成度



講義・演習について



7 講義の要素及びまとめ

発達障害のうち、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害はすべて共通の特徴がある「連続体(スペクトラム)」とされ、自閉症スペクトラム症(ASD)と呼ばれるようになった。ほとんどのASDでは、生後18～24か月で早期兆候が認められるため、乳幼児健診での早期発見・早期支援が重要となる。1歳6か月健診では、社会性の発達がスクリーニングとなり、対人コミュニケーション行動を直接観察して確認する。発達障害児への支援には、不登校やいじめ、ひきこもりなどの二次障害の予防と保護者支援が重要である。子どもが生活しやすくなるためには何が必要かを考え、親が前向きに子育てできるように支援する。また、子どもの「わかる、できる、楽しい」を大切にしながら、できることや得意なことを認めて褒め、自己肯定感を育てていく。

発達障害児の行動の特徴と早期発見のためのポイントを学び、実際の健診場面に活かせる知識を得られた。また、子どもと家族に寄り添い、対象を理解しながら、子どもの支援とともに親を支える関わりが重要であると学んだ。

令和2年度 「いのちの教室」実践報告

助産師職能委員会

「いのちの教室」は自分の命の大切さを知ると同時に、他者の命の存在に気づき、相互に助け合う尊い心を育むことを目的とした活動である。病院等で働く助産師の人材育成を目的として、平成25年度より各施設の助産師と助産師職能委員会が協働し活動を推進している。

今年度は新型コロナウイルス感染症流行のため、依頼件数が少なかった。

令和2年度「いのちの教室」実施状況（令和2年11月～令和3年2月）

実施年月	実施校	対象者	依頼を受けた窓口	助産師数 (協力病院)
R2.11.5	高岡市立 国吉義務教育学校	7・8年生35人	高岡厚生センター	2 (厚生連高岡病院)
R2.11.20	高岡市立 中田中学校	2年生44人	高岡厚生センター	2 (高岡市民病院)
R2.12.4	高岡市立 福岡中学校	2年生114人	高岡厚生センター	2 (済生会高岡病院)
R2.12.5	滑川市立 田中小学校	3年生34人	滑川市教育委員会	2 (厚生連滑川病院)
R2.12.18	高岡市立 南星中学校	2年生156人	高岡厚生センター	2 (高岡市民病院)
R3.1.26	高岡市立 牧野中学校	2年生78人	高岡厚生センター	2 (厚生連高岡病院)
R3.2.20	滑川市立 西部小学校	4年生70人	滑川市教育委員会	2 (厚生連滑川病院)
R3.2.20	滑川市立 東加積小学校	2年生6人	滑川市教育委員会	2 (厚生連滑川病院)

看護師のクリニカルラダー交流研修会

看護師職能 I 委員会

1 はじめに

2025年に向けて世界に例のない少子・超高齢・多死社会を迎える日本では、医療提供体制の変化に伴い、暮らしと医療を支える看護提供システムの構築が求められている。日本看護協会では個々の看護師が所属する施設の枠にとどまらず、全国レベルで共通した質の高い看護の普及に必要な人材育成の指標として、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を開発し導入を推進している。

昨年度はJNAラダー導入における評価方法を理解するための研修を行った。各病院でのラダー評価について情報を得ることで、自病院が抱える問題解決の糸口につながった。今年度は、各施設の作成から評価に至るまでの考え方について学び、他施設との交流を通して、自施設に活かすための研修会を企画した。

2 目的

他施設のクリニカルラダー進捗状況を共有し、自施設ラダーに活かす

3 対象者

実務経験年数

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	合計
0	2	0	5	6	7	21	41

4 講義内容

1) 「厚生連高岡病院のクリニカルラダー紹介」 講師 副看護部長 堅田知子氏

2016年より委員会を発足し準備に取り組んだ。まず、旧クリニカルラダーの問題を洗い出した。評価票が煩雑になっており、評価者の印象で評価していた。これらを踏まえ新クリニカルラダーを作成するにあたり、救命救急センターを有する3次救急指定病院であること 正確に評価できることを念頭に作成した。各部門ごとのラダーではなく評価項目としてN：実施の機会がなかったという項目を新設した。評価方法としては実践の事例を通して看護記録を見ながら評価する方法とし、記録に記載されていない事柄については、面施時に聴取し評価することとした。2019年度より運用を開始。今後は挑戦者・評価者の負担が大きいいため評価票の見直しと必須研修・課題について検討していく予定である。

2) 「富山県済生会富山病院のクリニカルラダー紹介」 講師 看護部長 浜松めぐみ氏

2018年より、自施設看護部のSWOTクロス分析から強み弱みを出し作成にあたった。済生会の特徴を出すために看護部教育理念・方針・目標・体制の改訂を行った。また、教育担当看護部長が兼任から専任として研修企画・運営を実施することとした。今後は自己研鑽を続けていくことが出来る内的動機づけができる支援体制の強化が必要である。

5 グループワーク・シンポジウム

各施設で悩んでいることや疑問点について様々な意見交換ができていた。シンポジウムでは、旧ラダーから新ラダー移行の際のスタッフの戸惑いの対応については何度も説明を繰り返し周知してもらうことが重要である。移行期の必須研修については厚生連高岡病院では、受講させなかったが、他のスタッフからの不満は聞かれなかった。評価方法・認定方法についてはレベルごとに評価者が変わる。客観的に評価するためには、主任・看護部長など複数名で評価することが重要である。また、評価の理由を評価者が挑戦者にしっかりと伝え、お互いが納得できる評価方法が望まれる。挑戦させる動機づけは入職時から支援していくことが大切である。名札等にレベルを明示するのも意欲向上につながる。

6 まとめ

県内公的病院24施設の内、導入されている施設は15施設、作成中は7施設、これから作成の施設は2施設であった。看護実践能力が全国レベルでの標準化が進む中、各施設のあるべき姿 どのような人材を育てたいかがやはり基本であることを参加者は再確認でき、そのための研修企画・評価方法を考える必要性について学ぶことが出来た。また、他施設のクリニカルラダーを聞くことにより、自施設の課題が明確化され、今後に活かす良い研修となった。

新型コロナウイルス感染症情報交流会

看護師職能 I 委員会

1 はじめに

看護職は新型コロナウイルス感染症（以下、COVID - 19）の第2波がいつ発生するかと不安を抱えながら働いている。感染者が急増した時期に対応してきた教訓を踏まえて第2波に備えることが準用である。そこで、人員配置や病床管理における看護管理、感染者および疑似者の感染対策、また困難な状況で働く看護職へのこころのケアについて情報共有し、各々の施設で今からできることを考えるためにシンポジウムを開催し、COVID - 19の対応の一助とする。

2 新型コロナウイルス感染症情報交流会

日 時：令和2年9月28日(月) 13:30～16:00

参加者：44名

職 種：助産師4名 看護師40名

職位・役割：看護部長6名 副部長7名 師長21名 副師長5名 看護師2名
感染管理認定看護師7名 感染リンクナース・対策委員2名
医療安全管理者1名 （※重複あり）

会 場：富山県看護研修センター

目 的：指定病院、協力病院における新型コロナウイルス感染症感染者および疑似者の対策と看護管理者の情報を共有することで、第2波に備えることができる困難な状況で働く職員がこころの健康を維持するための関わり方を学ぶことができる

研修内容：

講義

(1) 「COVID - 19指定病院における感染対策について」

講師 黒部市民病院 感染管理認定看護師 能登明子氏

(2) 「COVID - 19協力病院における感染対策について」

講師 厚生連滑川病院 感染管理認定看護師 宮坂純香氏

(3) 「COVID - 19に対応した看護師の心のケアについて」

講師 富山赤十字病院 看護副部長 原 浩美氏

シンポジウム

上記講師3名

富山県立中央病院 看護部長 岡本里美氏

富山大学附属病院 副病院長・看護部長 三日市麻紀子氏

(講義内容)

- ・指定医療機関の立場では、マニュアルの20回改訂と勉強会も行い受け入れに備えた。4床から16床に増床を行い、陰圧室ではない場所の空気の流れは施設係と協力して確認を行った。換気時間の短縮を目的に専用器械も導入した。一般入院患者は入院する前から自宅で健康チェックを行うことも開始した。課題は委託業者の介入がなく清掃などすべて看護師が行うことが負担増加となっている。リハビリが必要な患者にも専門的介入がされない為、患者自身でもできる内容も今後考案してもらう必要がある。
- ・協力病院の立場では、専門医・陰圧設備のない状態で病床やゾーニングなど一から検討が始まった。マニュアル整備・動画でのシミュレーション・防護具の着脱訓練を行った。病院の基本方針の発表で使命・職員の感染防止対策・風評被害から守る姿勢を示されている。コロナ陰転化患者の転院を受け入れて、地域との懸け橋を担っている。
- ・看護師の心のケアにおいて、日本赤十字社ホームページの紹介と共に第3の感染症として社会的感染症「嫌悪・差別・偏見」による影響について、管理者として適正なスタッフの厳選と共に、ストレスチェックや個人面談など感謝の意やねぎらいの言葉をかけ、体調や思いを確認し、個別に話を聞く。対応した看護師は使命感・責任感を軸に共に戦う仲間が存在が互いの支えになっていた。こころの健康を維持するための4要素（役割遂行基盤・個人のセルフケア・家族同僚からのサポート・組織からのサポート）を的確に行えているか管理者が介入することも重要である。長期化に備えて、相談しやすい風土づくり・定期的な振り返りや課題や情報も共有を図る必要がある。また、面会禁止における患者・家族の精神的ケアも重要になっていく。
- ・シンポジウムでは富山県立中央病院・富山大学附属病院の看護管理者の立場で1波・2波とでは患者の対応、患者の層も変化があった。病棟を1つ休棟とし、対応スタッフを多く投入した。また、対応に当たったスタッフの入れ替えの際、一般病棟へ配置換え前に10日前後の在宅勤務とした。対応スタッフより、一般病棟で働くスタッフの不満の方が多く、管理者としても配慮が必要である。

3 まとめ

それぞれの立場での話は聴講施設にとって、とても重要かつ参考となる内容であった。シンポジウムで積極的な質問や意見交換があり、長期戦に備えて各施設の立場に応じた対応の一案になると思える交流会となった。

福祉施設に望まれるハラスメント防止研修報告

看護師職能Ⅱ委員会

- 1 **ねらい** 患者、利用者、職員、家族からのハラスメントへの対応・事例をもとに学び、初期対応能力・苦情対応能力のスキルを高める
- 2 **日時** 令和2年9月5日(土) 13:30～16:00
- 3 **会場** 富山県看護研修センター
- 4 **研修内容** 講義「福祉施設におけるハラスメントの防止」
講師：ふくの若葉病院 看護部長 鍛冶本 秀子氏
- 5 **参加者** 15名（病院7名・老人保健施設2名・訪問看護1名・老人福祉施設4名・小規模多機能施設1名）

1) 参加者背景

(1) 職種

保健師	看護師	介護福祉士	合計
1	12	2	15

(2) 実務経験年数

5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	不明	計
0	0	2	2	4	3	3	1	15

6 講義内容

福祉施設では、看護職員と介護職員、若者と熟年者、正規雇用者と非雇用者、日本人と外国人国籍など、多様な人たちが混在している。円滑で良好なコミュニケーションを測り、施設が最も真剣に取り組む問題が「パワーハラスメント」である。

2020年6月1日より、中小企業は、2020年4月1日より、職場におけるハラスメント防止対策が強化されている。

職場におけるパワーハラスメントの防止のために講ずべき措置事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発・相談に応じ、適切に対応するための必要な体制整備をしなければならない。

職場におけるパワーハラスメントに係る事後の迅速かつ適切な対応として、なぜ、パワーハラスメントが起きるのか。全職員にパワーハラスメントに関する研修を行う事が大切である。

7 まとめ

ハラスメント行為は、法令違反である。これに起因する問題に対する労働者の関心と理解を深めることは、事業主及び労働者の責務である。職場におけるパワーハラスメント発生要因を理解し、職場環境の改善対策が必要と思われる。進めるにあたり、トップの指針・実態を把握（アンケート調査など）相談や解決の場を設置する。

働きやすい職場づくり・環境改善・業務や指導法を工夫し、人材育成・人員確保に繋げたい。

施設等における災害への日頃の備えと初動体制の研修会報告

看護師職能Ⅱ委員会

- 1 **ねらい** ・災害対策の基礎知識を学び、それぞれの施設等において、平時の準備をすすめ、初動体制を考えるきっかけとする
・災害時に患者、利用者、職員の命を守る行動について学ぶ

2 **日時** 令和2年11月28日(土) 13:30～16:00

3 **会場** 富山県看護研修センター

4 研修内容

- 1) 講義 「富山県の災害について」～過去の災害・富山県の災害リスク・災害の備え～
講師 富山県総合政策局防災・危機管理課 主幹 長嶋 賢治氏
- 2) 講義 「災害時の看護師の役割」
講師 厚生連高岡病院 医療安全管理部長 赤江 郁子氏

5 **参加者** 29名(病院23名・老人保健施設3名・訪問看護1名・老人福祉施設1名・個人会員1名)

1) 参加者背景

(1) 職種

看護師	准看護師	介護福祉士	介護職	OT	合計
24	1	1	2	1	29

(2) 実務経験年数

5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	不明	計
1	6	3	2	6	6	4	1	29

6 講義内容

「富山県の災害について」の講義は、近年多発する災害が、想定していたが防ぐことができなかつたケースや想定外の大きな災害が多発していることを、近年の日本国内や富山県内の事例をもとに説明された。また、富山県内でリスクの高い災害として①地震、②津波、③風水害、④寄り回り波、⑤豪雪、⑥フェーン現象による火災、⑦火山、⑧原子力があり、これまでに行ってきた政策と、これから強化が必要な対策と課題を、被害予測を基に説明された。

「災害時の看護師の役割」の講義は、ハザードマップを活用した病院や施設の被災予測の実施の重要性と①職員・入院、外来患者等の安全確保、②被災情報の確認、③災害対応レベルの確認を多職種で連携していくことが必要で、どの自然災害の場合でも火災の発生の可能性があること、病院自体が被災をしても、被災者を受け入れる必要があることを念頭に行動することが看護師として重要であること。また、その際の看護師の役割として、受け手の立場から見る看護を遂行し、震災関連死を予防していくことや、看護師は調整能力、コミュニケーション能力、ストレス対応力のスキル向上に努めていくことが重要となる。

7 まとめ

災害に対する最大の敵は、リスクを軽視する「自分自身」であり、過去の経験からの固定概念が被害を拡大させる。特に富山県民は「立山が富山県を守ってくれる」と過信していることが多く、近年増加している想定外の災害があれば、被害は甚大なものになる可能性がある。病院や施設で勤務する看護師は、災害に対応できるスキルの向上に加え、災害が発生した際には①疑わしい時は行動、②最悪の事態を想定、③空振りには許されるが見逃しは許されない、プロアクティブの原則にて行動することが被害を拡大させないためには重要となる。

在宅ケア事例検討会報告

(在宅ケアアドバイザー派遣事業)

看護師職能Ⅱ委員会

1 はじめに

訪問看護師や医療機関の看護職が在宅医療患者・家族の現状やニーズに応じた、質の高いケアが提供できるように支援する研修目標で、今年も5地区8箇所で開催したアンケート内容を報告する。

2 参加状況の推移

(令和・平成)年度	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20
開催回数(回)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	10	10	10	8
参加延べ数(人)	255	281	283	280	221	231	277	219	221	270	223	228	131

3 アンケート結果回答者数223人(回収率87%)

参加者の所属	訪問看護	34%	医療機関	44%	他	22%		
事例検討	役立った	71%	どちらともいえない	13%	役立たない	8%	他	8%
講評	参考になる	81%	どちらともいえない	17%	参考にならない	1%	他	1%

4 日頃感じている不安の軽減や疑問の解決に役立ったか

- ・在宅の意見を聞き、在宅を担う方々の大切さを改めて感じた。在宅の現状を知った。
- ・ACPのタイミングは難しく、悩むことが多いので参考になった。病院でも参考にしたい。
- ・訪問の対人間の難しさは皆共有だと思った。
- ・在宅でのカテーテル管理は情報共有が大切と感じた。
- ・在宅ケアでどのような事が問題になるか知ることが出来た。
- ・サ高住では介護の方が介入されないなので、この事例のように依頼することは難しい。
- ・コミュニケーション方法を学んだ。
- ・困難な方の支援や家族への対応を学べた。
- ・対応困難で介入継続が出来なくなったことがあり、参考になった。
- ・退院時の見極めが大切と感じた。
- ・介護者側に立って、理解困難の問題を探ろうと思った。
- ・生活背景や利用者・家族(介護者)の思いを大切にすることが大事であることを学んだ。
- ・介護者問題(知的障害や引きこもり)など、支援力不足の関わり方を考えることが出来た。
- ・薬の効果を伝えていくことや必要な理由など、十分に説明が大切であると学べた。
- ・病院と訪問看護の両立場から意見が聞けて良かった。
- ・病棟の問題は在宅退院後も続き、退院前に家族背景を把握し、家族負担が減るような関わりが大切。
- ・高齢者や支援体制の弱い患者への対応を学んだ。
- ・担当した患者が退院後どうなっているか気になった。
- ・自尊心を大切にすること、患者にとって何が大切か、何を目標にするか、みんなで共有することが大切。
- ・認知機能低下のある患者の行動をどのように対応すべきかを分かった。
- ・在宅での看取りについて参考になった。看取り時の家族への対応を学んだ。
- ・倫理的問題とそれぞれの立場・思いに寄り添うことが必要と思った。
- ・小児や外国人利用者も増えており、参考になった。

5 医師及びアドバイザーからの講師やレクチャーは参考になったか

- ・非がんの緩和ケアやAPCについて考える機会になった。
- ・具体的で実践しやすい説明で、在宅看護が理解できた。
- ・経験・事例・文献などで対処方法を学んだ。
- ・APCの取り掛かりは医師ということを理解できた。
- ・「ACPは利用者の準備に応じて」のアドバイスが参考になった。
- ・ACPは結果でなく、今後の生活や人生をどうするか？が大切と思った。
- ・退院カンファレンスの必要性、今後の方針を確認、認知症状看護抵抗の対応が参考になった。
- ・指導や情報共有の大切さを改めて感じた。
- ・病院側と在宅支援との情報共有は、在宅ケアでの対応の統一や継続した支援に大切と思った。
- ・在宅困難なケースに対する別角度からの対応方法についてのレクチャーが参考になった。
- ・利用者及び家族（介護者）の背景を十分把握し、介入の必要性や介入方法について学んだ。
- ・訪問看護継続のために状態把握・介入方法の再検討や他機関との連携の重要性を学んだ。
- ・医療面や生活面での連携について参考になった。
- ・利用者や家族の立場に立ち、在宅を理解した上で対応が出来る在宅医の介入が大切と学んだ。
- ・色々な治療法を試すためにも、病院主治医との連携の必要性や大切さを感じた。
- ・理解力の乏しい在宅支援者への関わりについて勉強になった。
- ・支援者である家族の価値観を理解し関わるのが大切であることを学んだ。
- ・患者や家族背景を考え、介入方法選択の必要性について参考になった。
- ・難病の方の意思決定が参考になった。
- ・一番大事なのは本人や家族の苦痛をとること。それぞれの立場を尊重し肯定する事が大切。
- ・どうしたら医学的に安楽でいられるか医学的にきちんと分かるようにする。
- ・認知症・精神疾患と家族支援、ケアカウンセリング、ケアマネの介入・薬の大切さと調整を知った。
- ・県内の介護家族会などの介護者支援の大切さを知った。
- ・医師の介入、地域連携（民生委員の介入）、高齢者虐待予防、レスパイト入院など参考になった。
- ・小児や外国人利用者も増えており、参考になった。

6 今後、在宅ケア事例検討会で取り上げてほしい内容

- ・異なる事例でACPについて取り上げて欲しい。
- ・病棟と連携が難しいケースについて。
- ・多職種連携について。
- ・家族、本人とのコミュニケーションの取り方について。
- ・在宅ケアを利用し、病院看取りをされたケースで再入院を繰り返す事例について。
- ・病院から事例提供してもらい、双方から事例発表を出すととても参考にできると思う。
- ・看取りのケース。在宅で家族への看取りについて説明する際のツールが知りたい。
- ・看取りの期間が長期になり、家族関係が悪くなる事例の対応を知りたい。
- ・難病（ALS）・筋ジス・心不全の末期（ドブタミンの必要な事例）・褥瘡
- ・コロナ患者や濃厚接触者と関わった事例。コロナで面会できず、ケア説明が不十分で退院した事例。
- ・対応困難な事例。家族サポートなく、キーパーソンがない患者への支援方法について。
- ・医療機関と在宅の必要な情報やネグレクト（介護）に対する対応について。
- ・代替栄養（胃瘻・CV）を拒まれ、施設も難しく、自宅介護も拒まれる家族への退院支援について。

7 在宅ケアにおける課題

- ・ ACPのタイミングが状況によって異なることが難しい。
- ・ 「個人情報」で情報がもらえない。指示書で訪問時も、病院の情報不足で連携ができない対応。
- ・ 独居や高齢者二人暮らしへの支援、地域サポート、低所得者へのサポートを学びたい。
- ・ 独居、認知症、ADL低下など支援が必要な方に、家族問題があり、訪問看護だけでは難しい。
- ・ 在宅移行時、訪問看護が介入すれば「管理が万全だ」と期待されることに負担を感じることもある。
- ・ 金銭問題で退院支援が十分出来ないまま退院されるケースが多く、病院内でも解決は難しい対応。
- ・ レスパイトケア入院についての、ケアの不十分さを感じる。
- ・ 災害時、利用者がコロナ感染症にかかった時の対応をどうすればいいか。
- ・ 癌患者の退院時のタイミングについて。
- ・ ICTの利用、働きかた、リモートやテレワークなど、すでに実施しているところの話を聞きたい。
- ・ 認知症患者や発達障害者の関わり方。スキンティアの看護について。
- ・ 妄想・警察介入の家庭トラブルの家族は、施設入所が多くなる。地域に帰りにくい患者の対応。
- ・ 看取りの流れを話し合える関係づくりが大切である。

8 おわりに

在宅事例検討会は、富山県の在宅療養を支える上で必要な知識・情報交換に「役に立っている」「講評が参考になった」と前向きな意見が多かった。

病院・介護・福祉施設・在宅などの領域で働く看護職は、連携の強化と多職種と協働して、ケアの最大効果を出していくことが求められる。この領域で働く看護師の方々から、問題点と課題を発見し、対策できるように、活発な事例検討会を今後も行なっていきたい。

3 職能 4 委員会連携事業報告書

保・助・看 I II 職能委員会

1 目的

日本看護協会の重点政策である「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」に基づき、複雑多重問題を抱えた支援事例をもとに看護職間連携による解決の方策について検討する。

2 内容

日時：令和3年1月16日(土) 13:30～16:00

参加者：職能委員、地区支部委員 33名

施設：病院28名(急性期24名、回復期3名、慢性期1名) 老人保健施設1名
厚生センター1名 市町村行政3名

会場：富山県看護研修センター

講師：富山県済生会富山病院 医療福祉相談室 室長補佐 中川妙子先生

方法：講義及び事例紹介の後、4～5名のグループで事例検討の視点に沿って検討した。

3 アンケート結果：回収数30名(回収率90.9%)

1) 実務経験年数

① 0～4年	1名 (3.3%)	② 5～9年	0名 (0.0%)	③ 10～14年	3名 (10.0%)
④ 15～19年	2名 (6.7%)	⑤ 20～24年	6名 (20.0%)	⑥ 25～29年	9名 (30.0%)
⑦ 30年以上	9名 (30.0%)				

2) 講義の内容

よく分かった	28名 (93.3%)	ふつう	2名 (6.7%)
--------	-------------	-----	-----------

(もっと聞きたかった点)

- ・先生が知っている困難事例について聞きたかった
- ・困難事例に対する介入についてもっと聞きたい
- ・精神科患者(一般病棟入院)の支援も聞きたかった
- ・医療に関係する制度だけでなく生活の支援の制度も知りたい
- ・生保と成年後見は連動している事が多いのでその部分も知りたい

3) 3 職能連携支援検討会の参加

過去に参加	13名 (43.3%)	今回が初めて	17名 (56.7%)
-------	-------------	--------	-------------

4) 目的の達成度

達成できた	19名 (63.3%)	一部できた	8名 (26.7%)
どちらでもない	1名 (3.3%)	無回答	2名 (6.7%)

5) 事例検討の視点

① 誰にとって、何が問題なのか

検討しやすかった	15名 (50.0%)	まあまあ検討出来た	12名 (40.0%)
無回答	3名 (10.0%)		

(感想)

- ・家族の立場になって考えるのは大切な機会だと思う
- ・問題が多かったので様々な視点から検討できた
- ・講師に質問できた

② 当事者(家族)は何に困っているのか

検討しやすかった	14名 (46.7%)	まあまあ検討出来た	13名 (43.3%)
無回答	3名 (10.0%)		

(感想)

- ・①と重なる部分があった
- ・色々な視点の意見が聞けて良かった
- ・家族全員に何らかの問題を持っていた

③このままの状態が続くとどうなるのか

検討しやすかった	16名 (53.3%)	まあまあ検討出来た	11名 (36.7%)
無回答	3名 (10.0%)		

④今後の支援方針（誰が、いつまでに、何を、どうするのか）

検討しやすかった	13名 (43.3%)	まあまあ検討出来た	12名 (40.0%)
検討が難しかった	2名 (6.7%)	無回答	3名 (10.0%)

(感想)

- ・すべきことは見つかるが方法は難しいと思う

⑤事例検討を通じ看護職間の連携の課題、方針

検討しやすかった	16名 (53.3%)	まあまあ検討出来た	8名 (26.7%)
検討が難しかった	3名 (10.0%)	無回答	3名 (10.0%)

(感想)

- ・様々な病院、施設、職種、役割の方々とそれぞれの立場の意見を聞くことができたのが一番良かった 同じ事例を見ても視点が違うことも分かった
- ・今の立場の意見は大切だと思う
- ・行政についても深く理解が必要と思った

6) 今回の研修での学びは自施設で活用できそうか

活用できる	20名 (66.7%)	一部活用できる	7名 (23.3%)
無回答	3名 (10.0%)		

7) 研修全体を通して（複数回答可）

a 知識が整理できた	21	b 自己のニーズが満たされた	6	c アイデアが得られた	11
d 思考が明確になった	8	e 実践に生かしてみたい	10	f 問題解決の糸口が得られた	9
g リフレッシュになった	0	h 充実感が得られた	8	i かえって混乱した	0
j 求めたものが得られなかった	0				

8) 看護職の連携促進に向け、どのような企画があれば参加してみたいか

- ・今回の事例検討に市の保健師の参加があればより活発な意見交換ができたと思う

4 まとめ

3職能4委員会連携事業として合同事例検討会を開催した。研修の目的については、職能委員及び地区支部委員ほぼ全員が「達成できた」「一部達成できた」という肯定的回答であった。【講義の内容】は「よくわかった」という回答が多かった。昨年度の課題として「経済的困窮者に対する医療を維持するための支援方法に関する知識が得られる機会が必要」と挙げており、今年度の講義及びグループワークがその機会となった。また、【事例検討の視点】に沿ってグループワークをおこなったことで「検討しやすかった」「まあまあ検討しやすかった」という回答が多かった。今回はコロナ禍のため保健師の参加者が少なく、保健師の参加を望む声があった。さらなる看護提供体制の構築にむけて、地域において看護職間のつながりとそこに関わる人達の実際について知る必要がある。

今後も合同事例検討会を継続し看護職間連携による解決策を検討することにより、地域包括ケアにおける看護提供体制の構築を促進させることができると考える。

令和2年度 支部長会

1) 目的

地域共生社会において、従来から行っている看護協会の支部活動は今までの形にとらわれず、看々連携を深め行政や関係機関を巻きオンダ活動が求められる。新しい支部活動を考えるために令和2年度より支部長を看護部長クラスにし、継続して役員を担っていただくような仕組みにした。情報共有を行いこれからの活動を強化するために、支部長会を行った。

2) 開催日

第1回 令和2年9月7日(月)

第2回 令和2年11月16日(月)

3) 出席者

地区支部長、担当理事 計10名

4) 情報提供

日本看護協会理事会等の情報提供

5) 協議内容

①支部活動進捗状況

すべての事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。

支部研修会：中止または延期が多く、2回開催予定を1回にする等の対応をしている支部が多い。

地域のニーズに応じた看護活動：地域住民へリーフレットを配布、携帯電話によるコロナ相談の開設、市町村の活動とコラボした行事を行っている。

まちの保健室、1日まちの保健室：ほぼ中止している。対面でない支援の仕方を工夫する必要があり、市町村の事業でリーフレットを配った支部もあった。

②コロナ禍での支部活動のあり方について

令和3年度もコロナ対策が続くと考えられるため、工夫しながら企画する。

研修会：支部と行政と共同事業の実施、中高校等へ看護の魅力伝える出前講座の実施、リモートを活用した研修の工夫

まちの保健室：不特定多数で対面は無理。情報発信を行うなどの工夫が必要。

③支部活動費

予算を有効に活用すること。

6) 理事・支部長名簿

支部名	担当理事	支部長
黒部・魚津	高山由紀子（黒部市民病院）	江田昌江（魚津市健康センター）
富山東・北	森太貴子（富山赤十字病院）	高嶋峰子（富山医療生活協同組合）
富山西・南	森太貴子（富山赤十字病院）	相澤幸子（谷野呉山病院）
上市	森太貴子（富山赤十字病院）	岡部陽子（中部厚生センター）
高岡・射水・氷見	米山美智代（高岡市民病院）	松島淳子（射水市民病院）
砺波・小矢部	小倉里美（市立砺波総合病院）	塚本奈穂美（砺波市健康センター）

会員数と入会率

	合計				保健師				助産師			
	03.3.31 現在 会員数	02.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	03.3.31 現在 会員数	02.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	03.3.31 現在 会員数	02.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)
	人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	人	%
北海道	43,514	43,644	85,956	51	1,178 (72)	1,199 (69)	3,133	38	1,291	1,264	1,668	76
青森	8,715	8,723	18,963	46	255 (9)	256 (7)	684	37	321	318	337	94
岩手	7,566	7,512	17,708	42	333 (9)	336 (5)	745	45	332	330	401	82
宮城	12,903	12,742	27,458	46	305 (11)	312 (10)	1,100	28	659	647	728	89
秋田	7,039	7,072	15,364	46	199 (13)	210 (14)	585	36	309	318	322	99
山形	7,882	7,837	15,470	51	368 (8)	367 (8)	624	59	367	362	351	103
福島	12,525	12,579	25,390	50	370 (32)	380 (30)	1,061	36	405	391	513	76
茨城	15,935	15,498	31,015	50	367 (19)	363 (18)	1,155	31	580	548	740	74
栃木	12,220	12,049	23,834	51	526 (18)	542 (21)	953	57	387	367	538	68
群馬	11,856	11,736	27,984	42	639 (39)	648 (36)	999	65	362	363	514	71
埼玉	25,893	25,780	68,722	38	442 (48)	478 (56)	2,219	22	954	954	1,692	56
千葉	28,640	28,578	58,508	49	443 (38)	454 (37)	2,084	22	897	900	1,497	60
東京都	48,548	48,891	130,101	38	430 (16)	424 (17)	3,931	11	2,230	2,226	4,088	54
神奈川県	38,266	37,810	80,815	47	730 (44)	734 (48)	2,157	34	1,359	1,337	2,337	57
新潟	16,314	16,284	30,294	54	835 (35)	840 (34)	1,220	69	611	628	764	82
山梨	5,873	5,762	11,187	52	490 (17)	493 (17)	625	79	200	197	261	75
長野	14,697	14,600	29,644	49	1,109 (57)	1,101 (57)	1,593	69	714	713	877	81
富山	8,972	8,839	16,900	52	512 (15)	492 (14)	621	79	393	389	430	90
石川	9,875	9,845	18,534	53	223 (8)	232 (7)	568	41	304	293	349	84
福井	6,636	6,623	12,547	53	237 (6)	238 (5)	477	50	226	227	248	92
岐阜	12,572	12,330	24,097	51	392 (16)	424 (16)	989	43	462	452	631	72
静岡県	21,988	21,587	42,007	51	535 (19)	529 (20)	1,718	31	845	816	998	82
愛知	39,466	38,838	79,846	49	608 (19)	581 (21)	2,726	21	1,567	1,558	2,241	70
三重	11,726	11,580	22,948	50	152 (8)	154 (5)	733	21	359	353	445	79
滋賀	9,110	9,000	17,023	53	336 (7)	342 (7)	714	48	288	275	496	55
京都	17,494	17,545	35,288	50	308 (29)	316 (27)	1,187	27	666	673	897	75
大阪	55,101	54,400	103,595	53	660 (30)	690 (27)	2,284	30	2,097	2,031	2,706	75
兵庫	32,482	32,318	68,521	47	683 (21)	703 (21)	1,759	40	1,037	1,028	1,544	67
奈良	9,655	9,465	15,898	60	121 (1)	135 (4)	549	25	312	298	368	81
和歌山	6,175	6,086	14,705	41	140 (10)	138 (8)	495	28	217	235	287	82
鳥取	4,345	4,277	9,954	43	107 (2)	105 (2)	332	32	218	213	239	89
島根	5,976	5,979	12,536	48	288 (9)	284 (8)	539	53	278	281	326	86
岡山	17,451	17,498	29,590	59	723 (16)	718 (15)	1,018	71	415	427	539	79
広島	20,571	20,493	44,184	46	411 (17)	430 (17)	1,299	33	547	523	678	77
山口	10,347	10,405	25,105	41	468 (15)	474 (14)	761	62	329	334	423	79
徳島	4,810	4,753	13,370	36	129 (1)	126 (1)	411	31	256	249	272	92
香川	7,628	7,528	16,380	46	209 (4)	202 (3)	563	36	285	281	315	89
愛媛	10,222	10,209	23,265	44	331 (12)	335 (11)	702	48	238	235	335	70
高知	6,493	6,391	14,811	43	126 (2)	129 (2)	522	25	152	154	191	81
福岡	43,376	42,793	81,500	53	740 (25)	749 (25)	1,830	41	1,024	987	1,448	68
佐賀	5,657	5,614	16,196	35	197 (3)	199 (3)	493	40	118	115	237	49
長崎	10,090	10,103	25,854	39	179 (3)	190 (3)	753	25	206	204	443	46
熊本	15,962	15,920	34,248	46	494 (13)	487 (10)	992	49	396	379	468	81
大分	10,142	10,003	21,154	47	523 (10)	507 (8)	671	76	220	213	335	64
宮崎	8,911	8,819	21,204	42	230 (12)	230 (9)	673	34	243	252	321	79
鹿児島	12,494	12,357	32,951	38	455 (10)	450 (9)	941	48	395	388	626	62
沖縄	10,239	9,999	20,327	49	289 (26)	294 (26)	767	38	416	424	447	95
合計	764,352	758,694	1,612,951	47	19,825 (854)	20,020 (832)	52,955	38	26,487	26,150	36,911	71

- 注 (1) 就業者数は、「平成30年度 衛生行政業務報告」により計上した。
(2) 「入会率」は、令和2年3月31日現在の会員数で算出。
(3) 各都道府県の会員数は、住所変更に伴う他県への移動により、各都道府県の会費納入者数（令和元年度決算報告書）とは異なる。
(4) 「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の（ ）内は男子の再掲。

看護師				准看護師				
03.3.31 現在 会員数	02.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率	03.3.31 現在 会員数	02.3.31 現在 会員数(a)	30.12.31 現在 就業者数(b)	入会率	
人	人	人	%	人	人	人	%	
38,745 (3,428)	38,666 (3,316)	64,456	60	2,300 (126)	2,515 (124)	16,699	15	北海道
7,776 (652)	7,774 (638)	13,048	60	363 (25)	375 (22)	4,894	8	青森
6,743 (525)	6,671 (500)	13,637	49	158 (11)	175 (12)	2,925	6	岩手
11,562 (844)	11,388 (813)	20,086	57	377 (16)	395 (19)	5,544	7	宮城
6,418 (625)	6,419 (612)	11,311	57	113 (13)	125 (16)	3,146	4	秋田
6,987 (503)	6,928 (480)	11,731	59	160 (15)	180 (17)	2,764	7	山形
10,904 (940)	10,874 (921)	17,161	63	846 (66)	934 (78)	6,655	14	福島
13,941 (1,317)	13,548 (1,264)	22,024	62	1,047 (101)	1,039 (100)	7,096	15	茨城
10,666 (1,053)	10,444 (1,004)	16,479	63	641 (53)	696 (54)	5,864	12	栃木
10,170 (1,301)	9,982 (1,257)	19,022	52	685 (67)	743 (69)	7,449	10	群馬
23,854 (2,212)	23,641 (2,155)	50,844	46	643 (36)	707 (40)	13,967	5	埼玉
26,300 (2,283)	26,129 (2,239)	45,202	58	1,000 (77)	1,095 (80)	9,725	11	千葉
45,343 (3,335)	45,656 (3,344)	109,517	42	545 (57)	585 (51)	12,565	5	東京都
35,659 (3,223)	35,155 (3,110)	67,763	52	518 (34)	584 (39)	8,558	7	神奈川県
14,270 (1,420)	14,162 (1,392)	22,702	62	598 (43)	654 (45)	5,608	12	新潟
4,996 (578)	4,857 (526)	8,223	59	187 (7)	215 (8)	2,078	10	山梨
12,581 (1,348)	12,469 (1,311)	22,349	56	293 (31)	317 (32)	4,825	7	長野
7,947 (657)	7,829 (640)	12,717	62	120 (14)	129 (16)	3,132	4	富山
9,054 (667)	8,983 (665)	14,616	61	294 (30)	337 (34)	3,001	11	石川
5,958 (499)	5,920 (486)	8,992	66	215 (9)	238 (10)	2,830	8	福井
11,175 (1,056)	10,892 (1,025)	16,950	64	543 (40)	562 (35)	5,527	10	岐阜
19,906 (1,623)	19,496 (1,548)	32,935	59	702 (34)	746 (35)	6,356	12	静岡県
36,459 (2,990)	35,850 (2,889)	61,389	58	832 (32)	849 (30)	13,490	6	愛知
10,674 (941)	10,512 (911)	16,931	62	541 (27)	561 (28)	4,839	12	三重
8,286 (954)	8,171 (906)	14,106	58	200 (13)	212 (15)	1,707	12	滋賀
15,955 (1,451)	15,942 (1,410)	28,238	56	565 (53)	614 (56)	4,966	12	京都
50,643 (3,540)	49,781 (3,462)	83,016	60	1,701 (76)	1,898 (87)	15,589	12	大阪府
29,905 (2,258)	29,648 (2,208)	54,658	54	857 (28)	939 (30)	10,560	9	兵庫県
8,844 (783)	8,624 (754)	12,917	67	378 (12)	408 (16)	2,064	20	奈良
5,690 (762)	5,560 (739)	10,795	52	128 (13)	153 (15)	3,128	5	和歌山
3,967 (317)	3,895 (294)	7,180	54	53 (5)	64 (5)	2,203	3	鳥取
5,280 (445)	5,266 (432)	8,769	60	130 (12)	148 (13)	2,902	5	島根
15,665 (1,114)	15,645 (1,090)	23,523	67	648 (28)	708 (28)	4,510	16	岡山
18,577 (1,737)	18,421 (1,697)	31,045	59	1,036 (85)	1,119 (89)	11,162	10	広島
9,008 (721)	8,995 (701)	17,311	52	542 (56)	602 (63)	6,610	9	山口
4,371 (279)	4,321 (271)	9,091	48	54 (3)	57 (3)	3,596	2	徳島
6,926 (705)	6,840 (689)	11,501	59	208 (27)	205 (26)	4,001	5	香川
9,325 (955)	9,279 (923)	16,839	55	328 (30)	360 (33)	5,389	7	愛媛
5,881 (674)	5,741 (643)	10,668	54	334 (50)	367 (56)	3,430	11	高知
39,576 (3,433)	38,887 (3,305)	60,730	64	2,036 (189)	2,170 (196)	17,492	12	福岡
5,076 (686)	5,015 (658)	10,937	46	266 (41)	285 (53)	4,529	6	佐賀
9,316 (947)	9,290 (923)	17,691	53	389 (29)	419 (31)	6,967	6	長崎
13,688 (1,112)	13,620 (1,087)	23,012	59	1,384 (135)	1,434 (128)	9,776	15	熊本
8,769 (728)	8,627 (692)	14,600	59	630 (55)	656 (56)	5,548	12	大分
7,894 (1,011)	7,768 (961)	14,033	55	544 (70)	569 (70)	6,177	9	宮崎
11,035 (1,254)	10,841 (1,186)	22,504	48	609 (62)	678 (66)	8,880	8	鹿児島
9,156 (1,693)	8,858 (1,602)	15,357	58	378 (55)	423 (66)	3,756	11	沖縄
690,921 (61,579)	683,280 (59,679)	1,218,606	56	27,119 (2,091)	29,244 (2,195)	304,479	10	合計

都道府県看護協会一覧表

協会名	〒	住所	TEL	FAX
北海道看護協会	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北3-24	011-863-6731	011-863-3204
青森県看護協会	030-0822	青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ3階	017-723-2857	017-735-3836
岩手県看護協会	020-0117	盛岡市緑が丘2-4-55	019-662-8213	019-662-9550
宮城県看護協会	980-0871	仙台市青葉区八幡2-10-19	022-273-3923	022-276-4724
秋田県看護協会	010-0874	秋田市千秋久保田町6-6	018-834-0172	018-835-9522
山形県看護協会	990-2473	山形市松栄1-5-45 アルカディアソフトパーク山形内	023-685-8033	023-646-8868
福島県看護協会	963-8871	郡山市本町1-20-24	024-934-0512	024-991-5560
茨城県看護協会	310-0034	水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内	029-221-6900	029-226-0493
栃木県看護協会	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階	028-625-6141	028-625-8988
群馬県看護協会	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護教育センター	027-269-5565	027-269-8601
埼玉県看護協会	331-0078	さいたま市西区西大宮3-3	048-624-3300	048-624-3331
千葉県看護協会	261-0002	千葉県美浜区新港249-4	043-245-1744	043-248-7246
東京都看護協会	160-0023	新宿区西新宿4-2-19	03-6300-0730	03-6300-0875
神奈川県看護協会	231-0037	横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館6階	045-263-2901	045-263-2905
新潟県看護協会	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11	025-265-1225	025-266-1199
山梨県看護協会	400-0807	甲府市東光寺2-25-1	055-226-4288	055-222-5988
長野県看護協会	390-0802	松本市旭2-11-34	0263-35-0421	0263-34-0311
富山県看護協会	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1	076-433-5680	076-433-6428
石川県看護協会	920-0931	金沢市兼六元町3-69	076-232-3573	076-232-3973
福井県看護協会	918-8206	福井市北四ツ居町601	0776-54-7103	0776-54-8474
岐阜県看護協会	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館第1棟5階	058-277-1008	058-275-5300
静岡県看護協会	422-8067	静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階	054-202-1750	054-202-1751
愛知県看護協会	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-18	052-871-0711	052-871-0757
三重県看護協会	514-0062	津市観音寺町字東浦457-3 三重県看護研修会館	059-225-1010	059-226-5200
滋賀県看護協会	525-0032	草津市大路2-11-51	077-564-6468	077-562-8998
京都府看護協会	606-8111	京都市左京区高野泉町40-5	075-723-7195	075-723-7272
大阪府看護協会	540-0001	大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル8階	06-6947-6900	06-6947-6901
兵庫県看護協会	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24	078-341-0190	078-361-6652
奈良県看護協会	634-0813	橿原市四条町288-8 奈良県看護研修センター	0744-25-4014	0744-24-7703
和歌山県看護協会	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-1005	073-483-1266
鳥取県看護協会	680-0901	鳥取市江津318-1	0857-29-8100	0857-29-8102
島根県看護協会	690-0049	松江市袖師町7-11	0852-25-0330	0852-25-3157
岡山県看護協会	700-0805	岡山市北区兵団4-31	086-226-3638	086-226-1157
広島県看護協会	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2	082-293-3362	082-295-5361
山口県看護協会	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館	0835-24-5790	0835-24-1230
徳島県看護協会	770-0003	徳島市北田宮1-329-18	088-631-5544	088-632-1084
香川県看護協会	769-0102	高松市国分寺町国分152-4	087-864-9070	087-864-9071
愛媛県看護協会	790-0843	松山市道後町2-11-14	089-923-1287	089-926-7825
高知県看護協会	780-8066	高知市朝倉己825-5	088-844-0678	088-844-0053
福岡県看護協会	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1141	092-631-1142
佐賀県看護協会	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 看護センター	0952-68-3299	0952-68-3603
長崎県看護協会	854-0072	諫早市永昌町23-6	0957-49-8050	0957-49-8056
熊本県看護協会	862-0901	熊本市東区東町3-10-39	096-369-3203	096-369-3204
大分県看護協会	870-0855	大分市豊饒2丁目7-1	097-574-7117	097-545-3751
宮崎県看護協会	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	0985-58-0622	0985-58-2939
鹿児島県看護協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 鹿児島県看護研修会館	099-256-8081	099-256-8079
沖縄県看護協会	901-1105	島尻郡南風原町字新川272-17	098-888-3155	098-888-3126

都道府県ナースセンター一覧表

ナースセンター	〒	住所	TEL	FAX
北海道ナースセンター	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北 3番24号 北海道看護協会内 1階	011-863-6794	011-866-2244
青森県ナースセンター	030-0822	青森市中央三丁目20-30県民福祉プラザ 3階 青森県看護協会内	017-723-4580	017-735-3836
岩手県ナースセンター	020-0117	盛岡市緑ヶ丘 2-4-55 岩手県看護研修センター 1階 岩手県看護協会内	019-663-5206	019-663-5263
宮城県ナースセンター	981-0933	仙台市青葉区柏木 2丁目 3-23	022-272-8573	022-272-7801
秋田県ナースセンター	010-0001	秋田市中通 2丁目 3-8 秋田アトリオンビル 1階	018-832-8810	018-853-4376
山形県ナースセンター	990-2473	山形市松栄 1丁目 5-45 山形県看護協会内	023-646-8878	023-643-5727
福島県ナースセンター	963-8871	郡山市本町 1丁目20番24号 福島県看護会館 みらい 1階福島県看護協会内	024-934-0500	024-991-6002
茨城県ナースセンター	310-0034	水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館 1階茨城県看護協会内	029-221-7021	029-226-0493
栃木県ナースセンター	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森 4階栃木県看護協会	028-625-3831	028-625-8988
群馬県ナースセンター	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護協会内	027-269-5202	027-269-8601
埼玉県ナースセンター	331-0078	さいたま市西区西大宮 3丁目 3番地 埼玉県看護協会内	048-620-7337	048-620-7322
千葉県ナースセンター	261-0002	千葉市美浜区新港249-10	043-247-6371	043-247-6620
東京都ナースプラザ	160-0023	新宿区西新宿 4-2-19 東京都看護協会内	03-5309-2065	03-5309-2066
神奈川県ナースセンター	231-0037	横浜市中区富士見町 3番 1 神奈川県総合医療会館 5階	045-263-2101	045-263-2104
新潟県ナースセンター	951-8133	新潟市中央区川岸町 2-11 新潟県看護研修センター 1階新潟県看護協会内	025-233-6011	025-265-4188
富山県ナースセンター	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1 富山県看護協会内	076-433-5251	076-433-5281
石川県ナースセンター	920-0931	金沢市兼六元町 3-69 石川県看護協会内	076-225-7771	076-225-7788
福井県ナースセンター	918-8206	福井市北四ツ居町601 福井県看護協会会館	0776-52-1857	0776-52-1858
山梨県ナースセンター	400-0807	甲府市東光寺 2-25-1 山梨県看護協会内1階	055-226-0110	055-222-5988
長野県ナースセンター	390-0802	松本市旭 2丁目11-34 長野県看護協会会館内	0263-35-0067	0263-34-0311
岐阜県ナースセンター	500-8384	岐阜市数田南 5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館第 1 棟 5 階岐阜県看護協会内	058-277-1010	058-277-1011
静岡県ナースセンター	422-8067	静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ 3階	054-202-1761	054-202-1762
愛知県ナースセンター	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-15 愛知県高辻センター 1階	052-871-0600	052-883-3686
三重県ナースセンター	514-0062	津市観音寺町字東浦457-10 三重県看護研修会館別館	059-222-0466	059-222-0465
滋賀県ナースセンター	525-0032	草津市大路 2丁目11-51 滋賀県看護研修センター滋賀県看護協会内	077-564-9494	077-562-8998
京都府ナースセンター	604-0874	京都市中京区竹屋町通鳥丸東入清水町375 ハートピア京都地下 1階	075-222-0316	075-222-0528
大阪府ナースセンター	536-0014	大阪市城東区鳴野西 2-5-25 ナーシングアート大阪	06-6964-5511	06-6964-6666
兵庫県ナースセンター	650-0011	神戸市中央区下山手通 5-6-24 兵庫県看護協会会館 1階	078-341-0240	078-341-0340
奈良県ナースセンター	634-0813	橿原市四条町288-8 奈良県看護研修センター 1階	0744-25-4031	0744-24-7703
和歌山県ナースセンター	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-0234	073-483-1266
鳥取県ナースセンター	680-0901	鳥取市江津318-1 看護研修センター 1階鳥取県看護協会内	0857-25-1222	0857-25-1223
島根県ナースセンター	690-0049	松江市袖師町 7-11 看護研修センター 1階島根県看護協会内	0852-27-8510	0852-25-3157
岡山県ナースセンター	700-0805	岡山市北区兵団 4番 39 岡山県看護研修センター内	086-226-3639	086-226-0341
広島県ナースセンター	730-0803	広島市中区広瀬北町 9-2 広島県看護協会会館1階	082-293-9786	082-295-6749
山口県ナースセンター	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館本館1階山口県看護協会内	0835-24-5791	0835-28-9688
徳島県ナースセンター	770-0003	徳島市北田宮1丁目329-18 徳島県看護協会内	088-631-5544	088-632-1084
香川県ナースセンター	769-0102	高松市国分寺町国分152-4 香川県看護協会看護研修センター 2階	087-864-9075	087-864-9071
愛媛県ナースセンター	790-0843	松山市道後町 2丁目11-14 愛媛県看護協会内愛媛看護研修センター 1階	089-924-0848	089-996-8425
高知県ナースセンター	780-8066	高知市朝倉己825番地 5 高知県看護協会内	088-844-0758	088-844-0053
福岡県ナースセンター	812-0054	福岡市東区馬出 4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1221	092-631-1223
佐賀県ナースセンター	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 佐賀県看護協会内	0952-51-3511	0952-68-3603
長崎県ナースセンター	854-0072	諫早市永昌町23-6 ながさき看護センター 1階長崎県看護協会内	0957-49-8060	0957-49-8063
熊本県ナースセンター	862-0901	熊本市東区東町 3-10-39 看護研修センター 1階熊本県看護協会内	096-365-7660	096-365-7640
大分県ナースセンター	870-0855	大分市豊饒 2丁目 7-1 看護研修会館 1階大分県看護協会内	097-574-7136	097-574-7361
宮崎県ナースセンター	889-2155	宮崎市学園木花台西 2-4-6 宮崎県看護協会 1階	0985-58-4525	0985-58-2939
鹿児島県ナースセンター	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 看護研修会館1階鹿児島県看護協会内	099-256-8025	099-256-8079
沖縄県ナースセンター	901-1105	島尻郡南風原町字新川272番地17 沖縄県看護研修センター 1階沖縄県看護協会内	098-888-3127	098-888-3126

公益社団法人富山県看護協会定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、公益社団法人富山県看護協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を富山県富山市に置く。

(日看協への入会)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日看協」という。）の法人会員となるものとする。

第2章 目的及び事業

(目的)

第4条 本会は、日看協との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて県民のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康で豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育等看護の質の向上に関する事業
- (2) 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- (3) 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- (4) 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- (5) 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、富山県において行うものとする。

第3章 会 員

(法人の構成員)

第6条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員 富山県内に在住又は勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師で、本会の目的に賛同して入会したもの。
 - (2) 名誉会員 看護職であって、本会の事業に功労があった者又は学識経験者で理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの。
- 2 前項の会員のうち、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(入会)

第7条 本会の正会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

(会費)

第8条 本会の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、正会員になった時及び毎年、正会員は、総会において別に定める額を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を会長に提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第10条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規程に違反したとき。
 - (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
 - (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。
- 2 前項の規定により会員を除名するときは、当該会員に、当該総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、総会において弁明する機会を与えなければならない。
- 3 除名は、除名した会員にその旨を通知しなければ、これをもって当該会員に対抗することができない。

(会員資格の喪失)

第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第8条の支払義務を1年以上履行しなかったとき。
- (2) 全正会員が同意したとき。

(3) 当該会員が死亡したとき。

第4章 総 会

(構成)

第12条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって法人法上の社員総会とする。

(権限)

第13条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会費の額
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事の選任又は解任
- (4) 日看協代議員及び予備代議員の選任
- (5) 理事及び監事の報酬等の額
- (6) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 総会は、定時総会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 総正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

3 前項の請求があったときは、会長は、総会を招集しなければならない。

4 総会を招集するときは、総会の日時、場所及び総会の目的たる事項を開催の30日前までに正会員に文書をもって通知しなければならない。

(議長)

第16条 総会に議長団を置く。

2 議長団は3名以上とし、総会においてその都度正会員の中から選出する。

3 議長は議長団がこれを定める。

(議決権)

第17条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第18条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議決権の代理行使)

第19条 正会員は、代理人によってその議決権を行使することができる。この場合においては、当該正会員又は代理人は、代理権を証明する書面を本会に提出しなければならない。

(書面による議決権の行使)

第20条 書面による議決権の行使は、議決権行使書面に必要な事項を記載し、総会の日時の直前の日時の業務時間の終了時までには当該記載をした議決権行使書面を本会に提出して行う。

2 前項の規定により書面によって行使した議決権の数は、出席した正会員の議決権の数に算入する。

(議事録)

第21条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員

(役員の設定)

第22条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 2名以上3名以内
- 2 理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を専務理事、1名を常任理事とする。ただし、理事には、保健師、助産師、看護師、准看護師から各1名以上を含むものとする。
- 3 監事のうち1名を会員外とする。
- 4 第2項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常任理事を同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事会は、会長、副会長、専務理事及び常任理事を選定及び解職する。
- 3 前項において、理事会は、総会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者から会長及び副会長を選定する方法によることができる。
- 4 第2項の場合において、理事会は、会長が推薦する専務理事候補者及び常任理事候補者から専務理事及び常任理事を選定することができる。

(役員の欠格事由)

第24条 次に掲げる者は本会の役員となることができない。

- (1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者
- (2) 法人法第65条第1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者
- (3) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第6条に該当する者
- (4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

(役員資格喪失)

第25条 前条に該当するに至った者は、当該時点で本会の役員資格を喪失する。

(理事等の構成)

第26条 本会の各理事について、当該理事及びその配偶者又は三親等内の親族（これに準ずるものとして当該理事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行令（以下「認定法施行令」という。）で定める特別の関係にある者を含む。）である理事の合計数が理事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても同様とする。

- 2 他の同一の団体（公益法人又はこれに準ずるものとして認定法施行令で定めるものを除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして認定法施行令で定める者である理事の合計数が理

事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても、同様とする。

(理事等との特殊の関係)

第27条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 本会の監事には、本会の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び本会の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

第28条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより本会を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、業務を分担執行する。

5 常任理事は、業務を分担執行する。

6 副会長、専務理事及び常任理事の権限は、理事会が定める職務権限規程による。

7 会長及び業務執行理事は、3か月に1回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。

3 監事は、理事が不正な行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくはこの定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告する。

4 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べる。

5 監事は、第3項に規定する場合において、必要があると認めるときは会長に対し、理事会の招集を請求することができる。

6 前項の規定による請求のあった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合は、その請求をした監事は、理事会を招集することができる。

7 監事は、理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査しなければならない。この場合において、法令若しくはこの定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総

会に報告する。

- 8 監事は、本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

(役員任期)

第30条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事は、同一職に引き続き就任するときは選任後6年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することができない。
- 3 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の時までとする。ただし、再任を妨げない。
- 4 前項の規定にかかわらず、監事は、引き続き就任するときは選任後8年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することはできない。
- 5 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 6 理事又は監事は第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第31条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(報酬等)

第32条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし常勤の理事及び会員外の監事に対しては、総会において定める総額の範囲内で、報酬として支給することができる。

- 2 役員にはその職務を執行するために要する費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員の報酬及び費用に関する規程による。ただし、監事の報酬及び費用については、監事の協議による。

(損害賠償責任)

第33条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。

- 2 前項の責任は、すべての正会員の同意がなければ免除することができない。
- 3 第2項の規定にかかわらず、理事又は監事が職務を行うにつき善意でかつ

重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該理事又は監事の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、法令の定める額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

第6章 理 事 会

(構成)

第34条 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第35条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

(招集)

第36条 理事会は、会長が招集し議長となる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、理事会においてあらかじめ定めた理事が理事会を招集し議長となる。

(決議)

第37条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べた場合は、この限りでない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 職能委員会

(職能委員会)

第39条 本会に次の職能委員会を置く。

- (1) 保健師職能委員会
- (2) 助産師職能委員会
- (3) 看護師職能委員会

- 2 職能委員会は、それぞれ職能上の問題を審議し、理事会に提案する。
- 3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師の理事をもって充てる。
- 4 各職能委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。
- 5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会において別に定める。

第8章 委員会

(委員会)

第40条 この定款に定めるもののほか、本会の事業を推進するために必要があるときは、理事会の決議により、委員会を設置することができる。

- 2 委員会は、総会及び理事会の権限を侵すものではないものとする。
- 3 委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。
- 4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第9章 支部

(支部)

第41条 本会に支部を設置する。

- 2 支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第10章 事務局

(事務局)

第42条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長は、理事会の決議を経て会長が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第11章 資産及び会計

(事業年度)

第43条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第44条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 予算等については、定時総会に報告するものとする。

3 予算等については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第46条 会長は、認定法施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。

(会計の規程等)

第47条 会計に関して必要な事項は、理事会において別に定める。

2 特別費用準備資金及び特定の資産の取得又は改良に充てるために保有する資産の取り扱いについては、理事会の決議により別に定める。

第12章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第48条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第49条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第50条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第51条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、認定法第5条17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第13章 公告の方法

(公告の方法)

第52条 本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

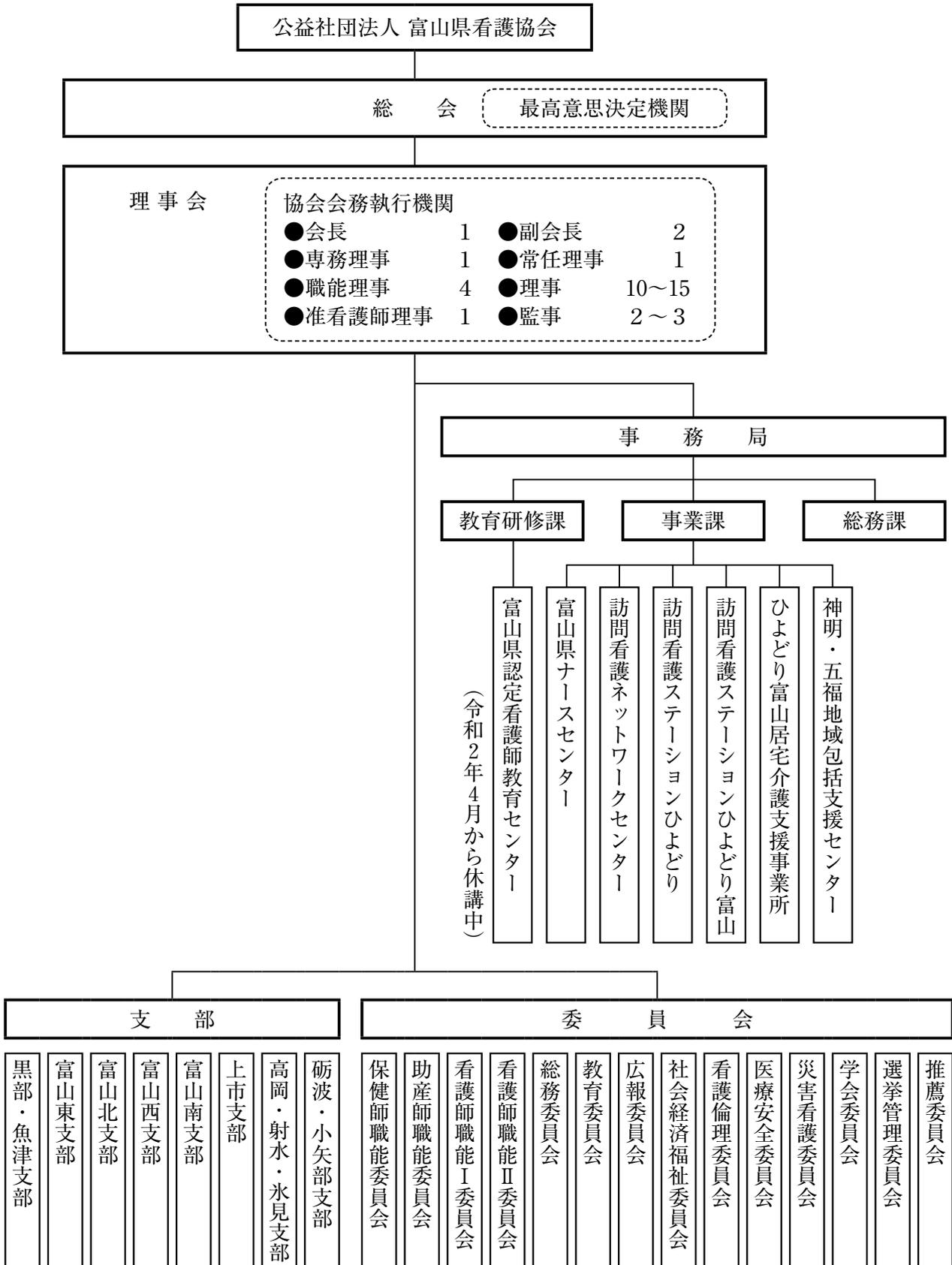
附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 本会の最初の代表理事は三谷順子とする。

- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第43条の規定にかかわらず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人 富山県看護協会組織図

令和3年6月1日現在



富山県看護協会職員名簿

(令和3年6月1日現在)

事務局

局長 大川昌宏
職員(主任) 村井一仁(主任) 高瀬かおり
職員 米道智子 杉山理恵 川村美里
非常勤職員 満間信江 塚田博美 古川恵子

ナースセンター

センター長 松嶋瞳
職員(主任) 黒田麻衣子 加賀美希
非常勤職員 新村千晶 城生裕子 濱祐美 今木真理子
田中澄子 秋本記江 宮崎泰子 羽根和子

訪問看護ネットワークセンター

センター長 清水阿佐美
非常勤職員 安井千明 中山郁代

訪問看護ステーションひよどり

管理者 森陽子
職員(主任) 帯刀あづさ(主任) 草島文子 宮脇真未
非常勤職員 丸山智代 福澤好美 井波絵弓 干場嘉代子

訪問看護ステーションひよどり富山

管理者 西井和実
職員(主任) 天野久美 永田莉 長井絹子
非常勤職員 高松裕子 會田和美 小暮恵

ひよどり富山居宅介護支援事業所

管理者 原田理恵
職員(主任) 藤永晴美
非常勤職員 林比呂美

神明・五福地域包括支援センター

管理者 本田理恵子
職員(主任) 田原千賀子 宮本恵理子 佐々木智子

